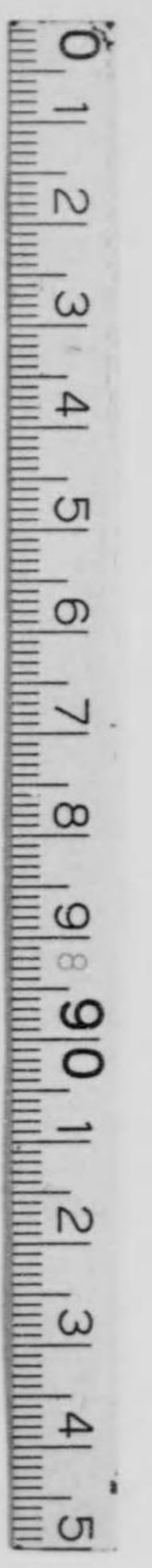




416  
56



40 工 14-17

416-56



採 収

花 寶

壬戌立秋

勝夫

大正  
11. 11  
内交

富國之源

成信



平私博覽

是

平私博覽

平私博覽

平私博覽

平私博覽

平私博覽

孝

## 發行の趣旨

夫れ國運の隆盛を期するの途一にして足らずと雖も、首めに産業の振興を努め、文化の啓發を圖るの優れるに若かず。而して産業を振興し、文化を啓發するに最も適切有効なるは博覽會開設の舉なりとす。

博覽會の目的たるや、各種の製産品を一場に蒐集し、その精粗優劣を比較評議し、以て産業の改良發達を奨勵し、工藝技術を具體如實に現示して、以て智識を啓發するに在り。而して公衆は之に對して既往を回顧し、將來を考慮し、其の取捨選擇宜しきに従ひ、之を實地に應用すれば則ち國利民福を増進する、蓋し鮮少に非ざるべし。

我が國、戰勝の餘勢を承け、所謂世界五強の一に居るに至れりと雖も、その産業、文化の發達に至つては尙ほ遠く此等列強の盛なるに及ばず。而して今や華府會議も豫期の成果を收め、世界永遠の平和も漸く其の緒に着き、各國々間の競争は干戈を捨て、専ら經濟文化の進展に依らんとす。實に國民の緊禪一番を要するの秋に當り、我が東京府は茲に巨資を投じて博覽會を開設し、題して平和記念東京博覽會といふ。洵に時機に適せる一大美舉なりと謂ふべし。

而も出品の範圍は啻に東京府内に止らず、各總督府道廳府縣を始め遠く泰西の諸國にも及び、各地産業の粹を網羅して餘す所なく、自ら特別の館舎を建設出陳したるもの亦尠からず。其の規模の宏大にして、設備の完整せる、陳列品の精巧にして品目点數の夥多なる、稱して世界大博覽會といふも誣ひざるの内容を有す。

然りと雖も、その會期は僅々數月に過ぎず、來つて是が觀覽を恣にし得るもの數百萬人に上らんも、而も時日に際限あり、地域に遠隔ありて、到底國民多數の要望を充すに足らざるを如何にせん。且つ不日會果て、館舎は解體し、出品は四散するに至らば、何によりてか再び此の盛觀を觀るを得ん。

本社茲に深く鑑みる所あり。全會場の大景、並に各館出陳の陶汰磨礪の珍、刺繡髹漆の麗、圖書彫鏤の精技、耕稼樹藝の百需、蹄角毛羽の群動、細大漏さず悉く之を撮影に附し、優美彪大なる一大寫真帖となし、以て汎く之を江湖に頒たんとす。出品各位は之を以て我が家我が店舖の光榮を記念すべく既に實地の觀覽を了せられたる諸君子には、其の當日の情景を永遠に偲ぶの好資料たるべく、竟に觀覽の希望を果す能はざりしものは、即ち目のあたり觀るが如き本帖によりて、其の遺憾を償ふことを得べし。

冀くは大方の諸彦、此の帖を備へて一は以て世界平和の第一年と共に自家の怡悅を記念し、一は以て曠古の盛觀を後昆に傳へて、聖代の惠澤に浴せしめられんことを。

大正十一年三月十日

# ◆平和記念東京博覽會概要◆

## (一) 開設の目的

平和記念東京博覽會は東京府主催の下に、全國各道府縣植民地の賛同は勿論、諸外國よりも多數の出品を得て、愈々大正十一年三月十日を以て、上野公園に於てめでたく開會の式を挙げた。東臺の春霞を揺がし、平和を象徴した平和館からは、煙るが如き折柄の春雨の中を、平和の鐘高く鳴り響き、閑院宮總裁殿下の御台臨を始め奉り、内外の貴紳、出品人等一萬五千餘人の参列があつて未曾有の盛況を呈した。

かくて午後からは一般の入場を許したが、會期は今日から七月三十一日まで五ヶ月に及び、百四十四日間である。言ふまでもなく此の博覽會は其の名の如く、世界大戰後の平和克復を記念し、戦時中に勃發した我が國産業の發達を一般に紹介し、將來の發展に資せんとするに在る。従つて陳列出品物に就いても從來の博覽會、共進會、品評會等に於ける舊套を脱して品質本位とし、且つ製造製作の順序、圖表模型、企業計畫の内容等を一目瞭然たらしむる方針の下に出品を動誘したので、全く新時代にふさはしい最新奇技の飾りを競ひ、動力を以て動かし得るものは總べて實際に動くやうに裝置して一般に興味を興へるといふ仕組のものが頗る多い。

殊に我國の商工業は從來その規模に於て、その製品に於て、世界に誇るに足るものが極めて乏しかつたが、大戰の結果、異常の進歩を遂げ、外國貿易の如きも戰前十三億に過ぎなかつたものが一躍して四十三億に上るといふ有様で、其の反影は今回の博覽會にも最も明かに見出すことが出来るのである。實に此の博覽會は主に、生産力ある代表的製品、發展の見込ある發明品その他を網羅して戦時中から勃興しかけて来た産業の現況を示し、尙將來の發展を指導せんとする目的で設立されたものである。

## (二) 規模と外觀

大正三年の大正博覽會は經費百五十萬圓で總坪十萬四千七百坪であつたが、今度の平和博覽會は豫算六百萬圓で約四倍、總坪も前者に比して一萬六千坪も廣く建坪に於ても五千坪も多いほどで、其の規模の大きいことは空前ともいふべきものがある上に、其の建築構造の新式にして美觀を極むる點に於ても全く面目を一新したものである。上野の山上及び不忍池畔の兩會場合せて十八の陳列館、三百餘の附屬建物、そこに、紅、紫、黄、白、色々に、科學の美、思想の精華を競うてゐる。

今各種の建物を舉ぐれば左の如くである。

會場	數	坪數	各種建物(第一會場)	坪數
第一會場(山上)	一一六	五一坪	建築館	四二二
内凌雲院内信地	四五	四七八坪	蠶糸館	三〇〇
第二會場(不忍池畔)	七一	一七三坪	美術館	一、〇〇〇
内持橋總面積	一一	八二三坪	農産館	六八六
不忍池の總面積	四六	三七四坪	奏樂堂	三〇
各種建物(第二會場)			衛生館	二五〇
事務局	七四六		水産食料館	五九五
噴水	一八八		蔬菜園藝館	一〇二
化學工業	七三五		守衛詰所	五〇
染織別館	二九九			
教育社會館	五〇〇			
正門	四四			
製作工業	一、一〇七			
染色館	一、〇二四			
平和館	二〇八			

救護所	三二	郵便局	四七
平和館	三三九	電氣工室館	四六五
外國館	九一一	池塔	二一三
池の周圍橋	一、八〇一	動力機械館	七〇二
外國別館	四九八	林道山館	四九九
奏樂堂	五六	觀月橋	三四六間
交通航空館	七〇二		

その他植民地特設館として朝鮮館三一八坪、臺灣館二八八坪、北海道館三〇〇坪、樺太館一四〇坪、滿蒙館一八〇坪、外國特設館として、米國館四〇坪、英國館二二〇坪、伊太利館二〇坪、瑞西館二〇坪があり、一般特設館としては、

- 第一會場(特設館)
- ▲日本羊毛工業會一四〇坪▲東京文具萬年筆組合一五〇坪▲建築學會(文化村)一五棟▲平家十一棟二階家四棟▲寺田合名會社三六坪▲東京アイル業組合二〇坪▲金原三郎一〇〇坪▲三輪善兵衛一五〇坪▲藤崎インテグ三六坪▲竹内金庫店一五坪▲穴原會社二〇坪▲三兵衛式七〇坪▲平民製作三三坪▲中山太陽堂一〇〇坪▲淺沼會社四〇坪▲日本化學工業會社七〇坪▲東洋紙業社三〇坪▲青雲堂印刷所二〇坪▲齋藤三三温室三〇坪▲東京旭硝子會社(温室)三〇坪▲川崎實業四八坪
- 第二會場(特設館)
- ▲關西電氣會社一六坪▲自在橋一坪▲自動式電機衝三〇坪▲貨物計量機三〇坪▲無限軌道二坪▲日本鐵道事業會社一〇坪▲四原修三(下水裝置)一五坪▲消火ポンプ二〇坪
- その他、協賛會經營の演藝館、迎賓館を始め、廣告を目的とする特設館、興行物賣店、飲食店の加きを加へるならば、非常な莫大なものとなるのである。

## (三) 會の成立と組織

平和博覽會は、畏くも閑院宮親王殿下を總裁に戴き、宇佐美東京府知事を會長に、大海原同内務部長を副會長に、遠藤産業部長を事務總長に、理事官、技師十數名を理事に推し、諸事遺漏なきを期すると共に、澁澤老子爵を會長とする平和博覽會協賛會の援助を得て、初志の貫徹に努めたのである。

なほ出品に對する審査に就いては多數の委員を囑託して審査の徹底公平を保つに腐心したが、各部門に於ける部長は左の如き顔ぶれである。

- ▲審査總長 平山成信
- ▲第一部(教育及學藝)部長 文部省普通學務局長 赤司龍一郎
- ▲第二部(美術)部長 從三位勳二等 福原鏡太郎
- ▲第三部(社會事業)部長 行政裁判所評定官 窪田靜太郎
- ▲第四部(保健衛生)部長 内務省衛生局長 湖島之輔
- ▲第五部(食料)部長 帝國大學名譽教授 丹波敬三
- ▲第六部(農業)部長 農事試験場技師 安藤廣太郎
- ▲第七部(林業)部長 農商務技師 白澤保美
- ▲第八部(水産)部長 農商務技師 伊谷以知二郎
- ▲第九部(礦業)部長 農商務技師 黒岩休太郎
- ▲第十部(機械工業)部長 帝國大學教授 新波忠三郎
- ▲第十一部(電氣工業)部長 帝國大學教授 山川義太郎
- ▲第十二部(化學工業)部長 工業試験場技師 高松豐吉
- ▲第十三部(染織工業)部長 東京高等工業學校長吉武榮之進
- ▲第十四部(製作工業)部長 農商務技師 野間聖雄
- ▲第十五部(建築)部長 帝國大學教授 森本靖

## (四) 各館出品數

各館出品數は、概數人員七萬五千、出品點數約二十一萬、眞に一代

の盛況を呈し、人目を眩せしむるに足るものがある。今試みに各別に出品点数を掲げると

出品	人数	点数
東京府	一、二、四三九	七四、一二五
賛同各縣	六〇、四八六	九五、五三三
植民地	二、一三〇	五、九〇七
外國	二、二一〇	三三、四四〇
部別出品人員及点数		
東京府	一、〇九三	一、二八〇
賛同各縣	七五〇	一、二八〇
社會	五二二	二二二
衛生	二、二六〇	四九二
食料	四、四一六	八、五八〇
農業	六、八七一	二七、六八五
林業	二、九二三	三、一六八
水産	一、三四八	五、六六五
礦産	五、三七〇	二七三
機械工業	六〇〇	七三
電氣工業	一、二三〇	五〇七
化學工業	三〇五	七四一
染色工業	七、五〇〇	一九、三三六
製工業	三三、七九〇	一一、五四〇
建築工業	三、九三六	一、八四三
交通	六五〇	九二
合計	四、五、六一九	一、一、五九

全國に於ける各府縣主要産物に就いて最近の統計を擧げて其の概要を説き、なほ今度の博覽會に於ける出品物、参考の爲に、表示することとした。

(五) 各府縣主要産物と出品物

東京府

東京府は首府東京を有するを以て、各種産業盛大を極め、其の中最も盛なるは製造工業で、一ヶ年の生産額三億七千八百萬圓の巨額に上り、生産總額は四億五千六百餘萬圓中、工業は其の八割餘に上る。之に次いで農産の五千萬圓が主なるものである。今之を表記すれば、

工業	三、七、八、七〇、八、四一、八、四
農産	五〇、五二〇、七九九
水産	七、四六一、七九一
林産	八、八九、九二八
畜産	一、八、五三、八、二二三
合計	四、五、六一九、一、五九

なほ東京府關係の、博覽會に於ける出品物は、其の範圍も廣汎に互り其の品數も莫大に上るので、茲には一々記載の煩に堪へざるを以て之を略す。(之に就いては、(四)各館出品數の條参照)

京都府

京都府下に於て最も盛なるは茶で、産額四十七萬八千貫(二三〇、六〇〇圓)我が國第二位に居り、而も其の品質は日本第一である。兩丹地方には養蠶が行はれ、製絲業も亦盛である。

各種工業も盛大を極め殊に絹織物を第一とし、産額一億三千九百九十萬圓に上り、本邦第二位を占めてゐるが、就中西陣は最も有名である。其他各種の織物を合計すれば、京都府は我が國第四位に居り、無慮一億四千七百萬圓に上り、其の他工業には陶磁器を産し、清水焼、栗田焼、高台寺焼等殊に名高く、其の産額は四百五十餘萬圓、全國第四位に當る磁器も我が國第四位の産額二、一〇〇、〇〇〇圓を保つてゐる。

丹波からは材木及び薪炭を産し、山城よりは竹及び松茸を産する。近年丹波國の北岸博覽會、新井師及成生師の邊には鱒を漁獲すること多く、丹波鱒と稱し、著名である。

本府は古來帝都の地だけあつて、生産力が偉大で即ち總額二億七千萬圓に上り、殊に工業は一億九千萬圓で總額の約三分の二以上を占めてゐる。次は農産にして六千三百萬圓に上るも工業の二分の一に達せず、林産額は六百七十萬圓で而して人口一人の平均額は二百十餘圓に上り、比較的他に比して生産力が大きい。今各種の産額を表記すれば、

品名	点数	品名	点数
學術用機械器具	三三	菓子類	一四六
度量衡器具	三七	遊漁具	一
樂器	六	化學藥品	五
社會事業成績	二	脂肪油	二
茶	二六	石鹼	三
酒	一七九	蒸餾酒精	三
清涼飲料	一三八	紙類	二五
菓子類	一四六	陶磁器	一〇〇
漬物其他	一	化學工業器具	一一
雜貨類	一一	絹織物	三二五
繭及絹織物	一〇	絹織物	一〇六一
木材竹材	一八五	絹織物	一〇六一
漁業	三八	唐織	三八
食用藻類	四五	絹織物	一
絲類	七三	絹織物	一
衣服類	二〇	絹織物	一
染色器具	四四	絹織物	一
打製物	二二	絹織物	一
紙製品	二四六	絹織物	一
刷製物	三〇	絹織物	一
珠玉加工品	一三	絹織物	一
漆具	七二	絹織物	一
漆具	六二	絹織物	一
裝身具	二	絹織物	一
合計	四、三、五	絹織物	一

大阪府

大阪平野は綿を産出すること多く、一萬六千貫に上り、廣島、鳥取、茨城に次ぎ、河内木綿の原料となる。和泉には蜜柑を産出すること夥しく全府下で約四百萬貫を出す、和泉の蜜柑は形稍々扁平にして糖汁多く品質佳良である。内地は青森、金澤、北海道に販賣し海外は浦羅、中華民國方面に輸出する。

大阪市を控へてゐるので、工業が甚だ盛で、就中綿絲製造は、其の産額二千四百五十餘萬貫に上り全國第一に居り、日本産額の約四分の一に上る。次は綿織物で是れ亦日本第一を占め其の價額一億六千八百萬圓、日本の總産額の約四分の一以上を出す。莫大小の産出も亦日本第一で産額四千萬圓に上り、次は綿織物で兵庫縣に次ぎ其の價額五百六十萬圓に上る。以上は大阪府の三大工業とも稱すべく、其他造船工業硝子製造、石鹼製造等各種の工業あり、又泉州の煉瓦業も甚だ盛である。

本府の生産力は大阪を有するを以て其の總額實に十四億四千三百萬圓に上り、實に日本第一である。而して其の内工業を第一とし、十三億七千七百萬圓を算し、全産力の百分の九十五以上を占む。次を農産とし産額五千四百萬圓、之に依つて本府が我が國の工業地なる事を證するに足

燒菓	二二	スレイト	五五
菓子	一一	長火鉢魚鉢	一一
眞綿	一六	苗木	二八〇
障紙	三三	竹材	一六
被褥	六	木炭	七一
糊材	三	日本記録紙	二七
糊材	二	養蠶具	二六
糊材	二	大豆	一四
糊材	二	水産物	三〇三
糊材	二	蔬菜	二二
糊材	二	合計	二、三、三

學術器械器具	一一	湯ノ花	一五
書籍製本	五	養命酒	三
趣味及娛樂	一一	スキースケート下駄	三
寫眞及印刷	一一	油	二五
社會教育	一一	醬油	三五
産業組合	二七	布	一五
社會事業	四	粉類	二六
水産	一五	凍肉	三〇
麵類	二二	豆	七一
菓子類	三三	菓子類	三〇
菓子類	三八	菓子類	八
菓子類	一〇	菓子類	三〇
菓子類	三九	菓子類	一五

長崎縣の特産品の首位は珊瑚で國內は勿論遠く伊太利方面まで輸出され、五色珊瑚として名聲世界に響き又同縣の髓甲細工は名品を出す點に於て珊瑚と共に世界に誇るに足るものである。海産物の鱧、鮑等の如きも重要物産に算へられ陶磁器も亦名産の一に位するが元來陶磁器は太古時代に朝鮮から平戸に渡り爾來發達して今日に至つたものである。

品名	點數	品名	點數
珊瑚	三二	木箱	二
唐機	一一	木枕	二
唐器	一一	木實	二
木箱	二	木枕	二
木枕	二	木實	二
木實	二	日本記録紙	七
日本記録紙	七	竹材	一六
竹材	一六	木炭	七一
木炭	七一	日本記録紙	二七
日本記録紙	二七	日本記録紙	二七
日本記録紙	二七	日本記録紙	二七
日本記録紙	二七	日本記録紙	二七
日本記録紙	二七	日本記録紙	二七
日本記録紙	二七	日本記録紙	二七

新潟縣

一、農産 米作は信濃川の肥沃なる大灌漑に行はれ、其の産額は實に日本第一にして、無慮三百四十萬石を産し、全國産額の十九分の一に上る次は麥、大豆、小豆にして大豆は日本第七位、小豆は第三位の産である又蔬菜、果實甘藷等の産が多い。  
二、鑛産 金、石油、鐵等の産があり、殊に越後の石油、佐渡の金何れも日本第一又は二位にして、金の産額は百二十四貫。石油は一百萬石約四千二百萬圓なり。殊に石油は全國産額の殆ど大部分を出す。  
三、工産 織物を第一とし、各種産額は四千七百萬圓以上にして、其の内絹織物最も盛に羽二重、縮緬、平絹、無地絹、明石織等である。絹織物も六百萬圓、綿織物一千萬圓、麻織八十八萬圓等あり。又漆器の産出も多し。  
四、生産力 本縣の生産力は總額二億八千八百萬圓に上り、一人前百四十六圓にして他縣に比すれば餘り豊かなりと云ふことは出来ない。殊に長野縣に比しては大に劣つてゐる。是れ面積の廣大、平野の廣さに比して本縣は尙大に發達の餘裕を示すべきものである。今之を表記すれば右の如し。

品名	點數	品名	點數
農業	一三八、四九八、〇五三	草	六三
畜産	一、三二九、九八六	藥	一四
林産	九、八二三、四五三	度量衡器	一
水産	四八七、三一、九〇九	實業教育	一
工業	九、〇二七、七〇六		
合計	二八、八五九、二〇六		
一人平均	一四六		

品名	點數	品名	點數
學術器械具	一一	佛具	二
學術的發造物	一	家類	二〇
書籍製本	一	佛具類	二〇
趣味及娛樂	一	佛具類	二〇
寫眞及印刷	一	佛具類	二〇
社會教育	一	佛具類	二〇
社會組合	二七	佛具類	二〇
產業事業	二	佛具類	二〇
社會事業	二	佛具類	二〇
社會事業	二	佛具類	二〇
社會事業	二	佛具類	二〇
社會事業	二	佛具類	二〇
社會事業	二	佛具類	二〇
社會事業	二	佛具類	二〇

埼玉縣

一、農業 地味は一般に肥沃にして、穀物野菜等農作物の耕作に適し、特に麥は全國第二位に位し、大麥百十萬石、小麥三十九萬石の多きを産し、主産地は人間郡より北足立郡に亘れり。米の産額亦百三十五萬石に達す。其他の農産物には近時蔬菜の栽培盛に多く東京地方に輸出す。又甘藷、桑、茶、棉、藍等も多く産す。殊に川越甘藷は八代將軍吉宗の世青木文藏の移植せしところにして産額多からず、本縣の全産額、五千六百萬貫（日本第五位）に及ぶ。養蠶業は西北部に盛に、産額高四十三萬石、價格四千五百萬圓以上に達す、從つて今や長野縣、群馬縣に次で全國有数の製糸業地となつた。大宮町、豊岡町、熊谷町、深谷町、水庄町等には大なる製糸場あり。



る。而して人口一人割の生産力は五百五十七圓八十錢で是も亦日本第一である。今各生産力を表示すれば、

品名	點數	品名	點數
農産	五四、八一〇・一四	畜産	一、三七七、三五七・七八
工業	一、三三七、三五七・七八	林産	一、八四七、八二二
水産	四、四二七・八八一	畜産	一、三三一、五二六
畜産	五、〇六七・四八四	畜産	一、四四三、八三四・五八二
合計	一、四四三、八三四・五八二	畜産	五五七、八〇
一人平均	五五七、八〇		

本縣は氣候温和にして、土地亦平坦肥沃なれば、農産多く、米、麦、粟、煙草、落花生等の産多く、殊に秦野地方は煙草の産地として名高く全縣下の煙草産額約五十三萬圓に上る。又大豆、甘藷、馬鈴薯等の産物多く、尙養蠶業も漸次隆盛に赴き、中部から北部にかけて盛である。又養豚業盛に千葉縣と共に關東の二大養豚地であり、果物の栽培も盛に、小田原附近の柑橘は産額甚だ多く、梨桃は中部及び東部海岸地方に多く産し何れも横濱東京其の他に盛に輸出する。水産物も亦多く、鰹、鱈、鰯等の漁獲多く、且つ著名なるは川崎附近の海水中より採取する海苔で、世に淺草海苔として稱美される。工業としては織物の産出があり、中にも津久井郡の川和織機及び甲斐絹類を第一とし、又蠶絲の産額も尠くない。其の他器械製麥粉、漆器、陶磁器、練瓦、石鹼等の産額が多い。名産として鎌倉郡の塗盆湯本の挽物細工、小田原の梅干、江の島の貝細工、小田原の水飴等は甚だ有名である。

本縣の各種の生産力を表記すれば、

品名	點數	品名	點數
農産	二二、九九四、六〇八	畜産	二、二六〇、三四四
工業	三九、〇五五、六一二	畜産	二、三二七、九四七
水産	一、三三六、五五八		
林産	二、二六〇、三四四		
畜産	二、三二七、九四七		

二、工業 工業としては織物の産出多く、殊に絹織物中最も盛なるは秩父銘仙にして價格の低廉と品質の堅牢とを以て知られ、又川越斜子は羽織物として一般に賣用されてゐる。其の他入間郡には平絹を出す。綿織物は絹織に次で産出多く、桐木綿、緋木綿等を重なるものとす。忍町には行田足袋を産するを以て天下に知られ、年額三千五百萬圓に上り北日本唯一の足袋供給地とまで稱せらる。

即ち合計七千九百萬圓で一人前平均六十七圓四十一錢二厘とし關東地方に於ては茨城縣に次いで最も下位にあり。此の點は、本縣人士の一層の努力を要するものと思ふ。

品名	點數	品名	點數
教育學藝	四一	水産	八九
美術	三	礦業	一四
社會事業	三四	機械工業	三
保健衛生	四六	電氣工業	六二
農業	六八〇	化學工業	二三二
林業	九六	染織工業	五六四
製作工業	三五六	建築	一七
航空運輸	三八	蠶絲	一八八

兵庫縣

一、農産 本縣は境域廣く、且つ多少の平野あり、米の産出多きこと全國第三位にして二百五十萬石に上る。麥も亦産出多く百萬石を出し我が國第三位である。二、工業 釀造盛で灘地方を中心として、其の釀造高七十一萬六千石に上り、本邦第一である。其の内灘は大部分を出す。次ぎに綿絲紡績千六百八十萬圓にて本邦第二位である。又神戸市を中心としたる織物は産額三千六百萬圓に上り本邦第一である。各種肥料二千八百萬圓も我が國第一とし、尙器械製麥粉千七百七十萬圓も亦本邦第二位にして、また醬油十六萬石を出し、龍野地方を主産地とす。次は素麵にして已に述べたる如く龍野を中心として四百三萬餘圓に上る。西洋紙も盛にして産額千三百萬圓を出し、静岡、東京、北海道に次ぐ。和紙四百四十萬圓。其の他柁柳製品四百萬圓、豊岡は其の中心にして双物類三百餘萬圓を出し殊に三木の打刃物は最も盛である。又出石、淡路の陶磁器(百萬圓)、網平地方のセルロイドも有名なり。三、鑛産 有名なる生野鑛山あり、盛に銀を出し本縣産鑛額の九分を占む。四、畜産 但馬牛は最も有名にして頭數も亦多く、全縣の總數九萬頭は本邦第二である。五、水産 漁獲物及び鹽の産額尠ならず。漁獲物産額計八百五十萬圓に上り本邦第五位にして鰹、鯛、鱈、鮭等を重なるものである。鹽は赤種附近製出盛に且つ品質の良好を以て知られてゐる。五、生産力 本縣の生産力は神戸市を包有するを以て甚だ多大にして八億一萬圓に上り、其の内工業を第一として價格六億五千二百萬圓、優に全生産の八割以上に至る。次を農産の一億〇六百萬圓とす。是本縣が我が國の有名なる米産地たるであるからである。林産は二千一百萬圓、水産は一千萬圓にして、即ち人口一人平均三百七十一圓に上り、近畿地方に於て第二とす。今各種のものを表記すれば左の如し。

品名	點數	品名	點數
農産	一〇六、二〇四、六六二	畜産	六五二、六七四、二三一
工業	六五二、六七四、二三一	水産	二一、三三一、四九六
林産	一〇、五二八、三八五	畜産	三、七二二、三三一
水産	三、七二二、三三一	畜産	六、六九六、九八五
畜産	六、六九六、九八五	畜産	八〇一、一五八、〇九〇
合計	八〇一、一五八、〇九〇	畜産	三七一
一人平均	三七一		

品名	點數	品名	點數
葛粉	五	氷豆腐	一〇
菓子類	九	さらし鮎	九
茶	一〇七	茶	二
竹輪蒲鉾	二二九	煮	三
鮎	四	柿	五四

り、最近年に於て長大の生産力を増した。(明治四十四年度は僅に六千九百萬圓なり)

品名	點數	品名	點數
農産	八八、三四四、六六八	畜産	一一九、九九六、六一二
工業	一一九、九九六、六一二	畜産	五、六六八、二九九
水産	五、六六八、二九九		
林産	二、三二七、九四七		
畜産	二、三二七、九四七		

本縣の各種の生産力を表記すれば、

農産	一二、九九四、六〇八
工業	三九、〇五五、六一二
林産	一、三三六、五五八
水産	二、二六〇、三四四
畜産	二、三二七、九四七

品名	點數
葛粉	五
菓子類	九
菓子類	一〇七
菓子類	二一九
菓子類	四
品名	點數
氷豆	一〇
さらし粉	九
黍	二
干柿	三
干柿	五

二、工業 工業としては織物の産出多く、殊に絹織物中最も盛なるは秩父銘仙にして價格の低廉と品質の堅牢とを以て知られ、又川越斜子は羽織物として一般に實用されてゐる。其の他入間郡には平絹を出す。綿織物は絹織に次で産出多く、絹木綿、緋木綿等を重なるものとす。忍町には行田足袋を産するを以て天下に知られ、年額三千五百萬足に上り北日本唯一の足袋供給地とまで稱せらる。

三、生産力 本縣生産力中最も偉大なるは、前記の如く工業及び農業にして殆ど全生産力の大半部分を占め、工業は第一にして各種の織物を出す故である。今各種を表記すれば左の如し。

農産	一二六、一二七、〇七二
工業	一二九、八〇二、二六九
林産	三、五七〇、四七三
水産	二、一二二、一九
畜産	一、三六、七〇九
計	二六、一、七五八、五四一

一、農産物 本縣は一般に火山多く、土地は火山灰の堆積よりなり爲に桑畑の栽培に適し、且つ降雨少なきを以て、頗る養蠶の業に適し産額の多き長野、愛知兩縣に次ぎて産額四十七萬石、價額四千八百八十萬圓にして全國第三位にあり。従つて生絲の産額多く又機械業盛に、前橋、富岡の製絲場、桐生、伊勢崎等の機械は天下に有名である。殊に養蠶地として有名なるは碓氷、澁川の灌漑にして、其の中心に碓氷社(碓氷町、原市町)、甘樂社(富岡)、下仁田社(下仁田町)の組合ありて生絲業者の便を計つてゐる。而して一般に農家の副業として毎戸に養蠶す。

二、生産力 本縣の生産力は二億二千五百二十五萬千〇六十三圓に上

り、最近年に於て最大の發達を爲し無慮一億二千萬圓(明治四十四年度は僅に六千九百萬圓なり)

殊に工業に於て最大の發達を爲し無慮一億二千萬圓(明治四十四年度は四千萬圓)に上り、次は農産の八千八百萬圓(明治四十四年度は二千五百萬圓)なり。實に本縣は關東地方に於て最も豊富の生産である。是れ實に本縣の爲に喜ぶべき現像である。

品名	點數
酒類	三四
粉類加工品	六六
菓子類	五
菓子類	三三二
菓子類	一六
菓子類	一一〇
菓子類	二
菓子類	三一
菓子類	一四
菓子類	一六
菓子類	二四
菓子類	二四
菓子類	三〇
菓子類	二〇
菓子類	一
菓子類	一〇四
菓子類	三〇一六

一、農産 本縣の北部は平坦にして、地味又肥沃なれば農産物多く、殊に米の産額は關東第一にして、二百四十五萬石に及び、全國第四位に當る。其の他大豆、甘藷、等の産額に亦多い。

二、醸造 味淋醬油清酒の産額多く、其の品質佳良なり。殊に醬油は野田、銚子最も多く産し、東京を中心として、北日本一帯に販路を有し、近時は瓶詰として遠く、英、米にまで輸出するの盛況にあり。味淋は流山を主産地とす。三水産は頗る豊富にして北海道を除きては、本邦第一位にあり。彼の有名なる九十九里濱は寒暖二流の會合點にして、此の兩海流に接む水脈多く、就中鱈を第一として、年々二百〇六萬圓以上の産額あり。其の多くは乾鱈又は魚油として肥料とする。其の他鱈、鮪、石花菜等の漁業の利亦多く、其の他製造物三百二十萬圓と共に、年總額千七百七十萬圓に達す。西海岸には多く鹽を産し、行徳鹽特に名高い。

其の他の産物には下總に佐賀炭あり。又縣下至る處養豚業盛大にして其の頭數二十萬本邦中第四位を占む。養蠶業に従事するもの亦頗る多く、殊に養蠶數は約百八十九萬以上に達し、本邦第一位である。

四、生産力 前記各種の産物を類計すれば左の如し。

農産	一〇二、七六〇、五五六
工業	四六、二七三、二六八
林産	六、一三四、八八六
水産	一三、八九六、八六〇
畜産	五、六三五、五九〇
計	一七四、七〇一、一六〇

合計約一億七千餘萬圓に上り、内農産を第一とし約一億萬圓に上り、全生産力の約三分の二に上る。是れ實に本縣が平野廣くして、生産力を其の平野より吸收するに依る。又工業の盛大なるは各種の醸造業ある結果



小麥	一五	提燈	一〇
凍寬	一〇	各種紙	一一
麵類	八	各種織物	一一二
干瓢	一〇	罐詰	二
清酒	八〇	醬油	五〇
石炭	一〇	葡萄酒	二
和紙	三〇	トマトソース	五
陶磁	八〇	調味噌	五
煉瓦	三	味噌	二
セメント	一	石材裝飾品	五
石炭	九	耕地整理	四
單筒	三	産業組合	七
蠶業組合	八	木炭	四二
教育用品	一四四	山林種子	六
度量衡	三七	山林種材	三〇
種馬	四	種牛	三
種鶏卵	一〇	種羊	五

一、農産は多く南部平原地方に發達し、殊に煙草、麻に名高く、煙草は東部茂木鳥山附近に栽培甚だ盛にして、其の收穫高百九十萬圓以上に及び全國第一である。干瓢の産出も多し。尙養蠶業も盛で葡萄酒の産額も亦多い。

大蔵は本縣西南部地方を主産地とし年額三百餘萬圓、全國に冠たり。即ち煙草と共に本縣の二大農産物である。

二、工産、織物盛にして、殊に足利市は著名の機織地である。絹綿交織物を始めとし。各種の絹織物等頗る盛にして絹織の年額一千一百萬圓以上に及ぶ。絹綿交織は殊に盛に一千三百萬圓(日本第二、第一は京都府五千二百萬圓)。佐野町は佐野縮を出すもの少なからず。又益子町は陶器の産出を以て有名である。

三、鑛産、鑛物は銅を以て著名とす。本邦は銅の産額豊富にして其の著名なる鑛山多しと雖も、中にも足尾の銅山は産出額を多く。著名なる銅山にして年額二千五百萬斤を出し、我國第一の銅山なり。又西澤鑛山は金産地として名高い。

四、生産力、本縣の生産力は農産を第一とし、次は工産なり、而して鑛産増額も少なからず、今之を表記すれば左の如し。

農産	七九、一六二、三〇八
工産	七六、二八六、六四六
鑛産	一〇、一五二、六七七
林産	一八、二八六、六三五
畜産	一、六八九、二二九
水産	二一七、三三八
計	一八五、七九四、八三三

此の總額一億八千五百萬圓にして、之を一人前に平均すれば百七十七圓にして、關東地方に於て群馬縣に次ぎ第二の豊富なる地方である。

品名	點數	品名	點數
清酒	三四	陶器	六四
醬油	二一	化粧煉瓦	一〇
干瓢	三〇	石炭	三五
米	九〇	織物	一七二
麥、大豆、小麥	四五	染物	一三
麻	二六	糸類	三四
蠶業	五〇	被服縫製品	一
繭類	二〇	染織器具	二二
繭糸	一〇〇	金屬製品	六
漆器	一五	包厨用品	一三
刷毛	三六	糸織品	三〇
炭	一〇	加工品	二五
木	三五	煉灰	三〇

染色機械	二
家畜	一〇
馬	匹
四	

一、農産 北部の平野地方には多少の農産あれども言ふに足らず。

二、工産 は織物を第一とし所謂大和耕是なり。綿織物の總額二千百萬圓に上り又麻織物をも出す。尙吉野地方よりは吉野紙、吉野葛、吉野漆等を産す。

三、林産 南方は有名なる森林にして、殊に杉材は天下に名あり、吉野川又は十津川より流下搬出す。吉野川を下るものを和歌山杉、十津川を下るものを新宮杉と云ふ。

四、生産力 本縣は生産力餘り大なるものはない。是れ平野狭く農産多大ならず、且つ工産とても多大の産品少なきを以て、生産總額一億千三百萬圓に過ぎず。即ち一人平均額に二百圓二十三錢にして、近畿地方に於て最も生産力の少なき所である。今各種生産額を表記すれば左の如し。

農産	五七、二〇八、七四二
工産	四六、二二一、一七九
林産	七、八六八、七五九
畜産	一、二七〇、一三四
水産	二〇〇、三一九
計	一一三、〇五六、〇〇〇
一人平均	二八六、三三四
合計	二〇〇、二三

品名	點數	品名	點數
食料品	三六七	製作工業品	二九一
林業	二〇〇	染色工業	一三三
總計	九九一		

三重縣

一、農産 本縣の東部海岸に沿ひたる平野は有名なる米の産地にして、殊に品質佳良の伊勢米又は關取米と稱し、産額百四十五萬石に上る。玄米にて東京に送り或は精米として横濱に輸送す。茶種又は茶の産出額なからず、茶種は七萬二千石(價額百七十八萬圓)、茶は七十五萬圓(價額二百十六萬圓)我が國の二三位にあり。

二、工産 織物殊に木綿織最も盛にして全産額四千四百萬圓に上り、伊勢木綿、松坂木綿とて名あり。又紡績盛にして綿絲製造高四百五十七萬貫に上り、陶磁器の産出は百四十餘萬圓本邦第六位の産である。

三、水産 本縣は海岸線複雑にして又延長してゐる。即ち伊勢海の沿岸は遠淺にして、砂濱長く磯多し、海底砂が多い。志摩、紀伊の海岸は岩角にして暗礁多し。従つて兩方の海岸に適する特殊の魚貝海産生育し、且つ紀伊の海岸には黒潮洗ふを以て鱈、鱧、秋刀、等の漁獲が多い。斯く沿岸到る所漁業盛なれども、殊に北牟婁郡九鬼村の如きは鱈漁獲の爲全村悉く所得税を納むるが如きは他に類例なき所あり。志摩郡にては漁業の利益を以て共同的に村費を支出し、村税すら徴收せざる所ありと云ふ又眞珠養殖は甚だ有名である。

四、生産力 本縣の生産力は實に二億四千萬圓に上り、近畿地方に於ては大阪、兵庫、京都府の次に位す。而して人口一人の生産額は二百二十五圓二十錢にして、京都、滋賀、大阪に次いで生産力大なり。之れ本縣の平野には多大の農産を出すのみならず、近時各種工業發達し却つて農産を凌駕する状態に達せしが故である。加之、林産及び水産も亦八九百萬圓つゝ出す等、各方面に涉りて多大の生産力を加へてゐるからである。今之を表記すれば左の如し。

農産	九一、〇一四、七三六
工産	一二九、六三九、五二一
林産	九、四四五、七五六
畜産	八、五七八、七五二
水産	三、四二二、七八五
計	一、四一〇、一八五、五三〇

品名	點數	品名	點數
合 計	一、八一二、〇六〇	品名	點數
一人平均	二四〇、八四三、六一〇	産業組合成績	一
	二二五、二〇〇	農業用具	五
日本産	一	農家副業品	二七
肥料	三	漁業用具	一
茶	一八〇	調味料	一
清涼飲料	一一	醤油溜り	四三
調味料	一	原動機	四
水産製品	六	一般機械	二
鹽類	七	染色並用具	五
鉛	三	蠶種	三
罐詰	七	繭	三
化學藥品	一五	石鹼	二
染料	一	紙類	二八
蠶糸	九	被服織品	三八
蠶繭	五	染色器具	二〇
陶磁器	一九	セメント	七
瓦	五	珪瑯磁器	一五
紙製品	一	絹織物	四
漆工品	三三	綿織物	五
木材加工品	三	交織物	一
文具類	五	麻織物	一
裝身具類	六	染色加工布	一七
扇類	四	雑工作品	一〇
玩具類	六		
出品合計	九一八點		

愛知縣

一、農産 廣大なる濃尾平野には米及び麥を産すること少なからず。米は尾張米の名世に高く、美濃及び尾張を合すれば其の産額日本第一となるであらう。愛知縣のみにて二百二十萬石を出し日本第五位の産額である。麥も美濃を合すれば日本第一に上るべきも、本縣のみにては八十一萬石にして第五位に在り。

尾張大根は一に宮重大根と稱し、其の主産地は國の西部西春日井、中島、丹羽、海東等の諸郡にして、切干として遠く浦鹽斯布哇又は北米合衆國に輸出せらる、その他にんじん及び各種野菜を出し、枇杷局は其の市場として甚だ有名である。菜種の産出多く四萬七千石にして日本第三位である。參河地方には綿の産出多く、近時養蠶業甚だ盛にして繭の産額五十六萬石に達し日本第二位の産なり。葉巻も亦産出多い。又尾張の國には養蠶業盛に我が國第一にして成禽數百萬羽、雛五十萬羽價額二百四十萬圓に上る。

二、工業 工業には織物を第一とし殊に綿織物は其の産出額一億六千三百萬圓を算し、日本第二位にあり。白木綿、縮木綿、織色木綿等産出が多い。次は絹織にして九百萬圓に上。各種織物總額一億九千六百萬圓にして實に本邦第二である。綿絲紡績も亦盛にして、一千萬貫に上り本邦第三位の産である。陶磁器は日本第一にして一箇年の産額二千九百萬圓に上り。その他時計の二百萬圓は本邦第二にして團扇、扇子、漆器木製品等も多い。此の外酒、醬油の醸造も亦盛である。

三、生産力 本縣の生産力は實に五億七千五百八十八萬千餘圓に上り、嘗に本州中部第一たるのみならず、東京、大阪、兵庫縣の下に位し、本邦に於て稀有の生産力であり。是れ近時工業が長速の發達を爲し四億一千五百餘萬圓に上るからである。而して人口一人に平均すれば二百七十五圓に當り、本州中部に於ては長野縣に次で第二の生産力である。即ち各種の生産力を表記すれば左の如し。

農 産	一三九、五六三、七七一圓
工 業	四一五、二九六、七五八

品名	點數	品名	點數
合 計	四、一四一、一四九	品名 <td>點數</td>	點數
一人平均	七、五九五、五五五	染色工業	一八
	六、七〇四、六六八	建築	一九
林 産	一、八七九、三五六	航空運輸	一四
水 産	五七五、一八一、二五七	社會	二四
畜 産	二七五	食料	二六
礦 産		林業	二七
		機械工業	三三
		化學工業	一〇六
		出品合計	四四〇三點

静岡縣

一、農産 富士川以西天龍川に至る、地方は茶の栽培盛で殊に大井川の下流域は牧野原と稱し、地味肥沃にして最も有名である。縣下の全産額四百五十二萬九千貫、價額千五百五十萬圓、我が國第一である。其の製造は外國向にして稻々滋味を帯び砂糖を要す。大部分は清水、神戸より北米合衆國及びカナダに輸出す。

蜜柑は近時の産出を以て名あり。柑橘類總産額八百九十萬貫、價額二百五十萬圓に上る。

二、工業 漆器は静岡塗と稱し、静岡より出し、産額少なからず約百十五萬圓に達す。駿河半紙及び西洋紙は有名にして駿河半紙は産原より最も多く産す。富士襪野及び富士川の流域にて三種を栽培し、駿河半紙の原料となす。和紙の總産額三百六十萬圓に及ぶ。西洋紙は大宮附近に富士製紙會社あり、水力を利用して器械を運轉し、盛に洋紙を製す。その他製紙會社あり、新聞紙及び洋書等の用紙は多く此の地より製出し。其の産額二千二百四十五萬九千圓にして日本第一である。又濱松市よりは樂器を出す其の價額二百萬圓に上る。

綿絲紡績亦盛にして年産額三千三百萬圓に達し、且つ綿織物をも出す

三、林産 本縣は樹木繁茂し、材木として東京及び大阪地方に輸送するもの多し。即ち大井川及び富士川によりて流下するもの多しと雖も、殊に盛なるは天城山の森林にして、我が國稀有の大森林である。徳川幕府は松、檜、杉、樺、梅、花柏を七木と稱し、濫伐を禁じてある。明治七年良材を採伐し初めて軍艦を作り、十一年竣工す、名けて天城と云ふ。

四、水産 本縣は、海岸線延長せるのみならず、東に東京横濱、西に名古屋等の好市場を有するを以て漁業盛に全漁獲高千四百四十六萬四千四百四十圓に及び千葉縣に次ぎ全國第二なり。就中鱈最も多く價額三百九十萬圓に上り、次は鮪百二十四萬圓である。鯛之に次ぎ五十六萬圓、其の他鱒、烏賊等の漁獲あり。また興津近海には鯛の漁獲少なからず、水産製造物は五百八十七萬三千五百六十九圓にして鱈最も多く三百八十三萬七千三百八十七圓に上る。水産物總價額は千七百三十三萬八千〇〇九圓に達す。

五、鑛業 伊豆の石材は東京地方に輸送せられ、遠江よりは石油を産す其の他金、銀、銅等の産あり。各種鑛産物價額八百三十七萬〇八百五十九圓に上る。

六、生産力 本縣の生産力は工業を第一とし、次は農産なり。而して生産總額は二億九千二百萬圓に上り、近數年間に長速の増加を見るに至つた。

農 産	九二、一三三、六一一圓
工 業	一六二、〇二八、八二四

滋賀縣

一、農産 縣下の農産物は米、菜種、麻等を主要なるものとす。米は琵琶湖を中央に湛んでるを以て灌溉の便大に米の産額百五十六萬石本邦第十五位の産地である。菜種の産額も亦多く收穫高六萬六千石(價額百七十七萬圓)に達し、本邦第三位の産地である。

林 産	九、三二二、〇六九
水 産	一七、三三八、〇〇九
畜 産	八、三七〇、八五九
礦 産	三、七一一、七二九
合 計	二九二、八九一、一〇一

種の生産力を表記すれば左の如し。

一九二、一三六、一〇一  
一六二、〇二八、八二四

品名	點數
林産	九、三二二、〇六九
水産	一七、三三八、〇〇九
畜産	八、三七〇、八五九
合計	三、七二七、七二九
一人平均	二九二、八九一、一〇一

品名	點數
各教育用品	一三
教授用具	六
樂器	二二
事業状況	三三
茶	四九七
醬油味増類	五五
菓子類	二〇
乳肉品類	五
罐詰類	一三
米麥豆類	八四三
業草	四一
農具	二二
副製品	九〇
農業成績	二
器具	一八
葯	二二
裝飾植物	四
林業用品	一〇一
木炭、山茅、樺茸	一六五
水産製品	三七五
鹽副産物	二
地産物	六
金屬工業	三
製茶機械	一六
原動機械	一
品名	點數
體育衛生	六二
度量器	二九
統計	一
藥品類	五
酒	三五
粉類	四
砂糖蜂蜜類	八
漬物其他	三八
甘藷切干	一〇八
食品類	二
香辛類	一九〇
纖維植物	一六七
驅除方法	二
肥料類	二
蠶種類	二九五
玉糸生糸	二九八
果實類	一
林政施設	二
器具類	一〇
漁具類	四三
水産養殖	三八
水産改善	二
土産改善	三
森林保護	三
染色機械	二

山梨縣

一、農産 工産甲府平原は土地肥沃、桑柘の栽培に適するをもつて、養蠶業甚だ盛にして生糸、絹織物の産出が多く、生糸の製出は甲府最も盛である。縣下一箇年生糸の産額二十八萬二千貫、四千三百萬圓にして日本第五位に在り。絹織物は甲斐絹最も著しく、産額二千五百五十三萬圓に上り、郡内織も亦名高い。

葡萄酒の産出は我が國第一にして、勝沼町及び其の南方に隣接する岩崎地方は其の産出の中心である。一箇年の産額百〇九萬七千貫（價額七十三萬圓）に上る。

二、鑛物 金峰山よりは盛に水晶を出し、兩湖よりは硯材を出す。

三、生産力 本縣の生産總價額は一億二千二百四十三萬〇四百〇七圓に上り、其の内最も生産力大なるを農産とし六千三百九十九萬九千餘圓とし次は工産の四千四百萬圓である今其の各種を列記すれば左の如し。

品名	點數
農産	六三、一九九、七一〇
工産	四四、九一五、四三
鑛産	三三九、五四二
林産	一三、〇五七、七二一
畜産	八二四、〇五三
水産	九三、四三七
合計	二二二、四三〇、四〇七
一人平均	一八八、八八〇

滋賀縣

一、農産 縣下の農産物は米、菜種、麻等を主要なるものとす。米は琵琶湖を中央に湛んでる以て灌漑の便大に米の産額百五十六萬石本邦第十五位の産地である。菜種の産額も亦多く收穫高六萬六千石、價額百七十六萬圓に上り、本邦第三位の産地である。

二、工産 工産には濱縮緬の外に麻織あり麻布は日本第一にして産額五百二十九萬圓に上り、八幡町、野洲町布等其の名高し。陶磁器は年額八十餘萬圓、信樂焼は其の最も盛なるものにして其の他伊吹艾等がある

三、生産力 本縣の生産力は約一億一千一百萬圓に上り、人口一人につき百七十一圓餘に比して他地方に比すれば割合に豊なる地方とす。此れ世に近江商人と稱せられるほどありて、商工に努力するのみならず、農耕にも全力を盡すが故であらう。今其の各種の生産額を示せば左の如し。

品名	點數
杖	七九
蚊帳	二〇
雄工作品	八八
佛檀	八
醬油	四七
醬	二二五
米	五一
桑種	五二
繭真綿類	二
水産成織	二
油	二
絹織物	六四
絹緞交織	八八
各種糸	一八〇
文房具	一〇

岐阜縣

一、工産 美濃紙、岐阜市の北方には多く紙を産す。殊に武儀、山縣、揖斐の三郡は大産地である。紙質強くして美濃紙と稱す、其の名最も高く、他國に産するものも此の紙質に同じきものは美濃紙と稱するに至る。

全縣下の和紙の産額五百二十萬圓に上り日本第三位である。其の内美濃紙は二百萬圓にして集散地は美濃町及び岐阜市である。織物も亦盛にして岐阜縮緬は近時聲を揚げ、一箇年百二十六萬圓を出す。其の他羽二重、綾斜子等あり、其の主産地は岐阜、稲葉、羽島の一市二郡である。又綿織物は重要産物の一にして、一箇年五百萬圓の産出あり。主産地は羽島郡笠松町及び竹鼻町にして、稲葉郡からも産する。

此の外に絹緞交織及び麻織、毛織物を出す。陶磁器も甚だ有名にして年額一千一百萬圓、産出日本第二にして多治見町は其の中心である。美濃焼といふのが即ち是である。西部赤坂には一種の雅致ある温故焼を産す。尙余の年産額約百五十萬圓以上に達し、其の中雨傘は加納町より出し、岐阜市よりは繪日傘を出し専ら海外に輸出される。赤坂附近よりは農事用石灰炭を出すこと數十萬圓に達し、又大理石を以て各種の細工物を作り、其の價額數十萬圓に上る。

二、農産 本縣の生糸は品質の佳良を以て横濱市場に聲價あり、従つて近時産額頗る多く、年額二十四萬七千貫（三六九〇萬圓）に達し、全國第七位にあり。近時米及び茶の産出あり、茶は風味よく歐米人に好愛せらる。

品名	點數
杖	七九
蚊帳	二〇
雄工作品	八八
佛檀	八
醬油	四七
醬	二二五
米	五一
桑種	五二
繭真綿類	二
水産成織	二
油	二
絹織物	六四
絹緞交織	八八
各種糸	一八〇
文房具	一〇

三、林産 飛騨高山を中心とする大森林あり。面積官有林四十萬町、民有林一百萬町、御料林三十萬町歩の面積を有し、樹種は檜を始め姫小松、落葉松、樺、楊等其の他各種あり。

四、鑛産 近時銅及び銀の産出多く、飛騨の神岡は我が國有名の銀山なり。美濃には又畑佐鑛山あり、銀及び銅を出す。

五、生産力 本縣の生産力は總額一億九千九百四十四萬圓に上り、本州中部地方にては愛知、長野、新潟縣の次に位す。一人に平均すれば百八十五圓餘にして、他縣に比して餘り大なりと云ふことは出来ない。

而して本縣は近時各方面の産業の發達隆々たれば他縣を凌駕して漸次昂上するに至るであらう。左に其の生産力を表記す。

品名	點數	品名	點數
農産	九六、六六四、三〇〇	蠶絲	一〇
工業	八九、七一八、〇八七	繭	三〇
水産	六四三、五六五	蠶	一〇
林産	七、一七八、三一八	蠶	一〇
鑛産	三、三九四、二一九	蠶	一〇
畜産	一、八四八、〇七三	蠶	一〇
合計	一九九、四四六、五七二	蠶	一〇
一人平均	一八五	蠶	一〇

長野縣

一、農産 土地氣候共に養蠶に適すると、地勢が養蠶を促すべき事情ありと、敏捷にして産業に熱心なる民情とによりて甚だ盛なる養蠶國となつた。而して繭の産額九十二萬石、價額一億二千萬圓に上り、全日本の總額七百二十萬石の八分の一に上る。生絲及び各種繭合計百六十八萬圓にして價額一億六千四百六十萬圓全國の四分の一に越え、實に我が國富源の一たるを失はず、又蠶種の製造高は一ヶ年に六百六十一萬枚價額六百六十一萬圓を出し殊に松本の秋蠶種、上田の春蠶種は産額莫大である。此の外米百五十萬石、大麦二十九萬石、小麦十四萬石、大豆十二萬石及び粟蕎麥果實(殊に柿、苹果、葡萄)等の産額大である。

二、林産 山林の廣大なるべきことは地勢既に之を證す。而して本縣の林産總額は六百六十萬圓に上り、各種森林面積に御料林四十七萬町、國有林四十九萬町、私有林十三萬町歩あり。落葉松、檜、樺、椴、栗、樺の良材に富み、殊に木曾御料林は古來甚だ有名である。御料林中有名なるは瀬戸川、鯨川、小川入、阿寺入、柿共とす。

三、生産力 本縣の生産力は無慮三億四千二百萬圓に上り、本州中部地方に於ては愛知縣に次ぎて第二位にあり。而して人口一人前に平均すれば二百二十圓にして、本州中部地方第一の生産力とす。是れ畢竟本縣が工業の一億八千八百萬圓に上り即養蠶、製絲の業盛なるが故なり。加ふるに本縣は山地なるに拘はらず、農産も亦盛にして一億四千百萬圓に上り、且つ各地に特種の工業ありと、林産の大なるとは本縣の生産力の偉大なる所以である。今之を表記すれば左の如し。

一、農産 本縣は氣候比較的溫暖にして、米作地として甚だ有名である。特に陸前の平原地方は地味肥沃にして良米を産し、古來仙臺米として東京に輸送されたものである。年産額百六十萬石に上る。麥の産額も奥羽第一である。大麦五十萬石、小麦八萬餘石を産す。

二、畜産 本縣 牧馬を以て有名である。殊に加美、玉造兩郡第一とす。玉造郡の鬼首産は最も名高く、元伊達政宗が外國種の種馬を牧養したるに始まると云ふ。爾來駿馬を出し、徳川時代にも乗用として献上したるもの少なくない。

三、水産水産物は頗る多く、就中仙臺鮭の本場にして、東海岸特に牡鹿半島附近は捕鯨業盛である。要するに本縣海岸の海産物は實に非常の巨額に達す。鮭漁の年産額のみにて二十八萬圓に及び日本第一である。其の他縣下全體の漁獲物は四百十六萬圓に上り、水産製造物五百三十萬圓に達す。實に奥羽地方第一である。

四、生産力 本縣の生産力は、農産を以て第一とし次は工業である。其の總額は一億二千六百萬圓に上り、奥羽地方にては僅に巖手縣の上に位するのみ。而して人口一人宛に算出すれば金百三十一圓にして、漸く巖手縣の上に入り決して富裕なりと云ふことは出来ない。更に一層の努力を要するであらう。今本縣の生産力を擧ぐれば左の如し。

品名	點數	品名	點數
農産	一四一、二八、〇一六	蠶絲	一〇
工業	一八八、二一三、二六二	繭	三〇
水産	六、六三九、七九七	蠶	一〇
林産	五九三、一二四	蠶	一〇
鑛産	六四二、〇一五	蠶	一〇
畜産	二、六〇七、二四九	蠶	一〇
合計	三、四二八、一三、四六三	蠶	一〇
一人平均	二二〇	蠶	一〇

宮城縣

一、農産 本縣は氣候比較的溫暖にして、米作地として甚だ有名である。特に陸前の平原地方は地味肥沃にして良米を産し、古來仙臺米として東京に輸送されたものである。年産額百六十萬石に上る。麥の産額も奥羽第一である。大麦五十萬石、小麦八萬餘石を産す。

二、畜産 本縣 牧馬を以て有名である。殊に加美、玉造兩郡第一とす。玉造郡の鬼首産は最も名高く、元伊達政宗が外國種の種馬を牧養したるに始まると云ふ。爾來駿馬を出し、徳川時代にも乗用として献上したるもの少なくない。

三、水産水産物は頗る多く、就中仙臺鮭の本場にして、東海岸特に牡鹿半島附近は捕鯨業盛である。要するに本縣海岸の海産物は實に非常の巨額に達す。鮭漁の年産額のみにて二十八萬圓に及び日本第一である。其の他縣下全體の漁獲物は四百十六萬圓に上り、水産製造物五百三十萬圓に達す。實に奥羽地方第一である。

四、生産力 本縣の生産力は、農産を以て第一とし次は工業である。其の總額は一億二千六百萬圓に上り、奥羽地方にては僅に巖手縣の上に位するのみ。而して人口一人宛に算出すれば金百三十一圓にして、漸く巖手縣の上に入り決して富裕なりと云ふことは出来ない。更に一層の努力を要するであらう。今本縣の生産力を擧ぐれば左の如し。

品名	點數	品名	點數
農産	七五、九四〇、五四〇	蠶絲	一〇
工業	二七、八一〇、八六〇	繭	三〇
水産	七、一六五、九八一	蠶	一〇
林産	一一、五六八、九一四	蠶	一〇
鑛産	二、七四三、九三九	蠶	一〇
畜産	一、五二六、〇八七	蠶	一〇
合計	一二六、七一一、八三五	蠶	一〇
一人平均	一三一	蠶	一〇

出品名	品名	品名	品名
門標	鐵火	鐵火	鐵火
電鈴	鐵火	鐵火	鐵火
絹織物	袴	袴	袴
生糸	數	數	數
清酒	玉練糸	玉練糸	玉練糸
孫太郎虫	葡萄液	葡萄液	葡萄液
醬油	調味噌	調味噌	調味噌
教育關係物	社會關係	社會關係	社會關係

生産力は奥羽地方の首位にして一億四千二百萬圓に上る。従つて各種の産物も多からず。

一、農産 盛産 養蠶業有名である。米穀類には米百六十八萬石、麦三十五萬石、大豆十二萬石、馬鈴薯の八百八十萬貫等を最も主要とす。繭の産額は三十六萬石、絹額三千九百四十萬圓にして奥羽地方第一の巨額に上り、而して農産總額は六千六百三十萬圓に上り本縣産物中第一である。二、畜産 馬を主とし殊に三春の産名高く、本縣の頭數七萬三千頭奥羽地方に於ては巖手縣に次で頭數が多い。三、林産 本縣の林産伐採額は八百八十萬四千圓に上り奥羽地方第一位にして、又本邦第二位に屬す。四、鑛産 石城雙葉二郡の石炭を第一とし、其の他本縣半田鑛山の金、銀、八基鑛山の金、銅、亞鉛等に次ぐ。五、工業 蠶絲を第一とし年額二十八萬五千貫額二千五百萬圓を出し奥羽地方第一なり。次は織物千二百六十萬圓にして、内絹織の一千一百萬圓を盛とし、近時相馬羽二重とて相馬郡小高町を中心として産額多く次に二本松の袖川侯の絹、信夫綴摺等も亦著名である。其の他漆器、陶器、磁器、煉瓦等である。殊に漆器は奥羽地方第一の産額にして百三十萬圓に上る。六、水産 海岸線少なきを以て東方海岸に多少の産あり。金額二百萬圓に過ぎず。鯉、鱈が多い。七、生産力 本縣の生産力は面積の廣大なるに比して、甚だ大なりと云ふことは出来ない。即ち左は最近の生産力とす。

出品名	品名	品名	品名
教育用具	度量衡器	度量衡器	度量衡器
燻	飲食水	飲食水	飲食水
清涼飲料	乳肉品	乳肉品	乳肉品
醬油	穀類	穀類	穀類
果實	調味料香辛類	調味料香辛類	調味料香辛類
麵類凍豆腐	粉類穀類	粉類穀類	粉類穀類
菓子類	葉煙草	葉煙草	葉煙草
蠶子類	植物纖維	植物纖維	植物纖維
蠶種	農産種苗	農産種苗	農産種苗
繭及汎綿	林産物	林産物	林産物
畜	水産製品	水産製品	水産製品
	水産の調査	水産の調査	水産の調査

即ち總額は約一億四千萬圓にして、これを人口一人に平均すれば、百〇四圓に過ぎず。縣としての面積は甚だ廣大なるに比して、斯の如きは其の生産力の發達幼稚なるを示すものである。尙今後一層の努力を加へば、本縣の生産は前途實に有望であらう。

出品名	品名	品名	品名
家畜	肥料	肥料	肥料
農具	肥料	肥料	肥料
農産成林	肥料	肥料	肥料
造林及森林	肥料	肥料	肥料
木竹材	肥料	肥料	肥料
石炭及燧燭	肥料	肥料	肥料
顔料塗料	肥料	肥料	肥料
紙類	肥料	肥料	肥料
煉瓦	肥料	肥料	肥料
陶磁器	肥料	肥料	肥料
瓦	肥料	肥料	肥料
絹織物	肥料	肥料	肥料
綿織物	肥料	肥料	肥料
玩具	肥料	肥料	肥料
珠玉	肥料	肥料	肥料
視典及非祭具	肥料	肥料	肥料

一、農産 本縣の米の産額は百萬石にして奥羽地方に於ては青森縣と共に甚だ多産なりと云ふことが出来ない。稗は三十一萬石にして本邦第一である。(本邦總産額七十五萬石)粟は約九萬石にして本邦第三位の産額である。二、畜産 本縣畜馬の飼養數八萬一千餘頭にして奥羽地方第一である。即ち地方に出だし、南部馬の名古來より内外に振ふ。三、鑛産 鐵は日本第一にして、釜石の鑛山、仙人の鑛山等あり。我が國全産額の九割餘に當る。其の他硫黄の産額多く、北海道に次ぎ、一ヶ年七千九百噸を産出し奥羽第一にして、本邦第二位である。尙鑛山多き爲め鐵器及銅器の製出多額にして、實に奥羽地方の一名産である。四、水産 沿海地とて漁利あらざるなしと雖も、宮古沖を第一とし、本邦中最も有名なる魚類の棲息地である。本縣の漁獲高二百七十五萬圓に上り、重なるものは柔魚、鱈、鮭等にして鮭の産額は五十五萬圓にして全國第一、鮭は北海道、新潟に次ぐ、近來遠洋漁業も亦盛なり。水産製造物も二百二十萬圓に上る。五、林産 地勢の部に述べた通り、森林面積甚だ廣きを以て林産總額六百七十萬圓に上り、奥羽地方の第二位である。先年模範林の設定を企て、一萬三千町歩の造林を爲し、將來之によりて連年八十萬圓の收入をなし、縣税を徴收せずと云ふ。現に若々計畫中にして將來は一大林業國となるであらう。六、生産力 本縣は面積の廣大なること奥羽第一たるのみならず、日本第一である。而して生産力は數年前に於ては奥羽に於て最下位にあつたが、今や一億三千八百萬圓、一人平均額に於ても百六十三圓にして、稍々昂上した。然し本縣人士努力の如何により將來發展の餘地は甚だ多い。

出品名	品名	品名	品名
學校狀況	各團體成績	各團體成績	各團體成績
凍餅	素麵凍豆腐	素麵凍豆腐	素麵凍豆腐
蜂蜜	衛生宣傳紙	衛生宣傳紙	衛生宣傳紙
酒類	清涼飲料	清涼飲料	清涼飲料
醬油	菓子類	菓子類	菓子類



品名	数量	品名	数量
小麦	10	大豆	20
米	92	小麦	118
大麦	25	粟	67
粟	10	稗	20
稗	15	蕪	15
蕪	15	豆	144
豆	15	油	12
油	15	糖	25
糖	15	紙	16
紙	15	布	15
布	15	織物	15
織物	15	漆器	15
漆器	15	玩具	15
玩具	15	其他	15

一、農産 地味肥沃にして津輕の良米を産し、北海道に輸出す。苹果を産することは我が國第一にして三百八十二萬圓に上り、青森縣は實に「林檎の國」と稱することが出来る。

馬鈴薯の産出も本縣は奥羽地方第一である。其の産額千九百九十八萬圓に上り、本邦第二位である。

二、畜産 牧畜は東部に行はれ馬牛の市場に賣せられるもの一百萬圓内外に上ると云ふ。而して産馬業の盛なことは、都々逸俚語に馬のことが歌はれることでも分るのである。

三、林産 國有林其の九分を占め本邦國有林中有数の地位にあり、羅漢柏、山毛榉、杉、栗、松等多く、殊に羅漢柏は下北郡恐山一帯と東津輕郡外ヶ濱の沿岸、北津輕郡中山一帯の山岳に鬱茂し、秋田木曾の山林と相並ぶ本邦三大美林の稱ある「背かず」杉は碓ヶ關附近に最も多い。

四、鑛産 本縣には金、銀、銅及び滿佈の産があり。其の鑛山は安部城鑛山、大正鑛山を最も有名である。

五、水産 世界三大漁場の一たる北海道に近ければ漁獲盛にして、本邦中稀なる水産地と云つてよい。鱈、鯨、鮑、鰹は其の漁獲物の重なるものである。即ち漁獲額三百七十五萬圓、製造額二百二十九萬圓に上り、奥羽地方第二である。

六、生産力 本縣の生産力總額は一億〇九百萬圓にして、奥羽の最下位なれども、人口一人の生産額は約百四十六圓にして、巖手、宮城、福島縣の上であり。今全生産額を示せば左の如し。

品名	数量	品名	数量
米	70	大豆	15
小麦	15	小麦	118
大麦	25	粟	67
粟	10	稗	20
稗	15	蕪	15
蕪	15	豆	144
豆	15	油	12
油	15	糖	25
糖	15	紙	16
紙	15	布	15
布	15	織物	15
織物	15	漆器	15
漆器	15	玩具	15
玩具	15	其他	15

品名	数量	品名	数量
米	70	大豆	15
小麦	15	小麦	118
大麦	25	粟	67
粟	10	稗	20
稗	15	蕪	15
蕪	15	豆	144
豆	15	油	12
油	15	糖	25
糖	15	紙	16
紙	15	布	15
布	15	織物	15
織物	15	漆器	15
漆器	15	玩具	15
玩具	15	其他	15

盛に年額六百四十七萬圓に上り、其の内四百三十萬圓は國有林より出た實に本邦第一である。殊に杉は青森及び吉野と共に本邦に於ける三大林と稱せられ、能代川の流域には杉の大森林あり林相整齊蒼鬱たり。然して本縣の杉は樹幹直ぐ薄材薄く、木理緻密に、色澤鮮麗なること、他に其の比なき、青森秋田と並びて名産である。

品名	数量	品名	数量
小麦	10	大豆	20
米	92	小麦	118
大麦	25	粟	67
粟	10	稗	20
稗	15	蕪	15
蕪	15	豆	144
豆	15	油	12
油	15	糖	25
糖	15	紙	16
紙	15	布	15
布	15	織物	15
織物	15	漆器	15
漆器	15	玩具	15
玩具	15	其他	15

一、農産 最も盛なるは米にして百九十八萬〇二百二十二石を出し、秋田縣に次ぎて奥羽第二の産額である。次は養蠶にして繭の産額二十一萬石産額二千四百七十萬圓にして福島縣に次ぎて奥羽地方第二の多産である。其他小麦、豆、麻、煙草、茶、薄荷等あり。

二、工業 奥羽第二にして總産額四千五百萬圓に上る。其の内織物を第一として總産額千七百萬圓に上り、奥羽地方最多産である。就中絹織物は千六百萬圓にして他は綿織の一百萬圓を多しとす。次は生絲の千二百萬圓は福島縣に次ぎて奥羽第二である。其他他酒、醬油、木工品、鐵器下駄表、漆器等である。

林産、鑛産、水産、畜産、共に多少あり、殊に林産は五百四十萬圓に上る。

三、生産力 本縣の生産は奥羽地方第一にして、總産額一億四千五百萬圓に上り、一人前の平均額は百五十圓にして奥羽第一である。是れ本縣が人口に比して工業産額の大なるものがあるからである。要するに農産に於ても工業に於ても、本縣は奥羽第一の生産力を有する。今各種の價額を表記すれば左の如し。

品名	数量	品名	数量
米	70	大豆	15
小麦	15	小麦	118
大麦	25	粟	67
粟	10	稗	20
稗	15	蕪	15
蕪	15	豆	144
豆	15	油	12
油	15	糖	25
糖	15	紙	16
紙	15	布	15
布	15	織物	15
織物	15	漆器	15
漆器	15	玩具	15
玩具	15	其他	15

品名	数量	品名	数量
米	70	大豆	15
小麦	15	小麦	118
大麦	25	粟	67
粟	10	稗	20
稗	15	蕪	15
蕪	15	豆	144
豆	15	油	12
油	15	糖	25
糖	15	紙	16
紙	15	布	15
布	15	織物	15
織物	15	漆器	15
漆器	15	玩具	15
玩具	15	其他	15

に材木等がある。水産物には鮭、鱈等を産し、また雲丹と蟹は名産である。

二、生産力 本縣の生産力は工業を第一とし、一億一千七百萬圓に上る此れ絹織物に羽二重の盛だからである。次は農産にして四千五百萬圓に上る。

盛に年額六百四十七萬圓に上り、其の内四百三十萬圓は國有林より出し、實に本邦第一である。殊に杉は青森及び吉野と共に本邦に於ける三大林と稱せられ、能代川の流域には杉の大森林あり林相整齊鬱鬱たり。然して本縣の杉は樹幹直ぐ湯材薄く、木理緻密に、色澤鮮麗なること、他に其の比なく、古來秋田杉とて名高い。

三、工業、織物を最も盛とし、横手町を中心とし各地より木綿織物約三十二萬圓を出す。絹織は秋田織は甚だ有名に、次は秋田八丈織である。産物には能代春慶堂も名あり。恨むらくは價高きを以て産額需要は多くない。角館町及び横澤村よりも春慶堂を出し、品質悪しきも價廉なるを以て産額多し。川連村よりも漆器を出し、産額十萬圓一村悉く漆器によりて衣食す。本縣は殊に土地が漆の栽培に適するを以て、漆器は將來尙有望である。現今にては年産額三十八萬圓に過ぎない。

四、鑛産、鑛産業も亦盛に殊に銀、銅を産すること全國に冠たり。即ち銅は二千二百七十七萬餘斤(價額一、五八〇、七三五圓)に上り、本邦第二の産にして、全國の産額の約七分餘に上り、朽木、愛知縣と共に三大産地である。銀は五千八百〇七貫(價額一、五二〇、〇〇〇圓)にして本邦第三位の産にして日本總産額の一分に近し、金も亦百二十九貫(價額六四七、〇〇〇圓)にして、大分、鹿児島、新潟、茨城縣と共に五大産地である。鑛山の著名なるものは小坂、八盛、尾去澤、阿仁、院内の外荒川、日三市等がある。

南秋田郡金足村黒川には石油の大噴油があつて、一晝夜に一萬三千石以上を噴出し、日本第一の石油坑と稱せられたり。近時は往年の如き噴出なきも、尙一ヶ年三十二萬八千三百二十九石に上り、新津油田(五二九、四七〇石)に次ぎ本邦第二である。

生産力 本縣の生産力は總額一億三千八百萬餘圓に上り、農産は最多にして、六千二百萬圓にして、次は鑛産の四千萬圓とす。次は林産の二千萬圓である。而して人口一人前の生産力は百五十四圓餘に上る、今之を表記すれば左の如し。

農産	六二〇三五、八九九〇	林産	一〇、六七一、六三五
工業	二、四二七、三〇六	鑛産	二〇、四八一、五六七
畜産	四〇、七四五、七七七	水産	二、一七、八二六
林産	一、三、八四八、〇一〇	合計	一、三四、八八〇、〇一〇
一人平均	一五四		

一、工業、農産、林産、水産、本縣の重要物産は織物にして總額一億七千六百萬圓に上り、其の内絹織物は一億五千七百萬圓にして實に本邦第一とす。是れ羽二重の製織盛な爲である。其の産出地は福井市、坂井郡春江村、鯖江、大野、勝山町地方である。次ぎに漆器を出す。尙製紙は日野川流域に行はれ紙質堅緻を以て名あり、其の他農産物に米、林産物

に材木等がある。水産物には鯛、鰯等を産し、また雲丹と蟹とは名産である。

二、生産力 本縣の生産力は工業を第一とし、一億一千七百萬圓に上る。此れ絹織物殊に羽二重の盛だからである。次は農産にして四千百萬圓に上る。工業が農産より盛なる地方は本州中部に於て愛知縣、石川縣を除くの外はない。是を以ても如何に本縣の繁榮が織物に負ふ所大なるかを知らることが出来る。今例により各種生産力を記さん。

農産	四、一七二、〇六八	工業	一、二七四、八〇八
林産	四、八三七、九二九	鑛産	四、三三三、二三六
水産	一、〇七三、九七〇	畜産	七、一七、五七一
合計	一八、〇一九、一四四	一人平均	一八三

一、農産 本縣の生産物として第一に舉ぐべきは米にして、其の産額百十八萬石に上り、加賀米と稱せられ世に聲價あり。

二、工業各種の工業あり。就中織物最も盛にして絹織物、殊に羽二重は福井縣に次ぎ、産額全國第二位を占め、絹織總額は七千二百萬圓を越ゆ尙漆器は四百四十萬圓本邦第一にして陶磁器は二百三十萬圓本邦第五位である。

三、水産 水産は北陸地方中首位を占め漁獲物總額五百九十萬圓、鰯、鯛、鰒等を重要なものとす、又製造物は二百九十餘萬圓にして、鰯の搾粕、鰒、鯖の鹽製等を重なるものとす。

四、生産力 本縣の生産力は總額二億三千六百萬圓にして本州中部地方に於ては中位である。然れども長野縣より少なきこと一億圓以上に及ぶは遺憾である。然して人口一人の平均額も二百九十六圓餘にして中位に屬す。今左に各種の生産力を擧ぐべし。

農産	六、七、五四〇、〇六六	工業	一、四、五、七四四、四五八
林産	七、八、七三三、六五八	鑛産	九、一、〇三三、六二七
水産	四、一、一三三、七六六	畜産	二、〇、五、六、五三五
合計	二、三、六、四三三、一一〇	一人平均	二九六

品名	點數	品名	點數
魚	九	硝子製品	三
水産物	九七	陶器	二六五
釣針	一〇	瓦	二五
織物	二四六	金	四〇
漆器	三〇六	リム及自轉車附屬品	一〇
木型	三	車	一〇
七寶	三	屏風	一〇
靴袋	六	草蓆	二
傘	二八	箆	三
提燈	二六	筒	二
玩具	二六	鉢	一
花	二五	佛壇	一
竹工	二〇	佛龕	一
菅笠	三	織機	一

富山縣

一、本縣の産物として舉ぐべきは第一米にて七百七萬石を出し、次は實業にして、七百六十三萬圓行商七千三百四十人になり、且つ織物も亦盛に殊に羽二重を第一とし百三十萬圓、其の他の織物各種合計千五百萬圓に上る。次に蠶絲類にして四百五十萬圓に上り、其の他銅器類九十八萬圓にして、漆器製造六十餘萬圓、マニラ麻真田四十二萬圓之に次ぐ。

二、生産力 本縣の生産力は本州中部地方にては最も下位にありて、一億千六百萬圓に過ぎず。是れ一は本縣の面積の狭小と平野の大ならざるとに關係するものであらう。然し福井縣は本縣と殆ど其の面積は伯仲すれども、生産力は一億八千萬圓に上りて本縣よりも大である。かく生産力の彼れに劣るは、此れ福井縣が工業殊に羽二重織等に全力を注ぐが故であらう。今後一層本縣人士の努力を要す。今各種の生産力を表記すれば左の如し。

品名	點數	品名	點數
茶	一〇	乾柿	二
酒	三九	米	一六五
飲料	四	稻	二六
醬油	二五	蠶絲	一四
素麵	一	蠶種	五八
鉛	四	蠶種	二
菓子	一七	甘藷	一
農具	一〇	煉乳	一
紙類	一六	整理書	三
瓦	二	木材	一九
石灰	一	炭	一〇
石	一	水産製品	三九
絹織物	六七	漁業機	二
綿織物	八三	炭化石	四
麻織物	二四	燐灰	三
雜織物	四	燐灰	二
モス友	一六	燐灰	二
生糸	一	燐灰	二
釜類	一三	燐灰	二
机	一九	燐灰	二
火鉢	一四	燐灰	二
佛壇	二	燐灰	二
佛	二	燐灰	二
佛	二	燐灰	二

鳥取縣下の重要物産は和紙、木材、米、綿、鐵等で、中和紙は因幡紙として名高く製絲原料に純然たる三種を用ひ紙質の良好なる爲め永久保存記録原紙などに使用される博覽會への出品は漆工品、和紙、清酒、鐵材等が一番多い。

品名	點數	品名	點數
錫	三	漆器	一
玩具	一〇	佛壇	一
總計	一〇五九	佛龕	一
錫	三	織機	一
玩具	一〇	佛壇	一
總計	一〇五九	佛龕	一

島根縣の農産物は米、麥、大豆、茶等が主で米の如きは五千萬圓に垂々とする産額を有し、醬油、和紙、木材、炭、陶器、瓦等の如きものも重要産である尙ほ繭は産額七百萬圓に及び生絲の三百五十餘萬圓と共に重きを爲して居る。

品名	點數	品名	點數
茶	一四	清酒	三四
飲料	三	醬油	三五
醬油	二	蠶絲	二
菓子	一〇	蠶種	二
農具	一〇	蠶種	二
紙類	一六	蠶種	二
瓦	二	蠶種	二
石灰	一	蠶種	二
石	一	蠶種	二
絹織物	六七	蠶種	二
綿織物	八三	蠶種	二
麻織物	二四	蠶種	二
雜織物	四	蠶種	二
モス友	一六	蠶種	二
生糸	一	蠶種	二
釜類	一三	蠶種	二
机	一九	蠶種	二
火鉢	一四	蠶種	二
佛壇	二	蠶種	二
佛	二	蠶種	二
佛	二	蠶種	二

此の縣から出品されたものは千三百餘點に過ぎないが、燐寸火柴、敷物類、農産雜穀等の重要物産を始め其他綿織物被服織品燐寸火柴、敷物類、蠶繭及眞綿等多數に出品されて居る。

品名	點數	品名	點數
教育訓食物	七	酒酢原料	三二
日本酒	八	燐寸火柴	一八
燐寸火柴	八	蠶繭	二二
蠶繭	八	蠶繭	二二
蠶繭	八	蠶繭	二二

品名	點數	品名	點數
大羽織類	二二	蠶繭原料	六五
羽織類	二二	蠶繭原料	六五
羽織類	二二	蠶繭原料	六五
羽織類	二二	蠶繭原料	六五





紙類	花紙	花紙類	花紙類
五	六	一	一
二	四	一	一

萬圓に及び棚物は日本一の名産地にて二百八十九萬圓の年産と稱せられ土佐節も亦た百七十五萬圓以上の産額がある。

砂糖	茶類	紙類	紙製器具	傘	石炭セメント	生糸	綿織物	珊瑚眞珠	總計
三九	一五	二六	六	三四	一五	七	六三三	八	二七九
木炭	鹽類	白楮	晒草	楮	行李	杷柳	楡皮		
一〇	三二	二	一〇	一〇	二五	三	二		

福岡縣は由來鎔産物に富み殊に石炭は品質良好、産額の多い點に於て天下に其の名が轟いてゐる、尙織物としての久留米絨、博多織の如きも共に有名で殊に久留米絨は我が國の染色の濫觴をなしたとの傳説もあり、且つ品質優良なる爲め廣く賞賛されて居る、今回の博覽會へ出品したものは化學工業品が一位を占め次いで食料品、染色織物などである。

衛生陶器	茶類	清涼飲料	穀類	肥料	農具	食料	食料	製造機械	電氣機械	染織品	皮革製品	漆器	文具	總計
二	八〇	二八	八九	七六	九三	五	一	一	一三	二二	一八	二九	三九	一二五五
醬油	菓子	研究成績	ナフタリン	蠟油	石鹼	塗料	紙器	陶磁器	織物	綿織物	提燈	人物	車輛	
二一	二	一	四	二	二	七	六	五	二	一五	八〇	三〇	四二	

大分縣下の特産品の首位青蓮は耐久力強く燦表、其の他に用ひられ年産五百五十萬圓を超え推茸、竹細工、硫黄等も品質良好の特産品だが尙同縣下の重要物産は米の六千萬圓、清酒の千五百萬圓、生絲の千三百萬圓、繭の九百五十萬圓等である。

清酒	菓子	繭	木炭	水産物	木産物	礦産物	生糸	漆器	傘	花紙	總計
四四	二六	二九	二一	三〇	一六四	一	二〇	五四	二〇	三二	一二五五
醬油	柑橘	米	黄茸	硫黄	磁石	硝子	セメント	染織品	竹製品	家具	
二五	一〇八	一五	七〇	一〇	一	一	二	二	二二	三八	

佐賀縣からは米麥の農産物に次いで陶磁器、海産物、酒類綿織物等が生産するが今回の博覽會には陶磁器の出品が最も多く約五百點に近い、佐賀錦各種水産製品等も多数出品してゐる。

初等教育	中等教育	師範教育	實業教育	社會教育	學校衛生	寫字機	器械標本	書及篆刻	染織品	生糸	清酒	水産物	菓子	總計
一四	一一	一四	一四	六	三	二	二	四	二	二	二	三	四〇	二七九
製造機械	發電機	木炭	和紙	陶磁器	聯席器	織物	農具	水産製品	水産物	石鹼	原動機	白米		
三	一	二〇	四	二五	四八九	二〇	一	二	二	四	四	三	三八	

此縣の平博に對する出品點數は人員七百七十二人九百八十八點に上る。主なるは農産物で肥後米、麻、果實、茶等も多い、本邦に於ける茶の產地としては第一が京都第二が静岡で本縣は第四位に當る産額を有する、工業では酒、醬油、綿織物、木炭、漆器、傘、紙等、水産にありては海苔、鱈、鱈、調の花、名産雲丹、鱈、ボレー等、鑛業では日本一の産出ある陶器を主として耐石耐火石等を出品し縣の産業紹介の爲めには特に冊子を配布する企てもあり即買店には九州各聯合の賣店を出し一萬八千餘圓の豫算を計上して居る。

阿蘇山模型	菓子類	果實類	蠶絲	蠶業	水産物	織物	綿織物	總計
四	五四	二八	二一	二四	一	一	三	二七九
茶	醬油	大麥	木竹	木竹	水産製品	陶石	ハチマント	
九五	六三	一〇八	五〇	二四六	一七	一三九	一〇	

宮崎縣の基石は他縣には産しない特産品である、重要物産で最も産額の多いものは米、繭などで米は年産千七百餘萬圓、繭は五百萬圓に上る尙水産物の鱈、鱈、鱈、鱈、鱈、鱈等及び木産物の木材、木炭等も多量に産出されて居る。

茶	砂糖	米	米	籾	炭	木炭	總計
四六	四七	一八〇	一五〇	五〇	二二	一六	一二五五
鹽	硝子	柑橘	林業經營	木竹	木竹加工	木材	
六	一〇	八	三〇	三	八	四	

鹿兒島縣 輸出物品表

鹿兒島縣下の重要物産は農産の米、煙草、織物の大島紬と焼酎等である

鹿兒島縣 輸出物品表 (Table with 4 columns: 品名, 品名, 品名, 品名)

總面積六百五十五方里、九州、四國、臺灣の三つをあはせたものよりもなほ廣い北海道の現在人口は僅に二百三十一萬餘で、その密度は各府縣中最低密度の縣に比べてもヤット半分になるからぬかの稀薄さである

そこには麥類、豆類、馬鈴薯、甘藷、亞麻など多くの優良品を出す年産一億二千餘萬圓の農業がある。日本全國畑地の十分一に當たる大牧場からでる牛、馬、羊などで年産一千二十萬圓を算する畜産業がある

海幸、山の幸おす國のたるほの國、何といふ天恵の深い土地であらう。加ふるにその氣温は極寒時の一月ですら最低が帯廣の十二度、一年中の平均は函館の四十六度九より紗那の三十九度七の間であつて、ちやうど北部ドイツに酷似してゐる

試みに平和博第二會場入り口のとつつきに巨然と横たはる半圓筒型二百四十餘坪の北海道館をのぞいて御覽、その利那諸君の北海道に對する誤解は釋然として一掃せられ、諸君の新運命を開拓すべき鍵が意外にもこの館内に託せられてゐた事實を見せられるであらう

一、農産 臺灣の氣候風土は極めて農業に適するが、唯、廣い平野の少ないことと、從來農業方法の幼稚であつた處から、その發達が遅かつた

農産物の主なるものは、米(年四百六十萬石)、甘蔗(年收穫六十八億斤砂糖にして三億五千万、全國消費額の三分の二)、甘藷(年十三億六千万

貴、茶(年一千万圓)、芋、黄麻、大麻、果實等である。

二、畜産 古來農家の副業として昔く牧畜業は行はれてゐたが我が領有後は更に之に改良獎勵を加へたので、今は、本島主要産業の一となるに至つた。其の主なるものは、牛(水牛二十八萬頭、黄牛十一萬頭、雜種二千頭)、豚(百二十八萬頭)である。

三、林産 本島林野の面積は、調査不確實ではあるが、概算二百九十萬町歩、全島面積の六割五分、當り、且氣候その他の關係から、林業は頗る有望である。而も從來、濫伐の結果荒廢に歸した個所もあつた位であるが、我が領有後、銳意之が經營に任じた結果、大に面目を改め將來の趨勢は頗る人意を強うするに足るものがある。

林産物の主要なるものは、樟腦を隨一とし、その産額は全世界需要約一千萬斤の過半は本島から供給されるのである。外に檜(年移出五十五萬圓)、その他の木材があるが、それ等は、唯蓄積量こそ莫大なもので、かの阿里山だけでも良材の蓄積無量一千八百萬尺、價格五億圓を超えるほどではあるが、其の伐切運搬の方法などに就いて、まだ何等の工夫を用ひないので、産額としては殆ど數ふるに足るものがない。

四、鑛産 本島の鑛業は我が領有後に屬し、日向淺いので、まだ十分の發達を見るに至らない。その主なるものは金(年百萬圓)、銅(年百萬圓)石炭(年八十萬噸、價格五百五十萬圓)等である。

五、水産 地勢氣候の關係上、水産の蓄積もよく良好な漁場を形成してゐる處も少なくないが、漁具漁法が幼稚不完全な爲に、まだ其の盛なりといふことは出来ないけれども近年總督府の保護獎勵によつて漸く發展の機運に向ひ、鱈(五十萬圓)鰯(四十七萬圓)、鯷(三十五萬圓)、鯖(五十萬圓)、鱈(三十萬圓)、その他鯨、鰹等、年總額四百五十萬圓を計へるやうになつた。

六、工業 本島生産業の主なるものは製糖業で、全島に於ける工場の数だけでも三百八十餘に達し、その産額は總計一億一千萬圓に上る。製茶業も昔から盛で、主なる種類は烏龍茶及び色種茶で、外に粗茶を雜へて總額一千万圓に上り、輸出、移出額も約三百三十萬圓に達してゐる。

酒の釀造も段々盛大に赴き、年々の輸移出額も約二百萬圓と言はれてゐる。その他製紙業、製糖業、製糖業、植物油製造業、窯業等も將來大に發達すべき見込十分である。

朝鮮 朝鮮は土地と氣温との關係上農業に適し農産物の發育が佳良である。殊に南洋地方が最もよい。中部は冬季寒冷であるが、麥の如きは腐敗の虞なく且四月以降は氣温の上る爲生育早く急に成熟する。全道の耕地面積は大正九年末の調査に依れば田畑合せて四百三十二萬二千三百十五町歩餘、未墾地貸付面積は九萬町、内地人にして農業經營を爲す者は四萬八百六十八人。

米 京畿道、慶尙南道 全羅南道其の産額最も多く忠清南道、黃海道之に次ぐ、大正九年の産額一千四百八十八萬二千石、而して同年の輸出高は二百四十萬四千石、其の價額七千七百四十五萬餘圓。

麥 大麥、小麥を主とし裸麥は甚だ少い、大麥には春麥、秋麥があつて京城以北は春麥が多く以南は秋麥が多い、小麥は皆秋麥である。大正九年の産額は九百八十六萬石。

大豆 各道到る所其の栽培を見る、大正九年の産額四百七十九萬一千石而して其の輸移出額は八十三萬六千餘石其の價額一千七百二十九萬圓。棉 棉は江原道の東海岸及咸鏡南道を除くの外各地殆ど栽培せざる所なく就中全羅南道を第一とし全羅北道、慶尙南道に次ぐ。數年來米國種陸地棉の栽培を獎勵せるに其の成績極めて良好にして大正九年の産額は八千八百餘萬斤。

煙草 特産物の一にして其の種類は在來種、内地種、外國種の三種で大正九年の産額は約四百十三萬貫匁である。(大正十年七月より專賣制度實施)

人蔘 主産地は開城附近で古來高麗人蔘と稱し朝鮮特産物の一である。其の製法に依り紅蔘白蔘の二種に區別する、紅蔘は其の價貴く専ら支那

に輸出する、大正九年に於ける輸移出高は二萬六千餘斤、此の價額百三十五萬餘圓。

用作物には大麻(四千萬斤)、煙草(五千萬斤)、果樹の栽培等がある。二、畜産 我國の農家は役用の家畜すら甚だ少く一種の無畜農業と稱せらるるに似、朝鮮に於ては其の制度も、畜産も、農業も、

農産物の主なるものは、米(年産四百六十萬石)、甘藷(年産四百八十萬石)砂糖にして三億五千斤、全國消費額の三分の二、甘藷(年十三億六千萬

に輸出する、大正九年に於ける輸出高は二萬六千餘斤、此の價額百三十五萬餘圓。

果樹 朝鮮の風土に適し其の生育宜し、故に之が栽培に従事する者逐年増加し、その種類は苹果、梨、葡萄、桃、柿、棗、栗等である。蔬菜 従来主として白菜、蘿蔔、甜瓜、水芹、蒜等であつたが、近來胡瓜、茄子、牛蒡、胡蘿蔔、菠薐草、野蜀葵、菜豆、茼蒿、葱、甘藍、西洋甜藍等をも栽培するに至れり。

家畜 牛、馬、驢、豚、山羊、家禽、犬等にして、牛は特産物の一なり大正九年に於ける生牛及牛皮の輸出額は八百二十六萬六千餘圓。蠶業 蠶種及桑樹に改良を加ふると共に養蠶方法を指導したる結果近時顯著なる進歩を示し大正九年には桑園三萬一千六百二十四町歩産額十三萬二千九百餘石を算するに至つた。

養蜂 古來朝鮮人農家の副業として之を飼養する者尠からず、江原道平安南北道慶尙北道最も盛である。林業 朝鮮に於ける林野の總面積は約一千六百萬町歩を算し全土の七割三分を占め居るに拘らず林政の紊亂其の極に達して居るが、漸次保護改良を加へ國土の保安、危害の防止、水源の涵養、公衆の衛生魚附又は風致の爲必要あるものは之を保安林に編入し且殖林事業の獎勵に意を注ぎ、毎年四月三日を期し全道に亘つて記念植樹を行ふ。

漁業 魚族の種類は産地に因り異なる、日本海沿岸は明太魚、鮭、鱈、鯨、鯖、鱒、鰈の類最も多く、釜山より木浦附近沿岸は鰻、鱈、鰈の類多し、木浦附近より鴨綠江口に至る間は石首魚、鰻、鱒の類が多い、大正九年に於ける漁獲高は三九百二十六萬餘圓である。

鹽業 朝鮮に於ける鹽の需用量は約四億斤にして内一億斤は官鹽、約一億五千萬斤は輸入、其の他は朝鮮在來鹽、官鹽は廣梁灣及朱安に於て製鹽し何れも天日製である、年々鹽田を増築し其の生産高を増殖し全道に供給しつゝある。

工業 朝鮮人工業の種類は機業、窯業、製紙業、金屬品、雜工品、醸造業等で、工業専門學校工業傳習所を設立し工業の傳習を奨励して居る。木綿織物一箇年の産額一千萬圓、絹織物は二百萬圓、麻織物は六百三十餘萬圓に上る。窯業は昔時旺盛であつた高麗時代の面影更に見るべきものがないが、近來往々朝鮮人間に改良式窯法に依り工場を設けむとする者あるに至つた。製紙業は有望なる工業の一にして原料は總て楮パルプを以てす、一箇年の産額二百二十六萬圓、金屬品は食器、金盃、火鉢、便器等にして眞鍮を以て製する、又婦人の裝飾品たる指環、簪、簪等は銀又は眞鍮にて製造する、雜工品は華筵、木竹細工の簾、扇子等である

醸造業は清酒、藥酒、白酒、濁酒、燗酒及過夏酒等にして年々約百三十萬石を製造す(以上は大正九年調)内地人の工業は精米、鐵工、煙草、煉瓦、瓦斯電氣、製材、醸造、味噌醬油、製革、繅絲、窯業等である。鑛業 朝鮮の鑛業は金、銀、銅、鉛、鋅、錫、安寶母尼、水銀、亞鉛、鐵、重石、水鉛、砒、燐の各鑛及黒鉛、石炭、硫黃、雲母、石棉、高嶺土、硃砂、砂金、砂鐵等多種に上り、大正九年中の鑛産額は二千四百萬圓に達した。

Table with 4 columns: 農産物, 工業, 林産, 計. Rows: 農産物 (227.7), 工業 (905.5), 林産 (8.8), 計 (1,207.7). Includes sub-sections for 水産, 礦産, 記述出品, 参考出品.

一、農産 最近の調査によれば滿蒙の耕地面積は約一千三百餘萬町歩である。滿洲内既墾地一千八十三萬六千八百町歩東部内蒙古に於て二百五十六萬四千町歩であつて可耕未開地は滿蒙を通じてなほ一千萬歩と推算せられ北滿黑龍江省は可耕面積の八割を未開の儘に残して居る、而して滿蒙を通じて年々開墾せらるる面積は三四十萬町歩に上るやうである。農産物の主なるものは、大豆(約二千萬石)、高粱(三千六百萬石)を始め、小豆、菜豆、麥、蕎麥、燕麥、稗、馬鈴薯等があり、特

人等 生産地は開墾附近で古來高麗人等と稱し朝鮮農産物の一である。其の製法に依り紅薯白薯の二種に區別する、紅薯は其の價貴く専ら支那

用作物には大蕪(四千萬斤)、煙草(五千萬斤)、果樹の栽培等がある。

二、畜産 我國の農家には役用の家畜すら甚だ尠く一種の無畜農業と稱せらるるに反し滿洲に於ては其の飼養よく普及し農家は牛、馬、驢、騾等の役畜を少くも三四頭有せざるはなく豚、鶏を飼はざるはない、支那人は家畜を愛すること必ずしも邦人に勝るものではないが之を馴致同化する技能に於ては邦人の及ぶ處ではない、五六頭乃至十頭の牛、馬、驢、騾等を雜然と飼つて一條の鞭を以て自在に大車を行はる巧妙なる操縦振りには洵に一種の天才的技能である。蒙古人に至つては元來遊牧の民であるから家畜は其の生活の唯一の資料である、即ち彼等は衣食住の爲牛、馬、羊等を牧し常に水草を追ふて移動するのである今滿蒙の家畜につき簡単に述べると。

馬(二百五十萬頭)、騾(六十二萬頭)、驢(六十萬頭)、牛(二百餘萬頭)、駱駝(約四萬)、綿羊及び山羊(三百萬頭)、豚(六百二十九萬頭)等である。

三、林産 滿蒙の森林としては松花江牡丹江及豆滿江上流一帯の長白山麓鴨綠江上流及渾江上流の一圓地、東支鐵道東部線沿線の海林地方及吉林省三姓地方のものを其の尤なるものとする。嗣つて蒙古を望めば渺茫千里草原と砂丘の連続であつて殆ど森林を見ることが出来ぬ。唯與安嶺、陰山山脈中に往々見るべき森林がある様であるが未だ調査が行届いて居ない。

而して樹木の種類は針葉樹四割、闊葉樹六割と見て大差がない各樹種中ではテウセンマツが針葉樹中の過半を占め、タウヒ類が三割で其の他は鮮少である。闊葉樹中ではナラ、カシハ類、シナノキ類、ハルニレ、ヤチダモ、ドロノキ等大宗をなし約七割を占めクルミ、キハダ等は多くない。黑龍江省の西部、蒙古の北部與安嶺の森林はカラマツ類、オウシウアカマツ及シラカンバ類を主として優良樹種は尠い。

充分なる調査がないので不明であるが各方面の調査を綜合すると滿洲の森林面積と其の蓄積は凡そ左の如くである。

(イ) 鴨綠江流域右岸拉渾江流域は六十六萬八千町歩、三億四千七百六十五萬五千石で一町歩平均五百二十石  
(ロ) 松花江、牡丹江及豆滿江等上流域地方は本社調査の結果毎町歩積二三石以下の散生地を除き森林面積百九十六萬四千町歩、材積十三億一千五百五十一萬九千石、一町歩平均六百七十石である。

(ハ) 東支鐵道東部線沿線は二百四十三萬五千町歩、九億二千四百六十九萬六千石と報告せられて居る。即ち一町歩平均三百八十石である。  
(ニ) 三姓地方は約五百二十九萬一千町歩、材積二十六億一千八百六十萬二千石、一町歩平均四百九十五石である。

(ホ) 興安嶺の森林は面積蓄積共に不明であるが「ホルゴ」[ヒンガン]驛を中心として方十二三哩の奥地では一町歩平均四百五十石餘の見込である。

四、水産 滿洲の海岸線は甚だ短いが黃海及渤海は各種の魚族に當み其の沿岸の漁業は盛大なるものがある、然し關東洲を除いては統計等の據るべきものがない。關東洲沿岸に於ける重要魚貝、海獸類を記せば左の如くである。  
タヒ、タラ、タチウワ、グチ、エイ、サワラ、ヒラメ、カレイ、スズキ、ボラ、サバ、フカ、ニベ、イワシ、ヒラス、アナゴ、イシモチ、コノシロ、カナガシラ、ホウホウ、サヨリ、メバル、アブラメ、コチヒラ、イカ、タコ、ナマコ、カキ、アワビ、エビ、カニイタヤガヒ、クダラ、アザラシ。

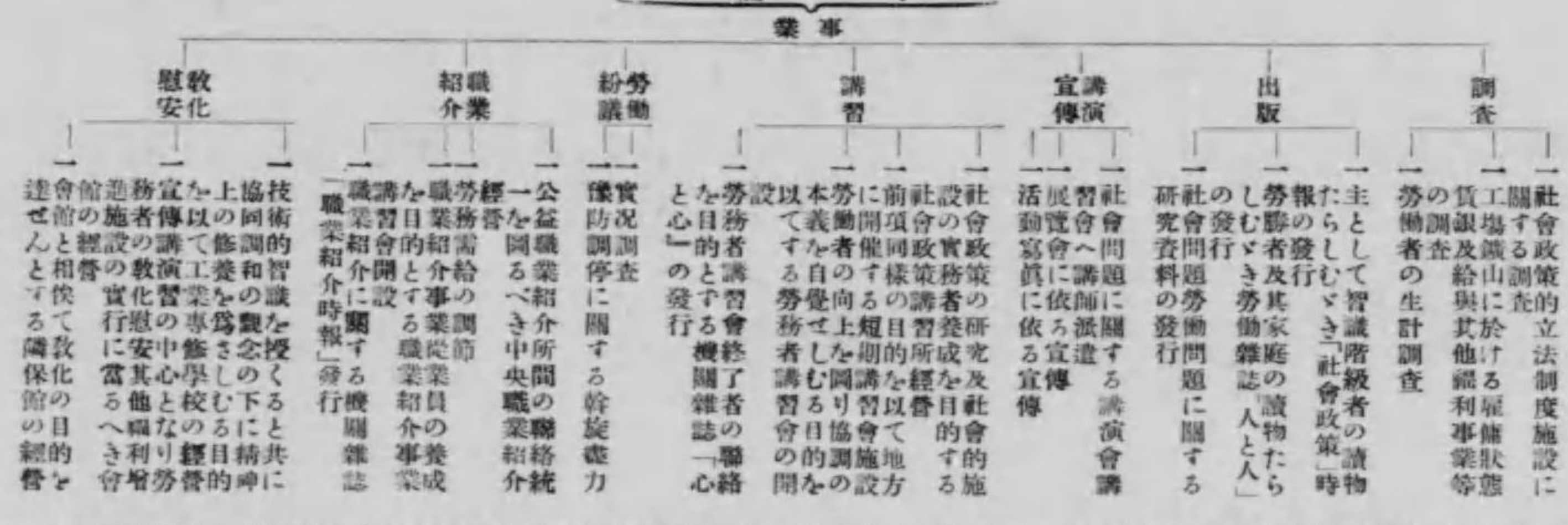
五、鹽業 黃海及び渤海は雨少く蒸發盛なる爲海水の鹽分濃く製鹽業に適する。産額は年によつて異なるが約三百萬石、内關東州産額七八十萬石である、而して鹽は支那政府の專賣品で各省形式を異にするが滿洲三省に於ては所謂官運の様式を採つて吾が邦の專賣法に倣ひ官は沿岸の製鹽を買收し各地に送り一定價格に賣下けて居る、又滿洲以外の鹽の輸入を許さず密輸を行ふ者は重罪に處せられ且つ滿洲産鹽は滿洲及熱河蒙





# 教育社會會館出品

協 調 會  
 立(大正八年)十二月廿二日  
 位 本部 東京市麹町區有樂町  
 支所 大阪市役所内  
 的 目 社會政策(特に勞働)に關する調査研究及其實行促進  
 組 財團法人



## 協調會概覽

### 調査統計目錄

- 夜業と能率
- 作業の要素
- 職工福利増進施設調査表
- 定収入に對する家賃の割合
- 職工生計狀態調査表
- 本邦同盟罷業統計表
- 大正十年中に於ける勞働爭議月別表
- 大正十年中に於ける勞働爭議業別表
- 最近三ヶ年間英國勞働爭議統計表
- 最近二ヶ年間英國勞働爭議解決統計表
- 社會政策講習所修了生一覽表
- 勞務者講習會一覽表
- 藏前工業專修學校一覽表
- 全國職業紹介所調
- 全國職業紹介所取扱數月別表
- 公益職業紹介所營利紹介業者取扱職業別歩合表

### 協調パノラマ説明

第一場 工場委員會  
 勞資兩方面の委員が一堂に會して、協議の最中であり  
 ます。其の面には真面目と協同和衷の精神が表はれて  
 居ります。窓の外には職工が忙しげに働き更に離れた  
 工場には、黒煙濛々と立ち上りて、塙内の眞剣な作業  
 を思はせます

第二場 能率増進  
 人と人と相觸れ協調する所には、自ら能率の増進があ  
 ります。工場内は今や白熱的努力の絶頂に達して居り  
 ます。廣場には保姆に守られた愛らしき幼児が、嬉々  
 として遊び、兒童保護の實況が見られます。

第三場 公休日  
 勤勞の後には休息と慰安を要します。今日は工場も附  
 近の廣野も全く別天地となり、其所には鐵槌の響も「モ  
 ーター」の音も無く、高く聳えた煙突には一片の煙も  
 上りません。積上げられた生産品が勤勞の結果を語り  
 老幼打交れる群は鶯々たる和氣に満ちて居ります。

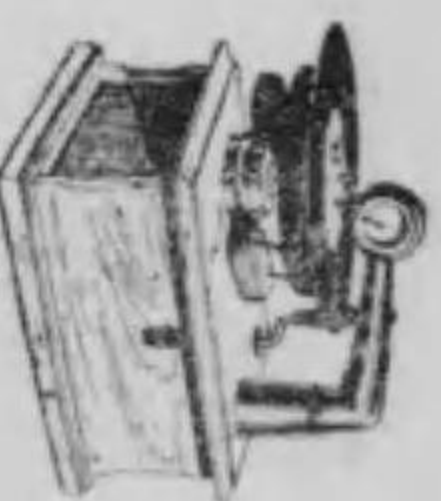


第三場 公休日

勤勞の後は休息と慰安を要します。今日は工場も附近の廣野も全く別天地となり、其所には鐵槌の響も「モーター」の音も無く、高く聳えた煙突には一片の煙も上りません。積上げられた生産品が勤勞の結果を語り老幼打交れる群は霽々たる和氣に満ちて居ります。

製造發賣元 東京市神田區神保町五番地  
電話神田二七五六番 振替東京三六二五五番  
平和博の教育館に出品あり又場外東京府即賣店池の端にて  
書夜演演なしたり

農商務省特許公報に曰く「本發明は自動車ゼンマイの如き破損  
減し易き構造を用ひず堅牢安價なり」送料内地寄附貳拾錢○上  
細々あり、音譜送料無料○發音の明瞭は數百圓の蓄音機と同  
様絶對に玩具的にあらず○子供にも容易に使用し得らる○堅牢  
なる事は公報の通りで永久使用し得らる修繕全く不要なるは  
トウ蓄音機の發明要點なり○萬一破損の節は何時にても無料修  
繕の責に任ず○御使用者東京市内のみにても二萬八千人に達せ  
り○説明書無代進呈



農商務省特許公報に曰く「本發明は自動車ゼンマイの如き破損  
減し易き構造を用ひず堅牢安價なり」送料内地寄附貳拾錢○上  
細々あり、音譜送料無料○發音の明瞭は數百圓の蓄音機と同  
様絶對に玩具的にあらず○子供にも容易に使用し得らる○堅牢  
なる事は公報の通りで永久使用し得らる修繕全く不要なるは  
トウ蓄音機の發明要點なり○萬一破損の節は何時にても無料修  
繕の責に任ず○御使用者東京市内のみにても二萬八千人に達せ  
り○説明書無代進呈

### 日本植物愛護會及附屬植物病院案内

所在 東京市小石川區原町十二(電話小石川二五三番)

主 幹 ト 藏 梅 之 亟

大正二年の創立にして會員は勿論一般の依頼に應じて庭樹盆栽の病害蟲の手當  
肥信手人等を行ひつゝあり、而して現に手當せる主なるものは宮城内の松を始め  
として、老公園、深川公園内樹木及宮城前の御深の松並に全市の街路樹に發生せ  
る病害蟲の防除を行へり其他、東伏見宮、山階宮、華頂宮御殿を始めとし大塔宮  
御陵、龜井戸公園、靖國神社、深川八幡宮、氷川神社、鎌倉八幡前並木松、建長  
寺、日黒不動、後樂園、商船學校、美術學校、高等工業學校、陸軍省、參謀本部  
近衛師團、士官學校、島津公、鍋島侯、蜂須賀侯、細川侯、松平伯、小笠原伯、  
柳澤伯、阿部伯、大村伯、大谷伯、西尾子、加藤子、石澤子、三井男、岩崎男、  
澁澤子、松本男、中島男、山内男、島津男、古河男、大倉男、高木男、藤田男、  
帝國ホテル札幌麥酒會社、三井、安田、早川、桐島、飯田、服部、古賀、久米、  
杉村、横田吉田、大橋、原、岸、野澤、福井樓、等其他の庭園樹木病害蟲の防除  
を行ひつゝあり。

其他病害雜誌を發行し折道智識の普及を計りつゝあり。

### 富士山印東京レコードの發賣元として有名なる、日本橋區新右衛門町の東京蓄 音器株式會社が出品せる、富士號と稱する蓄音器は、現代日本に於て求め得らる 最高級蓄音器にて、兩用蓄音器と稱するは簡單なる装置で喇叭付ともなれば、 無喇叭ともなる、頗る重寶な器械である。つまり店頭等多人數の集會する場所に は喇叭付とし、家庭内又は旅行の節などは無喇叭とする新装置なり。

平和博に美々しく出陳せる富士印山東京レコードは、名流東蓄に集まると記し  
て、一枚のレコードの周圍に、帝劇の松本幸四郎、森律子等同社音譜にのみ吹込  
まれある一流の藝術家の寫眞が電氣装置にて間斷なく廻轉しつゝ、頗る人目を引  
き常に看觀者の翹集せるは、陳列装置に成功せるものと云ふべし。

### 寫聲蓄音機とは

一つの機械で普通蓄音器と寫聲機を兼ねたる蓄聲蓄音機は音  
聲が即座に音譜となつて直ぐ聞かれますから

一、レコードは如何にして造らるるか  
二、音響の波動は如何に現はるか  
を實地に説明し是が應用としては

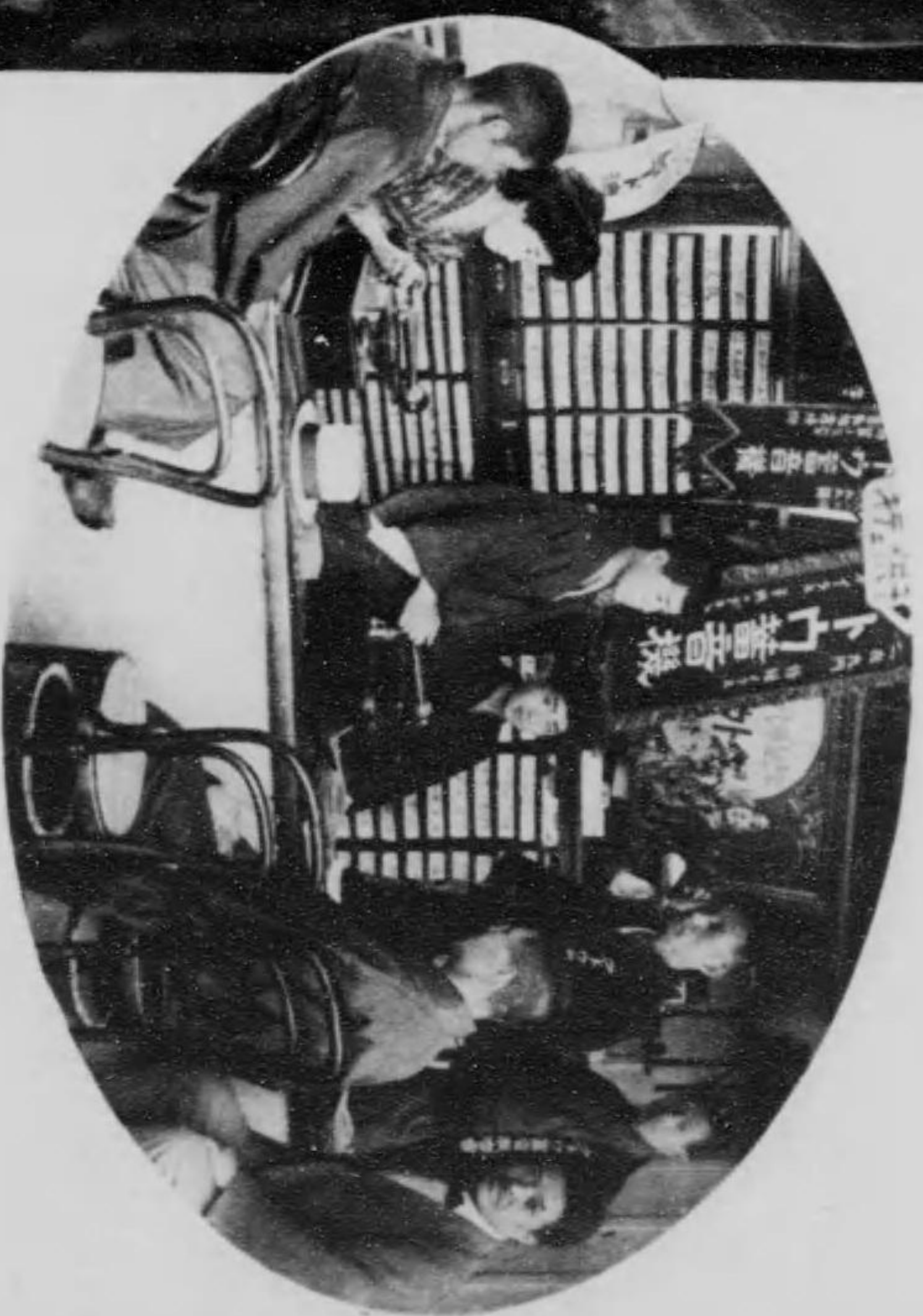
ロ、事務上の命令傳達を寫聲し  
ハ、不在時の傳言を對答し  
ニ、發言を遠處へ  
ト、自身の肉聲を遠隔の人へ保存し運搬す

ハ、語學音樂の稽古には無比の好居  
となるが故に  
銀行會社商店にて實務の能率を増進し學校にては物  
理、語學及音樂の教材になり家庭には多大の實益を豊  
富の趣味を提供す。

更に本機の特長とする所は寫聲機と普通蓄音器を兼ねる  
のがあります。無喇叭式と喇叭付式との兩用し得る個體  
が有り、一度を寫聲すれば數百回の聽音が出来又一枚の原  
盤に兩り直し數十回使用出来ます。

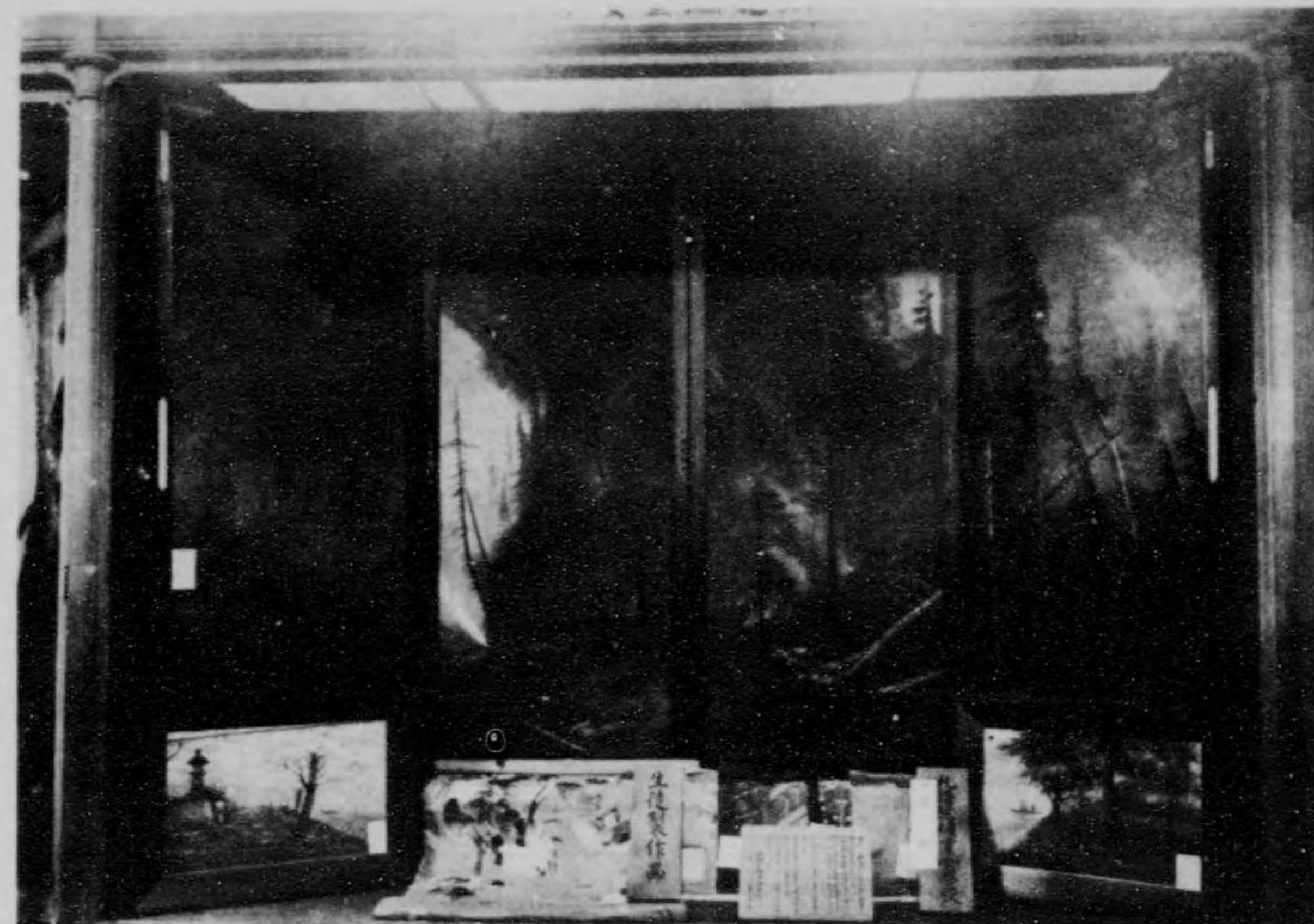
## 日本寫聲蓄音機合資會社

總 店 神 戶 區 大 塚 大 電 話 二 七 六 四 番  
支 店 大 阪 市 北 區 大 電 話 四 七 六 番  
支 店 京 都 市 京 東 區 橋 本 四 番 三 〇 八 番  
支 店 神 戶 市 西 區 二 座 銀 二 番 七 七 九 番  
支 店 神 戶 市 西 區 二 座 銀 二 番 七 七 九 番  
支 店 神 戶 市 西 區 二 座 銀 二 番 七 七 九 番





(品出館育教)校學業職子女立共



(品出館育教)校學女畫織龍頭九



(出品館治自)校學小常尋華京立市



(品出館育教)省部文

# 帝國水難救濟會

帝國水難救濟會は海上に於て遭難せる人命財産を救助するを目的とし、此目的を實行するが爲に帝國沿岸の難所に救難所を設立し、之に救助員と救難器具とを備ふ、抑も

水難救濟の事業たる疾風怒濤と戦ひ不幸の遭難者を萬死の間に救助するものにして其困難なるは負傷軍人を彈丸雨注の中に救ふに比して尙餘あり、蓋し非常の勇氣と熟練とに仍るに非ずんば奈てか其功を奏するを得ん時に、此事業たる其救助する所の船舶の國籍如何を問はざるを以て自ら萬國共通の公共的慈善事業たる性質を有す、試に列國の事例を観るに米國は之を官設とし英國は皇帝陛下總裁の勞を執らせられ國民識ふうて會員となり之が實施に努力せり、瀕海の各國概ね然らざるなし。

本會は明治二十二年十一月三日創設、二十三年四月有栖川宮威仁親王殿下を總裁に推戴す、二十九年本會事業を國家に於て經營すべしとの建議案貴衆兩院を通過し、翌三十年度より毎年金貳萬圓宛の國庫補助を受け大正十年度より金四萬圓に増額支給せらる、三十二年十二月來國政府より救命砲并に附屬海岸用救命具一式の寄贈を受く、大正二年七月總我有栖宮殿下の薨去に由り翌八月東伏見宮依仁親王殿下を總裁に仰き來れり、大正五年八月段も本會事業の狀況 寂閑に達し成績顯著なりとの御沙汰を以て金貳萬五千圓を御下賜あらせらる、大正十一年六月總裁東伏見宮殿下薨去あらせ

られ八月伏見宮博恭王殿下を總裁に仰き奉れり、大正十一年六月末に於ける救難機關は救難所七十八箇所、救難支所五十九箇所、救難組合四十一箇所なり、此等機關に所属して救助の任務に従事する救助員九千七百名あり、創設以來大正十年度末に至る三十二年五箇月に於ける成績は救護の船數七千八百六十八隻、其船体貨物の見積價格五千九百萬七千四百二十圓、人命を無事ならしめたるもの實に四萬一千四百三十一名に達す本會の記章は白地赤浮輪にして會員を分ちて名譽會員、特別會員、正會員、贊助會員の四種とし大正十年度來會員合計拾壹萬千九拾九名なり、現在役員は會長伯府吉非幸藏、理事子爵藤波言忠、子爵清浦奎吾、和田孝次郎、塚原周造、酒井忠利、加藤正義の諸氏にして猶各府縣に支部委員部を置き地方長官及び高等官等を部員に囑託せり

り(本部 東京市深川區永代河岸)

# 東京商業會議所

本商業會議所が出品せる統計表及附屬陳列物は、主として吾國の物價が大戦の前後を通じて英米佛のそれに比して如何なる變動をなしたりやを示すの目的に出でたるものである。即ち英國はスタヂアム社、米國はグラッドストリート社、佛國はスタヂアム社、オーストラリアの調査に依り、本邦の物價は本會議所の調査する所に依る。然して物價と勞賃は最も緊要なる關係あるを以つて、物價表中に特に勞賃の足取表を附加して研究に便ならしめた。各足取表は大正三年一月を一〇〇として換算した指數に依るものである。

尙外國貿易額兌換券發行高(日本銀行兌換券)及國民の貯蓄高(郵便貯金及貯蓄銀行の貯金合計)等は、吾國物價變動の研究上必要なるものとして附記したものである。附屬陳列物は物價の變動を實物を以つて分量的に示したものである。是等統計に依り吾國は物價高の爲め國富を刻々消盡しつゝあるを視ふことが出来るであらう。

# 鐵道青年會事業概况

本會は明治四十一年十二月六日の創立に係り男爵後藤新平氏、床次竹二郎氏を顧問とし、根本正、長尾半平、生江孝之、練居喜久馬、日足信亮氏等を理事とし、益富助氏を常務理事とし、其目的は鐵道軌道従事員の精神修養、身心の慰安智識の研磨、其他救濟事業を營むにあり。

即ち救濟事業は事業課目の一にして、鐵道軌道驗員負傷不具者并に鐵道殉職者遺族の爲めになすものなり。今日迄救護せる數百九十八名内現在數一〇〇名、救護遺族五十名、内現在二十七名なり。

(1)不具者職業教育 下肢を失へる者のために負傷者職業學校を起し洋服、製靴、按摩、鍼灸、提灯、造花、書工、講談師、和服、刺繍、縫紉工、麻草履、等を教ふ

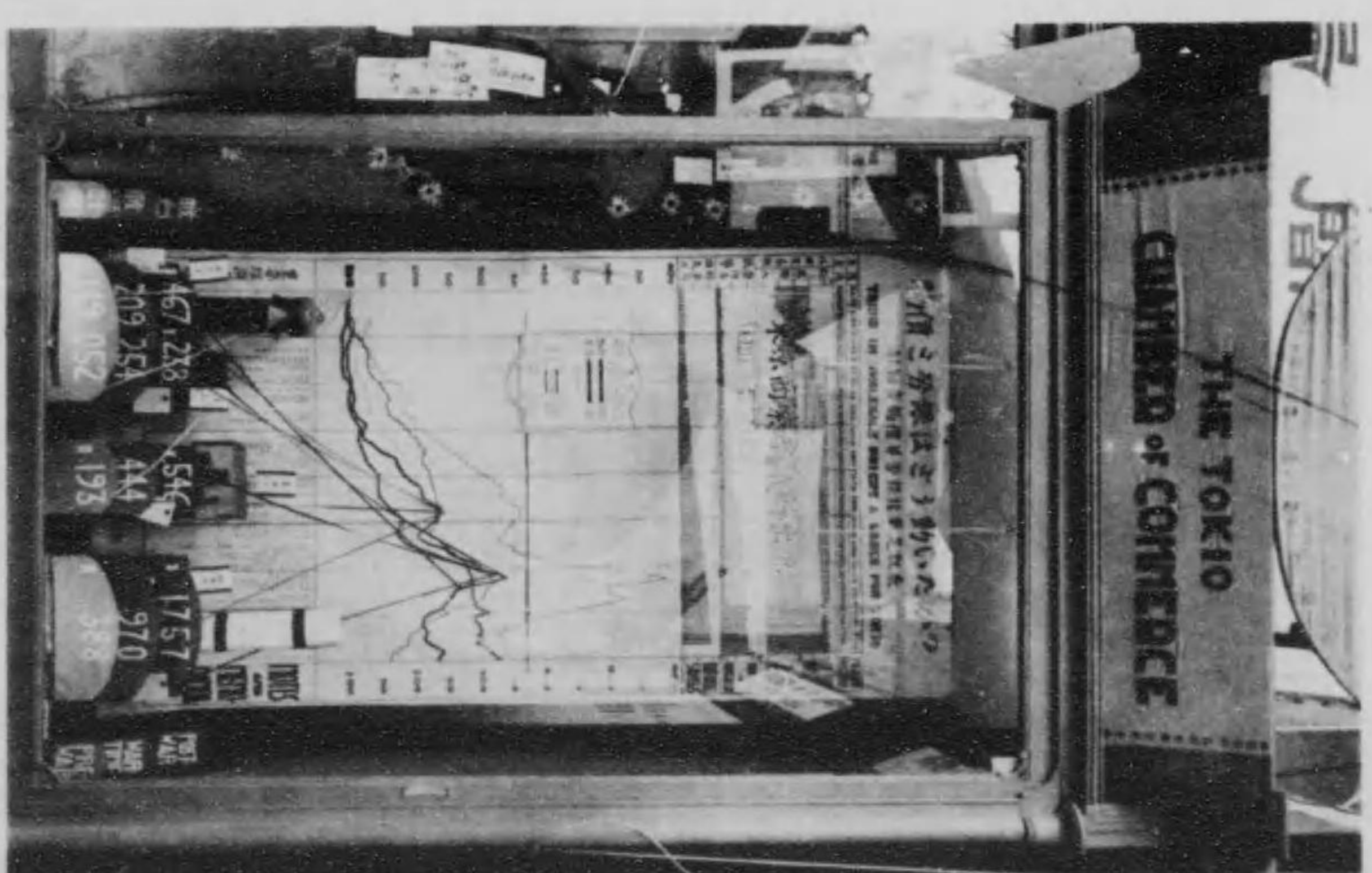
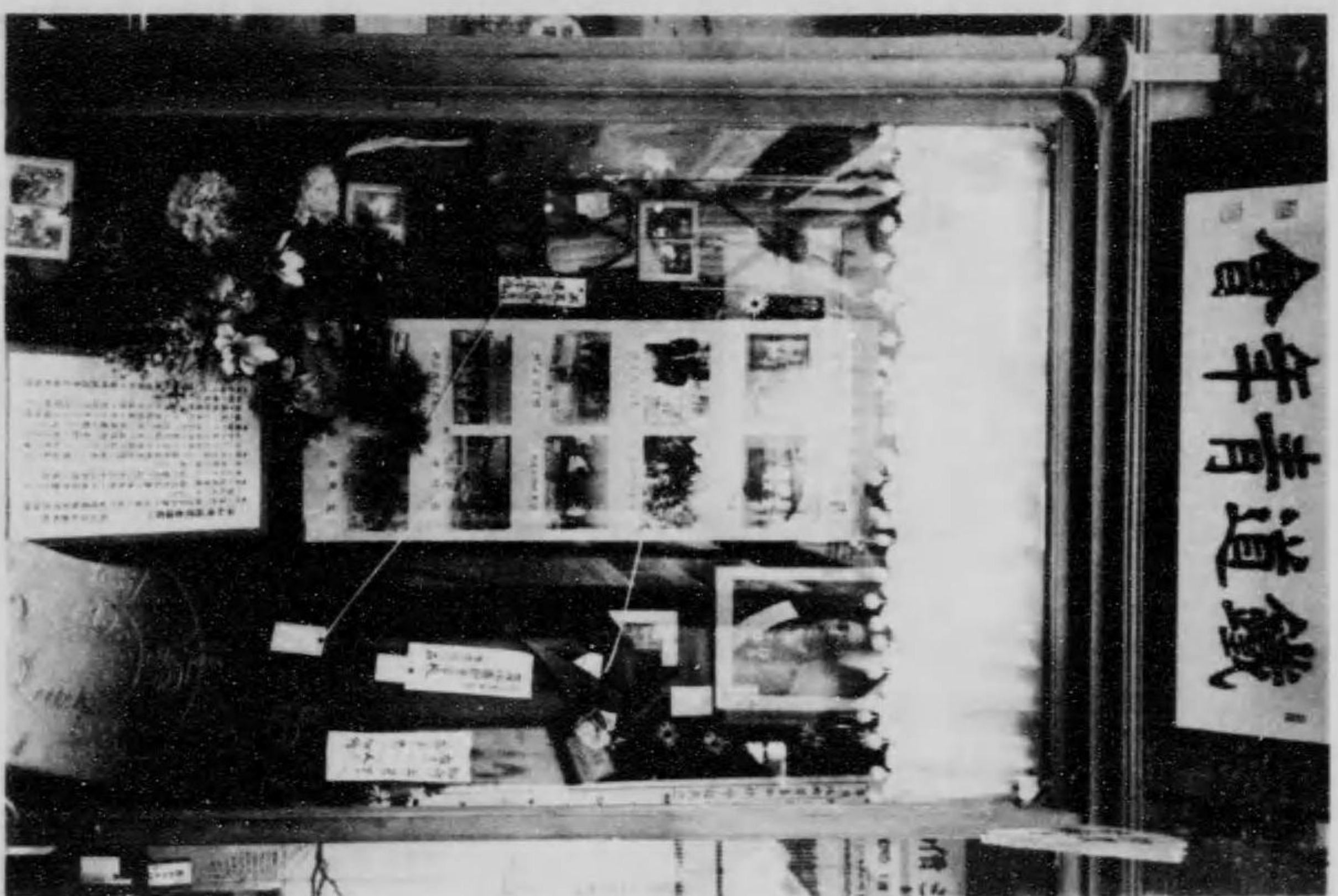
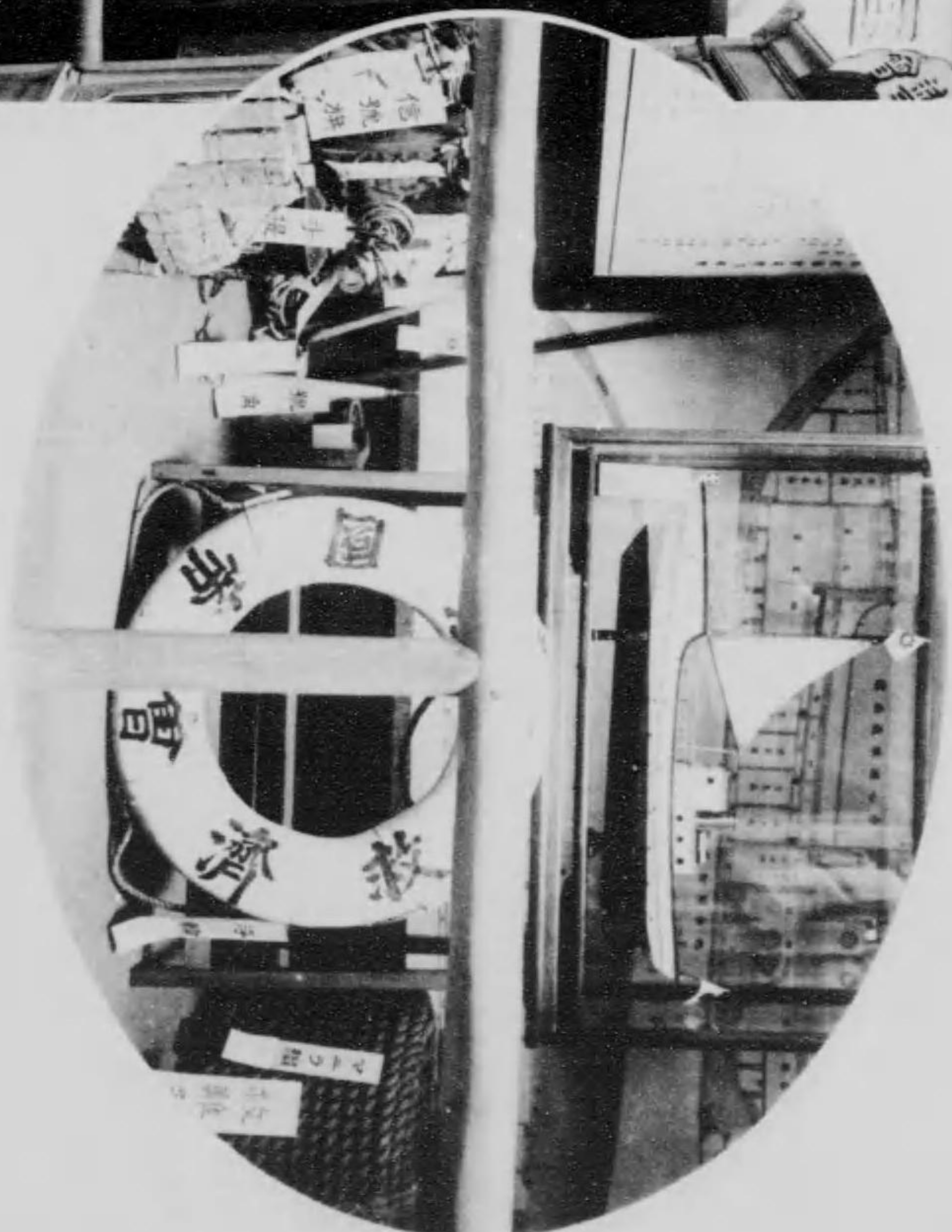
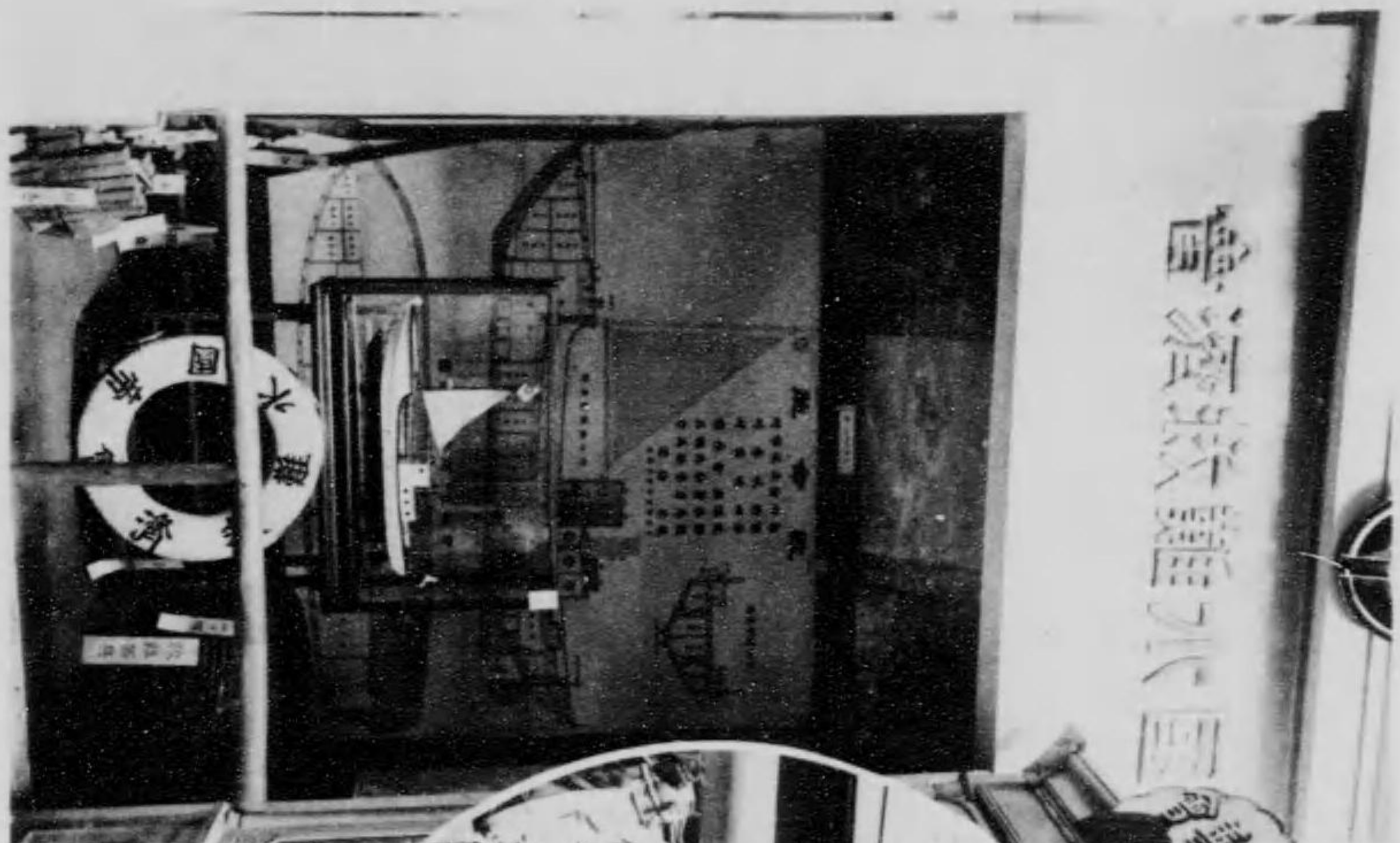
(2)授産部専ら上肢を失へる者のために之を設け主として商業に従事せしむ、目下東京九名、名古屋七名、大阪七名、博多六名、

(3)不具者生活保護 二肢以上を失ひたる者にて生計困難なる者に對しては年金八十四圓乃至百貳拾圓を給して其生活を保護す、目下保護中の者十貳名、

(4)兒童の養育 鐵道軌道従事員の殉職せる者の遺兒并に之に準すべき者の遺兒の養育困難なる者を休育す、目下養育中の兒童廿七名、


竹二郎氏を願  
を理事とし、  
身心の慰安智  
に鐵道殉職者  
一〇〇名、救  
し洋服、製靴  
菓草履、等  
せしむ、目下  
しては年金八  
名、  
者の遺児

物價が大戦の  
目的に出  
ライオン社、佛  
の調査する所  
表中に特に秀  
月を一〇と  
便貯金及貯蓄  
附記したもの  
のである。是  
ことが出来る





# 品出館會社育教

大阪市東區今橋四丁目七番地  
 名譽大賞牌受領  
  
 日本生命保險株式會社

創業 明治廿二年の創業にして光輝ある歴史と信用を有す  
 威 四億圓の契約高を有する本邦中の最優最大會社なり  
 特 株式相互の兩長所を併有し且保障料極めて低廉なり

とどじかけよ——日本生命——(もしもし繼よ替歌)

- (一) とどじかけよかけましょよ  
 保險のうちはこの社ほど  
 どうしてそんなに固いのだ
- (二) 何といつてもこの社には  
 契約人員五十萬  
 ほかに似よりの社はあるが
- (三) こんなに大きなものはない  
 この額かれこれ四億圓  
 ぞうせどこかにはいるなら
- (四) それは一体どこにある  
 この社が一番よいだらう  
 ほんとに固いこの會社  
 大事な命をあづけましょ

長野縣長野工業學校出品  
 長野縣諏訪中學校武井各名會社等の出品

## 財團賜濟生會

本會は明治四十四年二月十一日 先帝陛下より時の内閣總理大臣に賜はりたる勅語の旨を奉戴し恩賜金を基礎とし朝野の翼賛を得て組織せられたる財團法人にして醫藥自ら給する能はざる者を救療するを目的とし大正元年以降全國に亘り普く之を實施せり  
 本會所在地は東京市芝區赤羽町一番地にして其救療機關は東京其他全國各地に設けらる

本會より當博覽會に出品したるものは左の數點にして第一會場社會館に之を陳列し其事業成績に對し名譽大賞牌を授與せられたり  
 一 財團賜濟生會病院 (東京市芝區赤羽町) 一 同麹町分院 (麹町區富土見町)  
 一同 大阪府病院 一同 兵庫縣病院 一同 神奈川縣診療所 一同 福岡縣診療所  
 一同 直營診療班東京市内巡療の光景 (以上寫眞)  
 一 恩賜金並に寄附を收納額、診療費支出決算額、道府縣別診療人員比例、全國診療八品及治療日數累年比較  
 一 本會直營診療機關東京市内診療の狀況 (以上圖表)

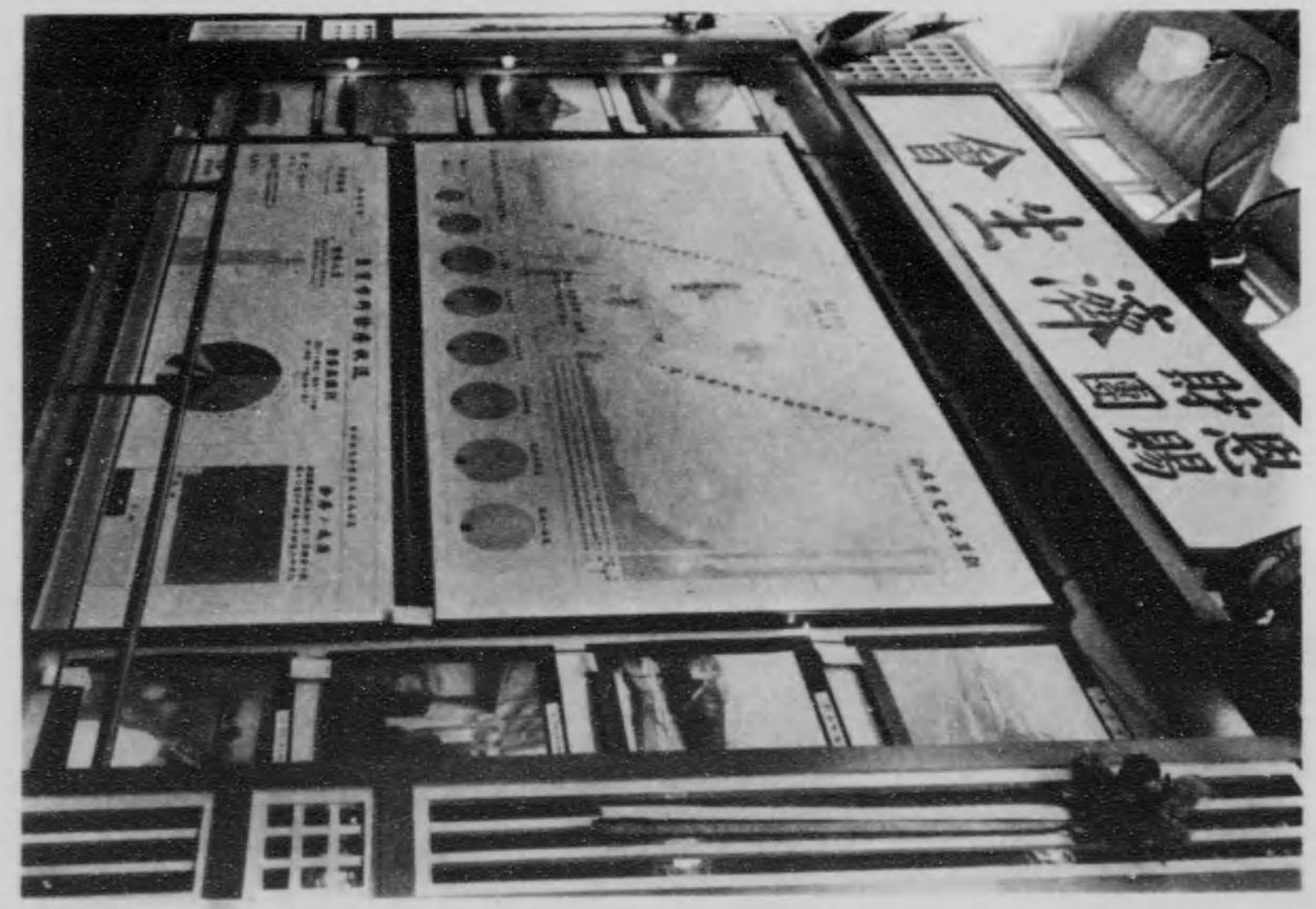
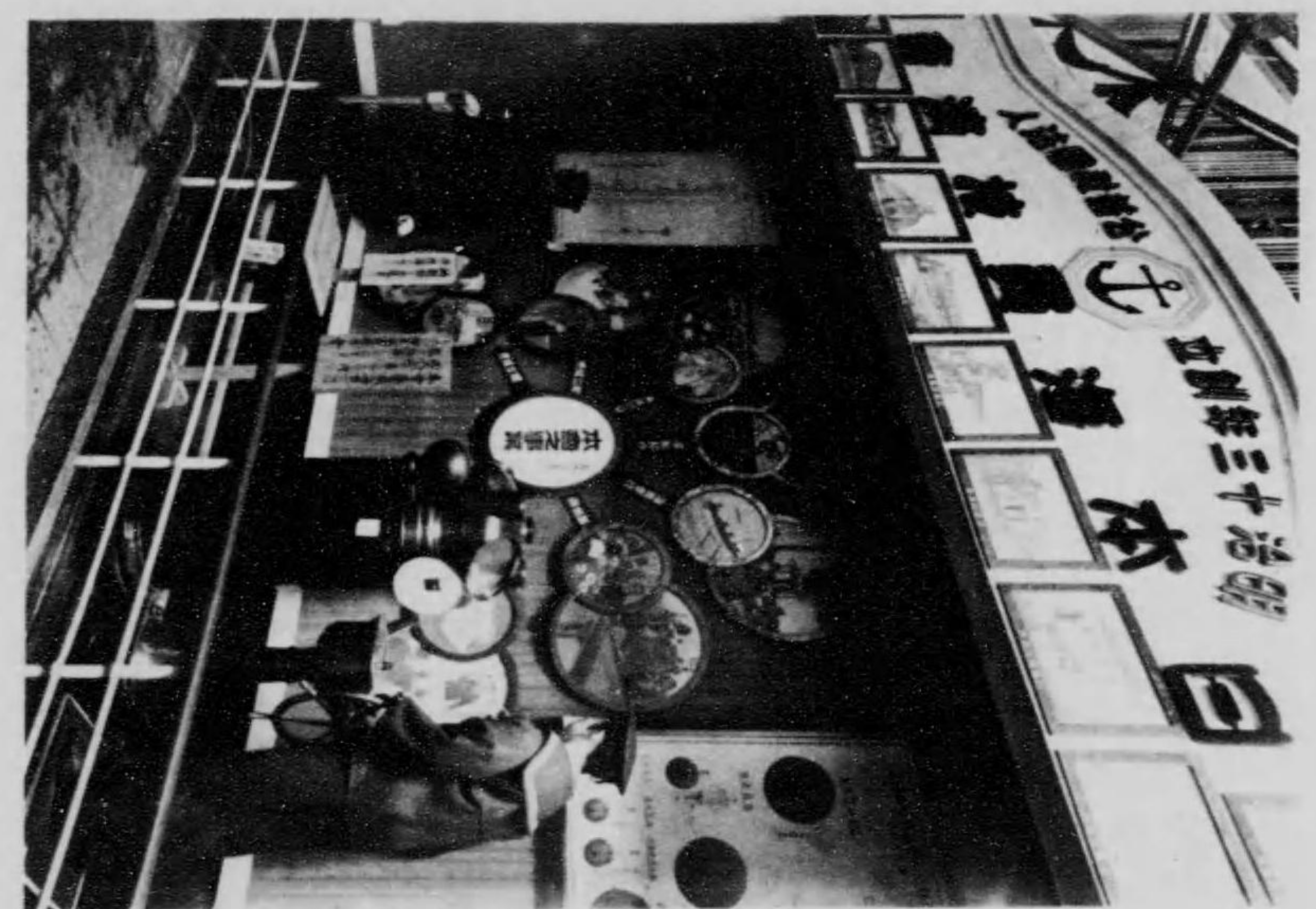
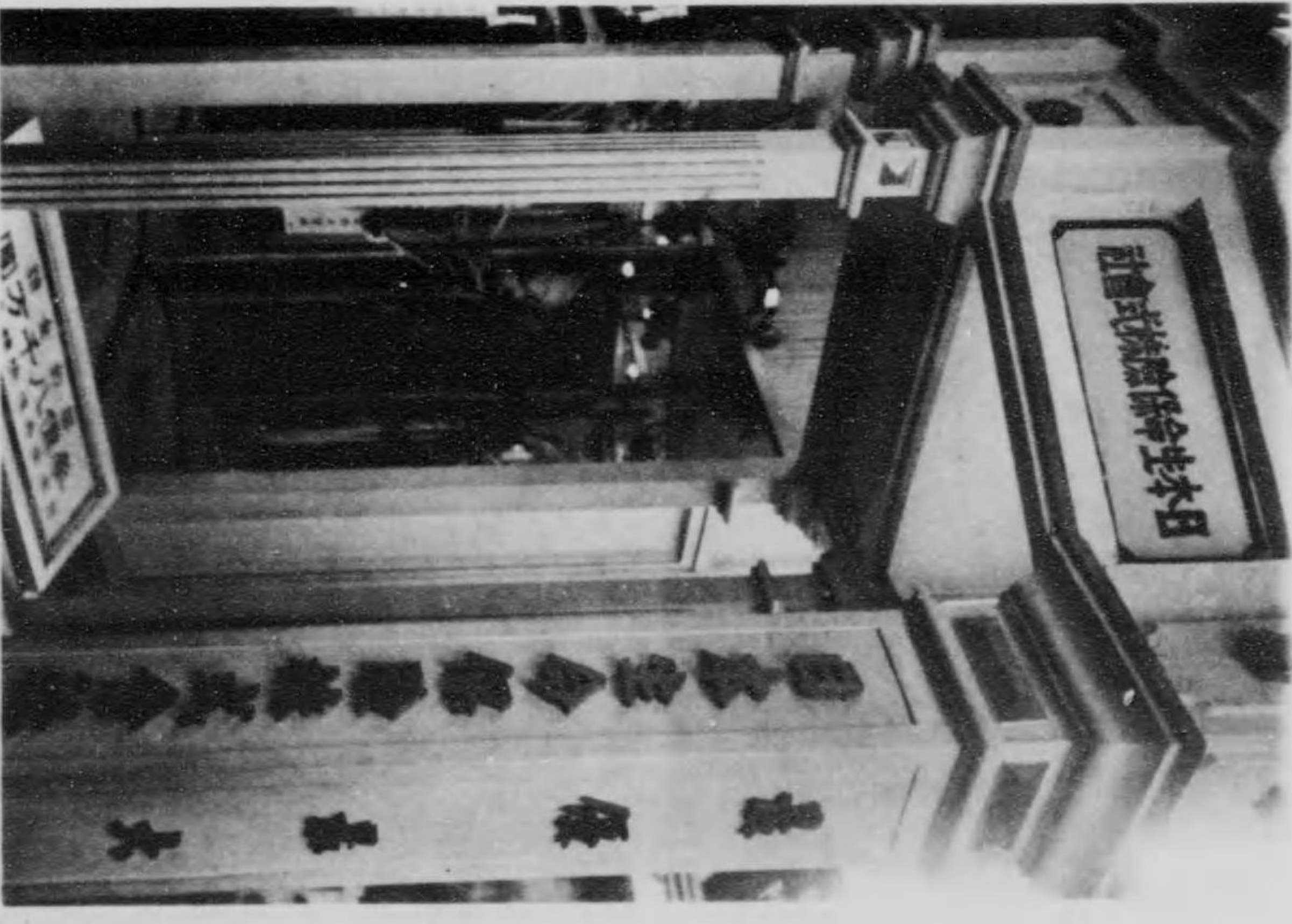
## 日本海員救濟會

總裁大勳位功四級博恭王殿下  
 理事長 塚原 周造  
 理事 石橋 甫市  
 理事 伊東 米治郎  
 理事 堀 啓次郎  
 理事 加藤 正義  
 理事 內田 嘉吉  
 理事 梅村 貞明  
 監事 山根 武亮  
 監事 近藤 常松  
 監事 淺野 總一郎  
 監事 茂木 綱之  
 監事 藤田 利信  
 監事 山根 孝  
 (不、順)

本會は明治十二年の創立に保り最も古き歴史を有する財團法人にして總裁には宮殿下を奉戴し本部を東京市に置き支部を各府縣道廳海軍鎮守府所在地及便宜の地に設け其地の長官に支部長を囑託し其都市區長に委員長を町村長に委員を囑託す、而して横濱、大阪、神戸、門司、長崎、函館及小樽に出張所を置く  
 本會の目的は簡言すれば普通海員を養成保護し其風紀、矯正し、以て貿易上の大機關たる交通運輸の發達を裨益するにあり、而して其事業としては普通海員の養成及船舶への媒介供給は勿論海員寄宿所を設けて海員を收容し各出張所に病院を設けて施療し或は海員及遺族を保護救恤し、或は高等海員養成所を設けて向上の志望あり實地經驗ある者を收容し之に相當の學術を授け高等海員の免狀を得せしむる途を設け又一朝國家有事の場合には數萬の海員を統督獎勵し軍事輸送の補助に努むる等國家機關の及ばざる點を補足し海運の發達國運の伸張を圖らんとする公益團體なり

公  
 人とする  
 達の援助に  
 を得せしむ  
 け向上の志  
 所に病院を  
 通海員の大  
 員上の大  
 員を嘱託  
 地及使官の  
 總裁には  
 總裁は  
 孝信之郎  
 常武  
 總一  
 會

例、各國診  
 縣診療所  
 景町  
 之を陳列  
 國各地に設  
 國に日り普  
 間法人に  
 たりたる



# 株式會社 藤本ビロウカー行

## 主要營業科目

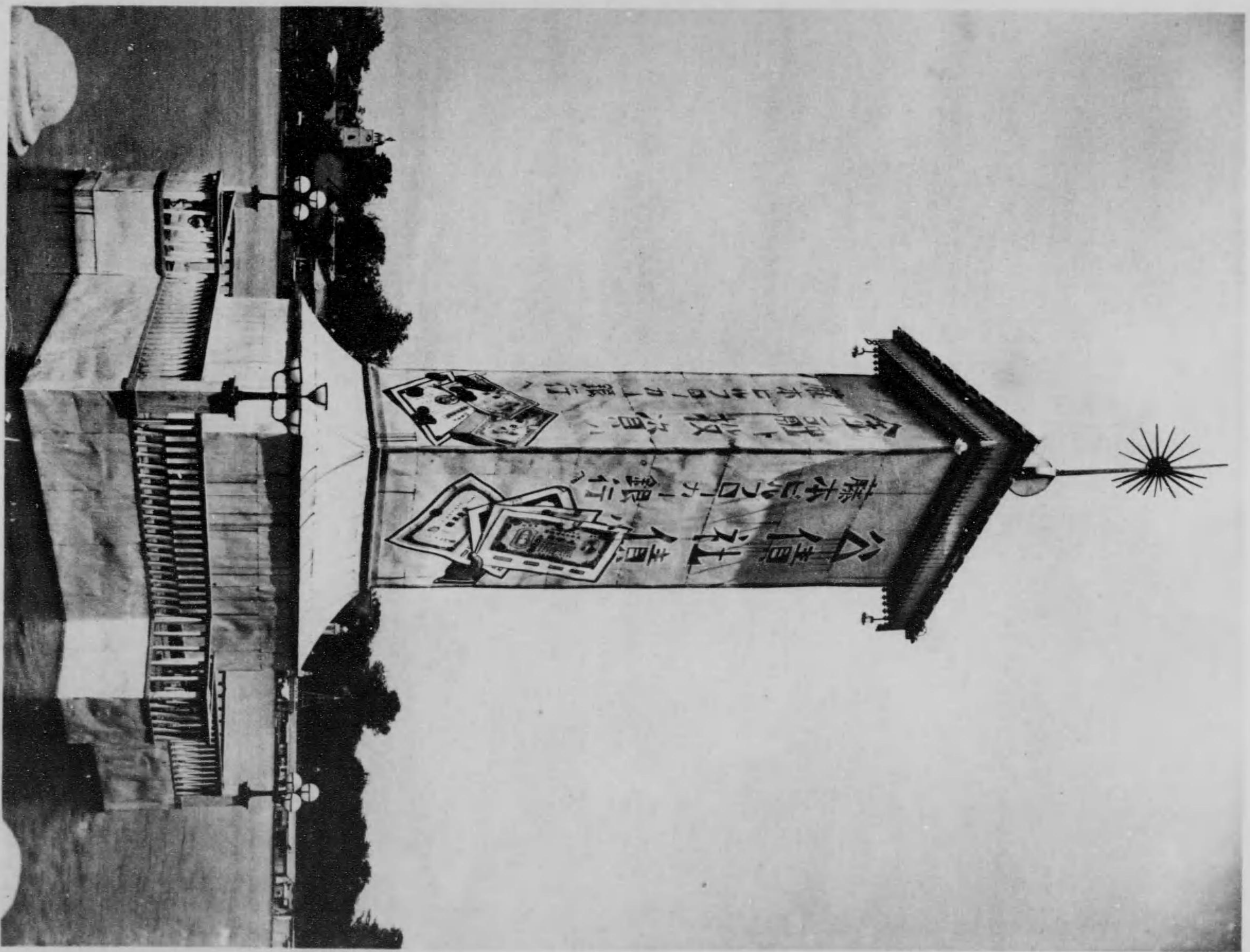
コーポレート・ビルロウ  
 輸入手形買賣  
 商業手形買賣  
 外國爲替買賣及仲介  
 諸預り金  
 有價證券募集取扱  
 有價證券信託預り  
 不動産買賣仲介  
 輸出手形買賣  
 事業資金手形買賣  
 有價證券擔保貸出  
 仕拂承諾  
 送金及荷爲替代金取立  
 内外有價證券買賣  
 事業資金仲介  
 代理事務取扱

## 主要勘定取扱高 (大正十年下半期)

コーポレ取扱高 四、〇一七、八三四  
 手形取扱高 二五三、七〇一  
 現金出納高 一〇、〇八三、六二九  
 有價證券買賣高 二二二五、一四〇  
 募集取扱高 六三、〇三七

## 本支店派出所

本店 大阪市東區北濱五丁目  
 東京支店 日本橋區吳服町  
 橫濱支店 辨天通四丁目  
 名古屋支店 西區玉屋町一丁目  
 京都支店 下京區烏丸通船場南人  
 神戸支店 榮町二丁目  
 門司支店 東本町二丁目  
 派出員駐在 福島市大町  
 海外派出員駐在 倫敦及紐育





館友住と堂樂音



館械機及力勁



館業工氣電



館業林及産鐵

株式  
明治屋  
會社

食料館出品

清楚なテーブルの上に品よく麥酒が並らべられてある

純真なる麥酒を味はんとする家庭にキリンが必需品となつてゐる事をそのまゝに表はしてゐる

卓上にはまた子安ハムの一皿がある新進の子安農園で精製せられたもの

うしろの棚の陳列は強壯劑純鐵コロイド溶液「ヘモゾール」である

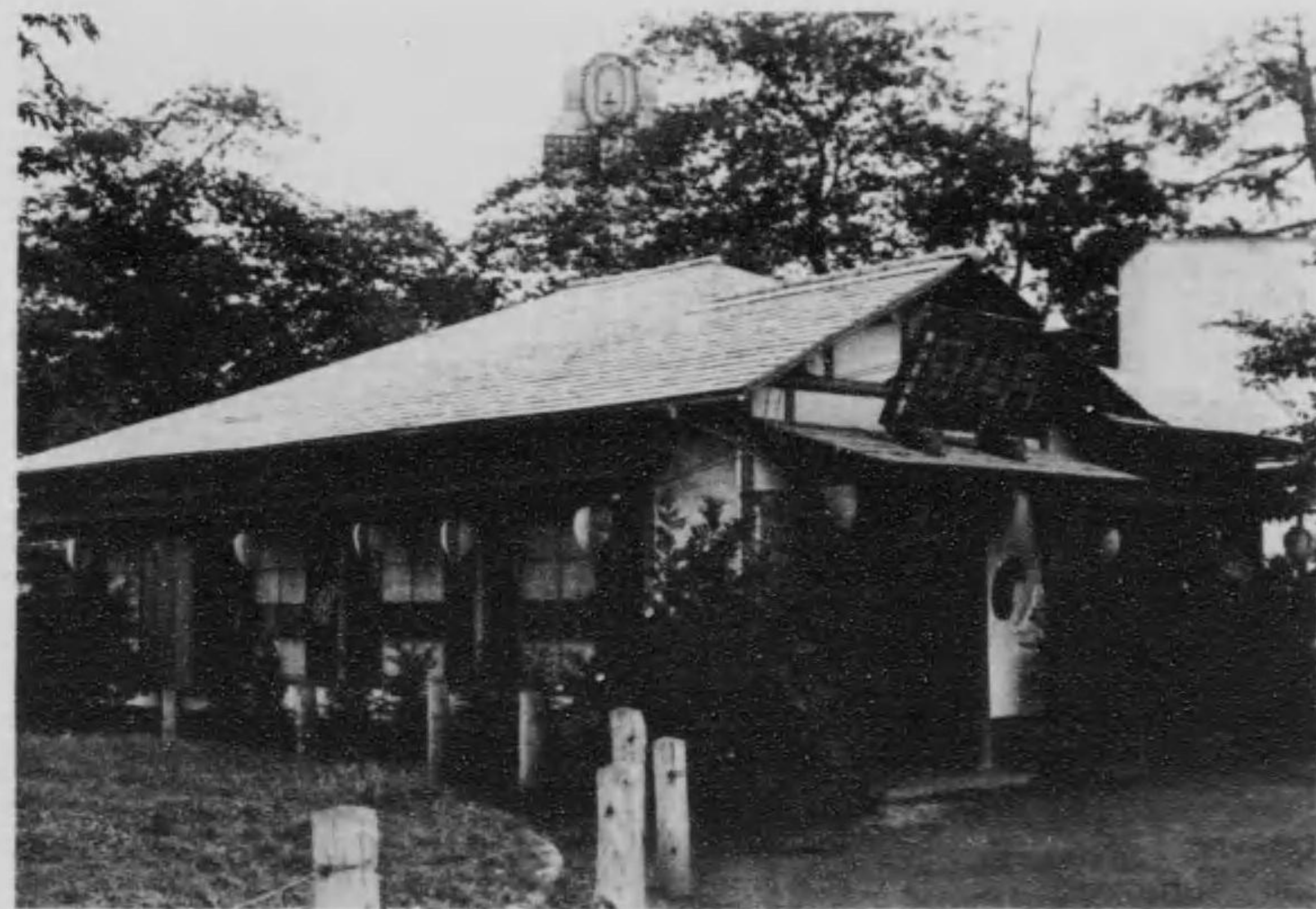
名譽大賞牌を受領せる  
明治屋發賣の  
キリンビール  
と  
特製月桂冠壺詰

雜間の中心であり乍ら其邊一帶芝生と大樺樹の綠蔭あるために不思議にノンビリした氣持となる位地に、これ又蕭洒な平家建の一構へは確かに特製月桂冠の賣店として小氣味よく調和してゐる

忙中閑ある通人をして小酌低唱の快を遣るべく必ずその足を駐めさせずにはおかなかつた  
絶対に防腐劑を含まず芳醇比なく夙に都人士の嗜好に合格せる月桂冠は今また平和博最高の名譽大賞牌を受けた

中央亭出張の麒麟亭は會期中の呼物となつた幽雅なる古風御座船に洋式を加味して廣く且整頓した壯麗さを持つた設計は不忍池面の眺望を擅にし池畔の涼味を一つに鍾めてゐる

最古の歴央と最新の設備とを有し常に純正獨逸ビールの眞味を具へた男の中の男ビール、キリンは此處にも實物を以て世の批判に問ひ顧客を惹く事場内獨歩まことに磁石の鐵を惹く如きものがあつた  
價値に生きる現代文化人の認めて以て權威としたキリンビールが平和博に於て最高名譽大賞牌を受くるもまた宜なりといふべしである



東京日本橋南茅場町

富士西商店

名譽賞牌受領

# 東自慢 白雪

清酒東自慢、白雪が如何に品質優良なるかは夙に斯界に承認せられ愛飲家の等しく推奨する所なり。

東京府荏原郡平塚村下蛇窪四七二番地  
(省線大井町驛下車西方約五丁)

日本香料株式會社

電話高輪一二七三番

日本香料株式會社は日本全國が消費する飲食料用香料の八割を供給し全國一流の清涼飲料水、菓子、西洋酒製造業者は皆當社の香料を使用し約三百種類の香料を常備す弊社の營業種目左の通りに御座候

- 清涼飲料水用香料
- 菓子用香料
- 果實蜜用香料
- 料理用香料
- 洋酒用香料
- アイスクリーム用香料
- アイスクリーム原料
- ソートース原料
- 化粧品用香料
- 香水原料
- 飲食用着色劑
- 枸橼酸、酒石酸
- 清涼飲料水用機械
- ソーダ水用最新機械
- 機械附屬品及器具類
- サイダ壺及ラムネ壺
- 其他清涼飲料、洋酒及菓子原料品一切

東京市淺草區茅町二丁目十一番地

久月總本店

横山久兵衛

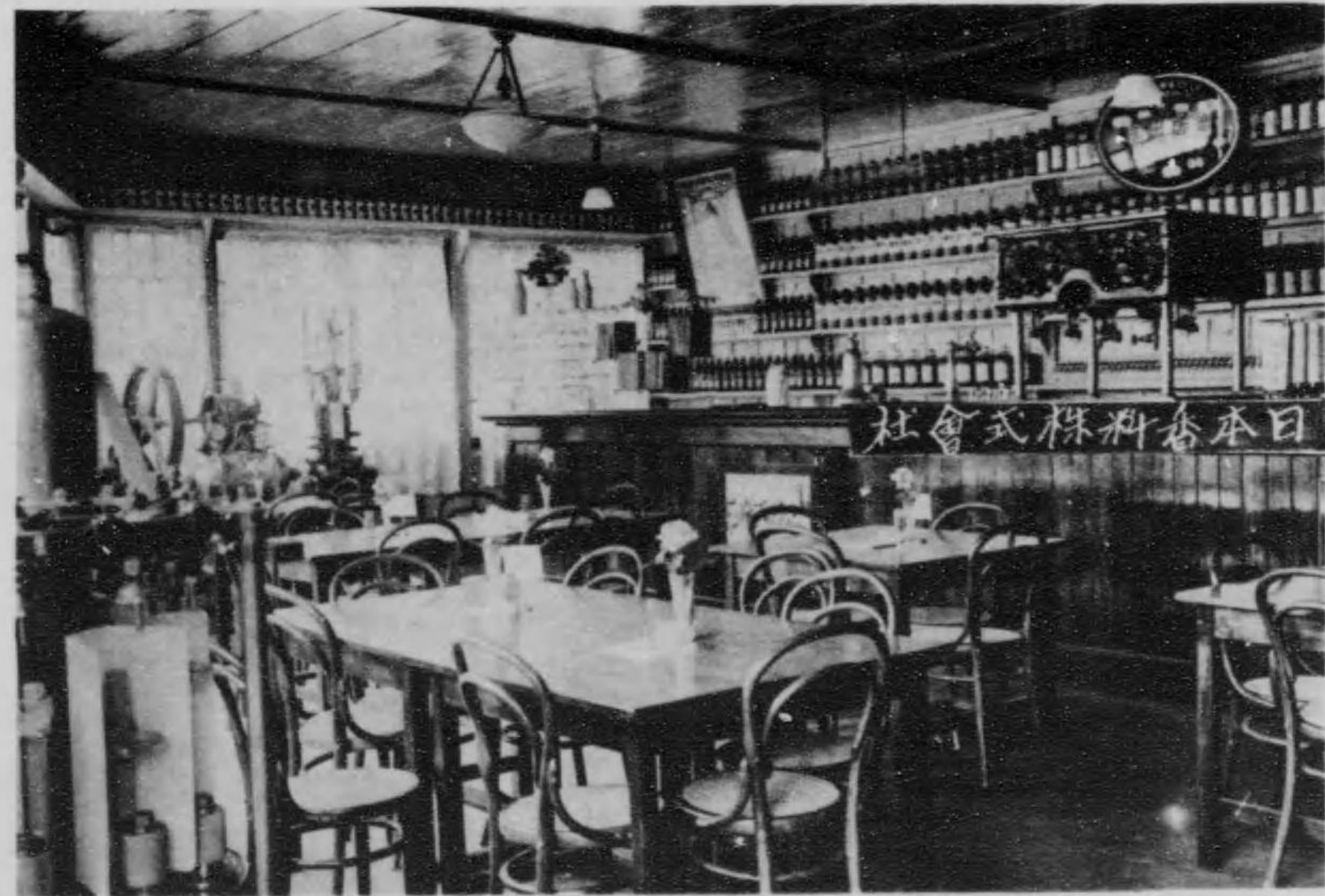
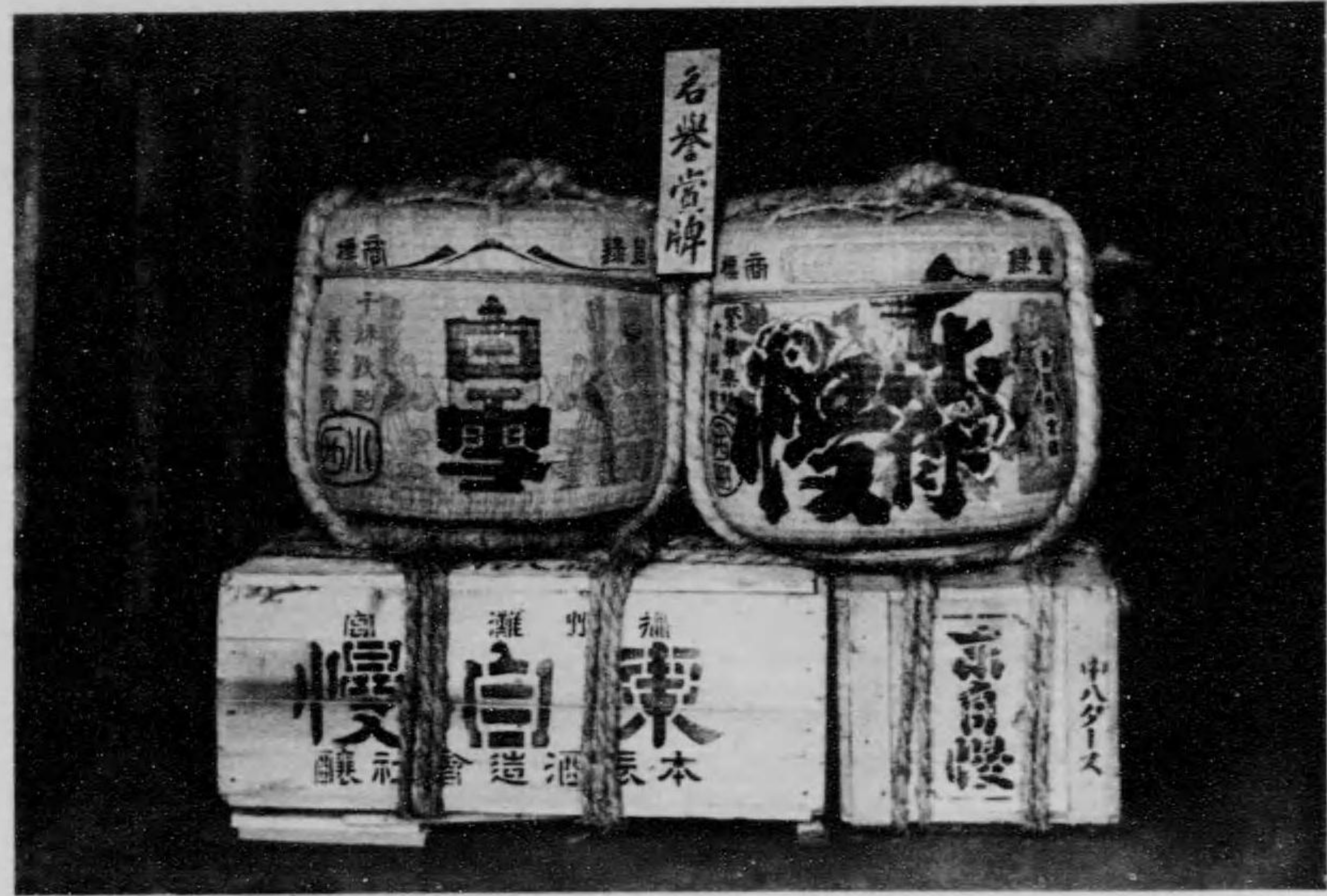
出品名 子供人形 各種

販路 内地一般、臺灣、朝鮮、滿洲、英國、米國、等

特記事項

久月製品は東京の人形界に於て最信用を有し曾て宮内省御買上の光榮に浴し、亦閑院宮家より屢々御用命を拜する等至大の名譽を有す先年英國皇弟殿下御來朝に際し東京府より、献上したる人形も亦當店の謹製せるものなり。今次の平博出品人形は現代兒童風俗の縮圖にして大小十數種、すべて其容姿服裝等に一々最新の意匠を應用したるは此種の人形に於ける一新機軸にして果然多大の好評を博せり。





日本ブドウ酒株式会社

神奈川県鎌倉郡戸塚町戸塚五千三十一番地

事務所 東京市京橋區南鶴町一丁目十番地(電報座二九七五)  
 出品名 トミホソライトボイトライソ、トミ印ボイトライソ  
 用途 滋養補血衛生的飲料  
 特徴 殺菌完全にして永久の保存に堪へ「メチルアルコール」及「グリセル」油其他不良の物質を絕對に含有せず  
 産額 一ヶ年生葡萄酒千五百石ボイトライソ類五千石  
 販路 内地一圓、支那、西比利亞、南洋

當會社は大正二年小山新助氏の事業を繼承して創立せられ山梨縣下に於て百五十町歩に亘る純歐洲種大葡萄園を經營し獨佛人技師を聘し武井男爵等の努力により國產獎勵輸入防遏の抱負を以て事業を進め登美工場の外更に戸塚町に理想的大工場を設備し最新の學理を應用し盛に製造をなしつゝあり其品質の優秀なるは丹波博士の確證により明にして一般の實績を博し賣行亦頗る旺盛なり

出品名 銘酒忠勇  
 東京南新城 若林合名會社  
 東京南新城 牧原仁兵衛商店

特微 清酒獨特の風味芳醇佳絶、絕對に惡酔することなく、世界の平和は銘酒忠勇より生ずるの感有す。  
 産額 毎年醸造額 約壹萬五千石餘  
 販路 日本全國は勿論、支那及一般日本殖民地に波及し、牧原商店は靜岡縣以北東の特約發賣元として斯界の權威者なり。

平和記念東京博覽會に於て名譽大賞牌受領其他各博覽會に於て多數賞牌受領

名譽大賞牌受領

平和記念東京博覽會に於て

兵庫縣武庫郡灘魚崎町

山邑酒造株式會社

支店 東京市日本橋區吳服町  
 大阪市西區北堀江上通二丁目  
 京都市東側院六角下  
 神戸市元町三丁目  
 朝鮮京城明治町二丁目  
 朝鮮釜山幸町二丁目

出品名稱 清酒 櫻正宗

一ヶ年 參萬貳千石  
 内地全土、北海道、臺灣、朝鮮、支那、南洋各地、樺太、西比利亞  
 享保二年以來父祖の業を繼ぎ二百有餘年に及び  
 畏くも宮内省御用品として御指定を仰ぎ海軍に於ては常に其の選洋航海に際し多數の上納を命せられ又明治十四年以來全國品評會勳業博覽會歐米各國に於ける萬國博覽會に於て名譽大賞牌名譽大賞金牌等を受領したること三十五回に及び

大藏省醸造試驗所

○醸造試驗所 は東京府北豐島郡墨野川町(飛鳥山公園前)に在り明治三十七年に創立せられたるものにして酒類及醤油の醸造に關する試驗研究を爲し醸造業を指導獎勵すること及醸造家の子弟の爲に講習を行ふことを以て事業の主要なる目的とす

○醸造試驗所 には清酒製法の外に「新清酒云々」キール「サンパン」の如き西洋酒類に付ても常に研究し漸次其のものを得つゝあり

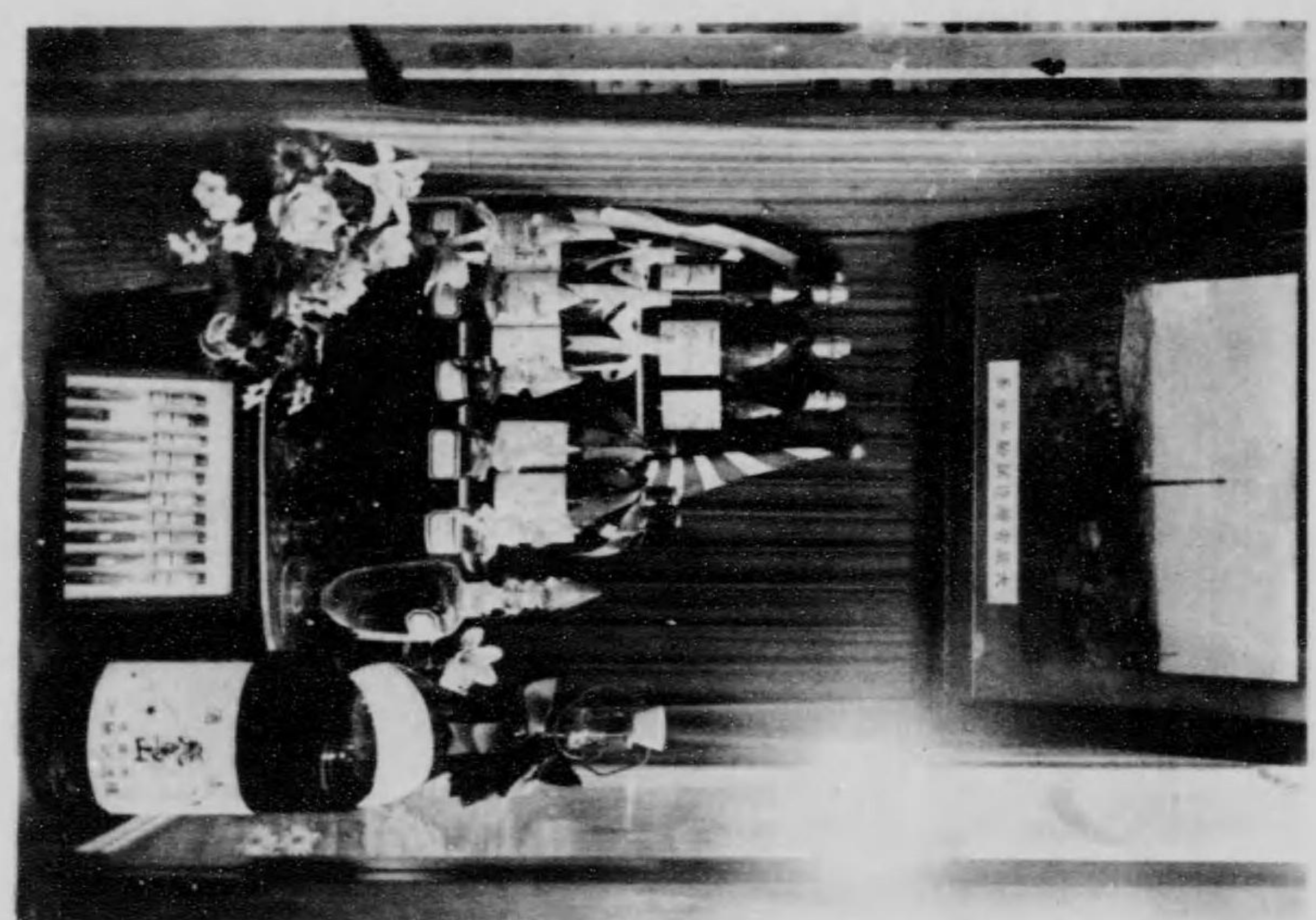
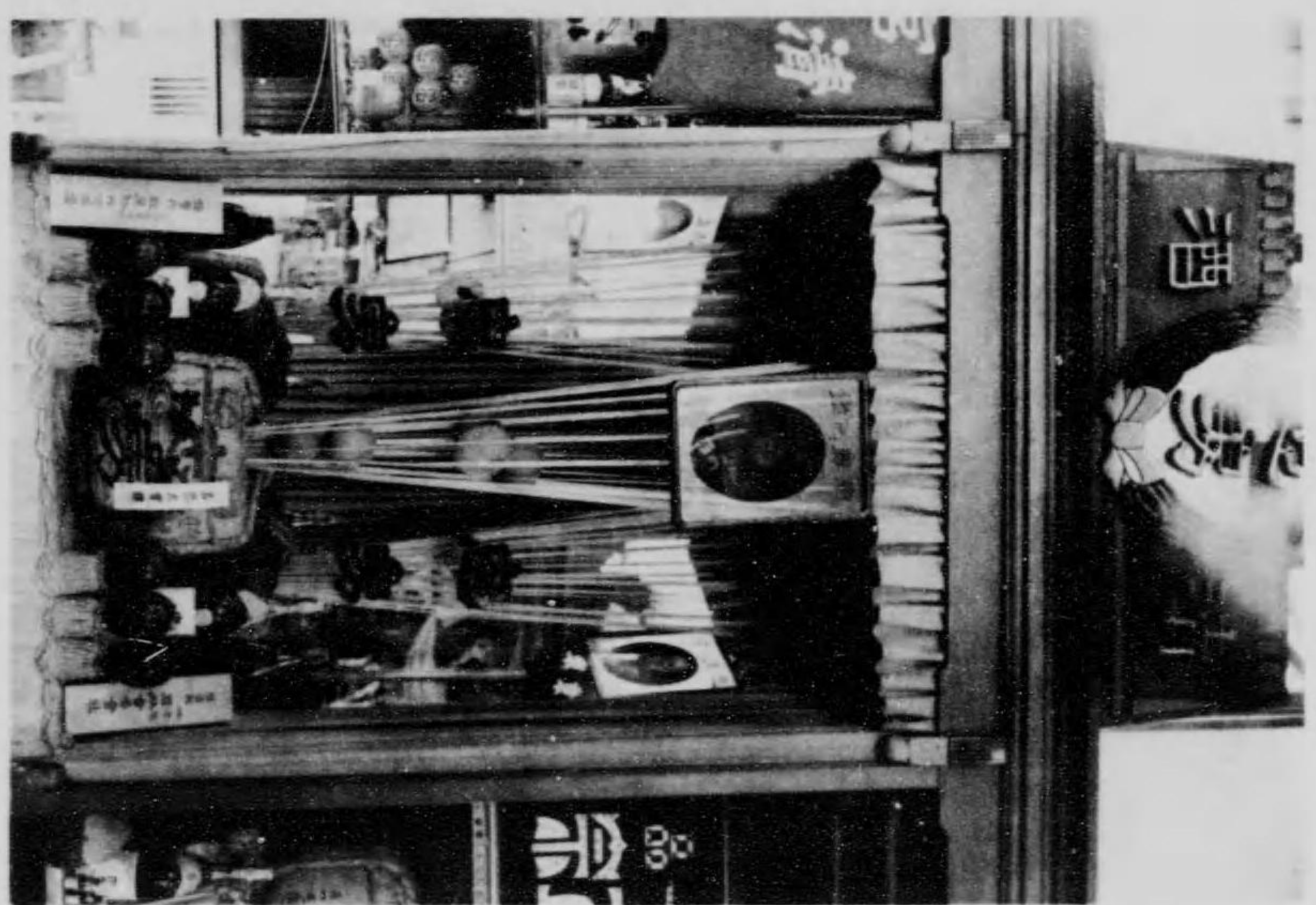
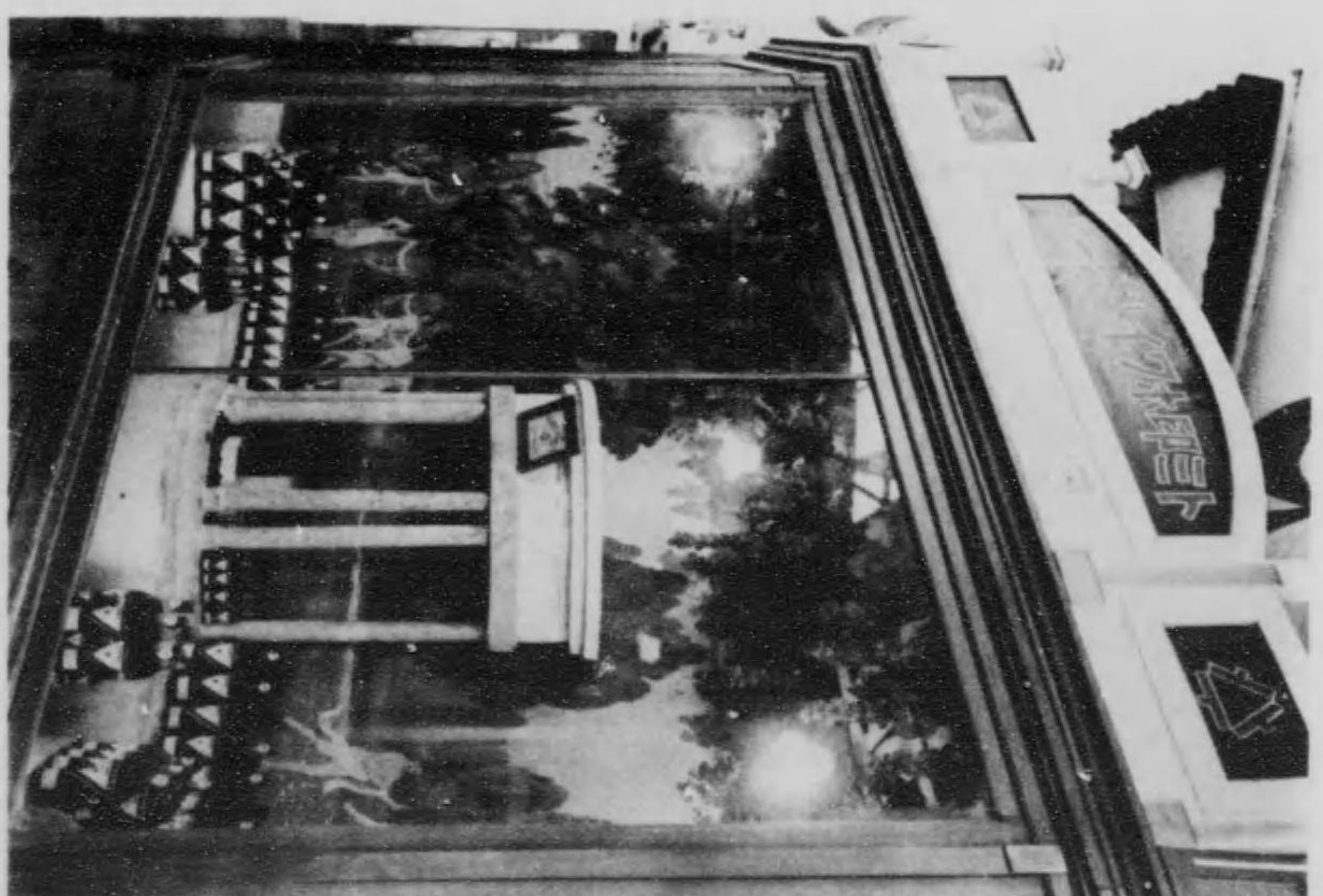
○醸造試驗所 の試驗研究成績は醸造試驗所報告に依り公表し扱ひ頒布せらるる但刊行不定期なれば諸誌を覽むれば同所に同ありたり

○醸造試驗所 の試験清酒は東邊山又醤油は墨野川と命名し之を販賣し居れり又試験「サンパン」も販賣せしめ居たり

○醸造試驗所 は當業者の爲に日曜休日の外は差支無き許し居れり

○醸造試驗所 内には財團法人日本醸造協會及び醸造の發行全國酒類品評會又は講習の開催轉母の分與等種々の業を爲し同所の事業と相俟つて斯界に貢獻すること不鮮なり





清酒界之一大權威たる

# 天泉酒

は眞に美味高尚にして恰も天泉を汲みて飲む

の感あらしむ。

天泉酒の銘ある誠に宜なりと謂つ可し。

東京市京橋區南新堀壹丁目九番地

内藤才兵衛

電話京橋一〇七四番

銘酒「日本盛」は遠く舊幕時代の創醸に係り現に灘  
の大酒造家西宮酒造株式會社醸造の同社代表的銘  
酒也

醸造高は參萬餘石而も全國第一位にして曩に大正  
博覽會に於て最高名譽大賞牌を受領と同時に幾多  
清酒中特に選拔せられて宮内省御買上の光榮に浴  
す今又平和記念東京博覽會に於て「最高名譽大賞  
牌」を受領す

本酒は古來品質本位を以て終始一貫せる名實共に  
日本一の銘酒なることは愛飲家諸氏の擧げて稱贊  
する所なり。

東京市日本橋區南茅場町に店舗を有する發賣元  
「富士本商店」は享保年間の創業にして纏綿として  
今尙業界の重鎮なり。

銘酒 **大關** は審査の結果

名譽大賞牌を受領し斯界最高  
の名譽を擔ひ名實共に今や酒界の  
大關たるの地位を占むるに至れり

東京市京橋區北新川

中井新右門商店

電話京橋四



# 食料館及特設館

## 金線飲料株式會社

本社 東京市京橋區新榮町四丁目  
 橫濱工場 橫濱市蓬萊町四丁目  
 東京工場 東京市京橋區新榮町四丁目  
 販賣部 東京市京橋區富島町一番地  
 資本金 壹百萬圓  
 製産能力 壹ヶ年 四打入 五拾萬箱  
 販路 日本本州全部、北海道、朝鮮、滿州、臺灣、南洋等

### 製造品目

清涼飲料水  
 金線サイダー  
 金線メロン  
 金線タンサン  
 金線ポルト  
 金線シトロン

液体炭酸瓦斯

### 受賞

大正三年於大正博覽會一等賞金牌  
 大正十一年於平和記念東京博覽會名譽賞牌  
 其他各地博覽會共進會に於て十數個の金牌受領





# 品 出 館 料 食

二二ノ一町石本區橋本日市京東

## 社 會 式 株 糖 製 灣 臺

町屋革本區橋本日市京東

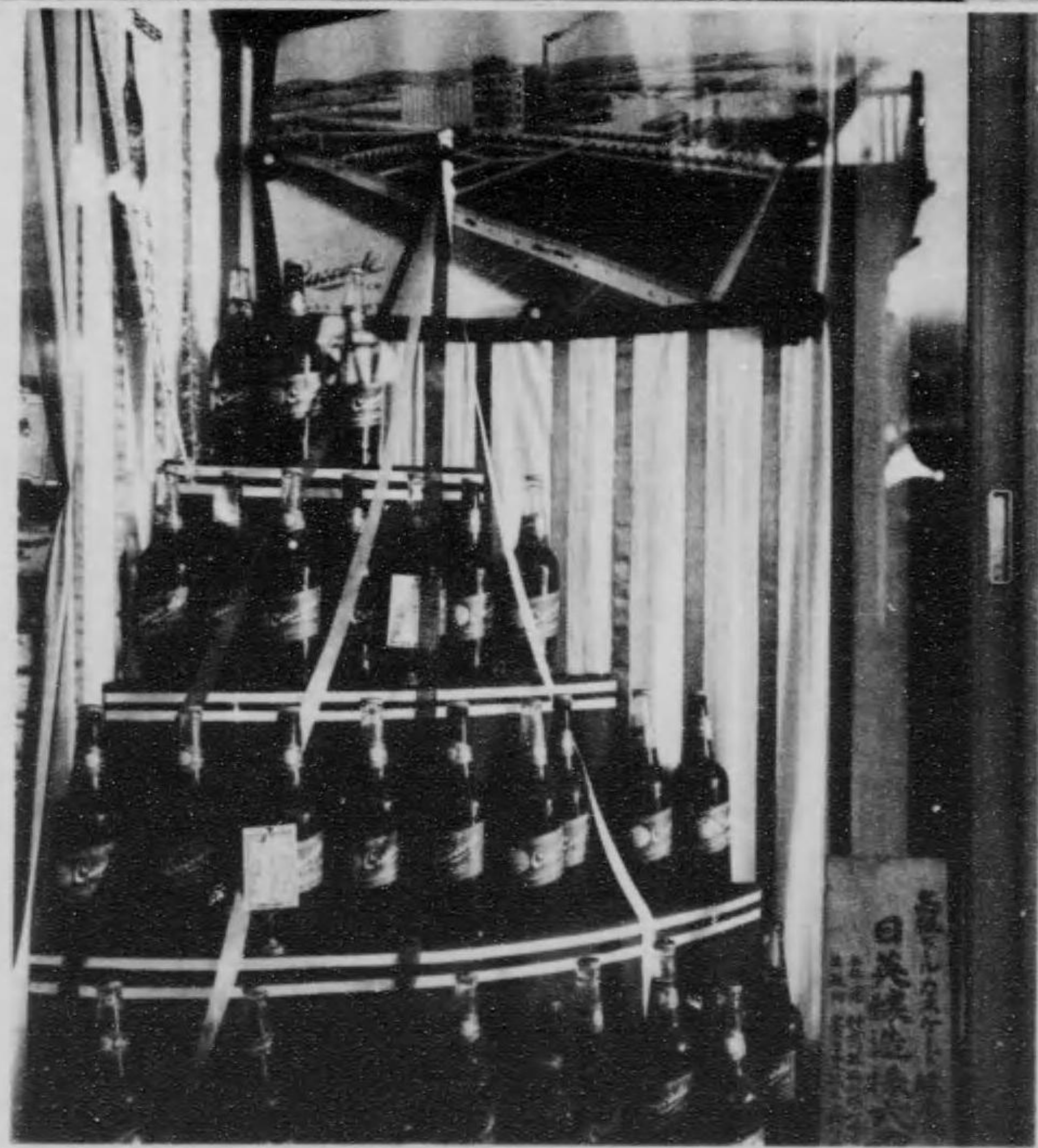
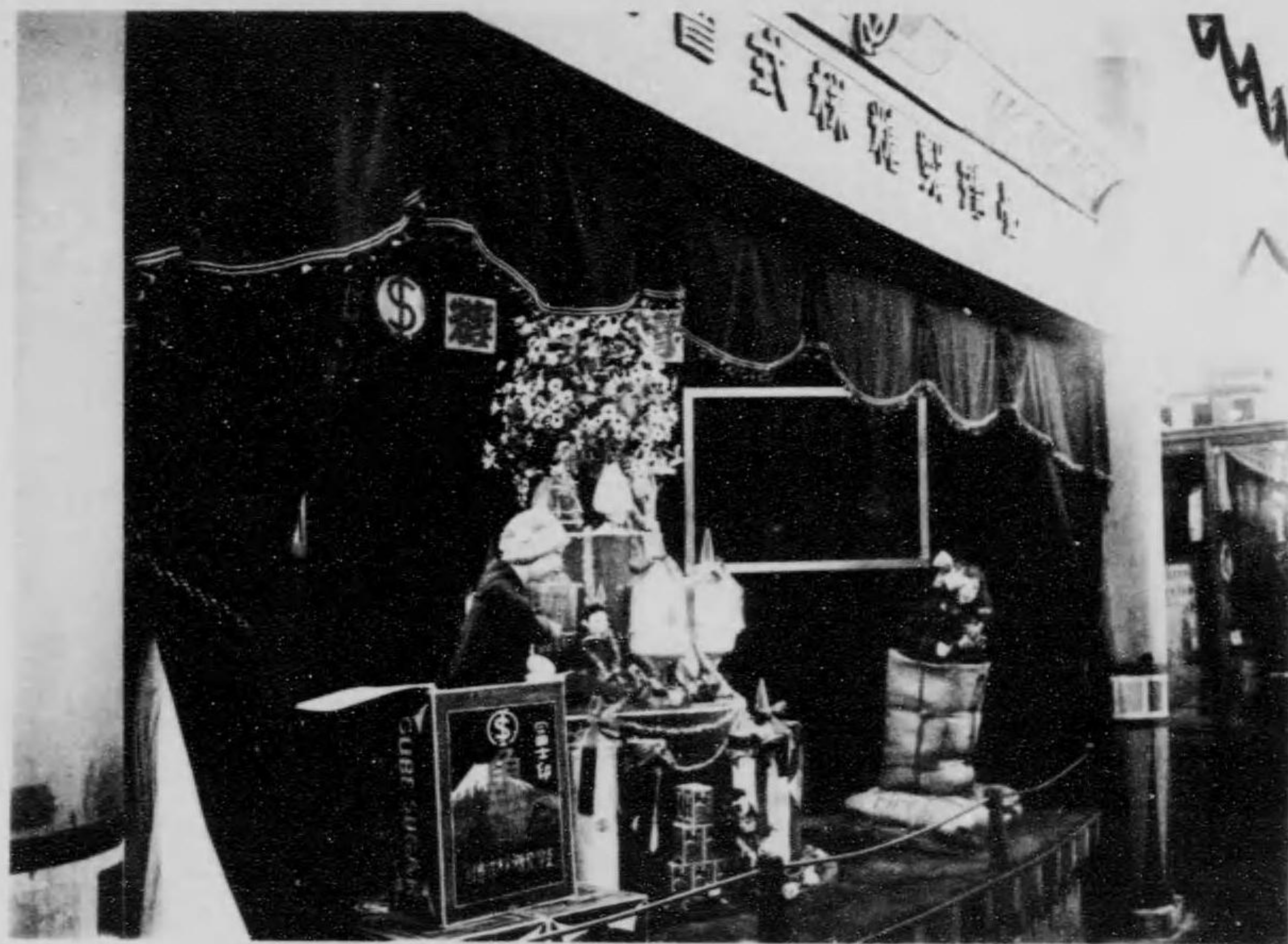
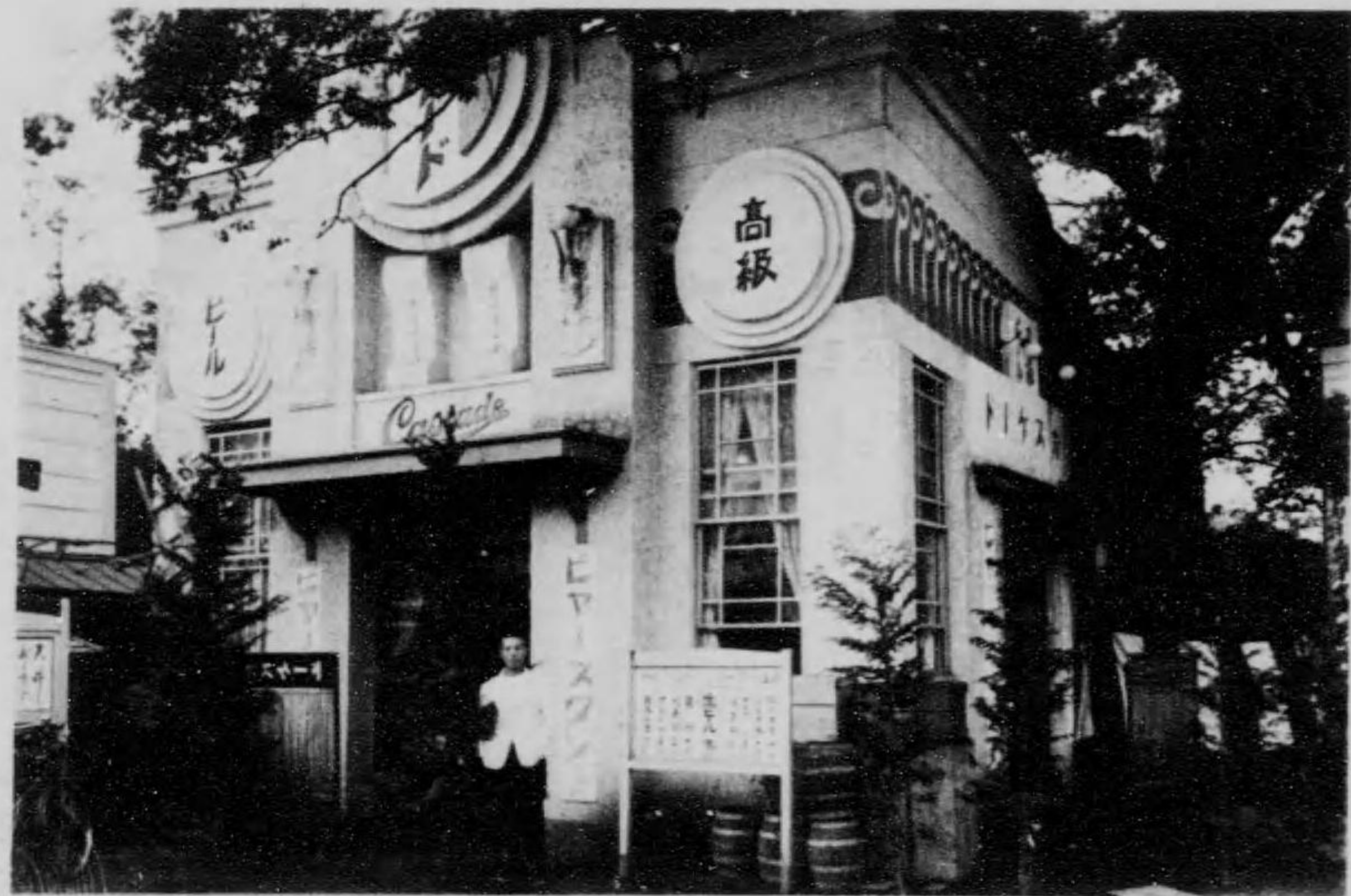
## 社 會 式 株 乳 煉 東 極

### 日 英 釀 造 株 會 式 社

本社及工場 神奈川縣橋樹郡町田村大字市場  
 出張所 東京市日本橋區小網町四丁目三番地  
 創立 大正八年七月  
 製品 高級ビールカスケードラガー  
 製産高 一ヶ年四打入二十萬箱  
 出品名 高級ビールカスケード茶及白壘詰  
 特設館 カスケードビヤホール  
 特微

英獨兩技師に依つて醸造せらるゝ純正獨逸式ビール、麥酒の生命とも言ふ可き泡立ち極めて細かにして、香氣芳醇、而も風味淡白にして氣候の變動による變質の憂少し。大正十年十一月より白壘詰を發賣す。由々麥酒の白壘詰は變質溜濁を來し易きは之れが發賣に成功せり。蓋し品質の優秀なるを証するものにして方に麥酒界の驚異と云ふ可し。平和記念東京博覽會に於て名譽金牌を受領せり





之 不 言 之 詞 局 刊 製 會 上 於 之 名 譽 金 牌 を 受 領 せ り

## 大日本製糖株式會社

當社は現に資本金貳千五拾萬圓を擁し東京、大阪、大里に製糖工場を有し大阪名古屋に出張所を置き臺灣に二個の粗糖工場あり、朝鮮に一支店あり上海大連の兩地にも亦出張所を設けて事業を經營せる本邦有數の大會社なれば其株主の數も八千有餘名に及び砂糖消費税の納入年額壹千五百萬圓に達す故に社運の隆替は又一國經濟界の消長に關する所尠からず

抑も當社は明治二十九年一月東京市外小名木川畔に於て故鈴木藤三郎氏の經營せる小規模なる製糖所の組織を改め日本精製糖株式會社と稱し創立せられしものにして最初は資本金僅かに三十萬圓に過ぎざりしが時運の進歩に伴ひ漸次發展し明治三十九年十一月大阪の日本精糖株式會社と合併し資本金を壹千貳百萬圓に増加し大日本製糖株式會社と改稱したり

尙大里製糖所、名古屋精糖會社買収臺灣工場建設等一氣呵成に其所信を斷行し忽ちにして本邦糖界の霸權を掌握するに至れり 左れど合同以來著しく經營難に陥り將に破滅崩壊せんとするの悲運に遭遇せしが明治四十二年四月現社長藤山雷太氏就任以來社連日に月に隆盛となり遂に所期の目的を達し今日の成果を收むるに至れり

### 事業現況

東京第一工場	能力一五〇噸	大阪工場	能力一五〇噸
東京第二工場	同 一五〇噸	大里工場	同 三五〇噸
東京第三工場 (冰糖工場)		臺灣第一工場	一、二〇〇噸 (粗糖製造工場)
酒精工場		臺灣第二工場	一、〇〇〇噸 (粗糖製造工場)

本社所在地は東京第一工場と同一個所なれど役員は東京市日本橋區蠣殼町の出張所にありて社務を統轄せり

## 大日本麥酒株式會社

本社は舊と日本麥酒株式會社、札幌麥酒株式會社、大阪麥酒株式會社の合同したるものにして其沿革並現況等の大要を略叙せんに明治三十九年一月二十九日各社に於て臨時總會を開き合併の決議をなし同年三月二十六日創立總會を開き茲に新會社を創立し大日本麥酒株式會社と稱し本社を東京府荏原郡目黒村に置き當時資本金五百六拾萬圓なりしも爾來販路の擴大商況の隆昌に伴ひ従前の工場のみにては其需要に應ずる能はざるにより四十二年一月資本金を壹千貳百萬圓に増加し各工場を擴張すると共に東京麥酒新株式會社を買収し保土ヶ谷工場と稱し専ら清涼飲料水を製造する事とせり同年二月以降益々販路の擴張を計らんが爲め各所に出張所を設けたり爾來年と共に需要は激増し各工場共醸造力を増加し會社の基礎は益々鞏固となれり大正五年九月獨英人の經營に係る青島麥酒工場を買収し翌六年四月より製品を發賣するに至れり之れ眞に青島に於ける邦人會社事業の魁にして青島に於ける工業界啓發に資する處又尠ならずとす歐洲大戦中並に戦後我國事業界の好況に際しては本社も亦其製品は需要に應ずる能はざる程の盛況を呈し其販路は内地は勿論臺灣、朝鮮、沿海州、滿洲、支那、香港、暹羅、馬來半島、南洋 諸島 印度、波斯、埃及等に及へり大正九年七月資本金を參千八百萬圓に増加し更に日本硝子工業株式會社を合併し資本金を四千萬圓となし其規模の廣大なると設備の完全なると其製品も亦優良なるは一般の認むる處なり

現在支店は大阪府下吹田町に大阪支店、北海道札幌に札幌支店、福岡市に九州支店を有し工場は東京府下目黒村に目黒工場に東京市本所區吾妻橋畔に吾妻橋工場、神奈川県保土ヶ谷町に保土ヶ谷工場、大阪府吹田町に吹田工場兵庫尼崎市に尼崎工場、北海道札幌に札幌工場、福岡縣筑紫郡那珂村に博多工場、支那青島に青島工場あり、出張所は大阪市東區高麗橋に大阪出張所、朝鮮京城に京城出張所 支那上海に上海出張所あり 製品種類として麥酒はエビス、サツボロ、アサヒ、サツボロ黒、アサヒ黒、ミュンヘンビール、青島ビール等あり、清涼飲料水はリボンシトロン、リボンラズベリー、リボンタンサンあり其他大麥より製造したるモルトコーヒーを販賣せり

同社は夙に皇室御用達の恩命を拜受し尙ほ日英大博覽會及桑港萬國博覽會に於て最高の名譽大賞牌を受領し其他各地の博覽會并に展覧會等にて賞状を受領せる其數枚擧げに遑あらず

現在重役 社長 馬越恭平、常務取締役 植村澄三郎、同 高杉晋、同 武内常太郎、取締役 男爵 大倉喜八郎、同 學士上野金太郎、同 學士矢木久太郎、同 橋本卯太郎、同 高橋龍太郎、同 學士馬越幸次郎、監査役 大橋新太郎、同 宅徳平、同 仲田慶三郎



現在重役  
 社長 馬越恭平、常務取締役 植村澄三郎、同 高杉晋、同 武内常太郎、取締役 男爵 大倉喜八郎、  
 同業學博士 上野金太郎、同業學博士 矢木久太郎、同 橋本卯太郎、同 高橋龍太郎、同業學博士 馬越幸次  
 郎、監査役 大橋新太郎、同 宅徳平、同 仲田慶三郎

品出館産水館料食

五ノ二町舟小區橋本日

合組業同油醬京東

店商山物社會式株

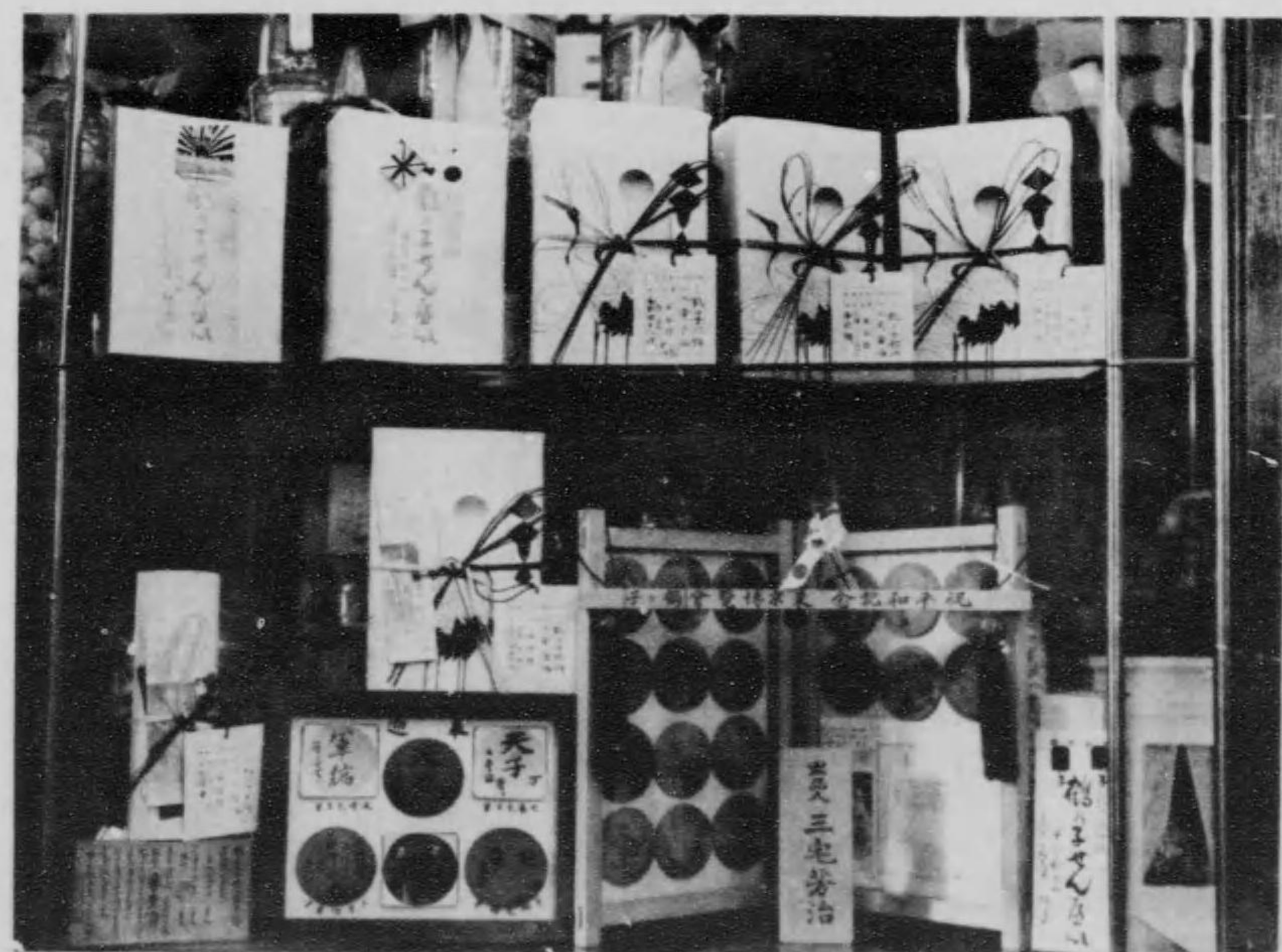
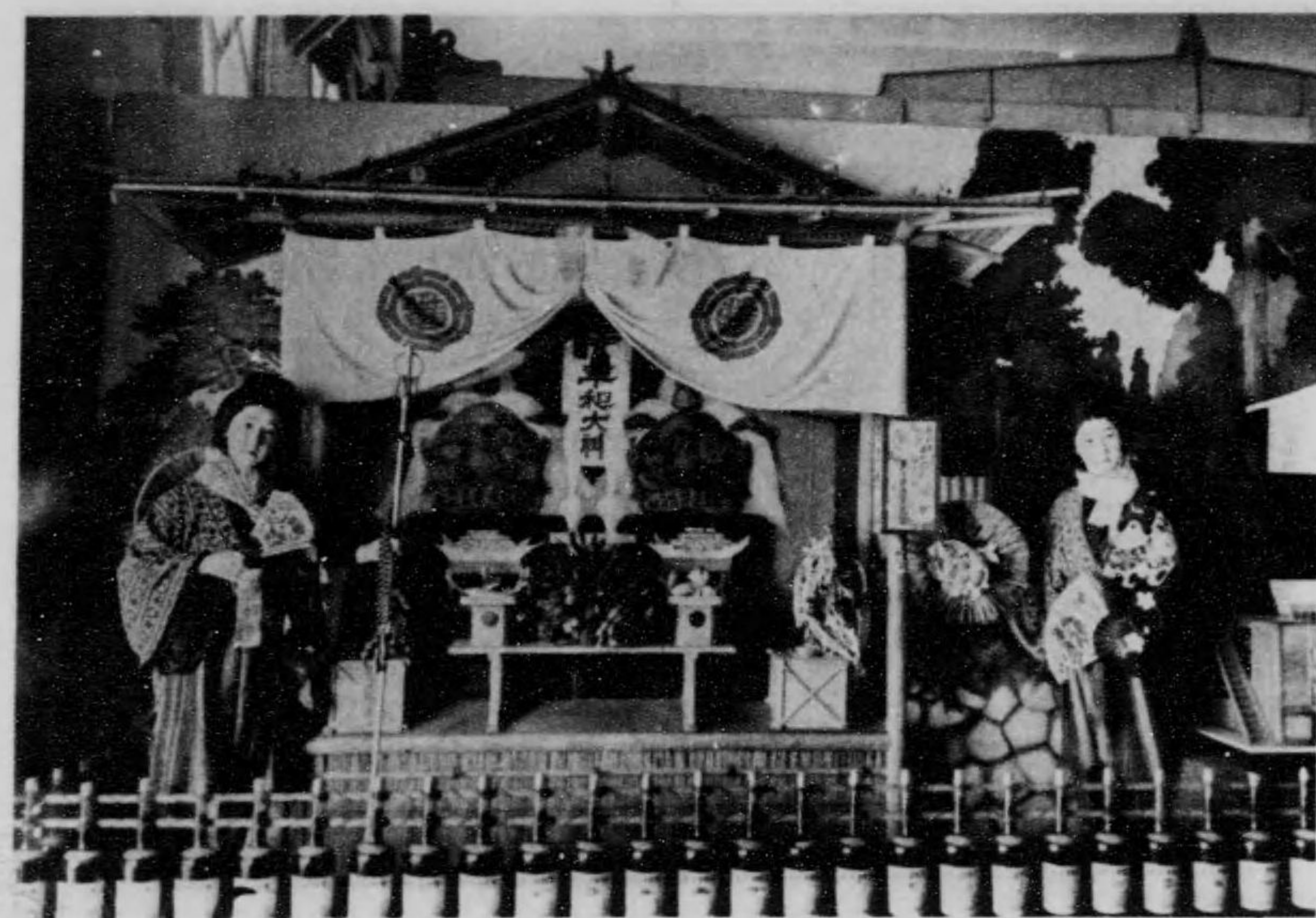
平和記念東京博覽會に於て銅牌受領  
尾道名産鶴の子煎餅本店主  
三宅芳治 敬  
東京市本郷區三軒茶屋三丁目一番地  
電話小石川一三九番地  
尾道市因幡郡久保町八幡地  
電話一三九番地

は抑尾道市の別名なる鶴子煎餅は、  
知事大正二年陽春余が吉岡灣（尾道市）  
に各貴山苦園に於て賜ふ時伯久隨日本十番地  
特能改治を召配て賜ふ御時伯久隨日本十番地  
此染賜るを智と云ふ御言誰か共や其席なり  
々々折柄を先芳と云ふ御言誰か共や其席なり  
製て御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
餅に御助を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
我家の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
納を大正六年七月三日原厚廣の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
過の際に御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
之に御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
地を御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
先野中廢角然上御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
び吉丸柏生折宵の事誠未不北川久宮下尾下何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
開合當一員東致山幸生折宵の事誠未不北川久宮下尾下何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
同組に天喜地と京幸出同の長回他山折ば外先養名爲何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
勵は専ら品質を大に利堪品業所光木平諸先憂くだ不芳治宮下尾下何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
鶴の専ら品質を大に利堪品業所光木平諸先憂くだ不芳治宮下尾下何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
御の専ら品質を大に利堪品業所光木平諸先憂くだ不芳治宮下尾下何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり  
胃に鶴の専ら品質を大に利堪品業所光木平諸先憂くだ不芳治宮下尾下何の御選を賜ひしに生感と云ふ御言誰か共や其席なり

東京市下谷區谷中三崎町五拾番地  
根津製餅所

出品人 本井健吉

（一）雪印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（二十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（三十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（四十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（五十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（六十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（七十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（八十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十一）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十二）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十三）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十四）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十五）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十六）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十七）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十八）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（九十九）花印 晒餅 原料ハ花印製成  
（一百）花印 晒餅 原料ハ花印製成



結果ニヨルモノニシテ、價格ノ不定ハ原料ノ需要ノ多寡ノモノ也。

## 大日本蠶絲會の目的及事業

大日本蠶絲會は本邦蠶絲業の改良發達を以て目的とし明治二十五年四月の創立に係り會員二十二萬七千七百餘名を以て組織したる社團法人にして總裁には 閑院宮載仁親王殿下を奉戴するの光榮を辱ふせり而して本會は其目的を達せんが爲め左の事業を行ふ

- 一、蠶絲業に關する諸般の調査を爲すこと
  - 二、本邦生絲の海外販路擴張を圖ること
  - 三、内外に於ける蠶絲業の團體と氣脈を通ずること
  - 四、蠶絲業に關する品評會講習會講話會及其他の集會を開設すること
  - 五、蠶絲業に關係ある者の功勞を調査し及表彰すること
  - 六、蠶絲業に關する共同事業の發達を圖ること
  - 七、蠶絲業に關する圖書及雜誌を發行すること
  - 八、前各號の外蠶絲業の改良發達上必要と認むる事項
- 會の事務所を東京市麴町區有樂町一丁目一番地に置き其支所を横濱市北仲通六丁目七十七番地に設置し各府縣に支會を置き業務を執行し本邦蠶絲業の改善發達に努め以て國富の増進に貢献せんことを期せり

### 御歌(右の上)

今上皇后陛下には大日本蠶絲會が我邦蠶絲業の爲め鋭意努力しつゝあることを御聞き遊ばされ大正四年の春特に本會に賜はりたる御歌なり

### 御歌(右の上)

宮中紅葉山御養蠶室に於て御養蠶を賜ひ給ひてより十週年に相當する際 今上皇后陛下には之を記念せんとて親しく御生産の生絲にて織らせ給へる絹織物を以て御養蠶室と上簇中の繭の圖とを染め抜き且刺繡したる御歌紗を造らせ給ひて本會に賜はりたるものなり

### 繭及生絲(右の上の中段)

繭及生絲は大正十年宮中紅葉山御養蠶室にて御飼育あらせられたるを特に我大日本蠶絲會に御下賜ありたるもの

### 蠶より出来る品物(右の中段)

蠶が繭を作り繭より生絲を繰製することは何人も知る處なるが蠶より各種の形態に變り行きて人生に限りなき便益と福利を與ふること實に驚くべきものあり其一端を系統的に示したるもの即ち是れなり

### 世界生絲生産消費の状況(左の上の圖表)

表世界に於ける生絲の生産と消費とを一目の下に知らしめんが爲め地圖の上に圓形にて其數量を現はしたるもの

### 蠶の模型(左の上の中段)

蠶兒の大模型は其體内に電燈を備へ付け外部に設けたる一の鈕を押せば蠶兒の眼は赤色、他の鈕を押せば氣門は青色の電燈を點じ之れによりて其位置を知らしむるの裝置なり

### 蠶産額比較(左の上の中段)

各府縣及北海道に於ける蠶業發達の程度及産繭額を一目の下に知悉せしむべく大正九年と明治二十五年(三十年前即ち大日本蠶絲會創立の年)との繭の産額を繭の形ちの大小を以て各府縣毎に現はしたるものなり

### 御内帑金の御下賜(左の下の中段)

幕の下に僅かに現はれたる額面は我大日本蠶絲會が多年當事者を誘掖して蠶絲の改良進歩を圖り國家の富源を涵養するに努めたること長くも九重に達し特に御内帑金貳萬圓御下賜の光榮に浴したる御沙汰書なり

### 各種徽章及賞牌(左の下の中段)

大日本蠶絲會名譽會員、特別會員、通常會員の徽章、蠶絲業に對し顯著なる功勞ある者に贈與する三種の功績章及同上故人に追贈する賞牌、本會に對し多大の功績ある者に贈與する一等より五等に至る有功章なり

### 會報、蠶絲の光、通信講義録(左の下の書籍)

大日本蠶絲會報、本會の機關誌として明治二十五年創立以來毎月繼續發行し第三十一卷に及び以て今日に至る其掲ぐる所學者の所論當業者の實驗說其他蠶絲業界に現はれたる事項は網羅せざるなく當事者の指鍼として新業界に推重せらるるもの

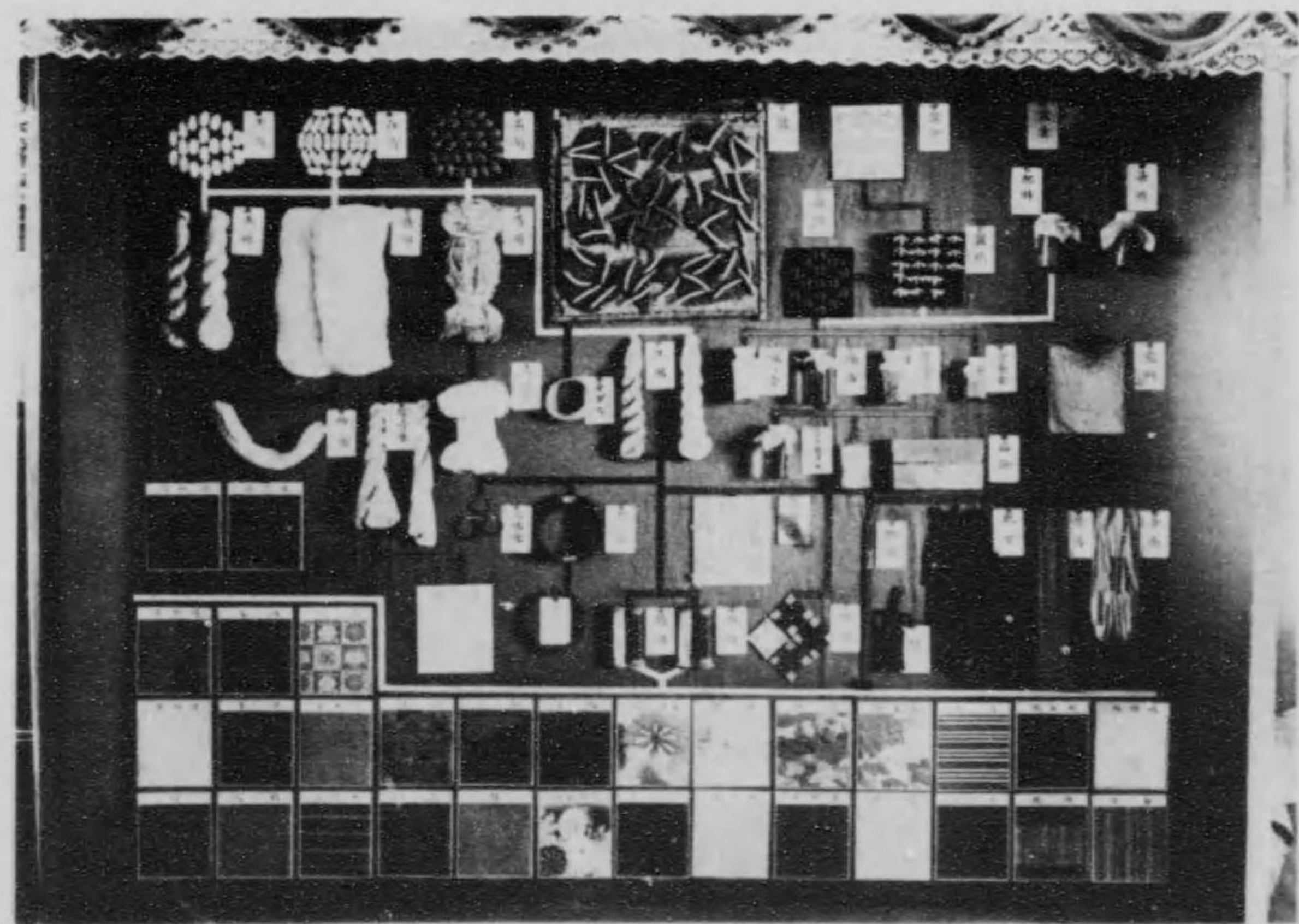
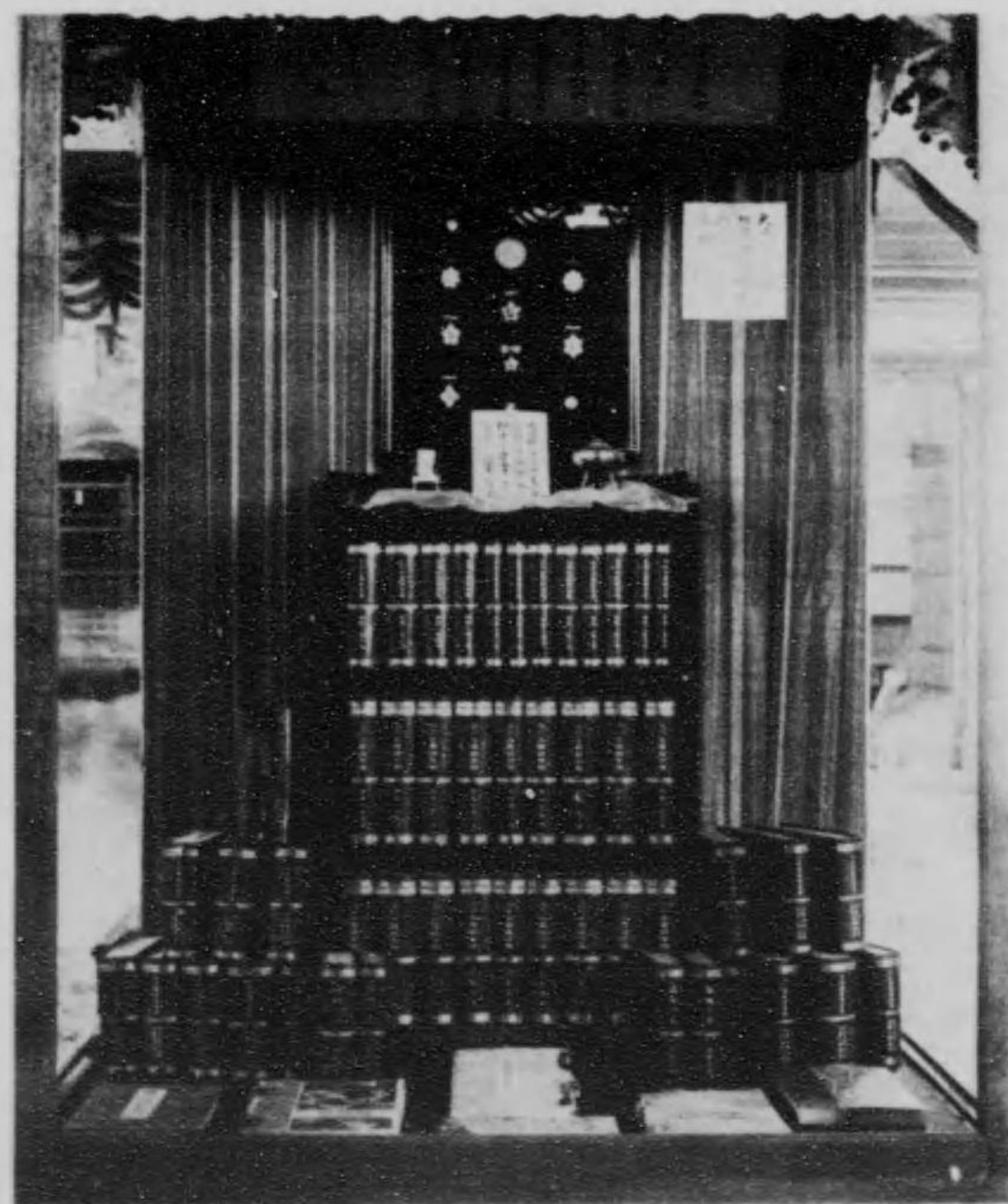
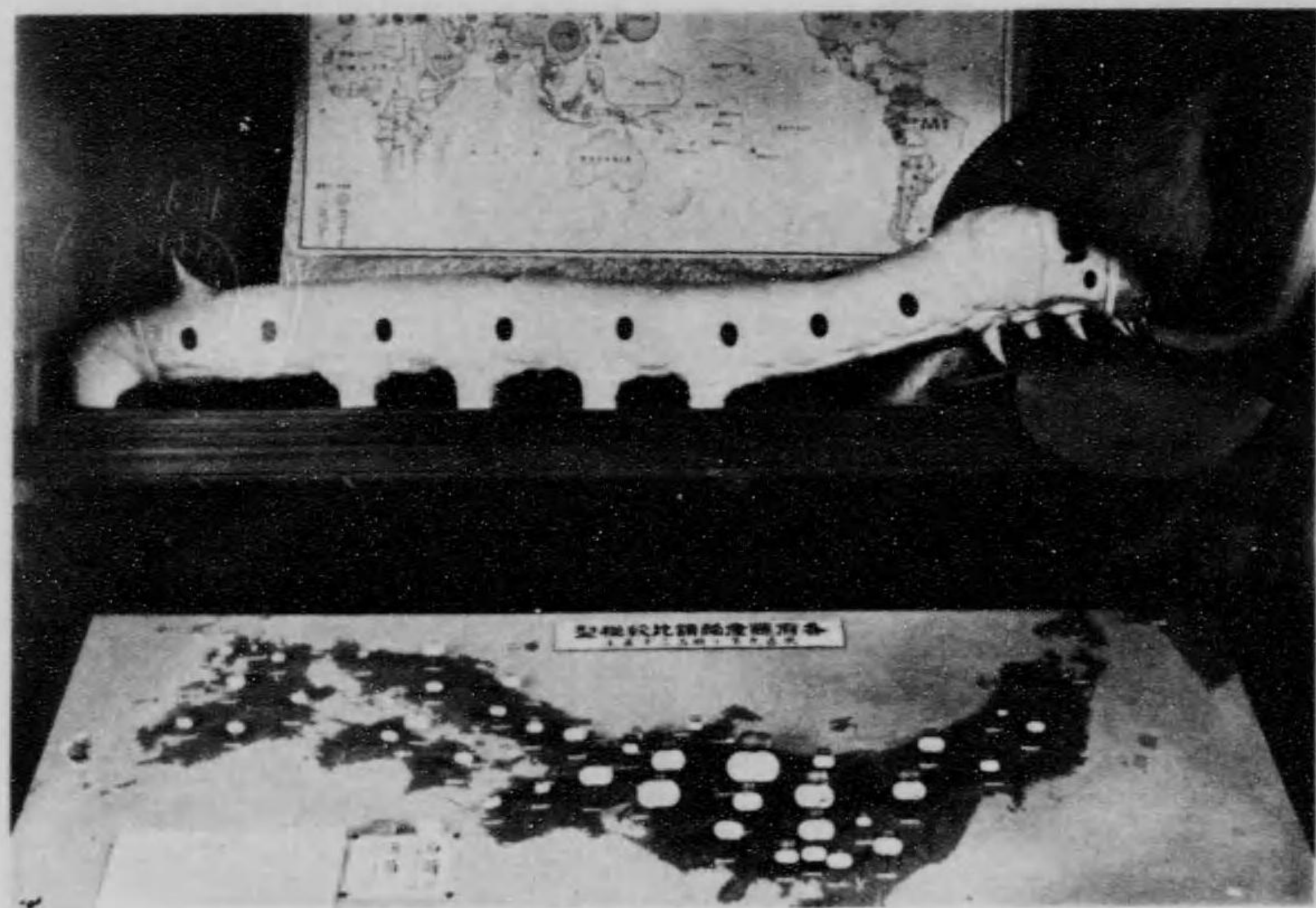
### 蠶絲の光、一般養蠶者の爲又婦女子等の爲記事文章共(平易にして解し易からしめ以て蠶絲業の智識を一般に普及せしめんが爲め)

明治四十五年三月以降毎月發行するものにして讀者の多き地方には特に支會版を發行せり其數現在二十五版なり内外蠶絲業通信、横濱支所に於て發行する日刊通信にして本邦及海外樞要の地に通信機關を設備し内には蠶桑の豊凶、繭取引の狀況生絲市場の光景等外は米伊佛支那其他に於ける生絲の狀況價格其他内外蠶絲業の狀態を知悉せしむるが爲め大正七年五月以來之を發行せり殊に米國絹業協會と電報交換を特約し彼の地に於ける生絲取引價格等は日々正確なる報告を得て之を掲載せり

### 蠶業講義録、明治四十二年以來蠶絲業に關する講義録を發行し通信教授を爲せり

大日本蠶絲會事業成績(左の下の中段)

大日本蠶絲會創立以來三十年間に於ける事業成績の概要を編纂したるものなり



# 蠶糸館出品

農商務省

## 生絲檢驗所出品

## 東京府出品

(中央名譽大賞牌は片倉製絲株式會社の出品なり)

農商務省

## 蠶業試驗所出品

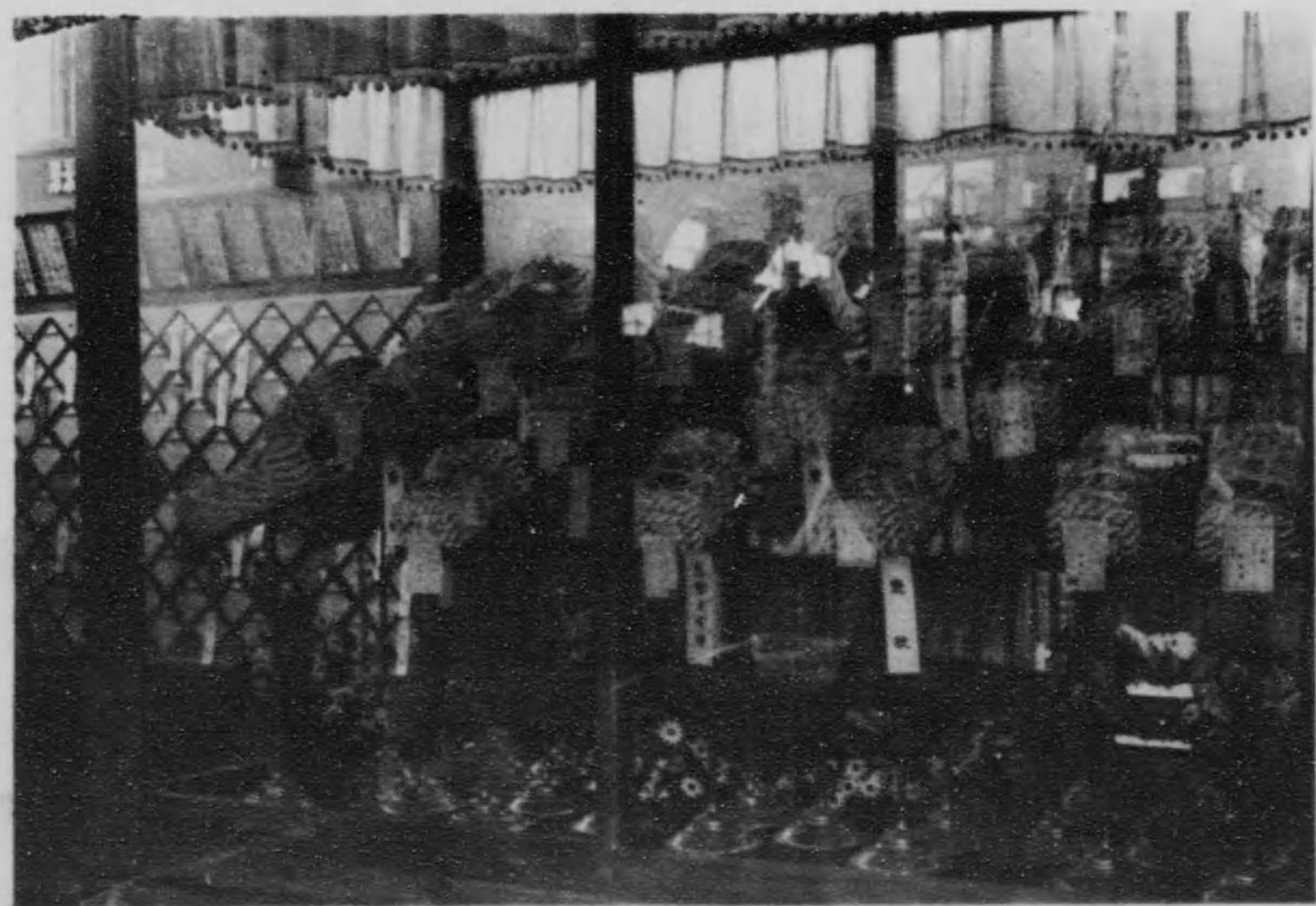
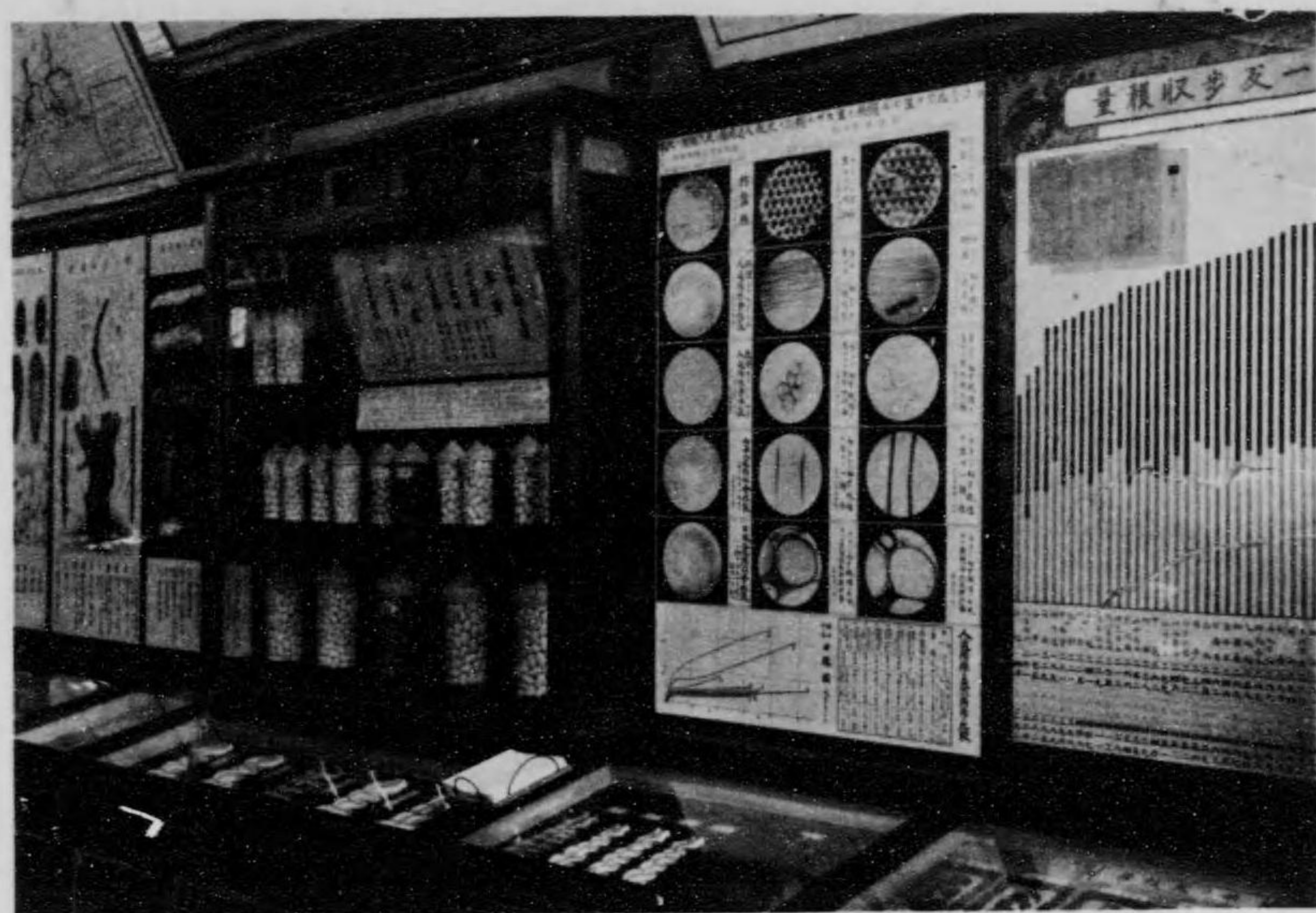
東京市京橋區墨町  
歐亞蠶業株式會社

電話 東京二〇五一番  
掛號 東京三七六一番

蠶の飼育の難易收繭歩合の多寡絲量の多少、解舒の難易及絲質の良否は蠶種選擇上の絶對的要素であります。歐洲系蠶種は輒ち此要素を具有し他種に優越したる實用的良種なることは既に斯業者の定論であります。殊に歐洲原産の直輸入蠶種が一般蠶絲業家に其の經濟的特長を認められ居ることは顯著なる事實であります。宜なるかな歐洲系蠶種は數年來驚くべき勢を以て全國に普及し我蠶絲業者經濟狀態の著しく改善せられつゝあるは之を僅に數年前に比するも實に隔世の感があります。本社は本邦蠶絲業の改良に聊か貢獻せむことを期し先年伊佛產蠶種の輸入を企劃し伊佛に於ける最も信用厚き設備の完整せる確實なる蠶種製造家と特約を結び且彼地に本社専門技師を駐在せしめ蠶種及輸送に嚴密なる注意を拂ひ最も實質優良なる蠶種を得て之を本邦蠶絲業家に提供して居るのであります。本社の輸入種は之を數年來の實績に徴するに飼育容易收繭量多く、質精良なるを以て當業者に歡迎せられ又絲量豊富にして解舒最も良好なるを以て製糸家に歡迎されて居ります。

本社は歐洲蠶種の輸入をなすと共に南部露領高架索、波斯等の諸國に本邦蠶種の輸出を爲して居ります。





營業科目 種子、苗木  
農工、農書  
肥料、雜貨

東京 澁野川町 (山手線)  
板橋駅前

帝國種苗殖産株式會社

電話 板橋一一九番

振替 東京五九一六番 (御支店用)  
口座 東京八六六〇番 (直支店用)  
電信 受信 トウキヤウ ワウジ  
略號 テウキヤウ

### 農産館蔬菜種子十點

帝國種苗殖産株式會社の蔬菜種子出品の其陳列法は同館に於て確に一異彩であるお手前物の玉蜀黍を以て蘇鉄を作り庭園に仕立て出品種子の配別をなし進歩した新しい方法である殊に同社は日本に於て蔬菜種子の生産地として世人の知る東京府下の澁野川に在つて同地の權威者なる五間屋の今同組織せる株式會社にて常に最善の種苗を全國及び朝鮮支那に供給し居るの外歐米各國にも多量に輸出し我が國に於ける權威ある種苗會社である。

### 盆栽十點

帝國種苗殖産株式會社の盆栽は同社秘藏の物であつて黒松の如きは實に幾時代を経た古木で雄壯な物である蘇鉄の一對は斯くも同じ形態をなしたものがあつかふ程で珍らしい奇しき物で玄關先其他一對として配列するに最も適するものである初雪かつらの一鉢は美事なる古い大株でありて之が芽萌の頃は實に美しくしい。

尙此外珍奇として一般觀覽者の呼物となつた食虫草五種は植物學者の參考ともなり一般人士の驚異を以て迎へられた。

農産館 出品  
林業館

東京市下谷區上根岸町

東京植物病院

電話 下谷六六四二番  
振替 東京五八〇六四番  
關西出張所 京都市佛具屋町通花谷町下

### 一、植物病院部

畏くも宮城禁裏内苑、御濱、霞關、赤坂、名古屋、二條等の各離宮、京都、青山の兩御所、日光小田原、静岡等の各御用邸の樹木保護及び伊勢大廟の御神木の監理を始めとして、各官幣大社、各宗本山其他の社寺佛團に於ける樹木保護に就て囑托を受けたり。

尙一般の依頼に依り、庭園、森林、公園其他の樹木の診察をなし、植物病虫害の検査、樹木植付保護、森林の視察、農作物園藝植物の培養に關する相談に應ず。

### 一、研究部

各種植物の障害保護、生育遺傳の研究等を主とし、一般の依頼に應じて、病虫害及土壤の検査、樹齡、地下水等の査定、煙害調査、肥料試験及び植物營養試驗等をなす。

### 一、名木調査部

全國の老樹各木に關する傳説、記録の蒐集、樹齡、生育狀態の調査、其他名勝舊蹟、河川湖沼等の調査を以て主となす。

### 一、營業部

各種の山根式噴霧器、其の附屬品、及び植物用藥品、園藝專門肥料の販賣、其他農益業、園藝用器具の取次販賣をなす。

### 一、庭苑部

各種庭園、公園、遊園地、名所地の設計、造庭、其他の事業を以て主とす。(目下内閣印刷局の庭園を設計改造中なり)

### 一、園藝部

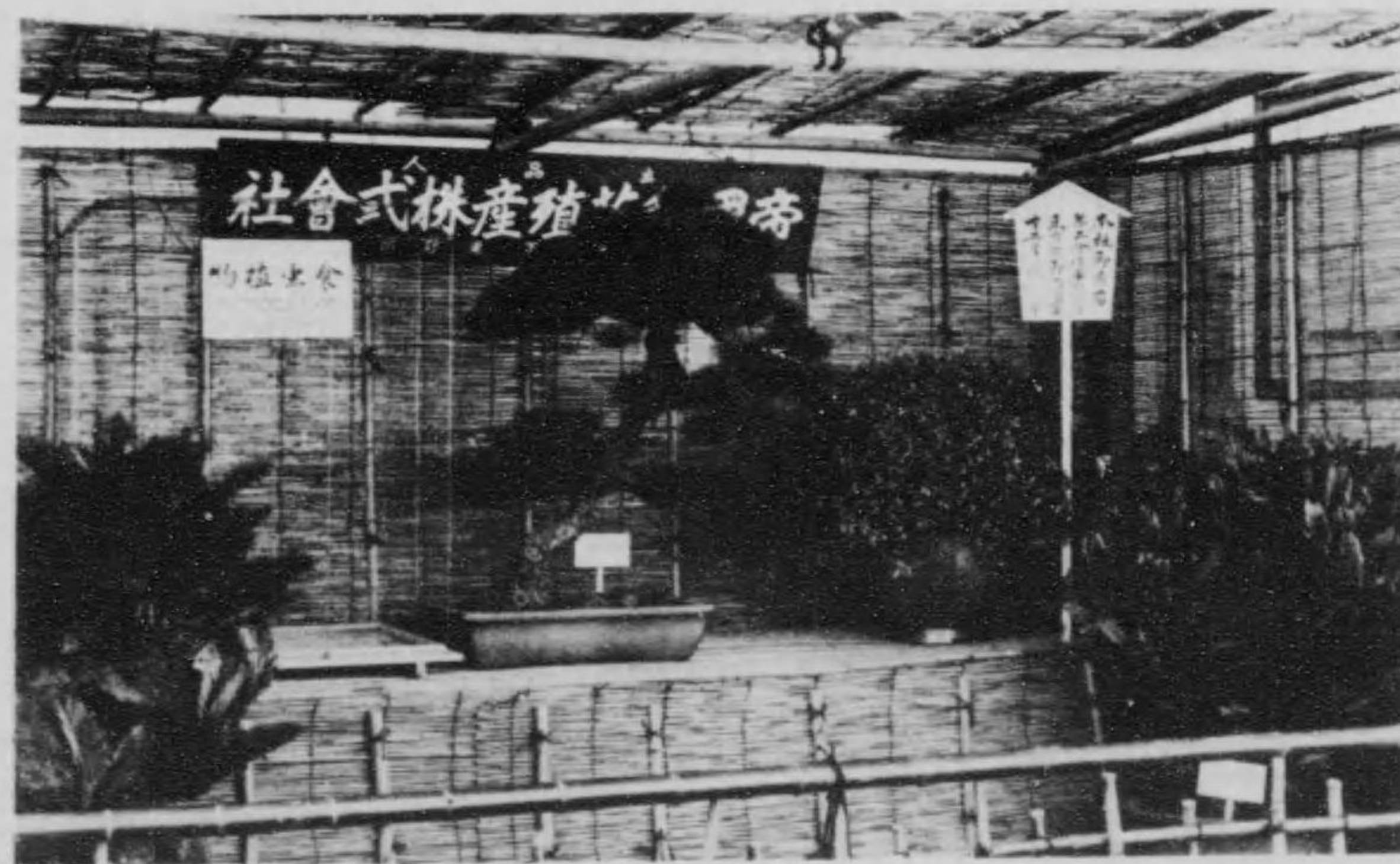
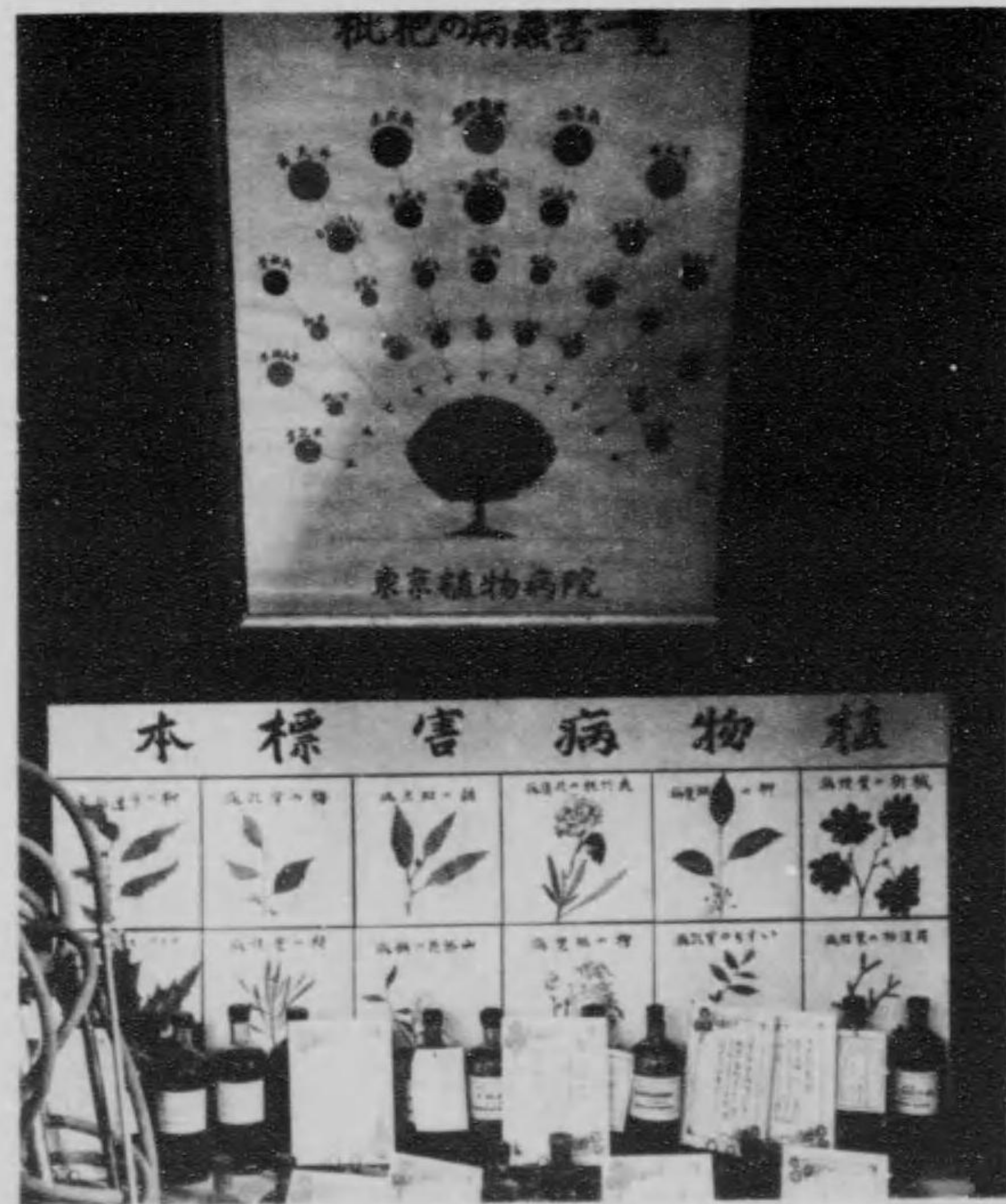
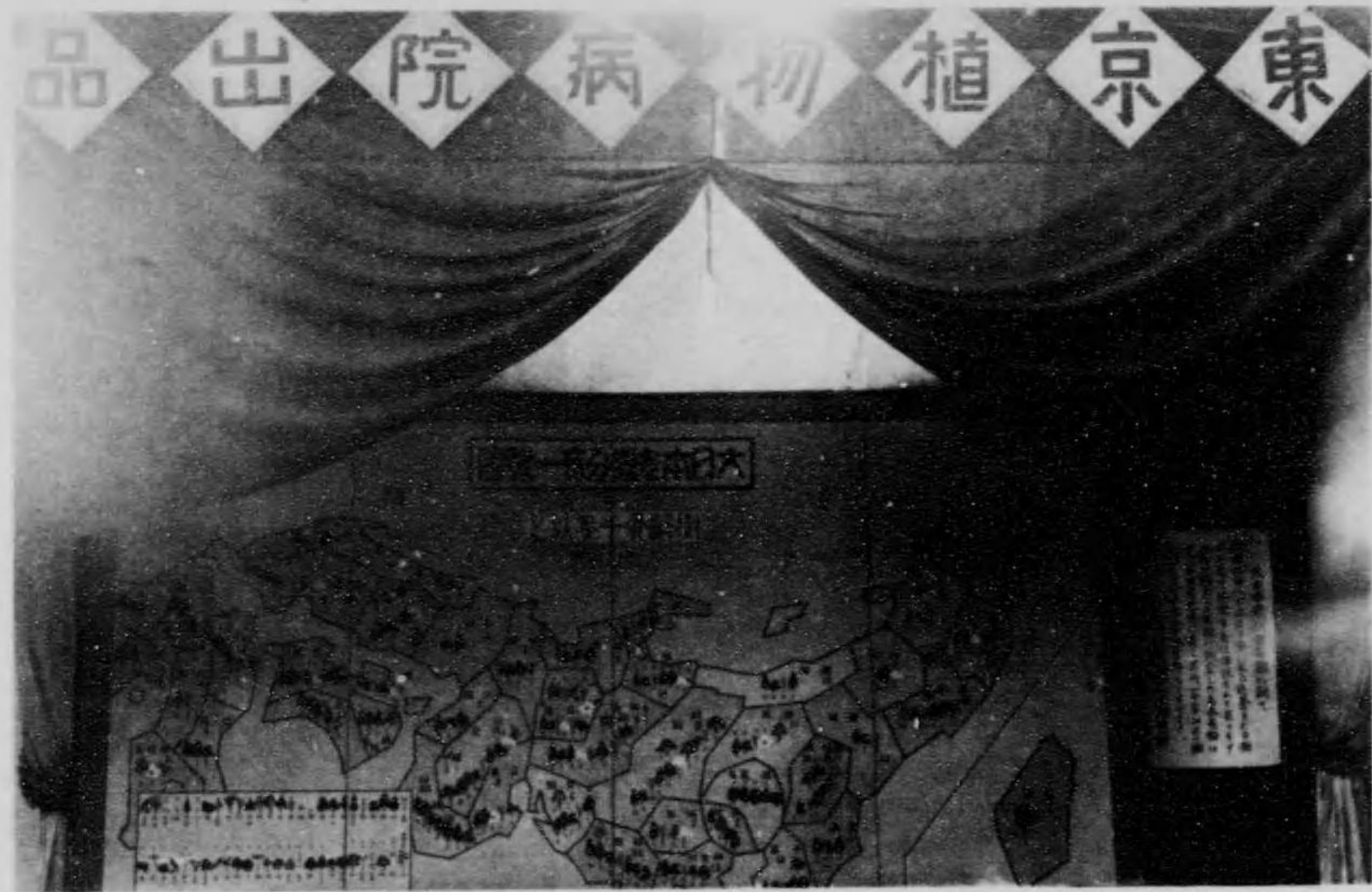
花卉の栽培、温室花壇等に關する相談に應じ、果樹園の設計、盆栽の培養、其他園藝一般のことに關す。

### 一、社寺樹木救濟部

社寺、公園等の樹木、其他學校青年會等公共團體に屬するもの、特別取扱に關する部なり。

### 一、關西出張所

京都に設けたる分院にして、主として關西地方の需めに應ずるの便を圖れり。



社寺、公園等の樹木、其他學校青年會等公共團體に屬するもの、特別取扱に關する部なり。  
 一關西出張所  
 京都に設けたる分院にして、主として關西地方の需めに應ずるの便を圖れり。

農産館出品

噴霧消毒器... 製造發賣元 清水商店

方今人智の發達するに隨ひ噴霧器需用益々起り其使用區域の廣大なる事擧げて數ふべからず從て此器の供給所々に起り各自競ふて簡便多効を期せり然りと雖も一得一失未だ完全のもの有るを聞かざるは遺憾とする所なり同所製作の清水式自動噴霧器は多年工作上に研究を重ね在らゆる噴霧器の缺點を考察し改良に改良を加へ今や何れの方面へ使用するも聊か遺憾なき迄に達せるを信するものなり。

- 一、裝置簡易なるが故に構造頗る堅牢價格亦低廉掃除容易なり。
一、空氣壓力の作用を藉り自動發噴するものなれば一人の手にて良く使用の目的を達す。
一、本器は噴霧口取外し使用するときには噴水が猛烈なるが故に防火器としても應急の効最も著大なり。

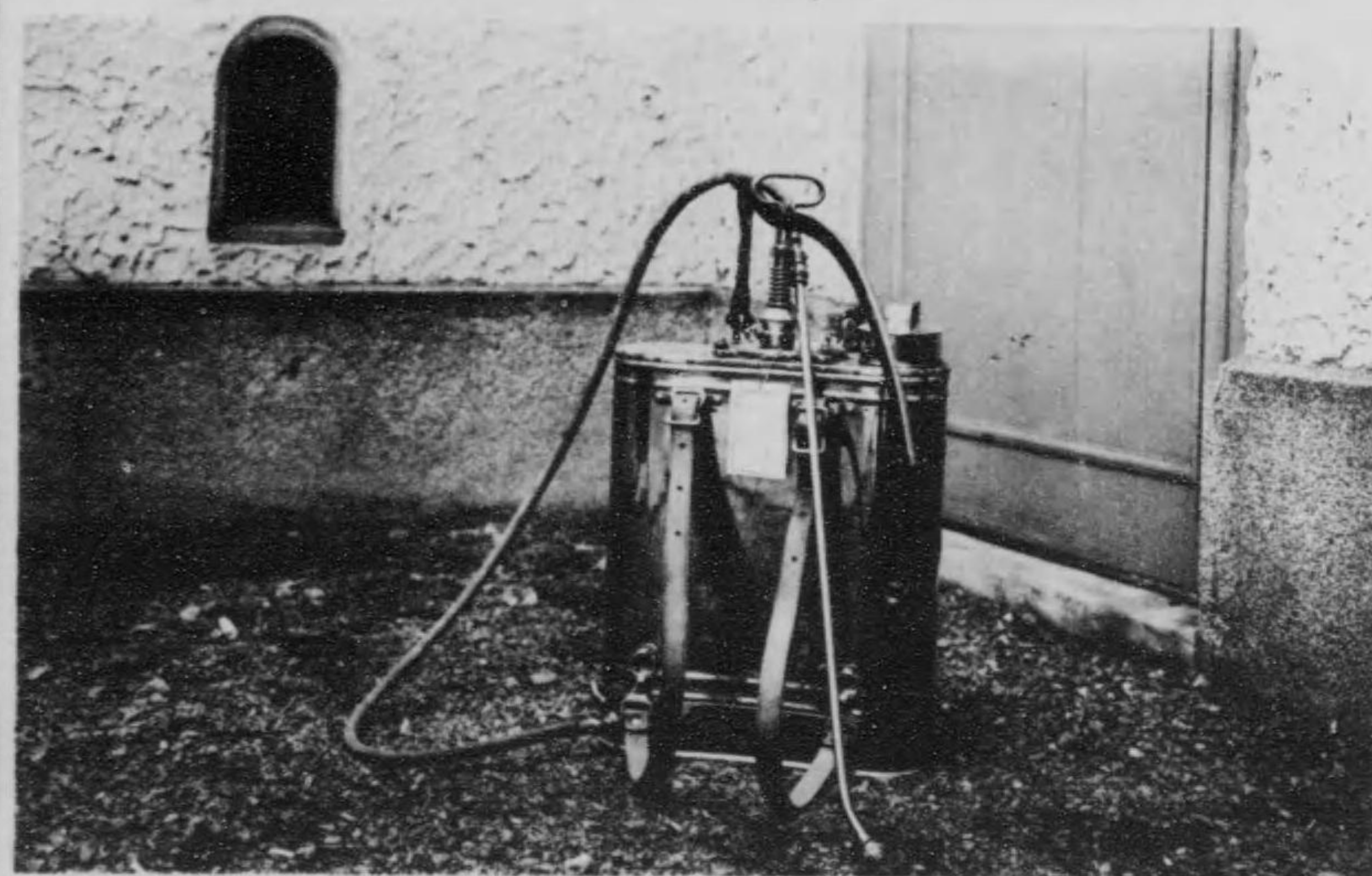
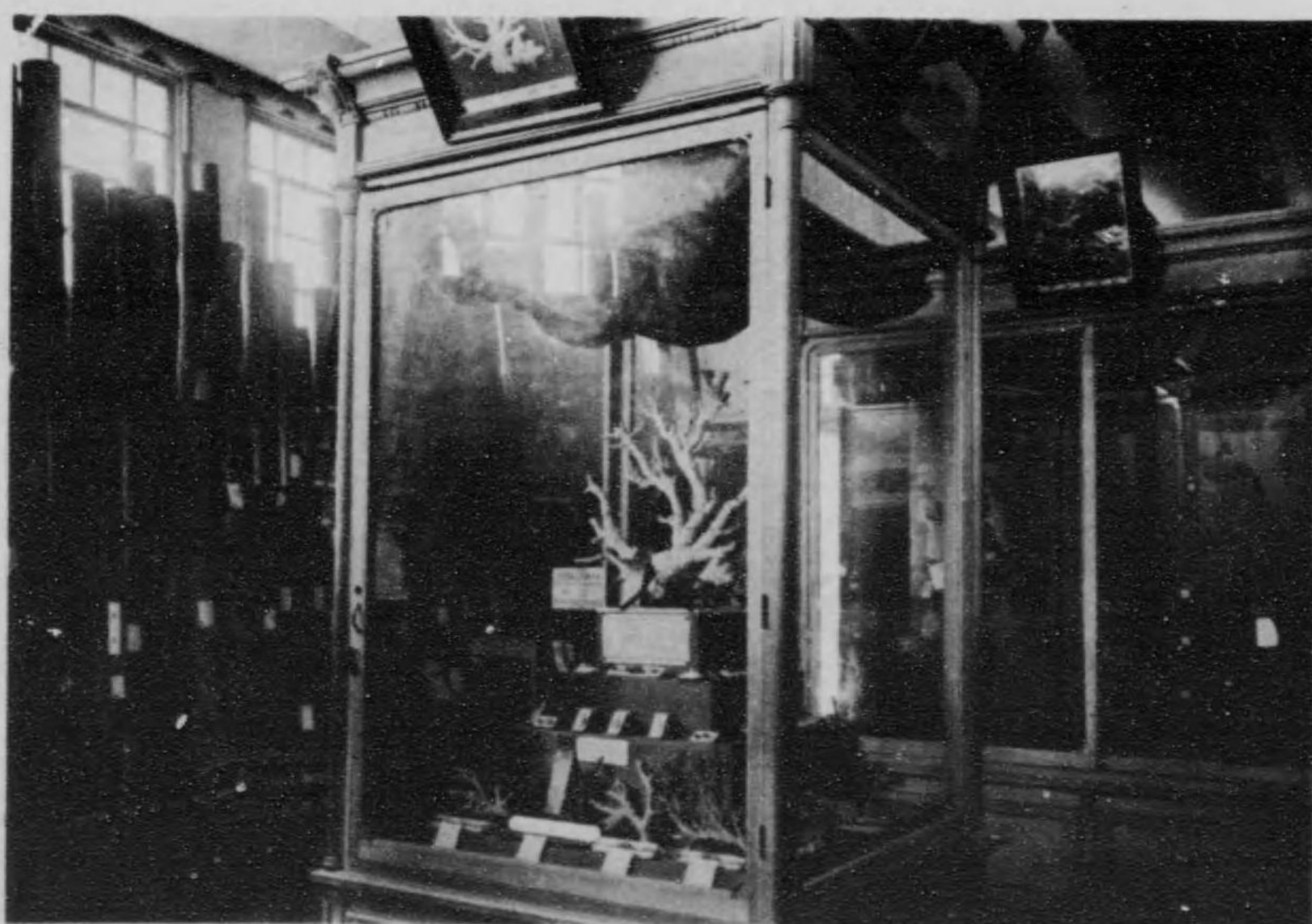
小笠原島の出品

小笠原島の出品は民間出品並に参考品として官廳出品としての農産物、林産物、工産物、水産物、畜産物等其各部に亘り其多くは本島特産物にして重要なるもの多し...

諸官署御用 製造發賣元 白龍社 白龍社製筒製作所

本器は實用經濟且使用の際逆水する慮なきを以て有功證明を拜受せり。

方今人智の發達するに隨ひ噴霧器の需用益々起り其の使用區域の廣大なる事擧げて數ふべからず從て此の器に付き各自競ふて研究すると雖も未だ其の効果の顯著にして完全なる器有るを聞かず弊社は多年茲に工作上に研究を重ねあらゆる噴霧器の缺點を考察し改良に改良を加へ專賣特許を得て何れの方面に使用するも聊か遺憾なき迄に達せり。



放ち黄島其間には初五十月を隔らすして霜雪を見ざるは勿論草木は四時綠色を呈し藪圃の花卉は變るべく開發し異芬香を  
 すべきものなきのみならず流行病の蔓延する事なく又蛇蝎の忌むべきものなし之れ所謂樂天地と稱すべき乎。

# 品出館械機及業林

名古屋市東區水筒先町二丁目

## 河本製機所

東京材木問屋

萬信 京市深川區久永町

## 太田信治郎

電話本所 三三三八番 商  
三三三六番 住宅用  
三三三五番 工場用

問屋	部	諸材木販賣
製材	部	挽材製品販賣 實地探問
山林	部	伐採開墾 植林開墾
納材	部	諸官省 諸社省 諸官社省 納材
輪出入	部	米國材直輸入販賣 英國材直輸入販賣

帝國森林會は戰後内外經濟界の情勢に鑑み我邦林業振興の一日も忽諾に附すべからざるを認め全國に於ける有力なる、業家並に林學専門家の協力に依り組織せる財團法人にして設立後尙ほ日淺きも（大正十年二月八日法人設立認可）一意適切なる施設を考究策し以て斯業の發展に努めつゝあり。今春東京府主催の下に本和記念博覽會の開催せられしを機とし本會の組織及事業の概要を録し併せて本邦に於ける模範的林業の寫眞を出品して一般入場者の觀覽に供し且林業に關する活動寫眞を本和館内に於て隨時映寫し以て廣く林業思想の鼓吹を圖れり。乃ち本寫眞版は第二會場林業館内に於て真徑一間、高さ四間の杉の神木を模造し其樹幹の内部には電力に依りて自動的に廻轉する各種林業寫眞を裝置之を樹幹の周圍十六箇所に取附けたる擴大鏡によりて觀覽する設備にして内部の寫眞はガラス板に美麗なる彩色を施し電燈光力によりて之を透視するものなり。（審査詳選）

東京市赤坂區溜池町一番地  
財團法人 帝國森林會  
會長 男 武井 守正  
副會長 林學博士 本多 靜六  
常務理事 林學博士 右田 半四郎  
電話 七三三〇番

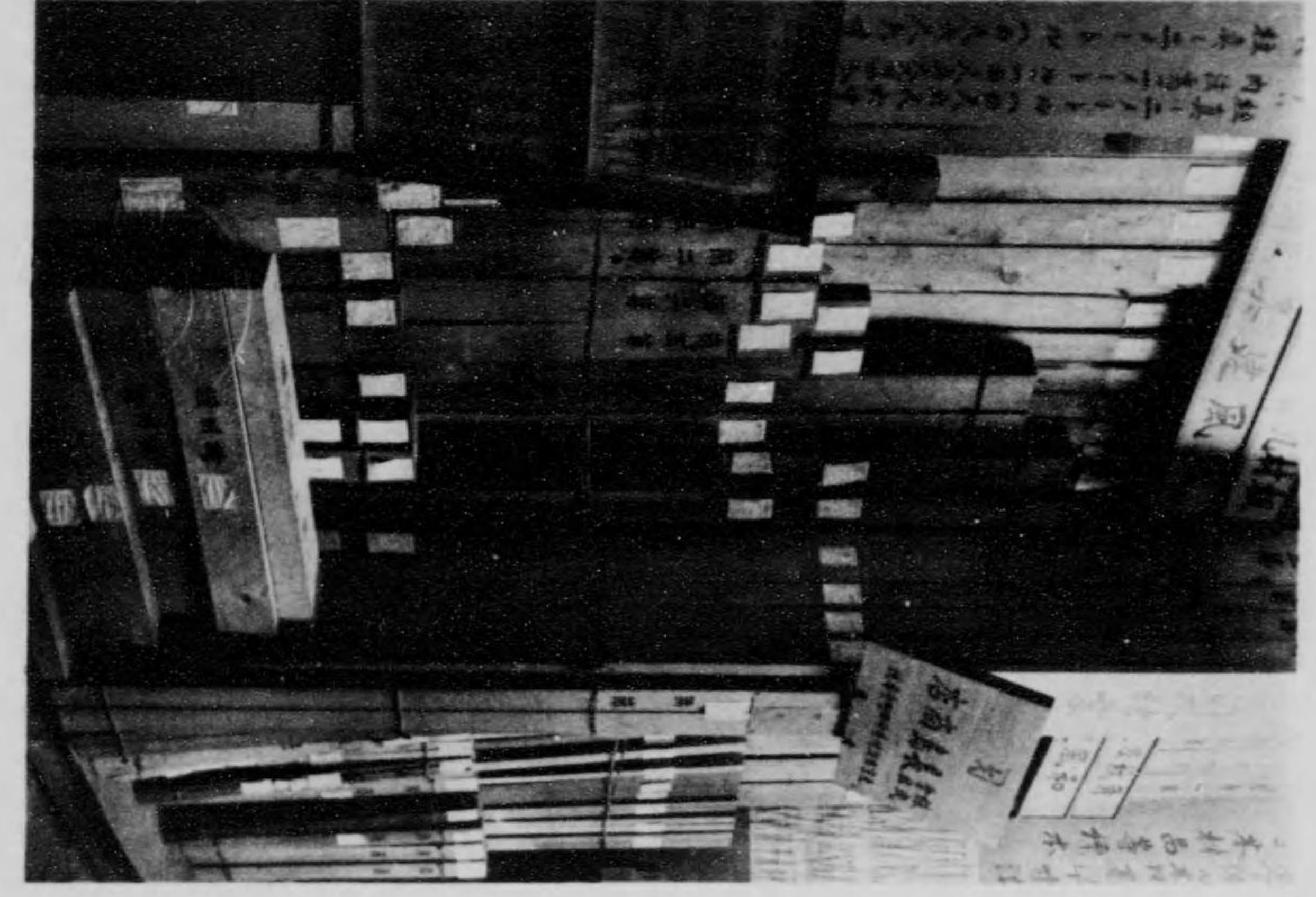
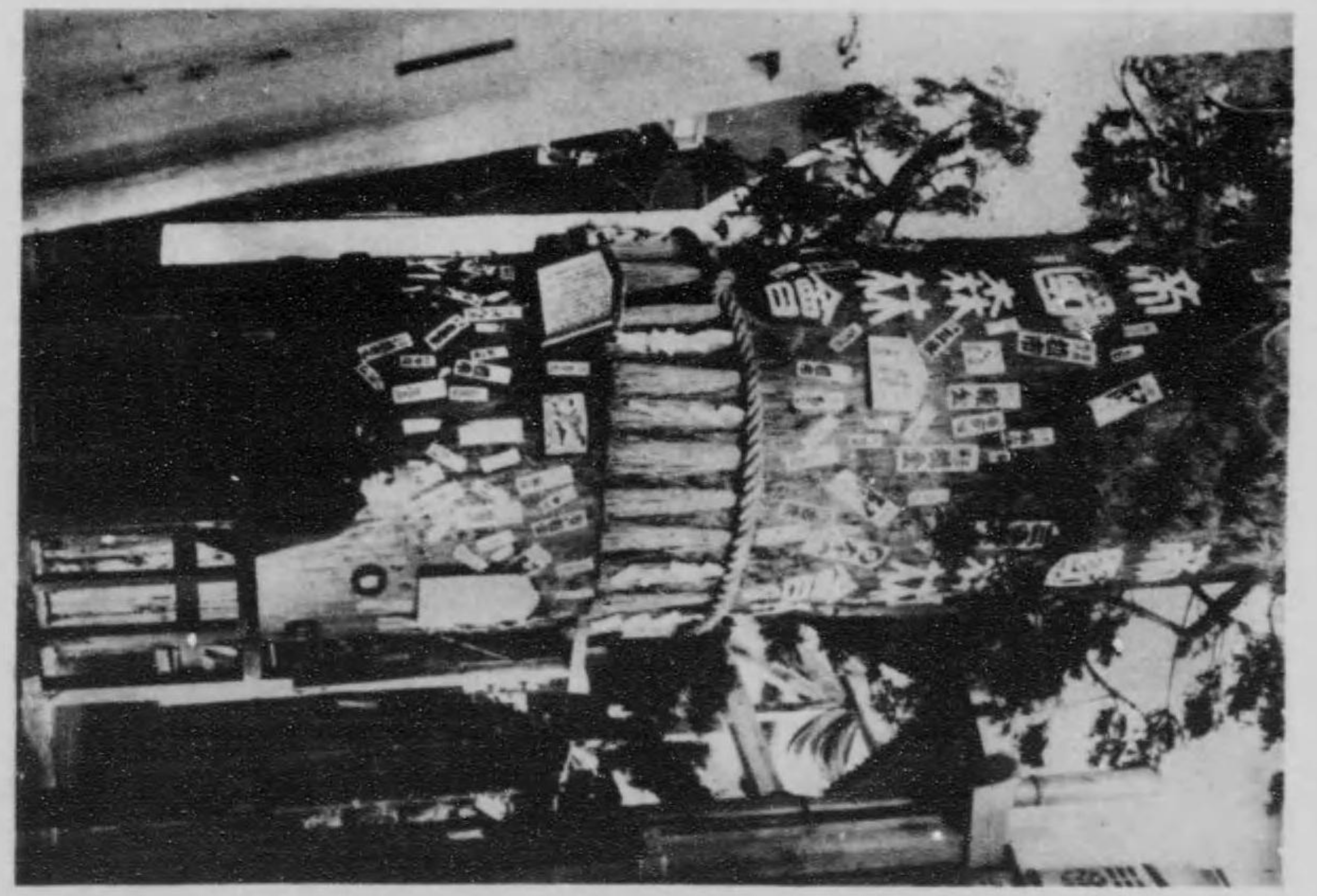
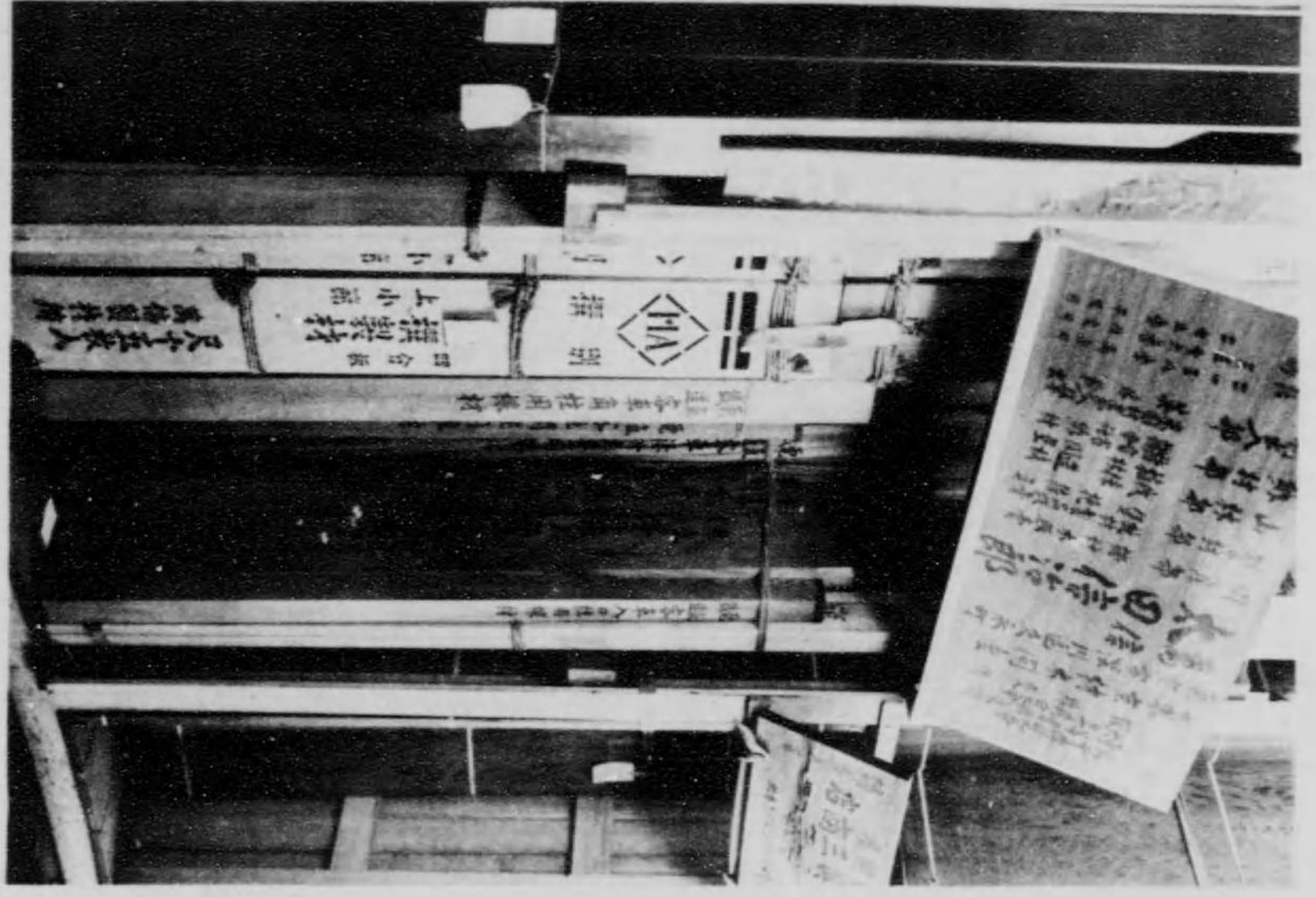
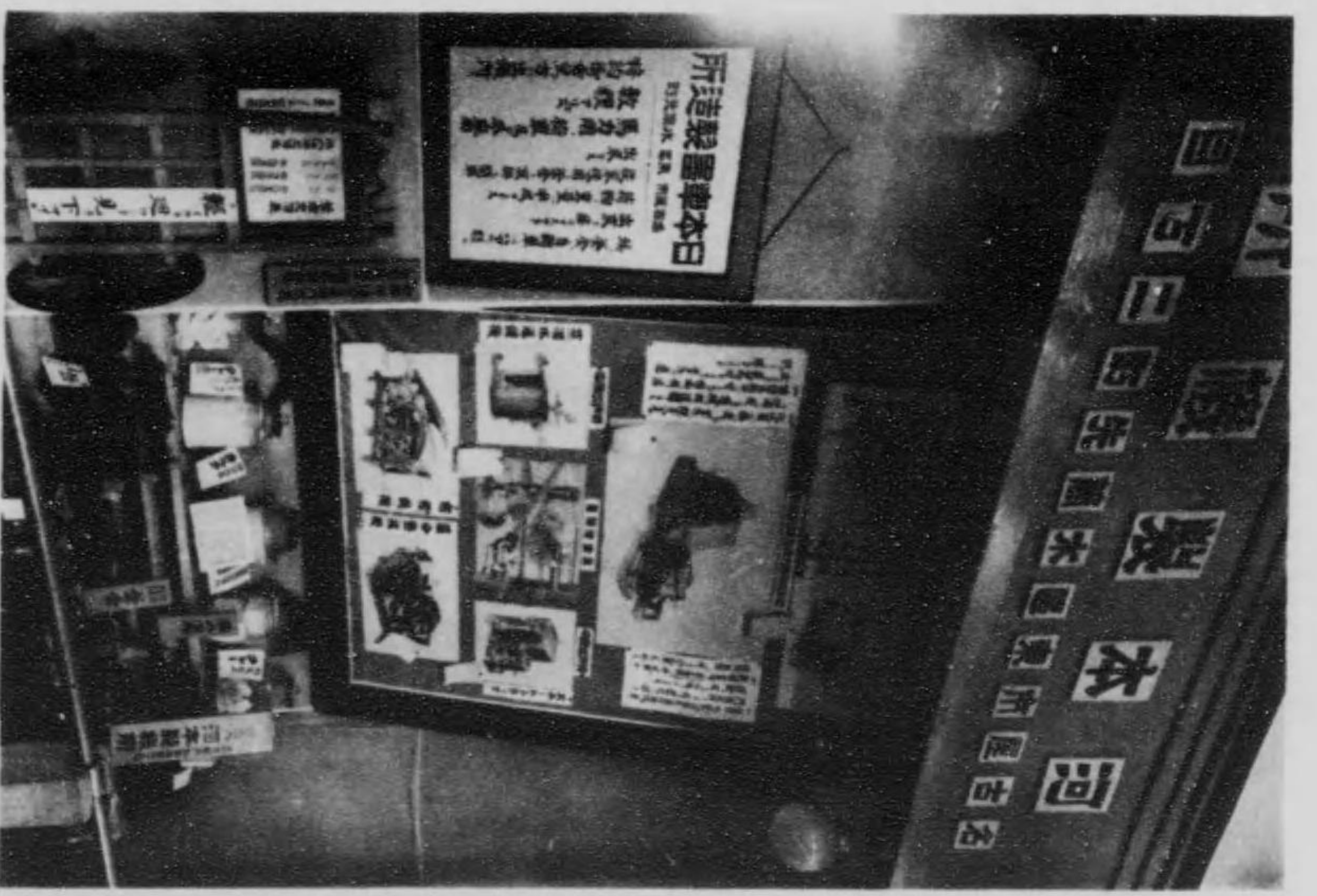
株式會社長島商店は内外各種木材の製材販賣を業とし明治四年中の開店にして當時木場第一の木材業者たりし小崎次郎兵衛商店に支配を爲せし先代長島壽助氏が獨立開店せる者なり現社長壽助氏は其男にして明治三十二年中業を繼ぎ三十六年に至り製材所を三好町に設け次で大正二年現在の千町町香番地に工場を設けると共に營業場をも移せり大正八年四月株式組織に更めし事業は依然長島一家の經營に係る製材所は現在關東に於ける最大なるものにして製材機鉤機を併せ拾數臺を備へ製材年額拾餘萬石に達す是等製材は各官廳を初め大倉組清水組等に供給せらるる近くは三越増上寺明治神宮丸の内ビルディング其他著名の大建築用材は主として其供給に因る社長長島氏は大正三年中歐米に於ける同業を視察し歸來彼の長を採りて營業の發展に資せり、又近時生活改善の第一歩として研究しつつある建築材料聯合調查會には委員として參畫し遂に木材基準寸法を制定せられしは人の知る所なり、今回平和記念博覽會開催を機とし曩に調查會にて制定せし基準寸法に尙幾多更改を要する點を加味せし標本を出陳せられしに審査の結果金牌受賞の名譽を荷はるゝに至れり

株式會社 長島商店  
東京市東京市深川區千田町一番地

認請に附すべか  
に依り組織せる  
認可(一意適切  
専主催の下に本  
業に關する活  
り。乃ち本寫  
造し其樹幹の  
樹幹の周圍十  
はガラス板に  
排選)

店

開店して當  
長島吾助氏が  
繼ぎ三十六年  
場を設けると  
長島一家の經  
を併せ拾遺臺  
組等に供給せ  
築田材は主と  
し歸來彼の長  
しつある建  
らしは人の  
せし基準寸法  
果金牌學賞の



# 日本特殊鋼合資會社

東京府下大森町

## 製品科目

高速度鋼	普通工具鋼	飛行機用鋼
スプリング鋼	マグネット鋼	製釘用ダイス鋼
各種カッター	各種リーマー	各種タップ
各種ドリル	各種ホップ	各種ゲージ
年産額	壹萬噸	

本會社は、大正四年十一月創立し、横濱市渡邊福三郎一家の營に係り、工學博士渡邊三郎代表社員として、専ら業務を擔當し、工場各部には多年斯業に經驗を有する技術員と職工とを従事せしめ、國防自衛、自給自足の國策に鑑み、専心研究努力し、從來必秀と稱せられたる外國品を凌駕し、内地産業獨立の實を擧げ、優良なる特殊鋼を普く工業界に供給し、飛行機、自動車、高級工具及高級諸機械等に盛に使用せらるる就中、工具類及マグネット等は、當社特製の鋼材に基礎的の學理を應用し、熟練せる技術を施し、完全なる設備の下に製造するもにして、嘗ては農商務省主催の工作機械展覽會に於て名譽ある一等賞を得、今又平和記念東京博覽會鐵産館に特殊鋼工具用鋼を航空館に飛行機用鋼を出品、兩館共に光輝ある名譽賞牌を得、現に陸海軍省並鐵道省の指定工場たるの光榮を擔ふ。

# 日本石油株式會社

東京市丸の内

當社は明治二十一年五、北越殖産協會は故山口權三郎氏及現社長内藤久寛氏の調査主唱に基き、夙に石油事業の將來を豫見して、日本石油會社を創立せり、當初資本金十五萬圓なりしが、爾來社運の發展に伴ひ、數次増資の結果、大正七年には四千萬圓となり、更に大正十年實田石油會社と合同し、一躍八千萬圓となれり。

次に當社所有の鑛區は、新潟、秋田、山形、青森、長野、静岡の諸縣をはじめ北は北海道、南は臺灣に及び、出油井三一八ヶ坑、掘進中のもの九十九ヶ坑、位置選定及工事中七八ヶ坑にして、各鑛業所から産出する原油は、現在約六千石に上り、直江津、柏崎、新潟、新潟(以上新潟)、秋田、二田(以上秋田)、相良(静岡)、輕川(北海道)、苗栗(臺灣)の各製油所に於て之れを精製す。

尙外にアスファルト工場を東京及大阪に設け、秋田の産地より輸送するアスファルトを各種の用途に應じて、更に夫に加工しつゝあり。

當社製品販賣所は、現在東京、大阪、下關、柏崎、秋田、小樽の六ヶ所にして、本社營業部販賣課之を轄せり、本社は正副社長の下に、左の三部九課を設け、一切の事務を總轄す。

- 現任正副社長及部長は
- 取締役社長 内藤久寛
  - 取締役副社長 橋本圭三郎
  - 専務取締役 經理部長 田中次郎
  - 同 營業部長 津野紋太郎
  - 取締役 鑛山部長 中野鐵平

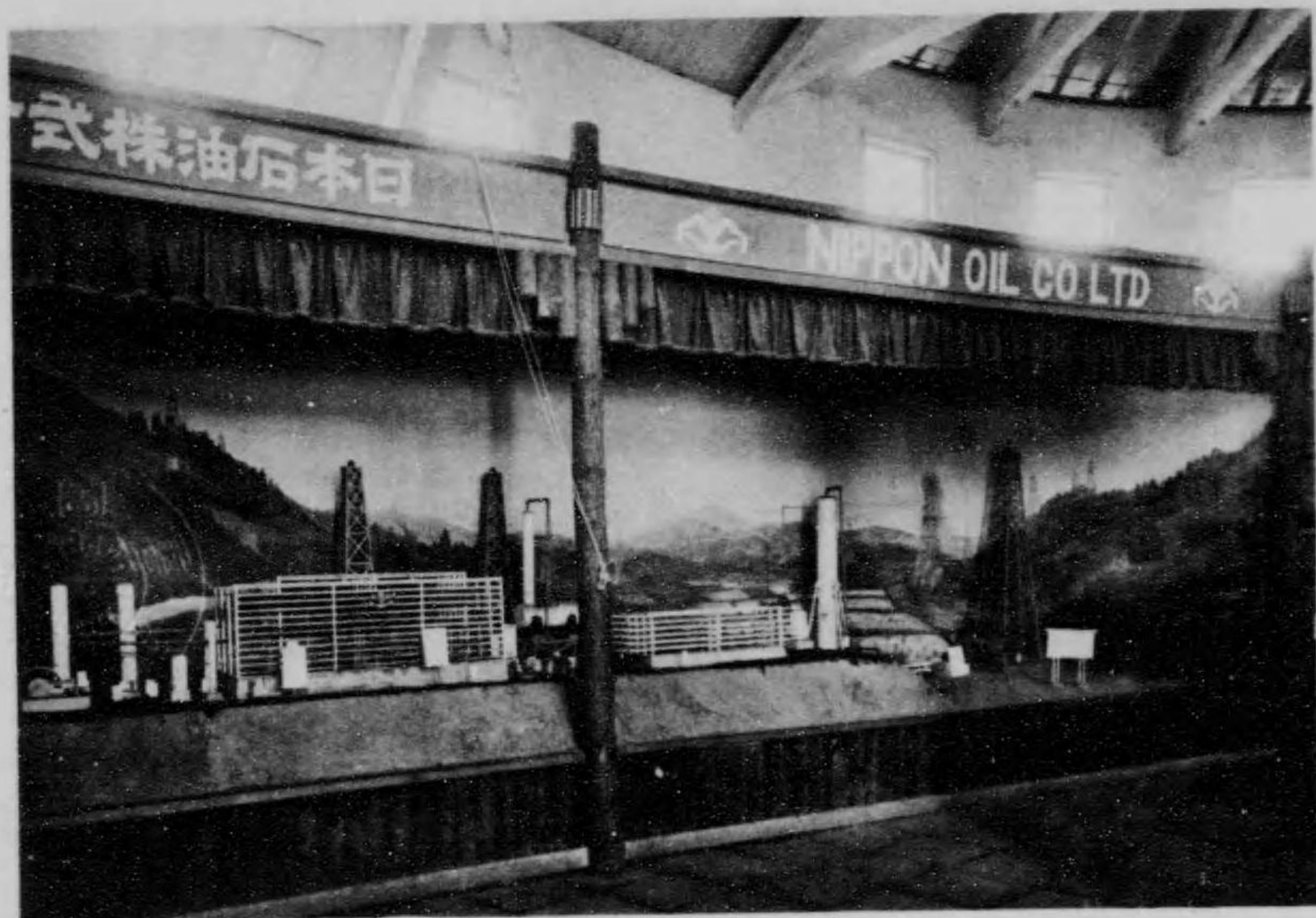
# 三井鑛山株式會社

本店所在地 東京市日本橋區駿河町一番地

## 事業所ト其所在地

- A 石炭山
  - 三池鑛業所.....福岡縣大牟田市
  - 田川鑛業所.....福岡縣田川郡後藤寺町
  - 山野鑛業所.....福岡縣嘉穂郡稻築村
  - 砂川鑛業所.....北海道空知郡砂川村
  - 川上鑛業所.....樺太豊原郡豊北村川上
- B 金屬鑛山
  - 神岡鑛業所.....岐阜縣吉城郡船津町
  - 串木野鑛業所.....鹿児島縣日置郡串木野村
- C 工業所其他
  - 三池染料鑛業所.....福岡縣大牟田市
  - 三池製煉所.....同
  - 三池製作所.....同
  - 三池港務所.....同
  - 神岡水電建設所.....岐阜縣吉城郡船津町
  - 事務所.....福岡縣大牟田市
  - 三井工業學校.....福岡縣大牟田市





取締役社長 內藤久寬  
 取締役副社長 橋本圭三  
 專務取締役經理部長 田中  
 營業部長 津野  
 取締役鑛山部長 鐵太郎

三池港務所  
 神岡水電建設所  
 事務所  
 三井工業學校  
 岐阜縣吉城郡船津町  
 福岡縣大牟田市

# 貝島商事株式會社

本邦産炭地の随一、筑豊炭田の開発以來身を立て産を起せるもの少からざるも特に一際異彩を放てるは貝島太助翁なり宜なり炭鑛王の稱ある、翁は宛然西國立志傳中の人にして其業績廣く人口に膾炙す、今又茲に贅せず、翁は明治十八年福岡縣内大之浦鑛區の開鑿に従事せしが爾來漸次其鑛區を擴大し四十二年貝島鑛業株式會社を設け其所有鑛區二千有餘萬坪内稼行鑛區約壹千萬坪、年産額百五十拾萬噸内外に達したり、翁の歿後其事業は其諸子により營まれ従前の鑛業會社外、貝島合名會社（資本金四千五百萬圓）貝島商業株式會社、大辻岩屋炭鑛株式會社（貝島鑛業會社及上記二社各資本金一千萬圓）等を設立し益其事業を擴張し、炭界に於ては三井三菱と覇を争ふの盛觀を呈するに至れり。

會社所屬の炭山は常に最新の智識と最新の機械を利用し遺憾なく其威力を發揮し居れり、殊に菅牟田三坑の如きは規模雄大、施設完備、共に斯界の驚嘆推稱して本邦第一となす所なり、今同社の土砂灌填採掘法を簡叙し之が經營振りを窺知する一端とせん

土砂灌填法に依れば貴重なる地下埋藏炭を残りなく採掘し得べきと共に地表陷没の憂を絶ち、其無用の採掘跡を存置せざることは通風をよくして瓦斯爆發の悲惨事を防過し、又漸次拂低し行く坑水を節約し得べきなり、燃料問題の喧傳せらるる今日、國家的見地より見るも特に當業者の熟慮に値す、況んや桐野二坑の如き再度の爆發を見ざるもの豈忽諾に付すべけんや、されば大之浦各炭山は本法を採用し、巨資を投じて其規畫經營天下に冠絶する設備を施したり、採砂場は隣接地庄司と原田の二地に在り、中にも庄司採砂場は面積三十三萬坪、砂量六百萬立坪を有し砂質は風化せる花崗岩にして何等雜物を混入せず、灌填用としては眞に理想的のものなり、土運専用鐵道は延長六哩に及び菅牟田、桐野滿之浦各炭山の坑口に接す、土砂採掘にはスチームショベルを用ひ目下庄司に四臺、原田に一臺を備ふ、一臺の能力一時間四十立坪即ち每一分半に一立坪の土砂を採掘し且つ貨車に積載し得べし、土運車は其容量一立坪にして其數百三十臺あり、又機關車は三十噸廿噸十五噸の各種各二臺乃至三臺あり、而して各炭坑口に近く六〇立坪乃至三二〇立坪の土砂溜を設け壓力一五〇封度、水頭三〇〇尺の唧筒を用ひ一時間能力六〇立坪の充填をなし得べく設備せり、瀝水用水は坑内の循環内に待ち瀝水量は砂水各一の割合なり

## 鑛山館出品

### 福岡市極樂寺町三十五番地 中島鑛業株式會社

電話六五六番 一三〇一番

營業部並	福岡縣若松市本町二丁目百六十六番地	電話四四一	現場 若松 三五八番
支店	全縣門市東本町二丁目三百二番地	電話九五・一	現場 一、〇三二番
支店	大阪府西區湊屋町八番地ノ八	電話 西一、三七八番	西一、三七八番
出張所	名古屋市西區上堀川町四番地	電話 西一、七〇七番	西一、七〇七番
出張所	名古屋市海岸通り十二番地	電話 本 六六七番	本 六六七番
支店	神戸市西區西紺屋町二番地	電話 三ノ宮 三八七八番	三ノ宮 三八七八番
支店	東京市京橋區西紺屋町二番地	電話 京橋 一、〇二九番	京橋 一、〇二九番
支店	福岡縣嘉穂郡穂波村	電話 一、二二七番	一、二二七番
支店	福岡縣嘉穂郡穂波村	電話 福岡 七八二〇番	福岡 七八二〇番
支店	全縣 嘉穂郡穂波村	鑛業私設電話 設置	

### 石炭採掘販賣

資本金 壹千萬圓 (全額拂込済)  
 資年産炭額 壹百萬噸  
 鐵道省、陸海軍工廠、内務省、農商務省其他諸會社工場御用





鑛 產 館 出 品

營 業 課 目

製鍊販賣	フエロチタニウム	酸化チタニウム	金屬チタニウム
------	----------	---------	---------

海軍省指定工場

東京市京橋區明石町三十四番地  
 大日本 日辰 株式會社  
 東京電話 橋本四六九番  
 東京電話 谷下二五七番  
 東京電話 村久番

過磷酸肥料とラサ島燐礦石 本邦唯一の燐礦產地ラ  
 サ島は横濱の距る南々西八百參拾哩の地點にあり年額  
 拾萬乃至貳拾萬噸を産し自社用に充つるの外全國各肥  
 料製造會社に之を供給し海外輸入礦石年額約壹千萬圓  
 を防遏す。猶本社に於ては東京及大阪に大製肥工場を  
 有し盛に過磷酸肥料並に完全肥料を製造するの外加里  
 肥料をも製造し且大阪工場に於ては晒粉其他化學藥品  
 を製造販賣す抑も過磷酸肥料は農業生産上重要なもの  
 となれば、△印ラサ過磷酸肥料を最良とす。

新南群島 は今より五年前即ち大正七年十一月より  
 探險の結果發見したるものにして七箇の島嶼より成り  
 臺灣を距る西南約六七百哩の地點に散在す。本群島に  
 は鳥糞燐礦石及窒素を含有する鳥糞燐礦石の産出豊富  
 なるを認め茲に於て同群島に技師社員鑛夫を移住せし  
 め以て採掘事業の進捗を計りつゝあり 是等は農産界  
 に頗る歡迎さるべきものにして之に加里を加ふれば直  
 に完全肥料として使用し得べく而も其採掘容易にして  
 一挺のスコップにて足り無風地帯に屬するを以て輸送  
 上の便益も亦甚だ經濟的なりとす、目下地方よりの引  
 合盛なれば今後會社は専ら此新島の開發に努力すべく  
 前途有望なりとす。

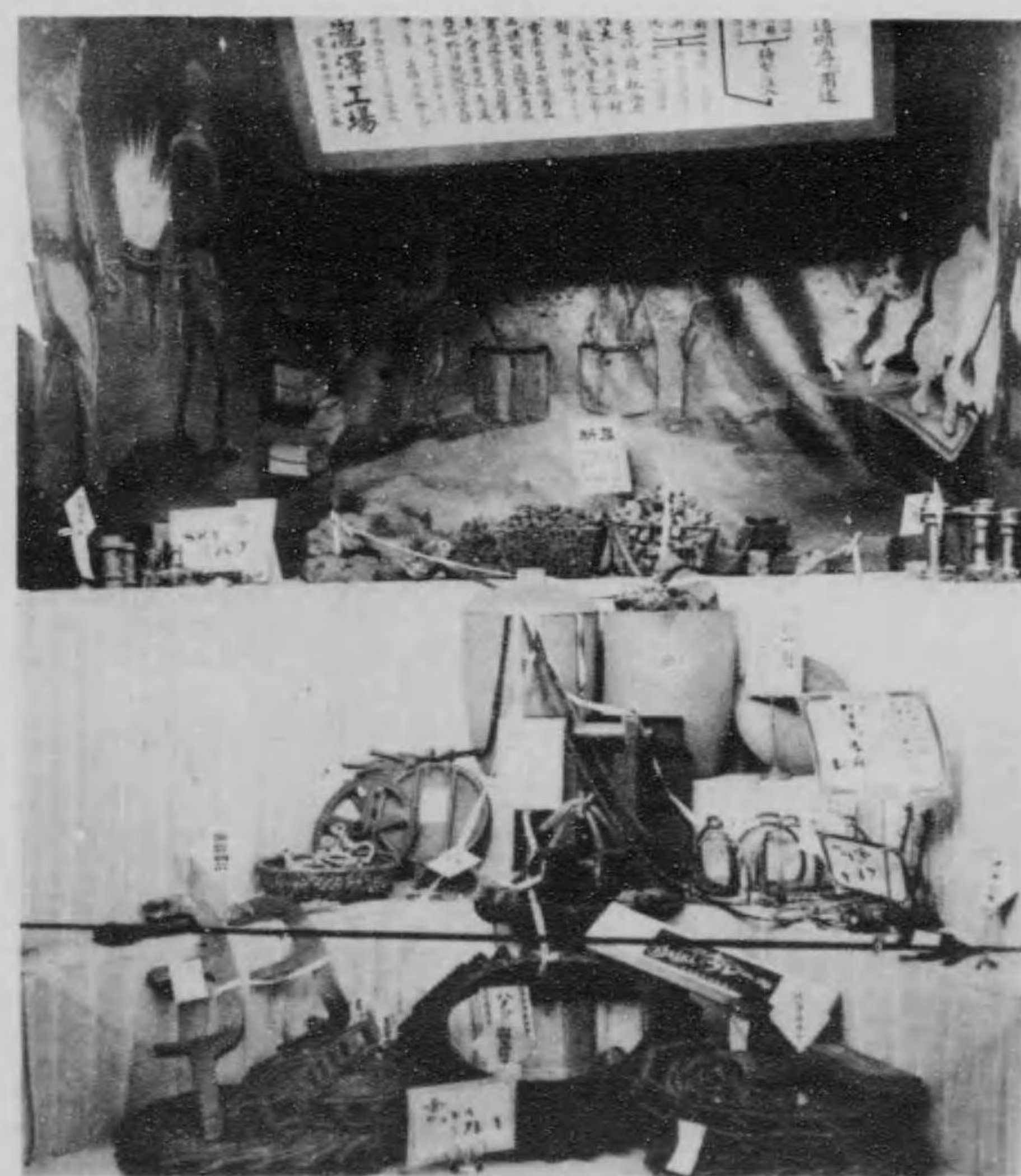
全東化畜九平  
 國京學產州和  
 特大工工記  
 産正藝念  
 品業業東  
 博博博東  
 覽覽覽博  
 會會會覽  
 金銀會會  
 會會會覽  
 銀銅銅會  
 牌牌牌銅  
 受受受受  
 領領領領

●可鍛鑄鐵●  
 製作品種目  
 鐵管鐵手類、自轉  
 車、自働車、人力車  
 要部一切、造船  
 機用品、鐵道客貨  
 車用品、礦山用品  
 紡績用品、架線用品  
 藥品、船具、工具  
 藥品、農具、工具  
 電機用品、家庭  
 用品、諸機械附屬  
 用品一切

東京本所區柳原町一丁目  
 瀧澤工場  
 東京本所四三二番

田中鑛山株式會社釜石鑛山鑛業所

位置 釜石本所鑛山鑛業所、釜石市北區西  
 釜石町三丁目、釜石港  
 沿鑛 釜石本所鑛山鑛業所、釜石市北區西  
 釜石町三丁目、釜石港  
 鑛區 釜石本所鑛山鑛業所、釜石市北區西  
 釜石町三丁目、釜石港  
 沿革 釜石本所鑛山鑛業所、釜石市北區西  
 釜石町三丁目、釜石港  
 經營事業 鑛業、鐵管、鐵道、造船、鋼材、  
 鐵管、鐵道、造船、鋼材、  
 鐵管、鐵道、造船、鋼材、  
 鐵管、鐵道、造船、鋼材、  
 鐵管、鐵道、造船、鋼材、



東京市芝區新門前町拾八番地  
 合資社 三和タルク商會  
 主任 田代牛次郎  
 工場 三和 水車場  
 下町 目黒村下目黒

營業品種目

水篩タルク 布袋 紙袋 五拾六封度  
 風車タルク 紙袋 五拾六封度  
 工業タルク 麻袋 一五〇封度  
 水篩タルク 筒入 四五〇瓦入  
 試驗タルク 筒入 四五〇瓦入

工業品質ニ用途廣キ  
 經濟ニ有益成ル  
 至急御注文ハ自動車自轉車ニテ迅速ニ配達致シマス

三和式

東京市芝區濱松町三丁目九番地

車輪印製卸 合資社 海老商會  
 ホライタル製造卸

銅牌受領於平和紀念東京博覽會

電話芝園七三四番  
 振替口座東京三九三九〇番

長 特 ル タ メ デ ノ ビ

組織 減摩性 豐富  
 彈力性 豐富  
 強靱性 豐富  
 可鑄性 豐富  
 強度 高  
 硬軟度 大  
 原料精選 度  
 價格底廉 一定  
 品質 一定

ヒノデメタル東北出張所

仙臺市東一番町定禰寺通七番地

電話一七二三番

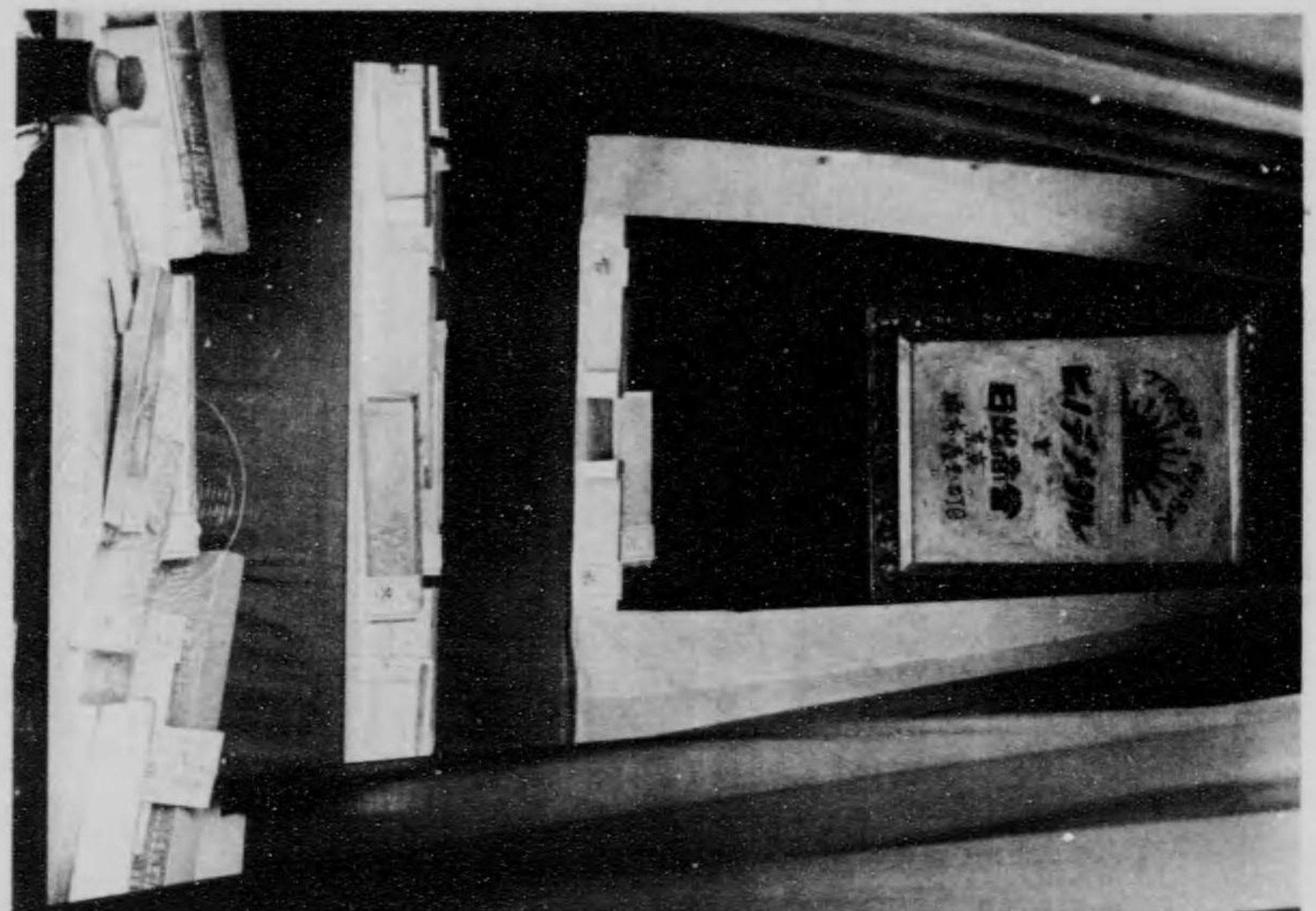
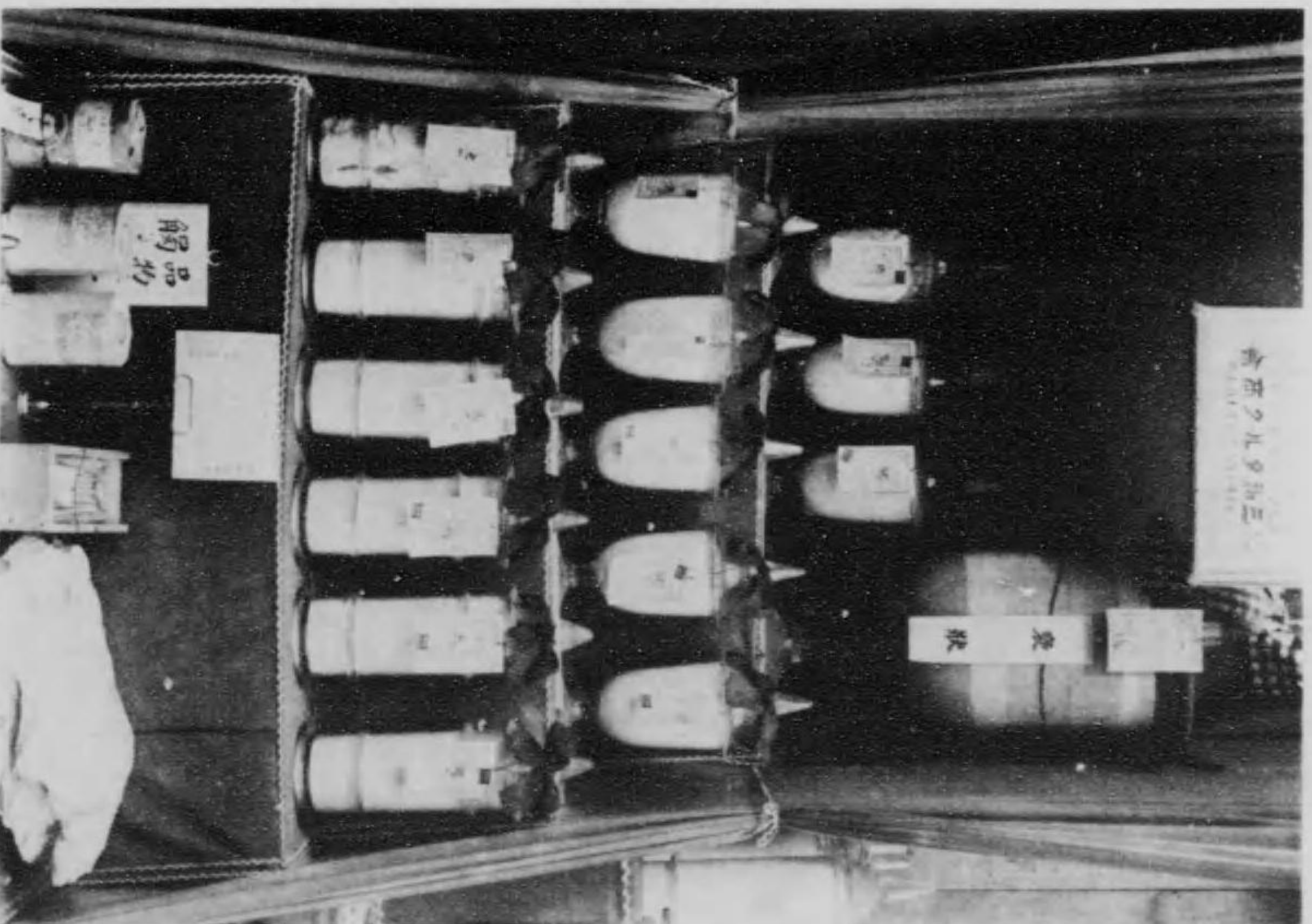
日 出 商 會

東京市麻布區森元町二丁目七十七番地  
 電話 芝特長 二六八八 番

ヒノデメタル大阪出張所

大阪市北區堂島濱通二丁目八三番地

電話(北)二七〇七番



# 品出館空航及械機

鐵道省及海軍省指定工場  
平和記念東京博覽會に於て名譽賞牌受領  
陳列裝飾金牌受領

東京鋼材株式會社  
東京市外大島町

○鋼材工場 動力機械館内唯一の斬新奇抜な立體的陳列法で觀者に深い印象を與へた當社のスプリング印製品は専ら品質本位の下に物理的試験と化學的分析法に基いて一々嚴密な検査の上當社獨特の設備に依つて製作されたもので今や「鋼材もの」として相場が建ち「ハガネ」の市價を左右し舶來品を驅逐して我國需要の大半を供給する迄に發展したが更に最近其工場設備を改善してアングルやスチールサッシュ等の建築用材を初め鑿岩機用中空鋼やサビナイ鋼を製作して市場に提供して居る、抑も此中空鋼は從來我國では製作不可能とさへ云はて居たものだが當社では多年苦心研究の結果遂に完全な品を製出するに至つたので其技術の長足な進歩振は不堪我鐵工業界を驚歎せしめて居る。因に當社製品の重なるものは次の通りである。

高速度鋼、半高速度鋼、特殊及物鋼、炭素工具鋼、ヤスリ用鋼、マグネット用鋼、無錆鋼、合金鋼各種、自動車用鋼、飛行機用鋼、スプリング用鋼、鑄山用八角鋼、鑿岩機用中空鋼、普通道具用鋼、和洋金床、鍛延及鑄鋼品、引拔磨シャフト、スチールサッシュ、アングル、コンクリートパイ、其他鐵類各種。

○スプリング工場 交通館内に鐵道省や東京市電氣局納めの發條類と共に英太子御來朝に際し特に選まれて製作し 御召列車用のスプリングと同一品を出品して觀者に多大の興味を與へた當社工場は従前は鐵道省專屬の觀を呈し同省以外の注文に應ずる餘裕は殆どなかつたが近時設備擴張と共に民間鐵道會社の客貨車用彈機は勿論從來外國品に仰いで居た各地の市電や私設電鐵會社の電車用彈機も當社に注文するものが多く海軍工廠造船所及船渠會社等の艦船用彈機の注文も幅轉して工場は常に繁忙を極め我國スプリング總需要高の約八割を供給し斯界の權威として優秀な地位を占めて居る。尙其製作發條の重なる種類は鐵道用、機械用、紡績用、電機用、兵器用、艦船用、自動車用等である。

東京市京橋區木挽町六丁目二番地

## 門田鐵工場

電話銀座五二二一番

時恰モ平和克復後經濟界ノ所謂大掃除モ了ヘテ愈々新ニ堅實ナル時代ニ入ル可即チ最モ有意義ナ經濟戰爭ノ開カルルコトト存シマス申ス迄モ無ク此戰ニ參加スルニハ餘程ノ覺悟ト努力トヲ以テ産業ノ發達ヲ計ルコトガ最モ肝要ナコトト存ジマス、幸當地ニ平和博覽會ガ開催サレマシテ弊工場モ製品ノ一部ヲ御高覽ニ供スルコトヲ得マシタノハ誠ニ光榮トスル所デアリマス弊工場ハ創設以來二十餘年專ヲ内燃機關ノ製作ニ從事シ常ニ英米獨ニ於ケル各種發動機ノ研究ヲ重ネ製品ノ確實堅牢ナルコトハ幸ニ江湖ニ認メラレマシタ時代ノ要求ハ益々勢力ヲ機械力ニ變シ能率増進ノ上ニ於テ獨立セル完全ナ動力ハ需要益々増加シ實ニ産業發達ノ基礎トナルモノデアリマス茲ニ於テ弊工場ハ品質本位ノ一貫セル方針ニ基キ只管諸君ノ御厚情ニ悖ラザル覺悟デアリマス何卒御愛顧御引立ノ程ヲ幾重ニモ御願申マス

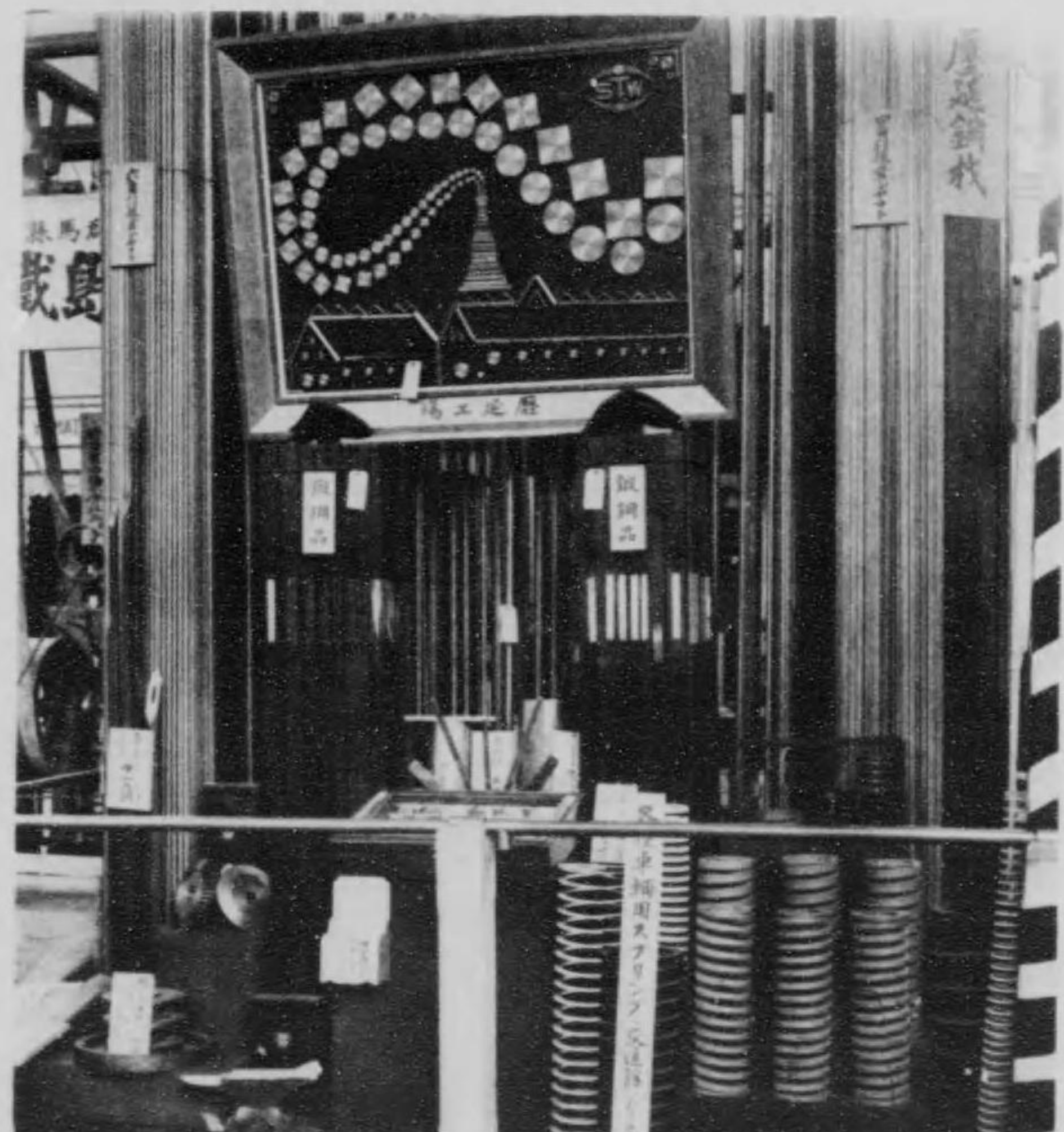
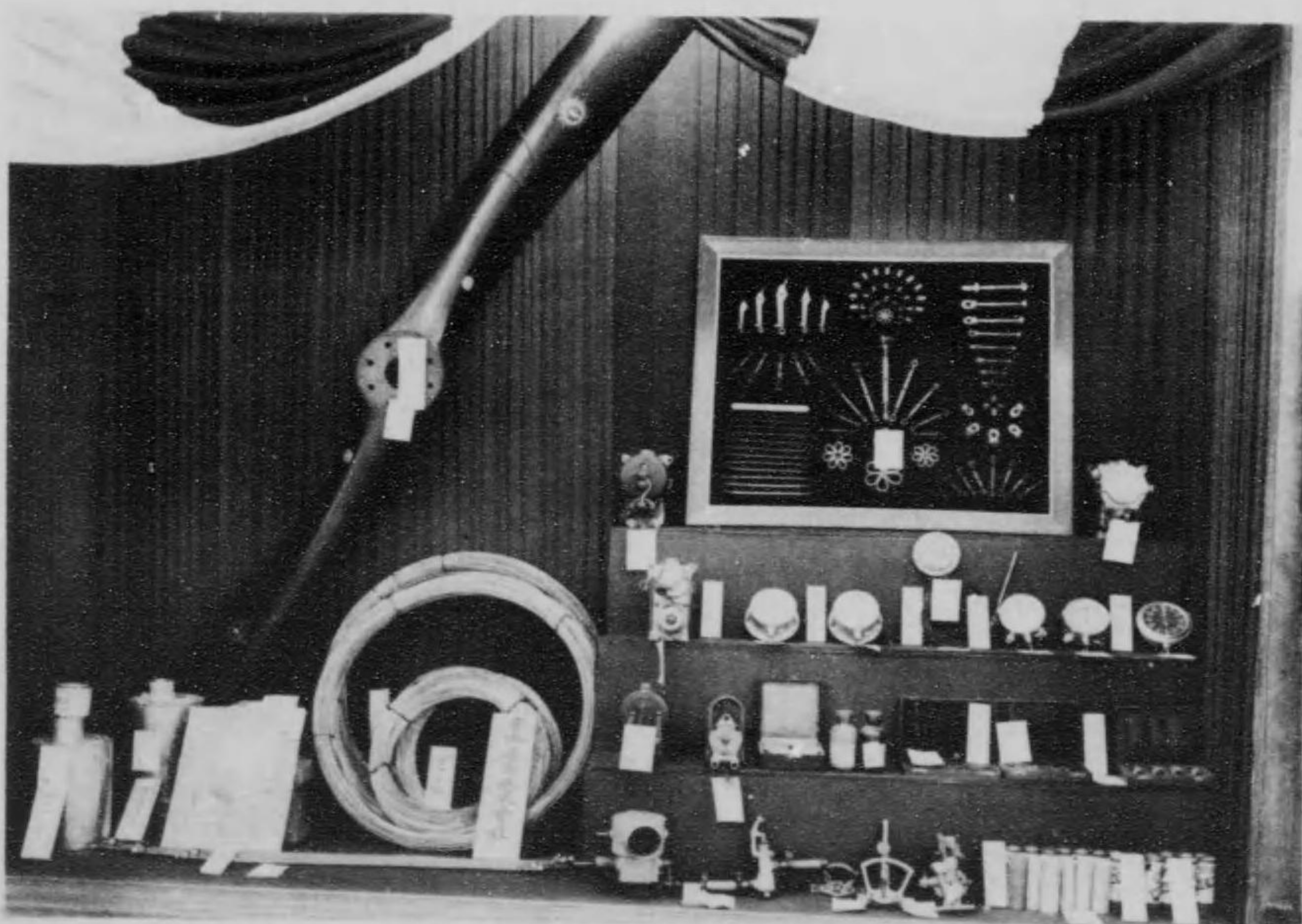
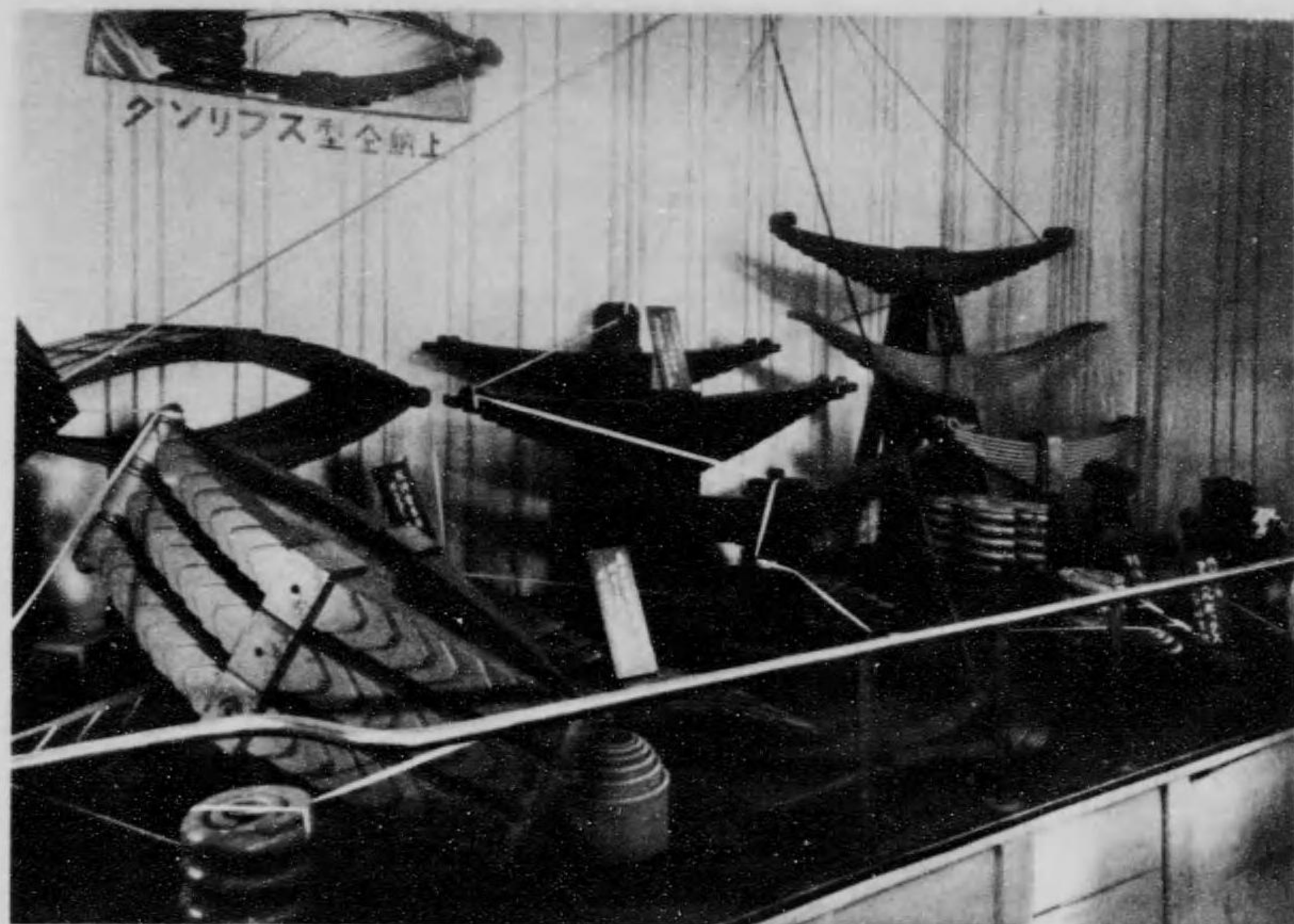
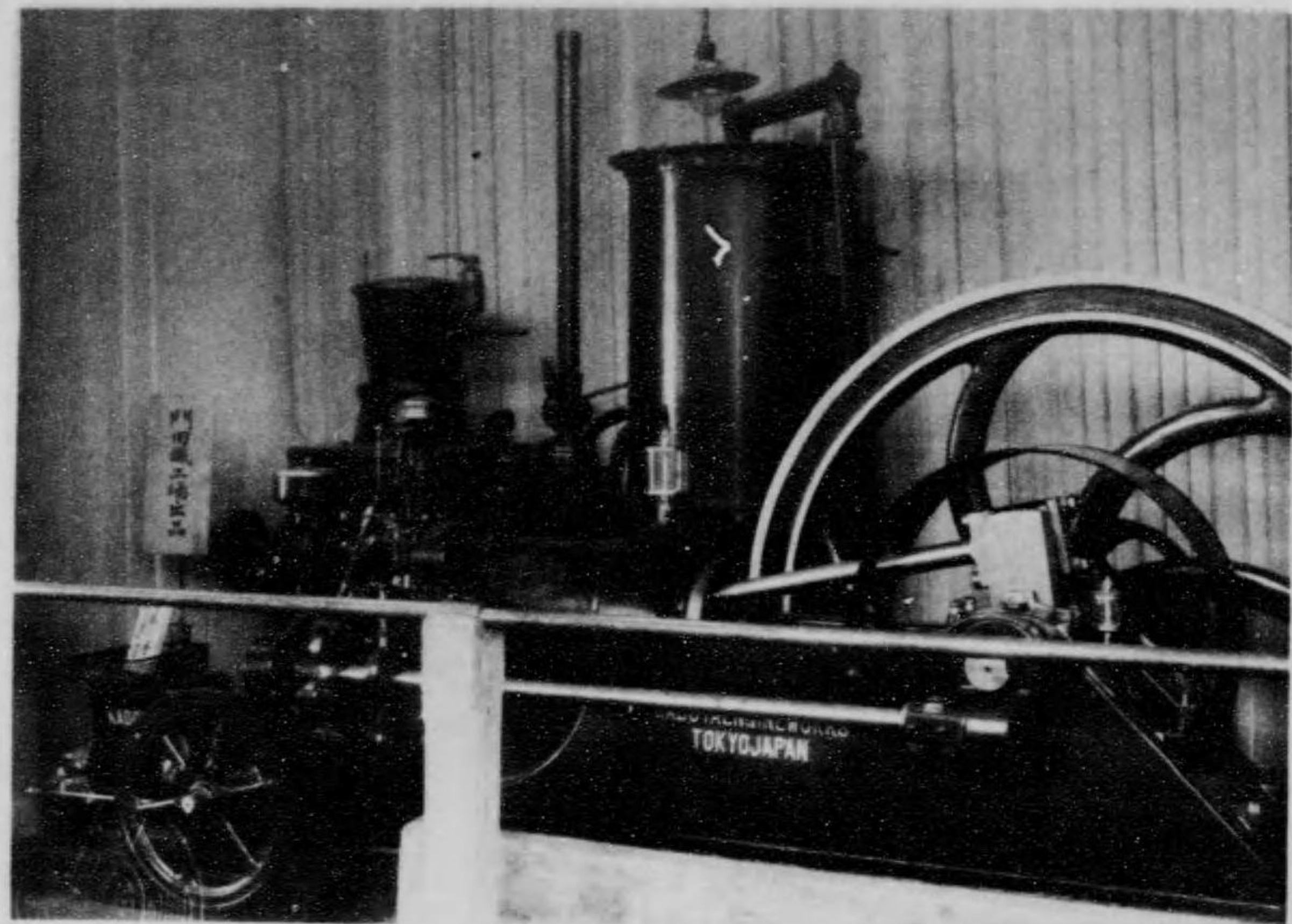
佛國諸會社日本總代理店

東京海上ビルディング内

佛國製航空機材料  
並ニ附屬品  
日本通商株式會社

電話丸ノ内 二二七四番  
二二七五番





# 羽田調帶株式會社

金牌受領於和平紀念東京博覽會

## 營業課目

- 一、調帶類
  - 一、エツチベルト (羽田式貼合バラタ調帶)
  - 二、エーローフレンベルト (羽田式貼合ゴム調帶)
  - 三、ラバーベルト (羽田式機械織ゴム調帶)
  - 四、フックベルト (羽田式機械織綿糸調帶)
  - 五、ヤケラベルト (羽田式機械織石油鑿井用調帶)
  - 六、各種車印皮革調帶 (羽田式機械織石油鑿井用調帶)
  - 七、各種機械用革製品 (其他機械用革製品)
  - 八、各種工業用品 (其他工業用品)
  - 九、各種製スプ (各種製スプ)

本社  
東京營業課  
大阪支店  
九州出張所  
北海道出張所  
滿洲出張所  
名古屋販賣店  
東京工場

東京市本所區向島須崎町 電話墨田(特長)四二七番  
東京市本所區外手町 電話墨田(特長)一六六〇番  
大阪市西區靱 電話墨田(特長)一六六一番  
電話土佐堀(特長)六六四番  
門司市內濱町 電話南(特長)三九〇番  
札幌區南四條通西三丁目 電話南(特長)九二二番  
大連市監部通二丁目 電話南(特長)一三五番  
名古屋市中區新榮町二丁目 電話南(特長)三六六番  
東京市本所區向島須崎町 電話墨田(特長)四二七番

## 機械館出品

本社ハ諸調帶並同附屬品及工業用品ノ製造販賣ヲ業トシ就中本社々長羽田伊之助氏ハ早タヨリ皮革調帶ノ欠陥ニ鑑ミ綿糸ヲ原料トセル調帶研究ヲ試ミ明治二十八年略ホ其完成ヲ遂ケ廣ク之レヲ工業界へ紹介ス

之綿糸製調帶製造ノ嚆矢ニシテ越ヘテ明治三十二年綿糸調帶製織機ノ專賣特許ヲ受クルニ至リ益製品ノ改良ト製産ノ増率ヲ加ヘ調帶界ニ一新機軸ヲ出シ明治三十九年ノ頃ニ至リテハ綿糸調帶ノ特質ハ廣ク工業界ニ認識セラレ益製品ノ改良ヲ加ヘ販路ノ擴張ヲナスニ從ヒ外國製品ノ輸入ヲシテ氣息奄々タラシメ皮革製品ヲ壓倒シ益事業ノ盛運ヲ來シ今日ニ至レルモノニシテ綿糸製調帶製造業トシテハ實ニ本社ハ其元祖ナリ。

東京市深川區本村町百卅四番地  
合資會社 **東京ローレル製作所**

電話本所(五)九七五四番

- 一、工場所在地 東京市深川區本村町卅四番地
- 一、設立年月 大正貳年二月
- 一、工場設備 鑄物、仕上ノ二工場
- 一、製造能力 壹ヶ年貳拾八萬貫

## 營業科目

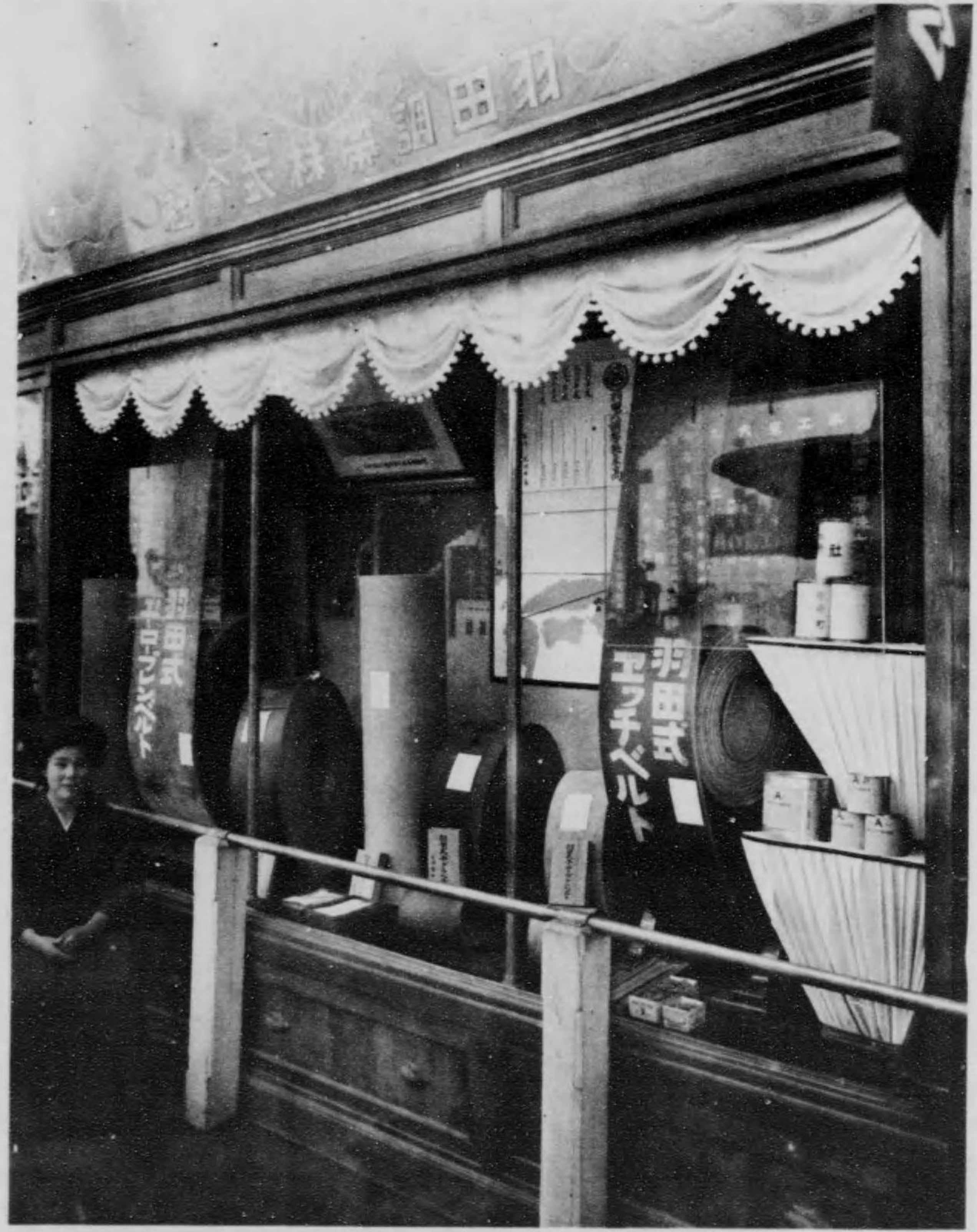
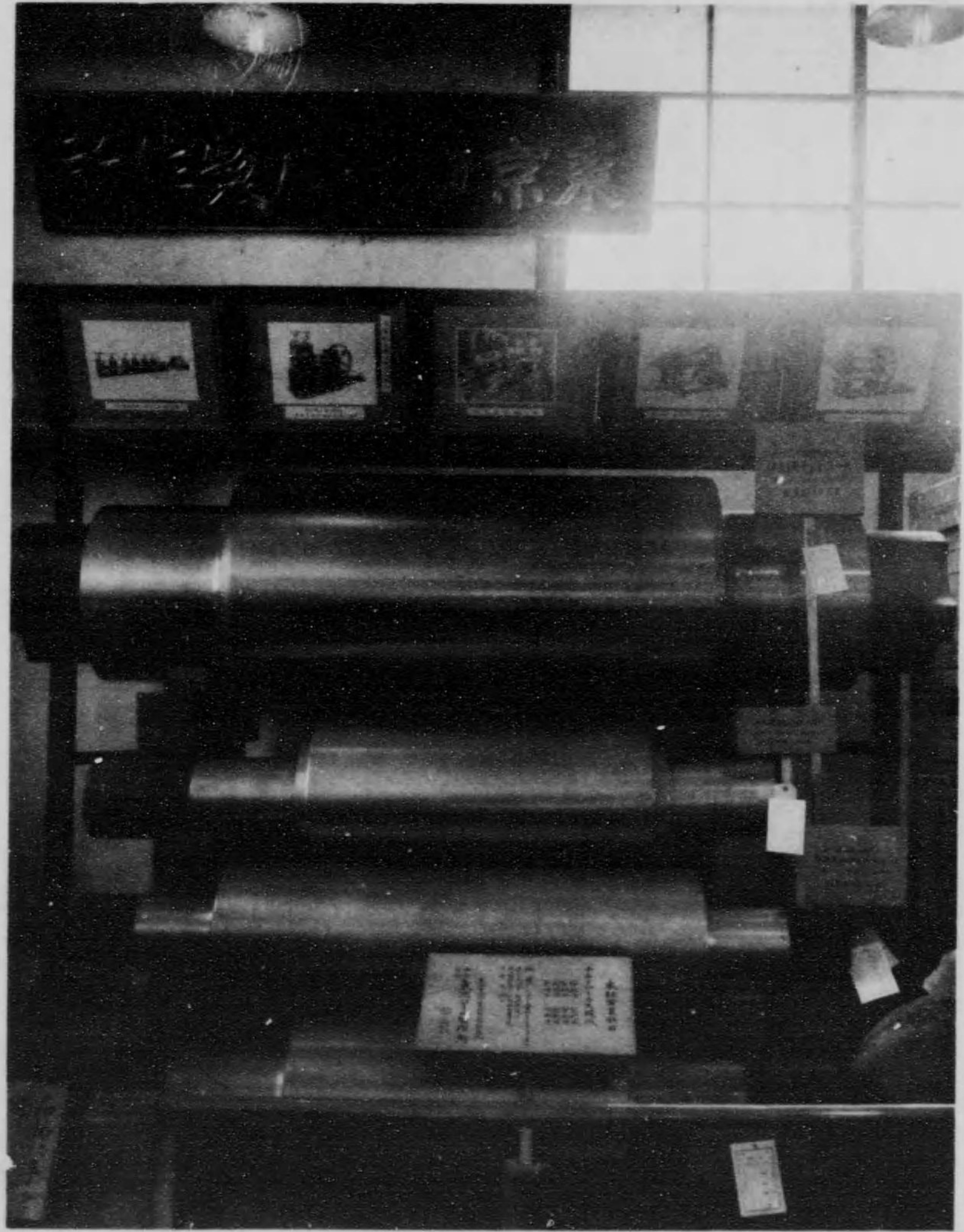
チルドロール及諸機械 伸銅用、製鐵用、製鋼用、製紙用、護謨用、製粉用、製油用、印刷用、

## 主タル需用先

海軍省、逓信省、印刷局、住友合資會社伸銅所、田中鑛山株式會社、古河電氣工業株式會社、日立製作所、大阪電氣分會社、三田土合資會社、高砂ゴム株式會社、丸善株式會社、欄木製鋼工場、

大坂住友伸銅所ニ賣約セラレタリ。

次位ニアルハ  
一、洞徑十四吋洞長卅吋ノ護謨用チルドロールニシテ肉厚二吋ノ中空ニ製作シ加熱及冷却ニ適セシムチルドノ深サ二分ノ洞徑ニアルハ  
二、洞徑十二吋洞長四十吋ノ製鐵用チルドロールニシテ溝ヲ切ル關係上チルドノ深サ一時半硬度ハシヨア硬度計六十五度ニシテ最低位ニアルハ  
三、洞徑十二吋洞長二十四吋ノ護謨用チルドロールニシテ肉厚二吋ノ中空ニ製作シ加熱及冷却ニ適セシムチルドノ深サ二分ノ洞徑ニアルハ



# 品 出 館 機 機

各 用 途	大		中		小	
	型 力	馬 力	甲 力	乙 力	型 力	馬 力
馬 (一分間) 同(時間) 粗米	五馬力 四百五十 乃至 四百廿	一馬力 四百五十 乃至 四百	一馬力 四百五十 乃至 四百	一馬力 四百五十 乃至 四百	半馬力 四百五十 乃至 四百	半馬力 四百五十 乃至 四百
價	二百五十圓	百圓	六十四圓	七十五圓		

## アイデール精米機の特徴

- 一、精白完全 本機はローラーと加減板と金網で完全に糠を分離しますから純白に上ります。
- 二、發熱無し 金網で摩擦熱を直ちに發散致しますから米質に熱的變化を少しも及ぼしません。
- 三、搗減少し 米質の硬軟により加減板で調節できますからクタクタ米の心配なく、搗減も至つて少く硬質の米ですと殆んど搗減なしと云つても宜い位です。
- 四、廉價 時勢に鑑み常に時價の最低値段で勉強し御用家に御満足を御與へ致します。

東京市日本橋區榮研堀町十六番地  
中澤電氣工業株式會社

## アイデール精米機部

電話 東京 九一七二番  
東京 九一七二番

專賣特許  
大竹式製麵機  
特許出願中  
大竹式豆煎機  
其他  
高級諸機械

製造

陸軍指定工場

## 大竹麵機製作所

東京市淺草區南清島町二番地(電車通り)

電話 淺草(國) 二七二八番  
三三六五番

振替東京 三六一四六番

東京市牛込區西五軒町三十四番地

## 日本讓造機械株式會社

電話 番町(國) 三三八番  
四三二番  
三六番

總店 大阪 北區櫻橋交叉點

## 大阪支店

電話 大阪 二〇九番  
三〇三番

## 目 品 業 營

- 林 永式 濾過機
- 林 永式 輸送ホンプ
- 林 永式 火入器
- 林 永式 壓搾機
- 林 田式 洗米器
- 錫管入ゴムホース
- 其他 雜造用品一式
- 製 作 販 賣

株式會社  
須田電氣工業所

電話 本所 四四八番  
五〇九二番

宮内省 賜御買上光榮

專賣特許  
電動機  
アイスクリーム機械

## 本器ノ特長

本器の使用は頗る平易にして設置基礎不用少しの音響もなく更に危険を感ずる事なきが故婦女子にも易く使用せられ僅少の水と少しの電力にて多くの高級アイスクリームを製作し得るは本器の特長とする所なり

而れば今や一般家庭及各西洋料理店等にて愛用せられ頗る高評を博しつゝあり

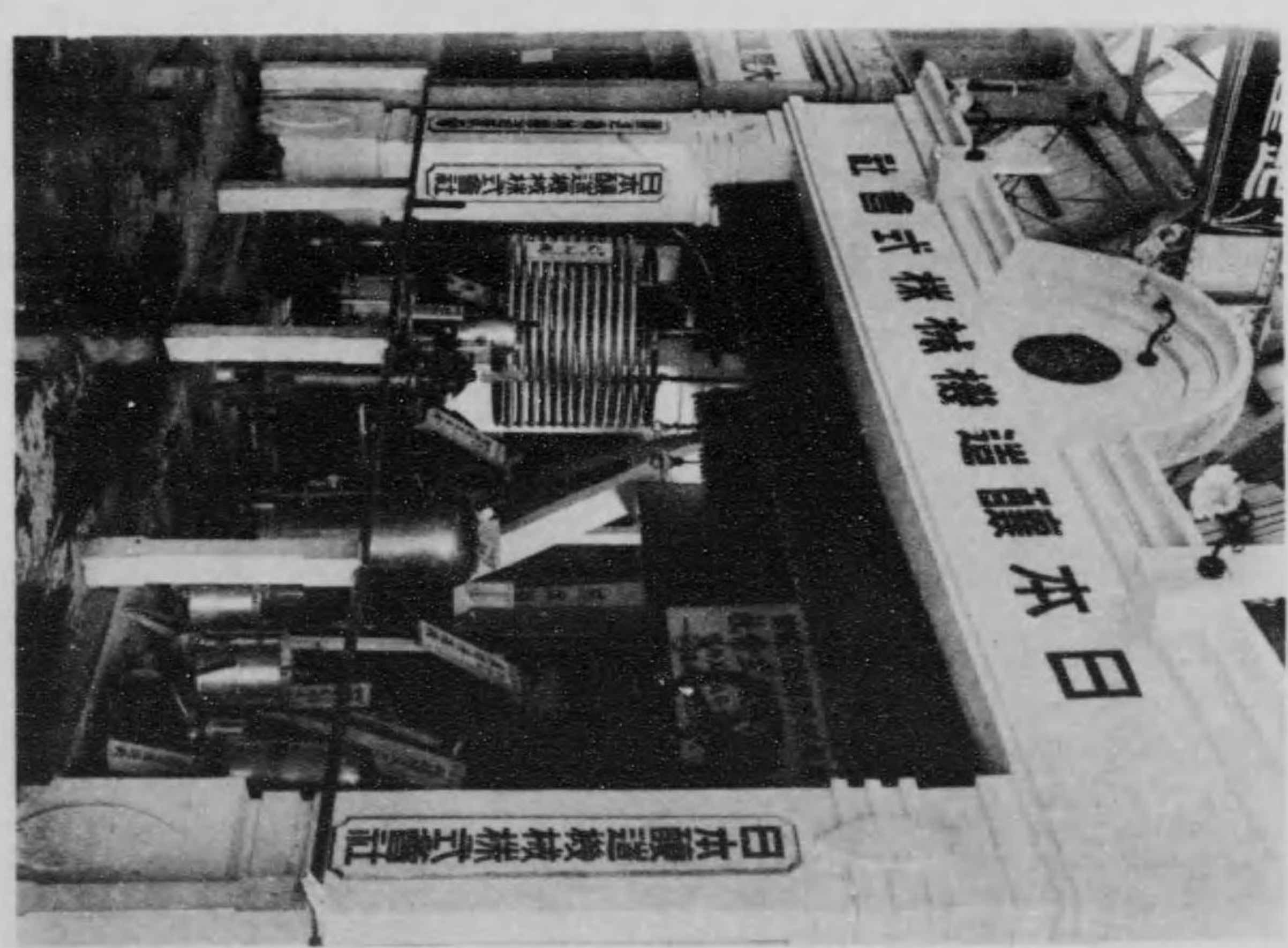
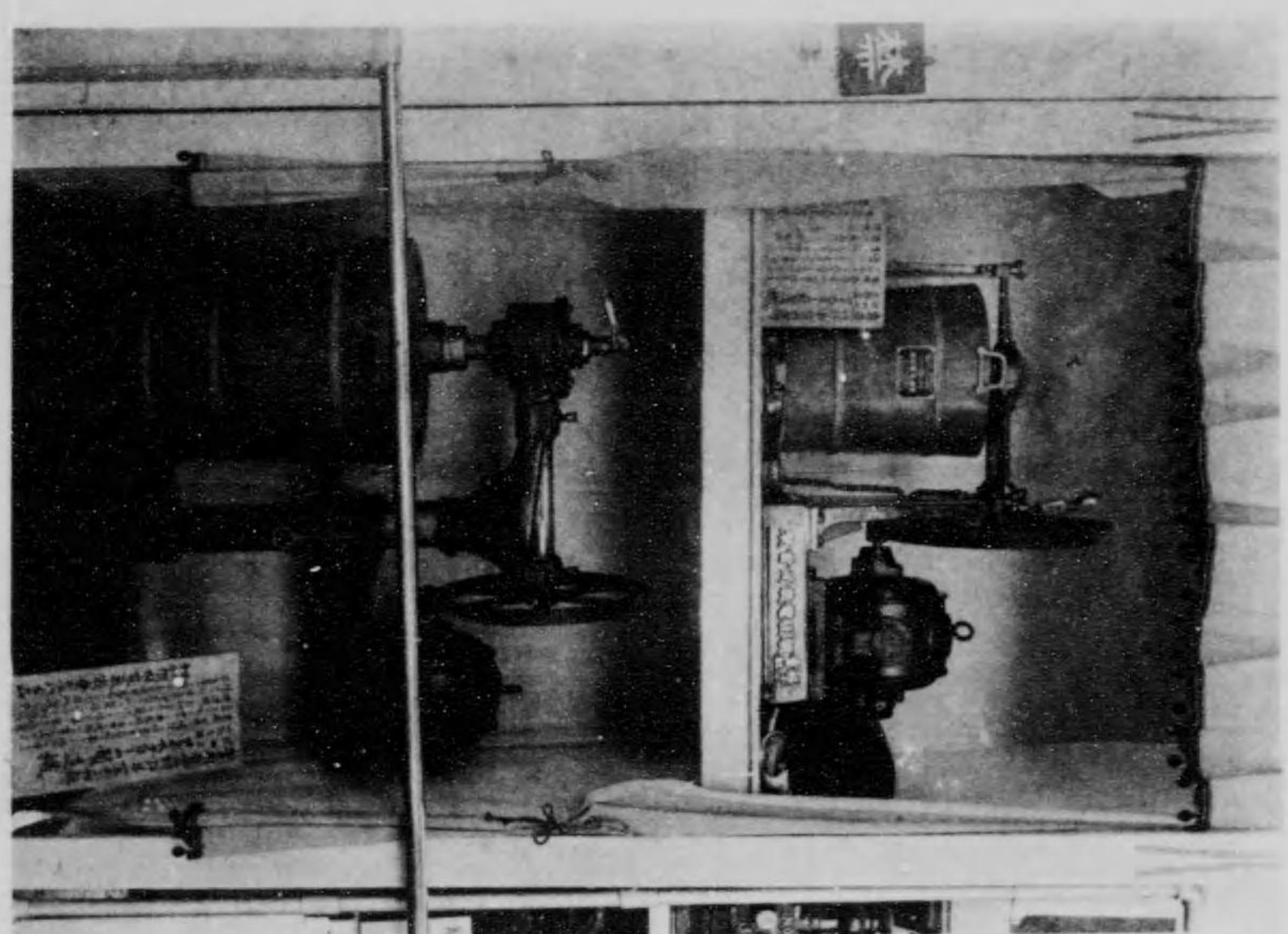
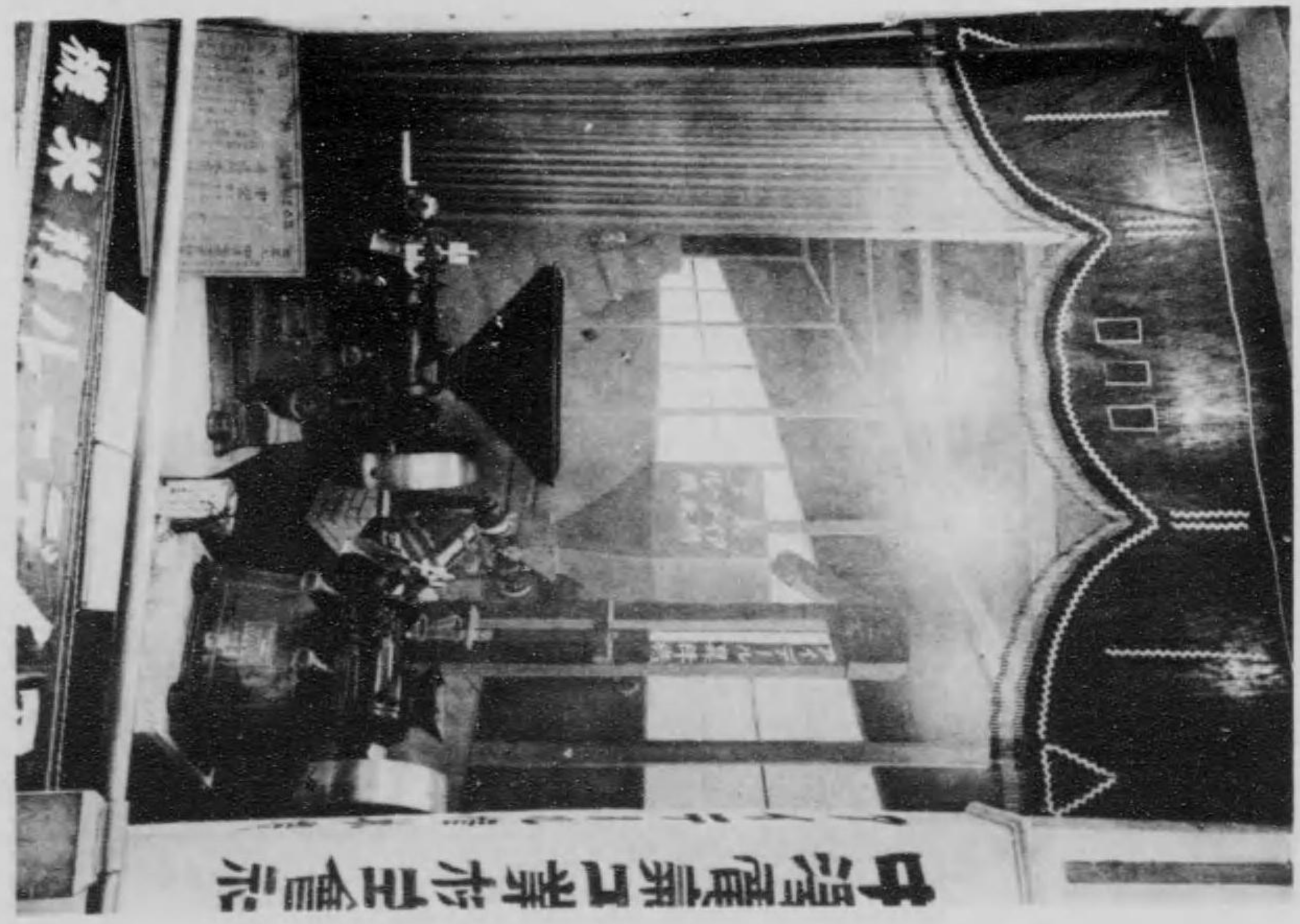
電話 八二七一

電話 三三八番

危険を感ず  
て多くの高  
層しつゝあ

本所  
四八番  
九二番

會社  
一四三八番  
一七〇三番  
一〇二九番  
一〇三三番  
店



東京市芝區神明町二十一番地

### 小島印刷株式會社

電芝二八一、七二七七

東京府下荏原郡品川町

大崎分工場

電話高輪七六五番

大島分工場

東京府下南島郡大島町

大阪分工場

電話本所五八四一番

大阪府下西成郡豐洲町

上海工商株式會社

支那上海 特約代理店

當社は明治三十三年現社長小島長藏氏が創業に係る小島工場を時勢の進運と事業の發展に伴ひて大正七年株式組織に變更せしものにして創業廿三年當時の如き本邦に於ては僅に石版手引機械を應用して低級なる玩具を製出するに過ぎりしを現小島社長幸先して獨乙より機械を輸入し苦心經營の結果内外に渉り着々發展の途を開き遂に歐洲大戰の好機に至り往來獨占の國家的なりし獨乙製品を全く掃去し及び益々印刷事業の國家的なる性質は一私人の經營に委すべきに至らずとの抱負を以て大正七年小島氏の米國視察を了して歸來すると共に組織を變更して茲に小島印刷株式會社成立せし也

爾來逐年工場を増設し社員を派遣し彼の技術の粹を採りて以て國家の文化的發展に貢獻するところあらんと努めつゝあり。今當社が斯業の鼻祖たる名譽を保有せる鋳力印刷の特長を述べれば、一、鋳力本來の光澤を利用するが故に極めず鮮麗なる事。二、紙器類に比し價格比較的廉なる事。三、鋳力印刷の他、石版印刷を開始し紙器其他の附帶事業を經營する事。四、紙器類に比し價格比較的廉なる事。五、鋳力印刷製罐部

一、紙器部  
二、石版オフセット印刷部  
三、押出チユート製造印刷部

東京市外寺島村(曳船驛前)

### 帝國發條製作所

電話墨田四六九五、六九六

出品名 各種發條

用途 緩衝の目的に使用する

特徴 自動的諸機械の運轉を調整又は制御し激動を防止安全の目的を達す。製品の確實は本所の特徴なり

産額 年産額 壹千噸以上 (現在)

價格 年 八拾萬圓以上 (現在)

主要販路 支那、朝鮮及滿洲、内地 鐵道省、海軍省、車輛製造所、造船所、電氣諸機械製作所

受賞 大正五年於臺灣勸業共進會銅牌

大正六年於化學工業博覽會銅牌

大正七年於京都博覽會 銀牌

大正七年於大阪化學工業博覽會銀牌

大正九年於福岡工業博覽會銀牌

大正十年於全國工業博覽會銀牌

大正十一年於平和記念東京博覽會銀牌

東京府下荏原郡大崎町

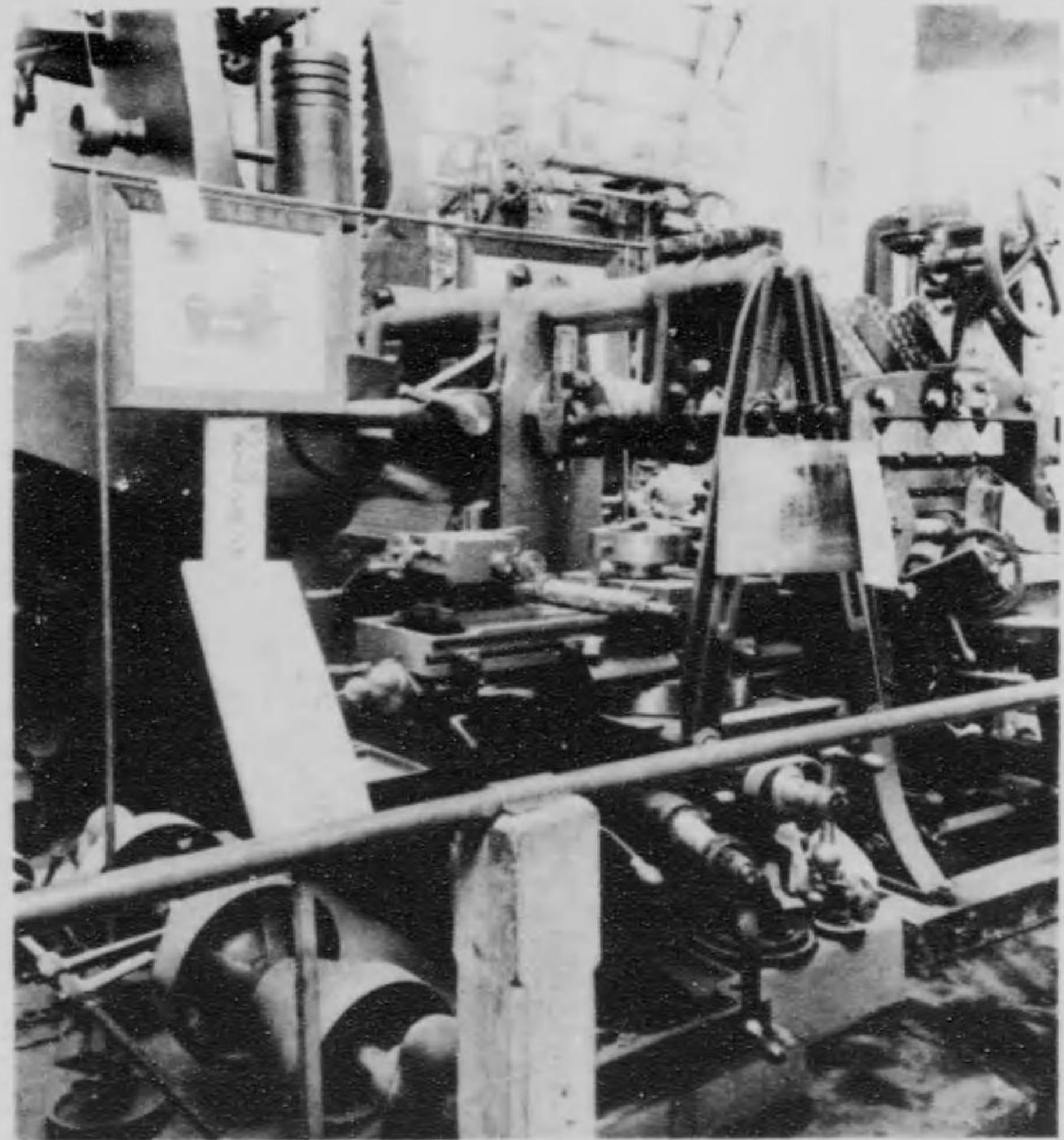
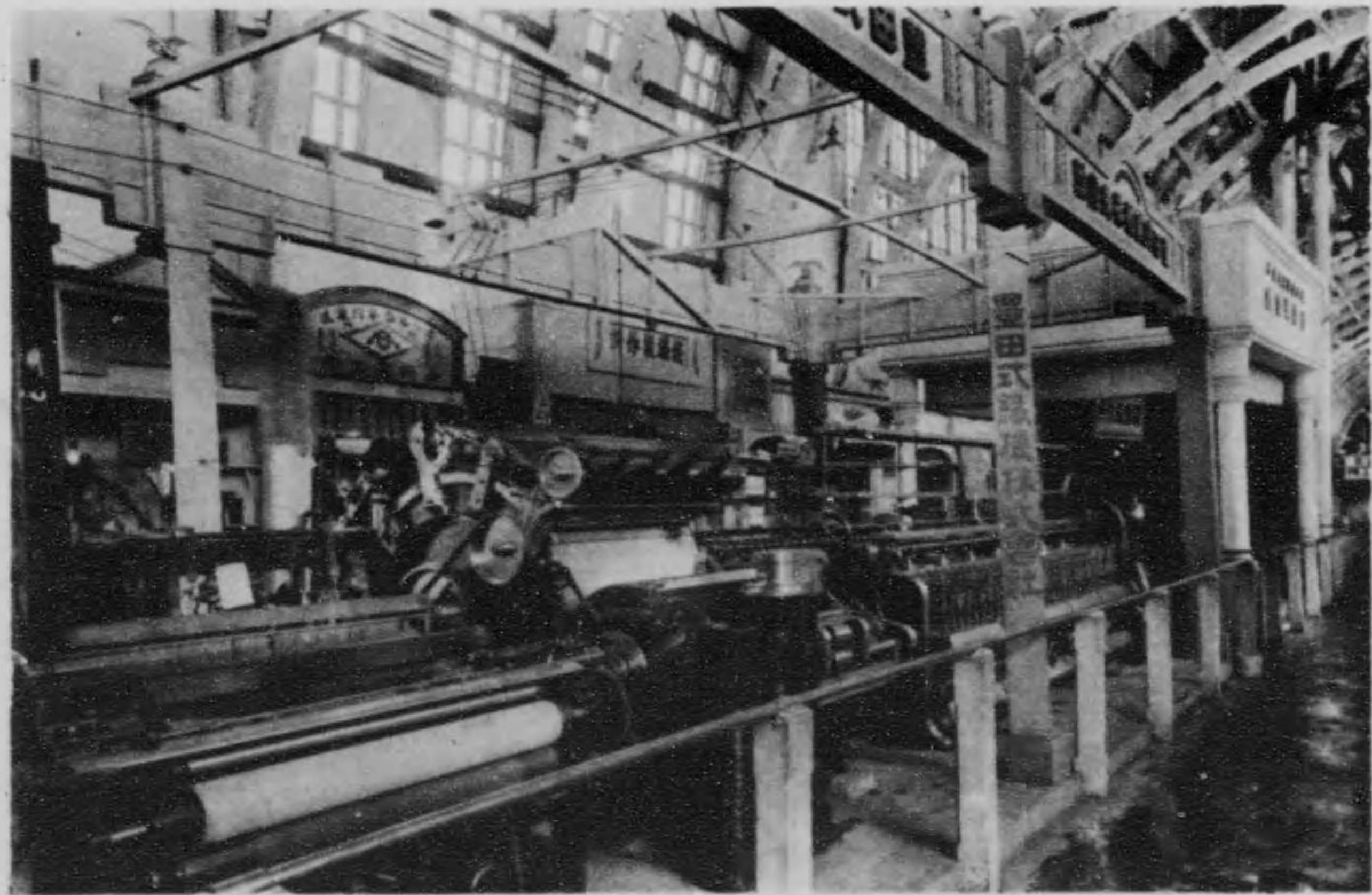
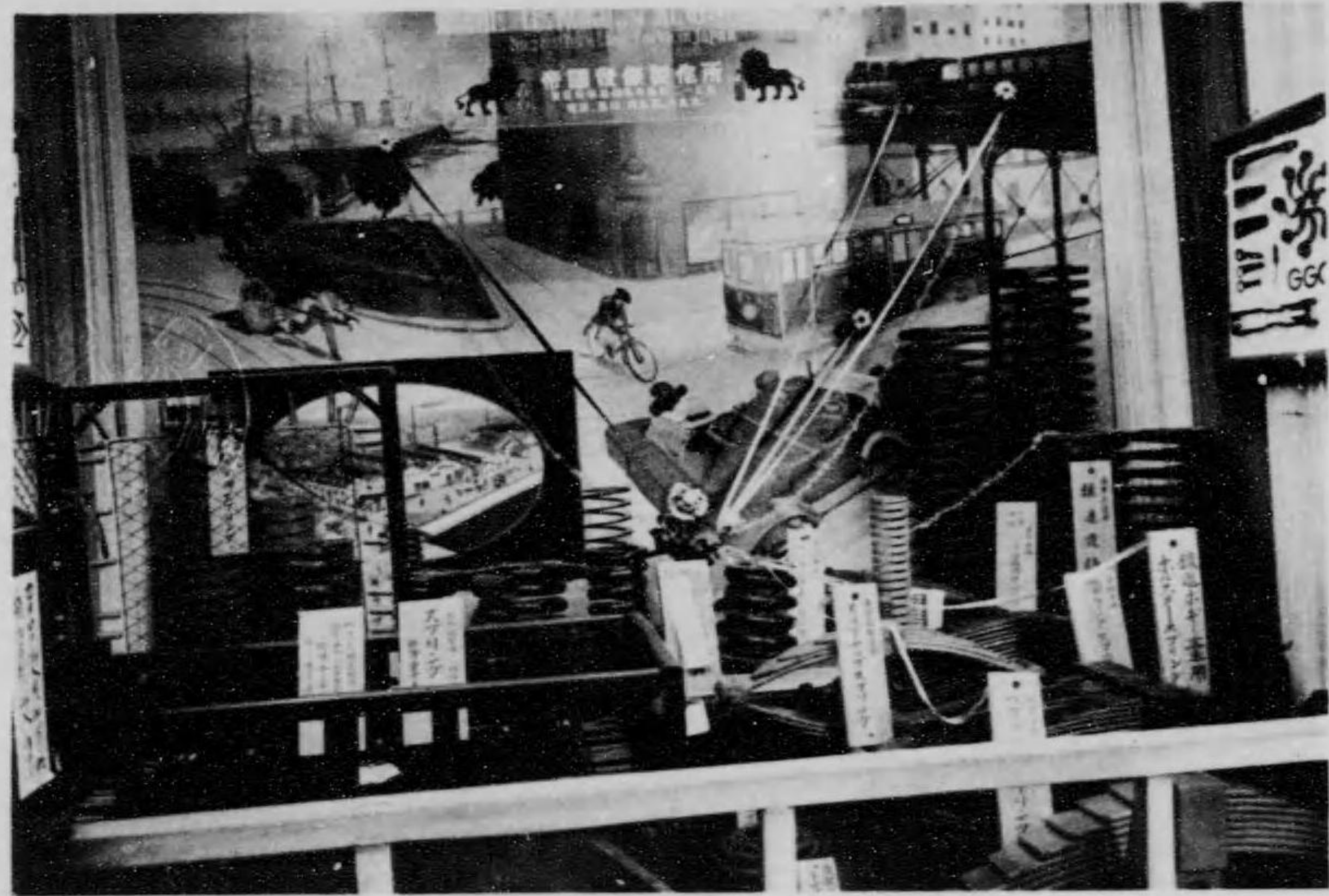
### 工作機械 本城鐵工所

銀牌愛領 平和記念東京博覽會

名古屋市西區島崎町

### 豐田織機株式會社

名譽賞牌受領 於平和記念東京博覽會



佐賀縣佐賀郡巨勢村大字牛島七番地 眞崎鐵工場 電話二五〇番  
右上官眞は 眞崎 照 輝

京市淺草區田原町一丁目四番地 眞崎東京支店  
右下寫眞は 長谷川 謙太郎 電話淺草三二六八番  
同分工場 淺草田原町、本所徳右衛門町 電話本所六九五番  
支店 上海、漢口、出張所 京城、太田、油頭、豊前中津

出品物の特徴及用途

一、麵粉捏機：總鐵製にて古き考案を根本的に一掃したる最新の機械にて一時に麥粉二袋十二貫匁製麵水(約九升)を投入し攪拌装置に依り煉粉に硬軟不同を生ずることなく最も壓ふ加熱を生せず迅速(八分間)に捏煉することを得る機械なり。二、麵帶複合機：本機は搬入せられたる捏粉を麵帶機箱中にて攪拌する装置に依り捏粉の固結を絶對に防ぎ延出したる麵帶を複合装置に依り其下位に取付たる「ロール」にて三枚又は四枚合せを自動的になし粘力を強靱ならしめ以下の「ロール」切出機に依り欲する所の麵線を製出する最も人力を要し時間を費したる従来の作業を自動にてなし且つ優秀の麵帶を製造する最新鋭の機械なり。三、自動麵線製造懸機：本機は延出したる麵帶を仕上延、艶付、切断除する最も巧妙技術を施したる機械なり(切及麵線製造機)の説明省略す。製出したる麵線は其太さにより饅頭、素麵、冷麥、紐川、蕎麥と稱し舊來御馳走向なりしも米穀不足を告ぐるに至り補助食料として經濟的、衛生的に歓迎され其販路益々擴大されつゝあり  
以上、三種の機械に昇降機を以て自動的に捏粉を麵帶複合機に送り總連絡装置をなし小麦粉と製麵水とを搬入するのみの人力を要し他は機械の自動に依り製麵し得る最新機械にして優良な製品を多額に製出する製麵機械なり、本出品は場所狹隘の爲連絡装置すること不能、之れより三點に分け單獨運轉とす  
沿革 明治十年六月機械發明の目的を以て銀治工場を設け動力は石油發動機より蒸氣機關に進み専ら麵類機械の製造販賣に従事し販路の擴張するに從ひ明治三十六年支店を大阪に分工場を東京に設けたり、其後大阪支店は大いに隆り、漢口支店は上海、臺南に、四十年に漢口に、四十三年朝鮮に各支店、出張所を設けたり、其後大阪支店は大火に罹り、漢口支店は革命亂の爲め兵燹の危を蒙り多大の損害を來せしかば大阪には再設を止め又各地重要地は代理店又は特約店を設けたり、明治四十三年に至り更に電氣部を設け電機機、變壓機、發電機等の製作販賣をも爲し來りたるが世界の大勢、社會の進歩に伴ひ電氣部を大正七年十月新設會社たる日本電氣鐵工株式會社(從來の眞崎鐵工場)に譲渡し長男二男は同社の専務取締役及技師長に就任したるを以て專賣特許たる製麵機械は從來の眞崎鐵工場に譲渡し今日に至り益々注文幅廣し其製産は一般需要家に對し満足を得ること不可能の盛況を觀るに至り工場増築の企畫中であり東京支店に於ては時勢に鑑み明治四十二年長谷川謙次郎氏に一任せり其後淺草工場狹隘を感じ大正四年府下大島町へ分工場を建設し更に大正八年本所徳右衛門町へ二百坪の工場建設移轉をなし東西相呼應して將來一層の麵業發展を計り國家に盡すことを覺悟す。年産額：本店眞崎鐵工場 金六拾萬圓也(大正十年度) 支店 眞崎東京支店 金貳拾五萬圓也(大正十年度) 販路：内地全國、支那、朝鮮、露領「ニコロスタ」佛領リュウカ、南米秘露、英領香港、米領「ハワイ」、北米合衆國、露西亞等 褒賞々牌受領：金銀牌受領三十二個(明細略) 賜勅定之藍綬褒章(明治四十二年二月) 專賣特許權數二十八件(明細略)

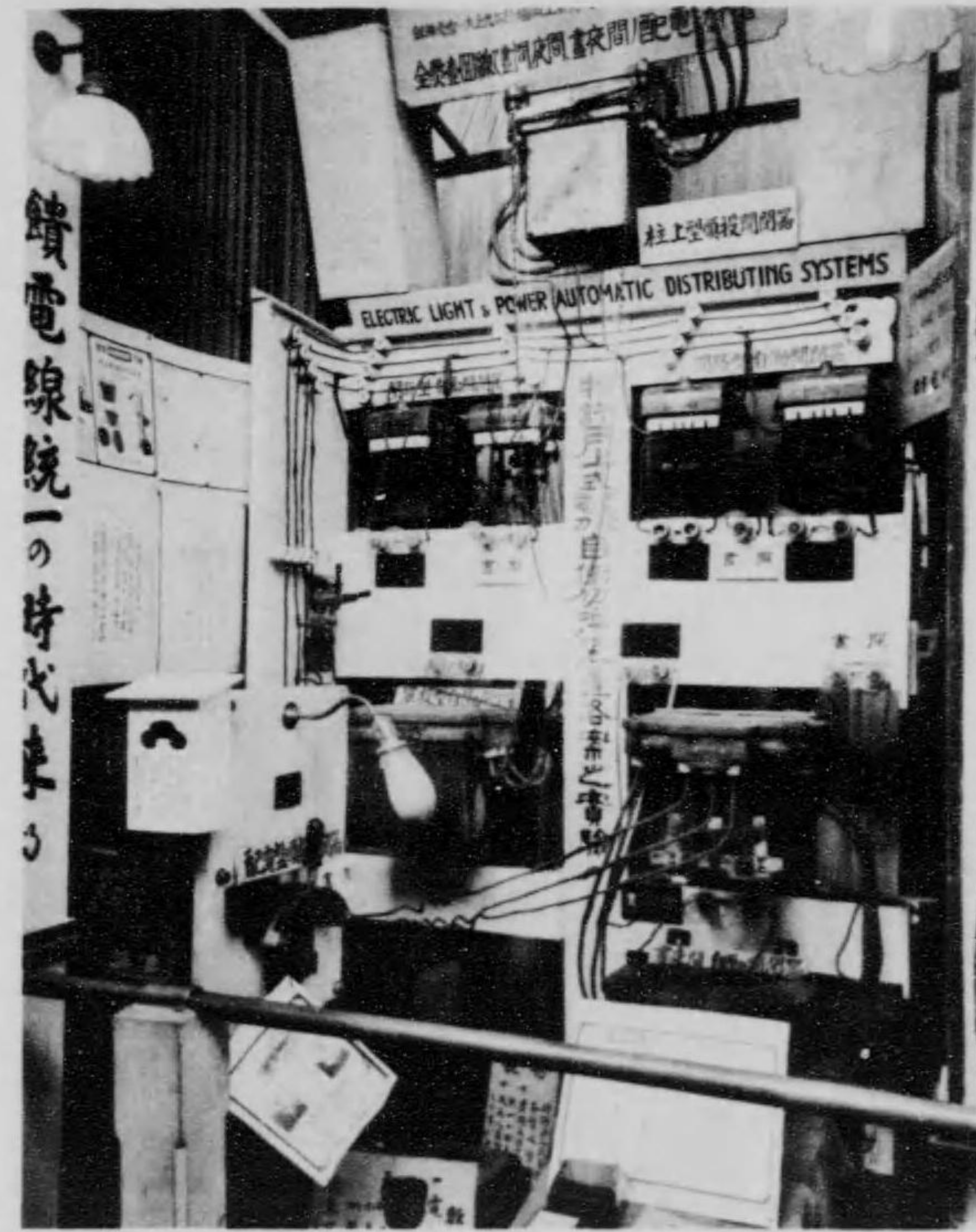
日本電機鐵工株式會社

社長 藤山雷太 專務取締役 眞崎悟一 技師長 工學士 眞崎不二 顧問 工學博士 荒川文六  
分工場 佐賀停車場側 出張所 福岡縣小倉市大阪町 (電話七〇三番)  
代理店 東京市淺草區田原町一丁目四番地 長谷川謙次郎 電話淺草三二六八番

出品物の特徴及用途

自動開閉器 部配電等にて於ける不確實にして危険なる人爲的の切換を除くは目下の急務であります、亦煩雜にして故障の原因を増し且つ美觀を損する數回線を架したる現在の市街地配電は之れを一回線に統一せねばなりませぬ、最早人爲的切換の時代は去りました、時代は總てを自動的の切換の場所に自動開閉器設置を御勧め致します。第一案、全々一回線で晝夜間晝夜間の配電をなす事。第二案、順投開閉器、單投型自動開閉器、雙投型自動開閉器、全々一回線だから部等長距離配電に適す、一回線で三回線を架したと全く同様の配電をなす。第三案、切換開閉器、閉路型自動開閉器：原理が簡單確實にて開閉器の價格が低廉だから市街地等の配電に最も適す、晝間線と夜間線と晝夜間線を構成する事。第四案、晝夜間自動開閉器、本装置に依れば既設の晝間線と夜間線とある場合に更に晝夜間線をも架する必用がない、電燈又は動力電壓で自動切換をなす事。連結法：閉路型自動開閉器、夜間電燈がつくと晝間動力を自動開閉す、又晝間動力電壓で夜間電燈を自動開閉する装置、各案の自動連結法及び定價表經濟的見地よりして各案を混用したい場合に之等を自動連結する方法を示す  
各種自動開閉器の性質：一、電壓落下時迄迄確實に動作す 二、動作後電壓落下時迄迄動作状態を保つ 三、電壓、タツプ二個を有するべく變壓器用油使用の事 四、各器共に構造簡單動作確實損失僅少なり  
最近納入先：朝鮮瓦斯電氣株式會社、伊豫鐵道株式會社、秋田木材株式會社、富山電氣株式會社、諫早電燈株式會社、岩國電氣株式會社、都城電氣株式會社、九州水力電氣株式會社、島原電燈株式會社、日向水力電氣株式會社、米代川水力電氣株式會社、實用新案小型ポンプ：單相交流用は電燈線に接続して運轉し取付至つて簡單なり、完全側壓防止装置を具備するを以て此の故障を生ずることなし、別荘、旅館、湯屋、料理店及び一般家庭用、三相交流用は學校、病院、寄宿舎、兵營、工場等の簡易水道又は噴水用として勸進せらる  
沿革：明治四十三年より同所眞崎鐵工場の經營たりし電氣部を大正七年十月繼承し日本電氣鐵工株式會社を創立資本金壹百五拾萬圓とし工場の擴張更に佐賀縣側に分工場を建設し電機機、變壓機、發電機、諸機械の製作なし大正八年十一月獨逸人技師を招聘し益々改善を計り大正十年七月海軍本省指定工場として認定せられ、大正十年十一月技師長并に獨逸人技師を獨逸國に視察の爲派遣し改善發達を企畫しつゝあり、戸上式配電装置、小型電氣ポンプ、灌溉用ポンプ等は眞崎山用電氣ポンプ、電氣捲上機等と共に我社の獨得の製品なるが幸に世人の注目相加はり目下多數の注文を抱擁するに至れり  
年産額：金九拾五萬圓(大正十年度) 販路：内地、支那、朝鮮 賞牌受領：戸上式自動開閉器に對して銀牌二個 專賣特許權：戸上式自動開閉器に對し二件 實用新案小型電氣ポンプ一件





百五拾萬圓とし工場擴張に佐賀縣制に分工場を建設し電動機、變壓機、發電機、諸機械の製作なし大正八年十一月獨逸人技師を招聘し益々改善を計り大正十年七月海軍本省指定工場として認定せられ、大正十年十一月技師長井に獨逸人技師を獨逸國に視察の爲派遣し改善發達を企畫しつゝあり。戸上式配電装置、小型電氣ポンプ、灌漑用ポンプ等は露山用電氣ポンプ、電氣捲上機等と共に我社の獨得の製品なるが幸に世人の注目相加はり日下多數の注文を抱擁するに至れり。年産額：金九拾五萬圓(大正十年度) 販路：内地、支那、朝鮮。 賞牌受領：戸上式自動閉器に對して銀牌二個 專賣特許權：戸上式自動閉器に對し二件 實用新案小型電氣ポンプ一件

東京市神田區五軒町一番地  
 專賣 紙荷札製造機械  
 許特 安全荷札 發賣元 上條商會  
 電話 下谷三七七二番  
 振替 東京四九九五番

荷札製造機械

本機は理想的發明機にして機能頗る偉大の製造力を有し完全し迅速に統一的に製造して努力と經費とを節約し瞬時に完全なる多數の紙荷札を製造し得らる。本機により製造するときは一回轉にして諸種の手數を除き完全且つ優美なる荷札を造り得、之れを連續的に回轉す時は多數に紙荷札を一層迅速に製造し一日間(十時間)の工程一號機にて二萬枚以上三號機にて三萬枚以上にして又其形狀の大小は同一機械にて伸縮自在に變更するを得專業或は副業として現時最有望なる職業なり

特許安全荷札

本品は在來品に勝れる耐水強靱性に富める綿糸織にして縲糸を其儘結紐に應用せる最新式優良品なり懸垂重量、五貫匁に耐へ得、然れば荷札の損傷脱落の憂更になく今や斯界に最好評なり

營業項目  
 活版印刷機械  
 三色版印刷機械  
 浮出自働印刷機械



芳賀印刷機械製造所

東京市京橋區入船町二丁目一番地  
 電話 京橋一七七二番  
 振替 東京二二六三三番

分工場

東京市京橋區新榮町二丁目一番地  
 電話 京橋六二四三番

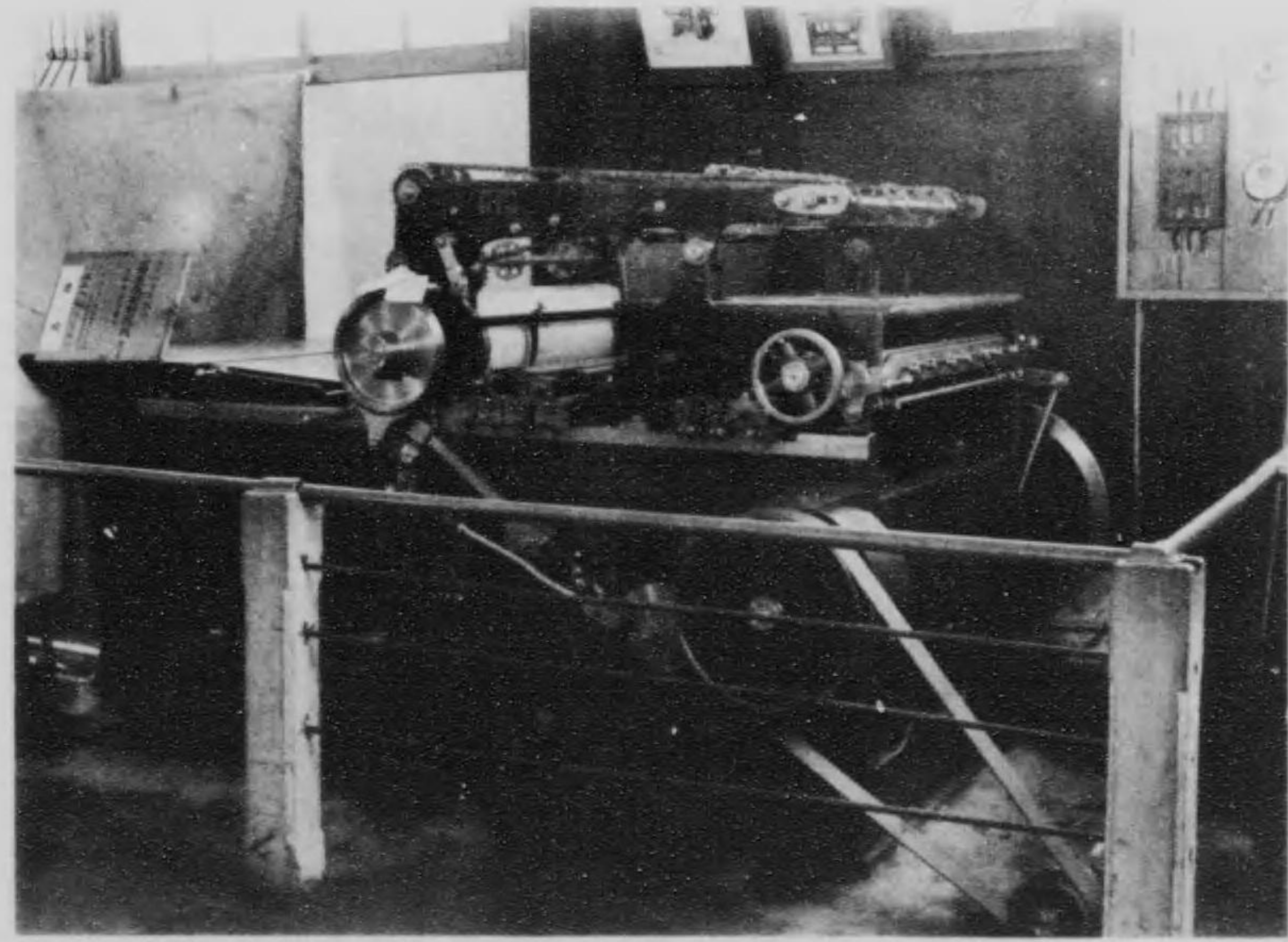
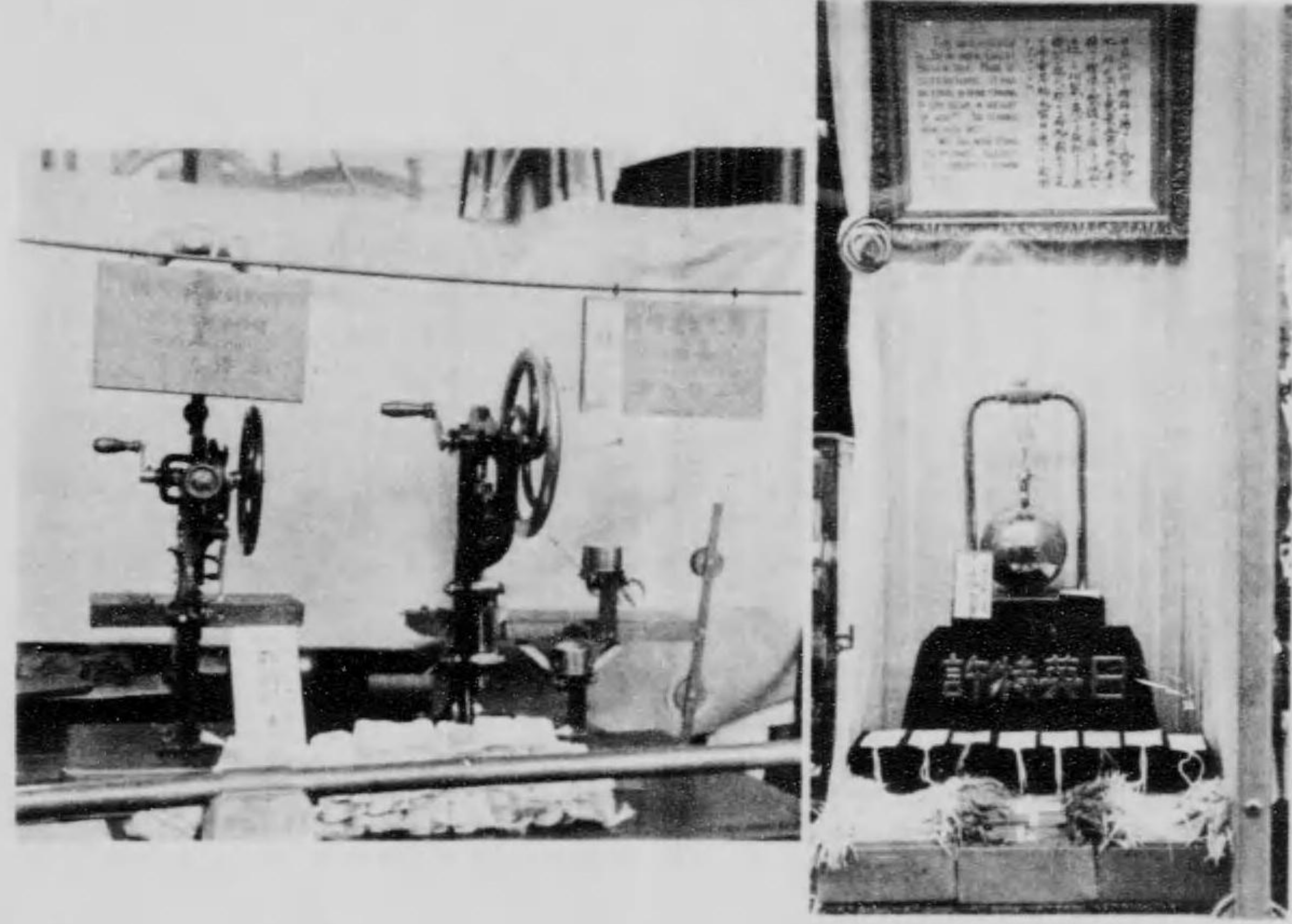
品出館械機

東京府豊多摩郡代々幡町大字幡ヶ谷  
 株式會社 細井鑑工場

營業課目 總製造及販賣業  
 經營者 取締役社長 久保田勝美  
 常務取締役 細井修逸  
 取締役 弘中梅太郎  
 工場敷地 參千九拾坪  
 事務所 百五坪  
 工場建物 六棟八百八拾坪  
 倉庫其他四百六拾坪  
 生産能力 一ヶ年間六百六拾萬吋(凡そ六拾六萬本)

概況

當社は大正二年九月の創設にして専ら總製造及販賣業に従事し地銅は優良の特製品を使用し其の寸度は創業當時より海軍艦政本部の規格を基準とし加工上の技術に就ては廣く内外日新の學理と實地の經驗を以て製品の向上生産能率の増進を圖り今や我邦工業界の好評を博するに到れり茲に於て愈々事業擴張の必要に迫られ大正十年九月組織を株式會社に改め一層の奮勵と努力を以て研鑽を極め其の製品は常に英國ハーバート總試驗機を以て耐久力切れ味を試験し現に品質に於ては外國品に比し遙に優良品たるは本試驗機による成績表並に陸海軍其他の各官廳民間大會社の証明する所なり今回平和記念東京博覽會開催に際し當社は初度の試みとして出品を爲したる處嚴密なる審査の結果經營僅に十年に足らざるにも拘らず卒先して名譽金牌を授與せられたか如きは蓋し偶然にあらず是れ全く弊社の研鑽努力の結果として其の光榮を擔ふのみならず又以て我同業者界一般も誇りとするに足らんか茲に於て弊社は倍々實質本位の聲價をして世界的ならしめ絶對外國品の輸入を防遏し日本工業界の發展に貢獻せんことを期し豊富優良なる在庫製品を最も低廉且迅速に終始一貫せる誠心誠意を以て供給し需要家各位に對し御満足と與ふると共に平素の御眷顧に酬ゆることは弊社の商業上根本主義とする所なり弊社目下の販路は陸海軍鐵道省製鐵所を始め臺灣朝鮮滿洲樺太支那等の諸官廳其他各地に於ける主なる諸會社の指定工場として御指名を蒙り居るのみならず東洋諸國は英領香港海峽殖民地シンガポール上海及印度カルカッタ、セイロン島の諸政廳に商標の登録を出願し大正九年八月許可を受け同地方に販路を進展輸出尙主なる各地方に特約販賣所若くは代理店を設け汎く需要家の御用命に應じつゝあり



諸政廳に商標の登録を出願し大正九年八月許可を受け同地方に販路を進展輸出し尙主なる各地方に特約販賣所若くは代理  
 店を設け汎く需要家の御用命に應じつゝあり

# 品出館業工氣電

日立特別高壓閉閉器油  
 日立特別高壓變壓器油  
 一手販賣  
 鐵鋼鑄船  
 艦用諸機  
 道用諸機  
 管鐵機  
 氣機開  
 業開關  
 氣機開  
 掉開關  
 風機開  
 揚機開  
 種起重  
 車、種  
 及被覆  
 電調  
 車、種  
 鋼、種  
 機、種  
 一、種  
 式法線線機筒機類機車新機式機

## 資本金壹千萬圓

東京市九ノ内仲十五號館  
 株式會社  
 日立製作所  
 東京市九ノ内仲十五號館  
 電話 二三六二  
 內線 三三九  
 九電 二三六二  
 東京市芝區田町四丁目二番地  
 電話 二三六二  
 內線 三三九  
 九電 二三六二

## 東京電氣株式會社

神奈川縣川崎町

本社は資本金壹千萬圓を擁する東洋最大の電氣製造會社にして世界の金屬鐵條電球中に於て頭等の地位を占むるマツダランフは本社の製造にかゝるものなり、本電球は米國ゼネラルエレクトリック會社に於て特許を所有せるものにて點燈時間の永きこと且つ其燭光に要する電流消費量の僅小なること他の金及し能はざるところなり、工場は神奈川縣川崎町東京市外大井町深川區元加賀町市外澁谷町等に模範的出張所所在地 東京銀座、大阪阿波堀通、門司西本町、名古屋南大津町、仙臺大町、札幌南一條通、大連山縣通、上海南京路等、

當社は本邦に於ける最古にして且つ最大の電氣製造並に伸銅業者にして年産額五千萬圓本邦總産額の六割を越へ斯界の權威として製品の卓越せるは贅言の要なし、本和記念博覽會よりは名譽大賞牌を受領せり  
 今や當社は日光、本所、横濱、大阪及九州に六工場を有し職工總數四千八、主として左の製品を製造し一方理化試驗所を大井町に置き常に研究改良を怠らず特に海底電線、鋼心アルミニウム盤線及銅覆鋼線は當社獨特の製品にして未だ他に之れを製造し得る者無し、又販賣機關としては本店營業部を初め大阪、門司、名古屋、臺北、京城、大連、北京、天津、南米の各地に販賣店及出張所を置く、  
 ●製品種目  
 各種鋼線、裸銅盤線、銅覆鋼線、各種電車線、アルミニウム線、鋼心アルミニウム線、各種被覆電線、電纜、海底電線、軍用電線、接續函、銅、真鍮、鍍、鍍、及條、亞、鉛、鋁、真鍮、鐵付管、アルミニウム、片面銅板、鉛管、鉛板、蓄電池、丹麥、金屬セラミウム、電話機械及附屬品

## 古河電氣工業株式會社

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地

電話機及各种交換機類并に電信機其他各種通信諸機械材料各種電線ケーブル  
 類製造販賣及直輸入販賣各種電氣工事設計請負保守等

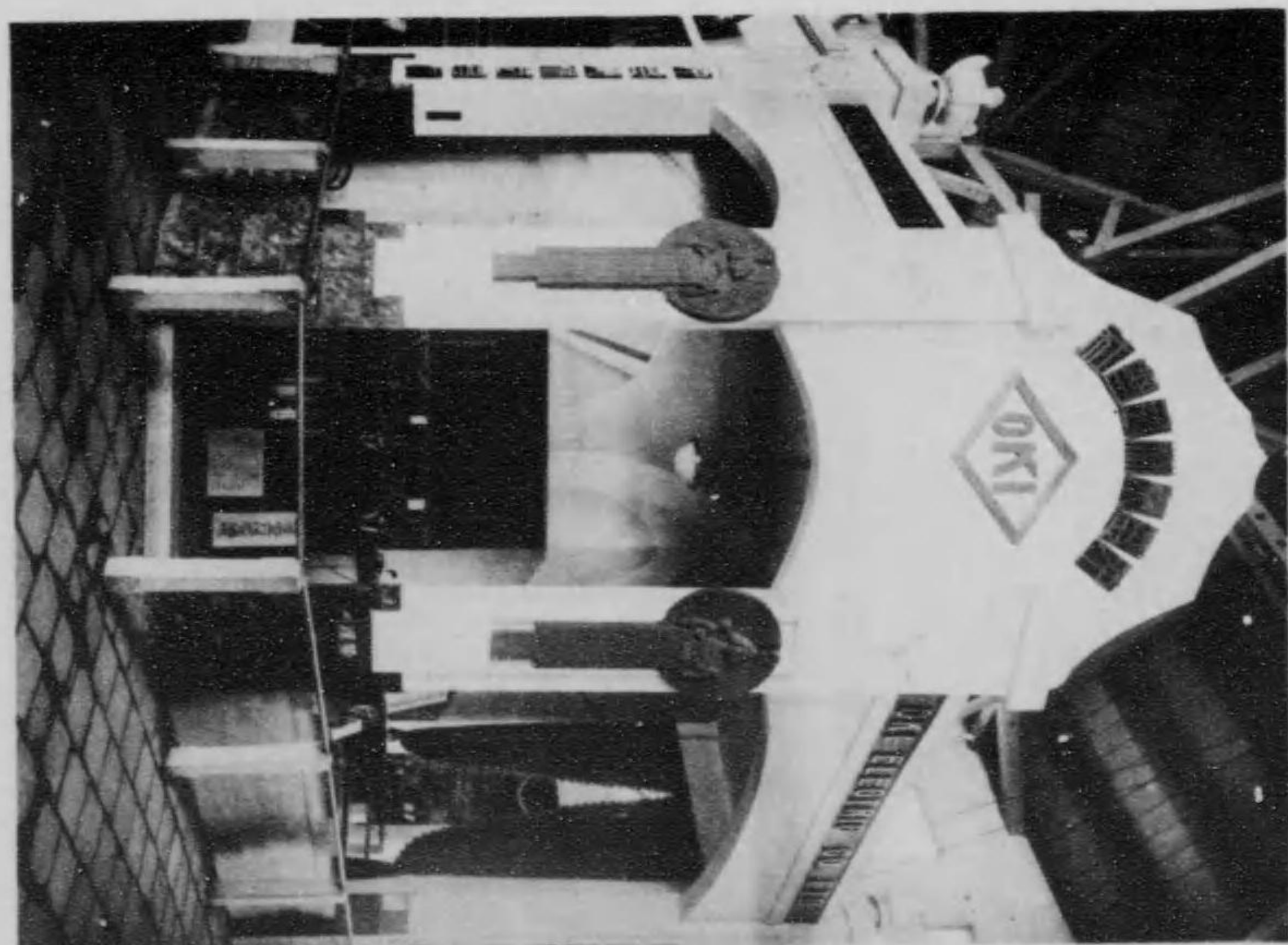
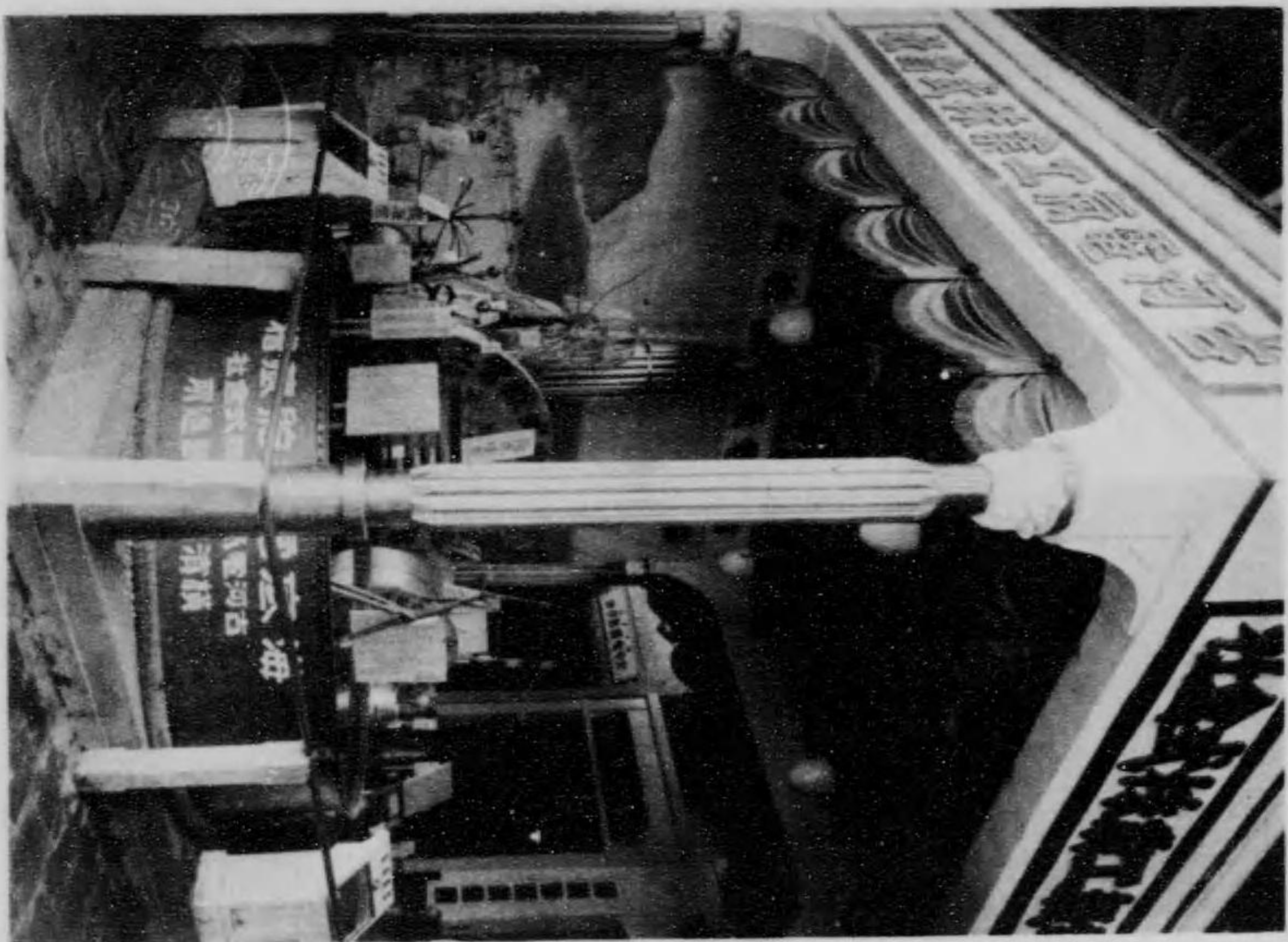
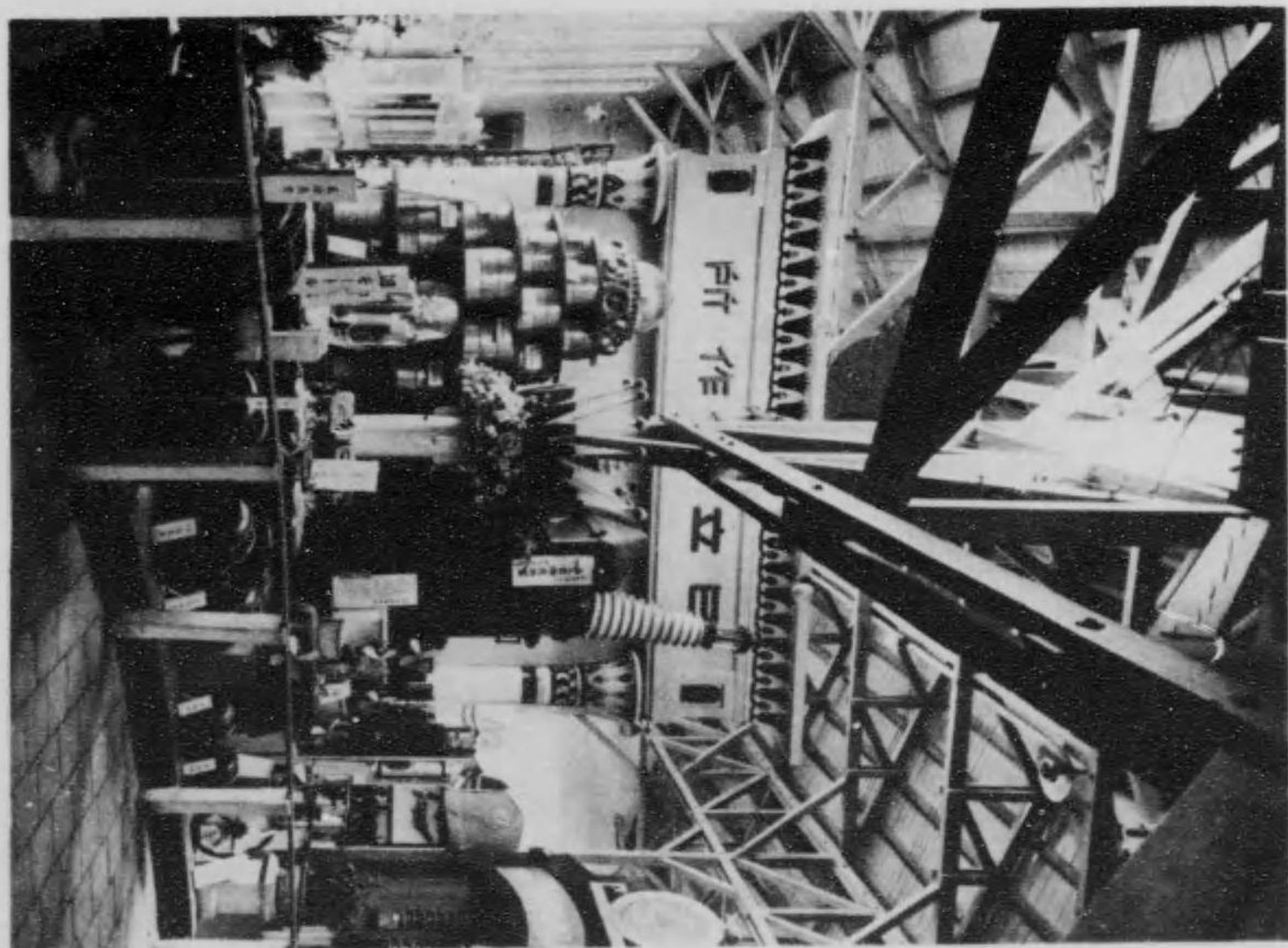
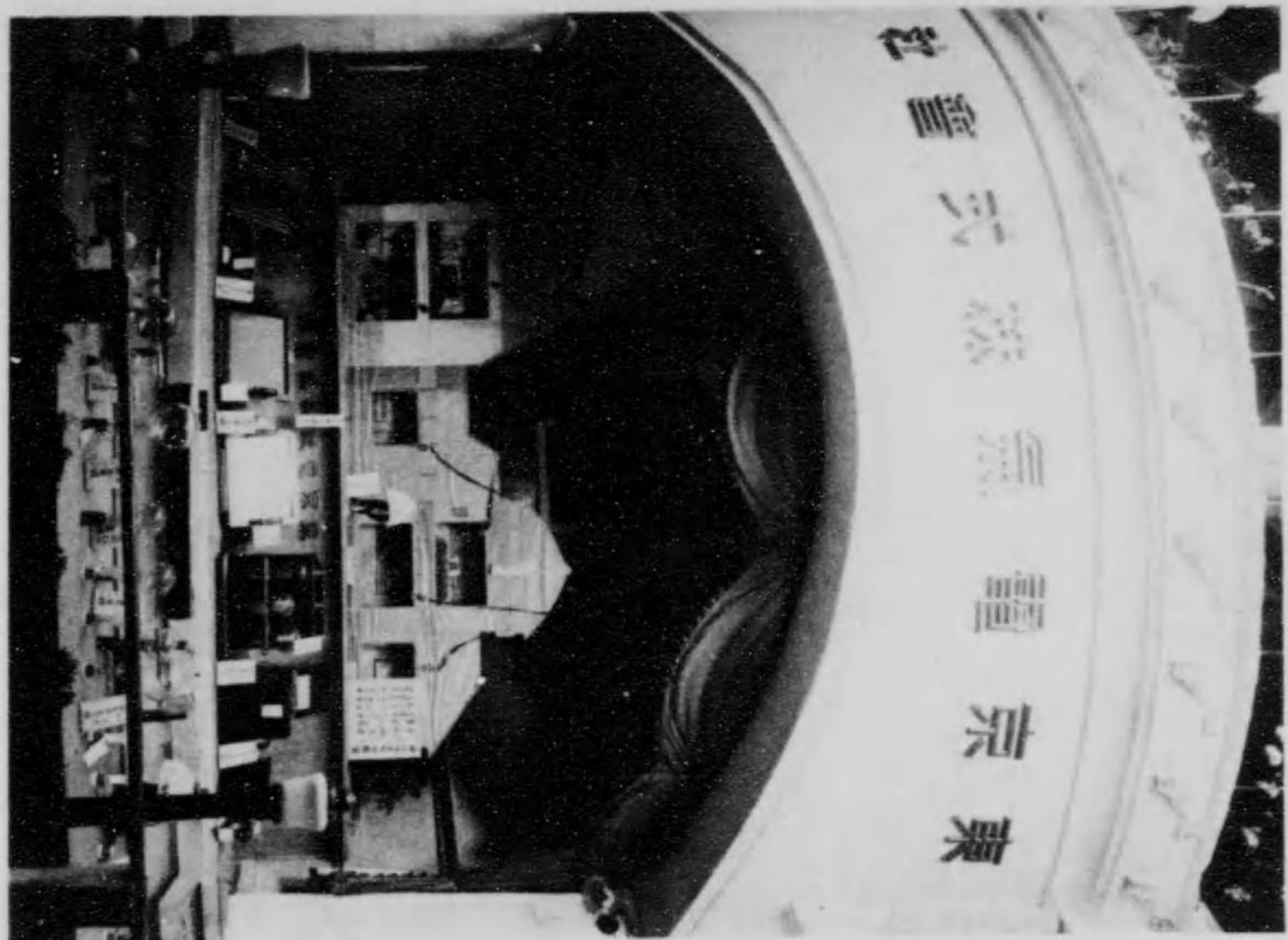
## 製造品并二營業科目

出張所 札幌、福岡、神戸、熊本、名古屋、廣島  
 支店 大阪市外濠洲町大仁二八九

## 沖電氣株式會社

東京市芝區田町四丁目二番地

及附属品  
 心アルミ  
 名古屋、豊  
 他に之れを  
 子特に海底  
 人、主とし  
 要なし、平  
 年産額五千  
 社



## 品出館業工氣電

二町國四田三區芝市京東

### 社會式株氣電本日

東京市京橋區銀座一丁目河岸

#### 東京營業所

電話京橋一三五四番

- 一、所在地 大阪府三島郡高槻驛側
- 一、社名 湯淺蓄電池製造株式會社
- 一、資本金 五百萬圓
- 一、出品名 蓄電池各種、光明丹、亞硝酸曹達
- 一、用途 潛水艦動力、船舶無線電信、列車點燈、自家電燈、電信、電話、發電所、變電所、豫備燈、緩衝用、自動車用各種實驗用携帶用其他
- 一、特徴 佛國メト社の蓄電池製造權と佛國チボー社の蓄電池原料(光明丹)製造權を買収し之に多年研究による獨特の製造方法を以て耐久力質量共に世界的優秀なる製品を供給す
- 一、産額 一ヶ年三百五十萬圓
- 一、販路 (イ)内地 陸軍海軍、逓信、鐵道各省指定工場の外宮内、文部、各省各大學、高等學校、專門學校各府縣市立工業學校各電力、鐵道、電鐵及自動車會社等  
(ロ)海外 臺灣、朝鮮、支那、滿洲、印度、南洋方面等

#### 藤倉電線株式會社

- 本社及工場 東京府下千駄ヶ谷町
- 深川工場 東京市深川區平久町
- 出張所 大阪市西區靱南通  
名古屋市中區南大津町  
福岡市下新川端町  
上海英租界四川路
- 代理店 三井物產株式會社  
株式會社日本製鋼所  
株式會社ヒートリング商會大連出張所

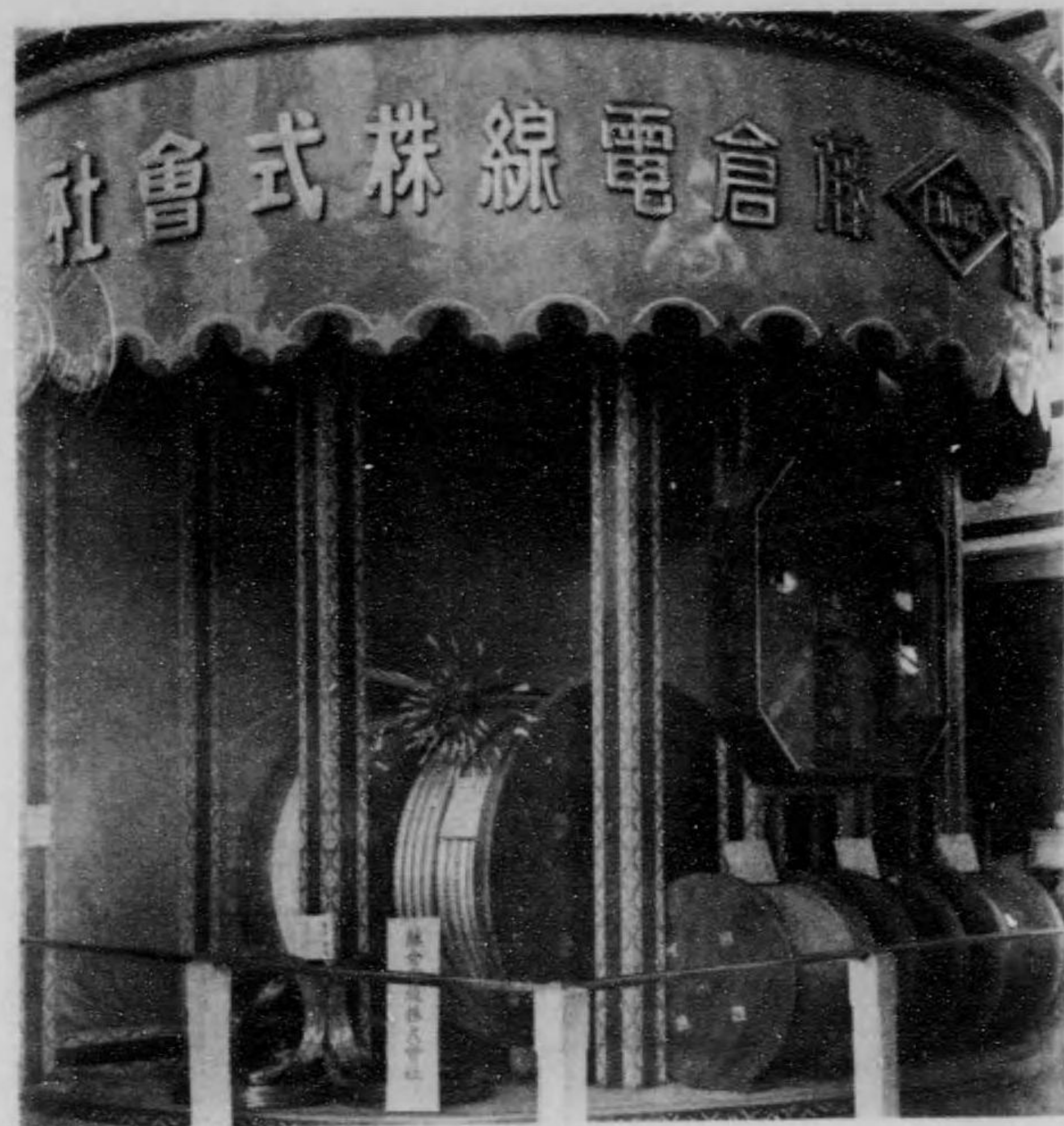
同社は明治十八年の創設で資本金五百萬圓本邦最初の電線會社である製品の優秀技術の卓越せるは夙に天下周知の事實であつて今更贅言を要せざる處であるが就中製品中途電用裸銅線并に各種紙ケーブルの製作に對しては同社獨特の技能を有して居る、殊に目下建設中の深川工場は早くも七分通り竣成し設備は頗る嶄新で殆ど完璧に近いとまで云はれ生産力は從來の六七倍に達して居る。



#### 關東電氣鐵工株式會社

東京市芝區田町一丁目十番地  
電話高輪(關)三四五一番  
三三三三番  
二二七二番  
振替東京四二五四一番

- 一、關東ランプ 一、關東標準球
- 一、スパイラルランプ 一、カナリヤランプ
- 一、乳白色ランプ 一、晝光色ランプ
- 一、列車球 一、無線電信球 其他各種
- 一、最新特許關東換光ランプ
- 特徴(一回轉にして明暗自由に換光するもの)  
(にして電力を節約し能く安眠を助く)
- 一、年産額 壹千萬圓
- 一、納入先 鐵道省、海軍省、東京電燈株式會社其他數十會社



し設備は廊る最新で死と完備に近いとまで云はれ生産力は従  
 来の六七倍に達して居る。

一、年産額 壹千萬圓  
 一、納入先 鐵道省、海軍省、東京電燈株式會社其の他數十  
 會社

# 電氣工業館出品

## 製造品目

電動機  
發電機  
變壓器  
配電盤  
電池  
熱氣扇  
電器

## 工場

三重縣志摩郡鳥羽町  
株式會社 神戶製鋼所  
鳥羽電機製作所

## 大阪

南區末吉橋通二丁目合名會社 鈴木商店支店内  
鳥羽電機營業所  
電話號碼 三〇〇ヨリ三二〇ニ至ル

## 東京

日本橋區小網町二丁目合名會社 鈴木商店支店内  
鳥羽電機營業所  
電話號碼 一六五〇ヨリ一六五八ニ至ル

## 出品名

電氣用硝子類

## 用途

特別高壓電線路及發電所、變電所並無線電信用其他電氣機械器具類

## 產額

年額 參百萬圓以上

## 販路

内地に於ける輸入品を防護し支那、南洋、歐羅巴方面へも輸出す  
其他C.P.化學用陶器。東洋人種に必須のA.P.陶器並に輸出向陶磁器を製し内國及諸外國へ輸出す

株式會社

川北電氣企業社

京都市本町通二ノ橋

松風工業株式會社



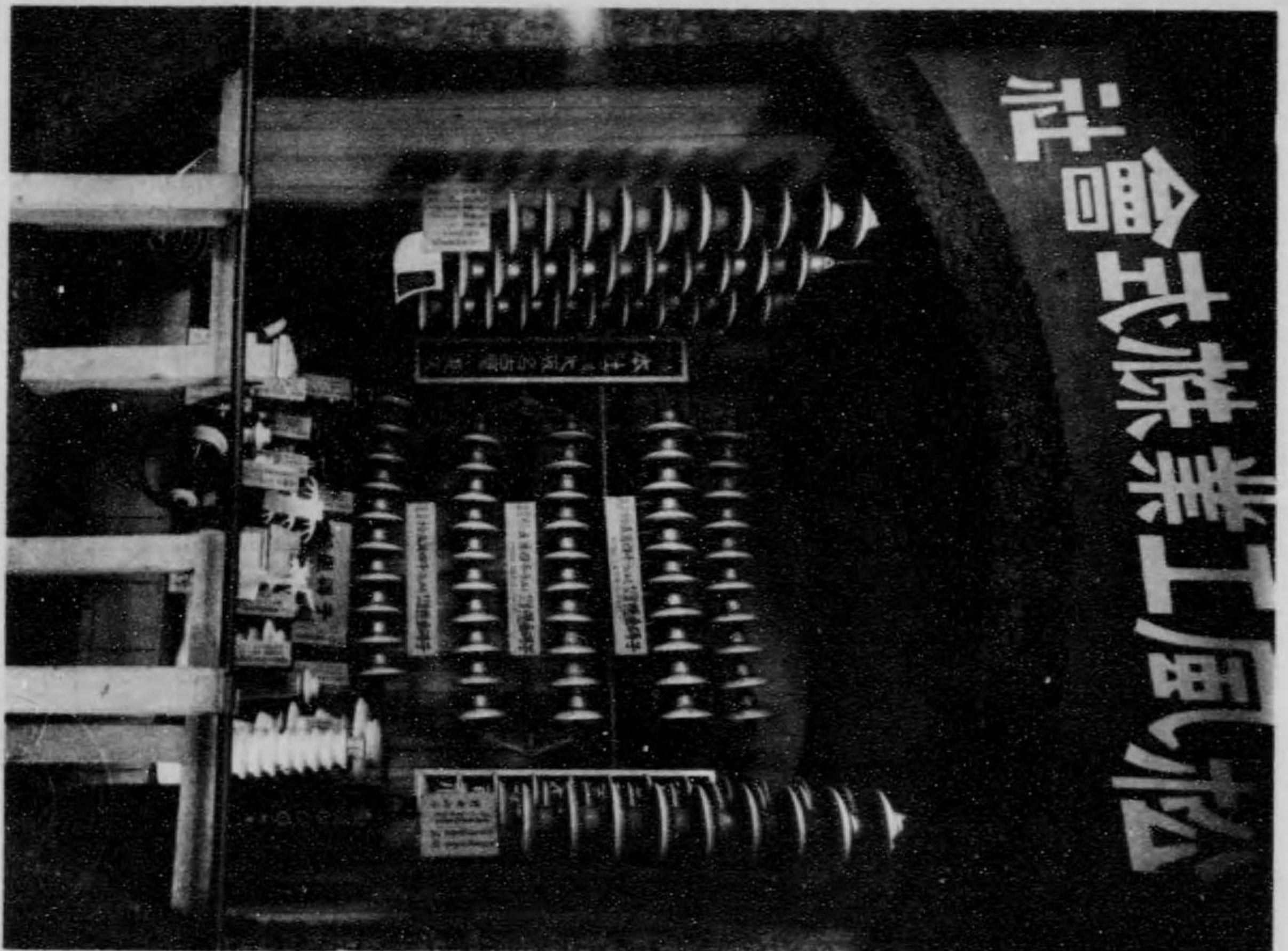
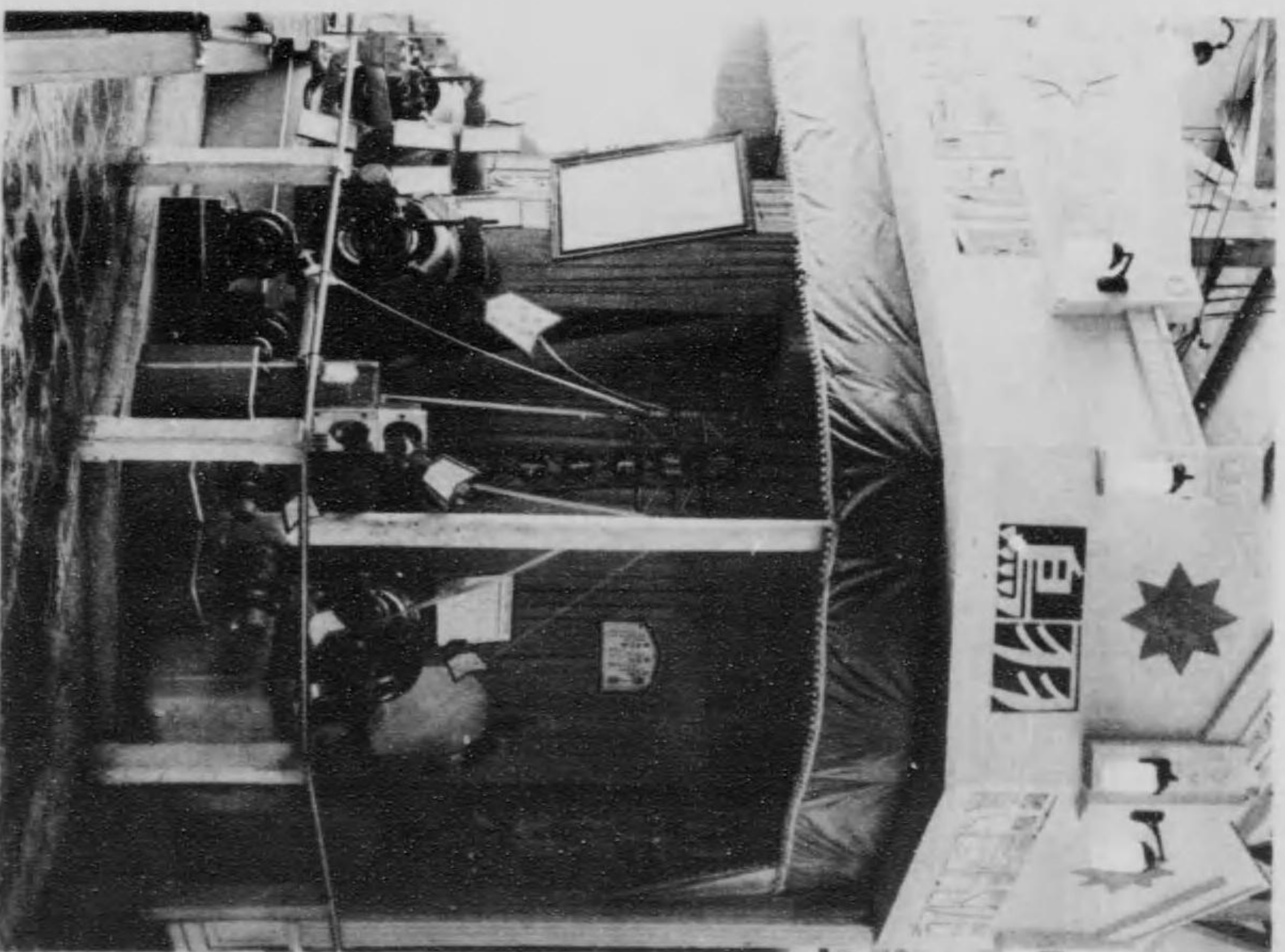
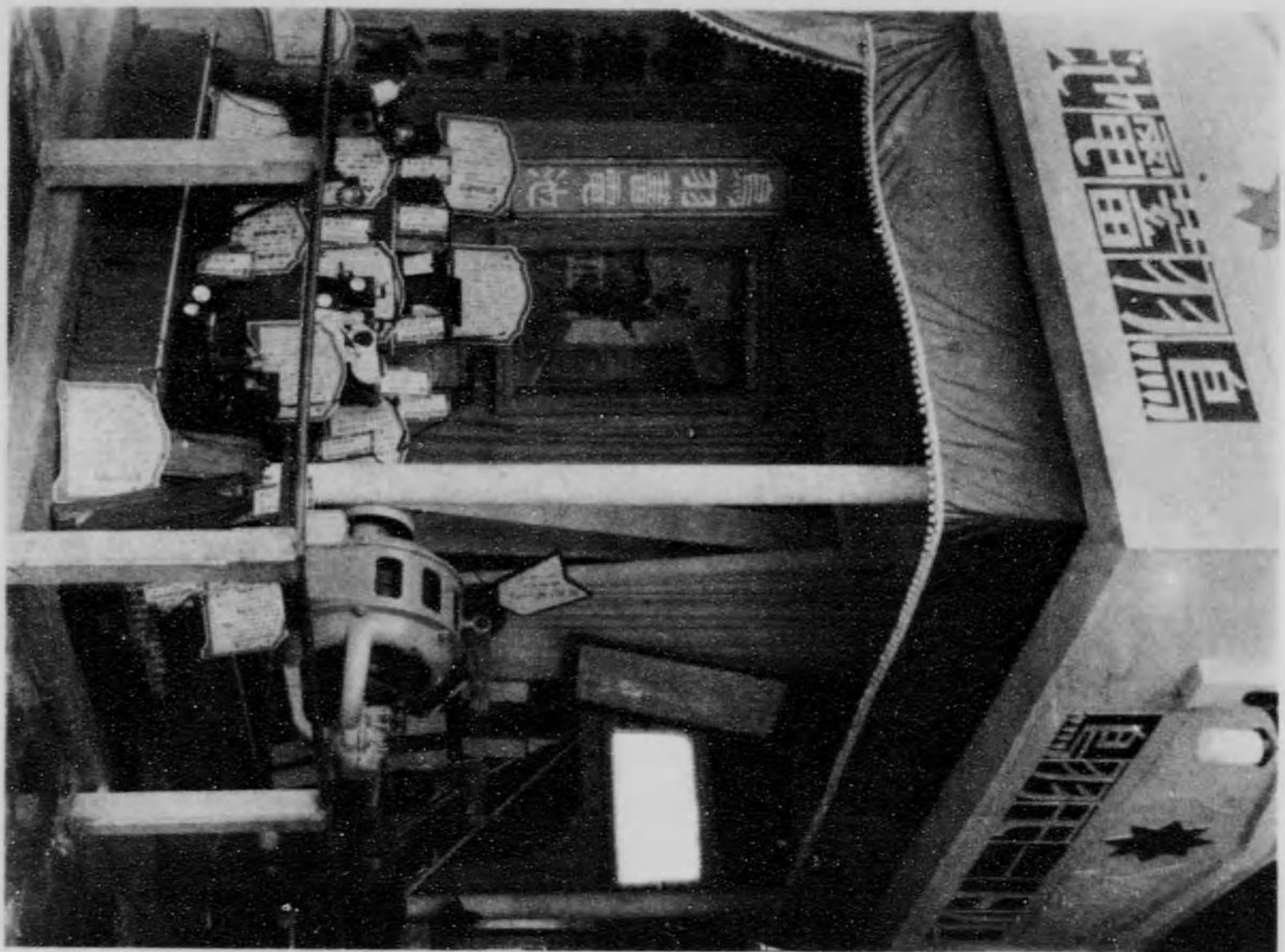


方面へも輸出  
機器を製し内國

其他電気機器

會社

業社



# 電 氣 工 業 館 出 品

東京市麻布區富士見町三十九番地  
 陸軍省 指定工場 共立電氣電線株式會社  
 海軍省 電話 一三〇八七五〇

## 營業課目

電機工場 電信。電話機類。電機諸機械類  
 計器工場 電氣計器類。電氣測定器類  
 電線工場 エナメル線。絹及綿巻線類。護謄線類。電話ケーブル線類。  
 各種抵抗線類製造販賣業

本 社 東京市京橋區尾張町新地八番地

## 帝國蓄電池株式會社

電話 一三〇八七五〇

東京市京橋區銀座一丁目十七番地

充 電 所 橫濱市岡野町九十四番地 電話 一三〇八七五〇

特許蓄電池  
 1) 蓄電池 (初充電なく使用せらるゝ世界唯一の)  
 2) 蓄電池 (封口蓄電池にして耐久力を保證する)  
 3) 蓄電池 (世界唯一の蓄電池)  
 4) 蓄電池 (据置蓄電池にして確實なる日本一の)  
 5) 蓄電池 (携帯、据置蓄電池にして確實なる日本一のクロライド蓄電池)

本 店 東京市經町區八重洲町一丁目一番地

## 三菱電機株式會社

神戶製作所 神戶市和田崎町三丁目

◇業 務 發電機。電動機。變壓器其他一般電氣機械器具の製造。修理及販賣  
 ◇出品物

一、電氣銲接用電動發電機及配電盤。

電氣銲接法は近時その應用著しく擴大し、鋼其他金屬工業に使用して時間努力及費用を節約し生産能力を増加するは世の均しく認むる所たり。電氣銲接法中電氣銲接法は殊に其應用廣く且つ電弧の安全負荷の力率等の關係より直流電氣を以て理想的となすと雖も雖も電力配給の點より見れば交流電氣は經濟的にして利便大なるを以て銲接作業場迄交流を以て電氣を導き之を作業に最も適せる直流に變換して使用するは理想的方法也。本機はこの目的に適應す可く製作せられたる最新式の電動發電機なり。本機の特徴次の如し。

1 小型輕重にして而も必要に應じ移動型と爲し得る事。  
 2 使用簡易にして電流調整自在なる事。  
 3 能率高く、電力を節約し得る事。  
 4 電弧の發生安定なる事。  
 5 作業中電弧の長さを著しく大ならしむる事を防く特性を有する事。

二、汽機直結直流發電機。

蒸氣機關 (三菱造船會社製造)。

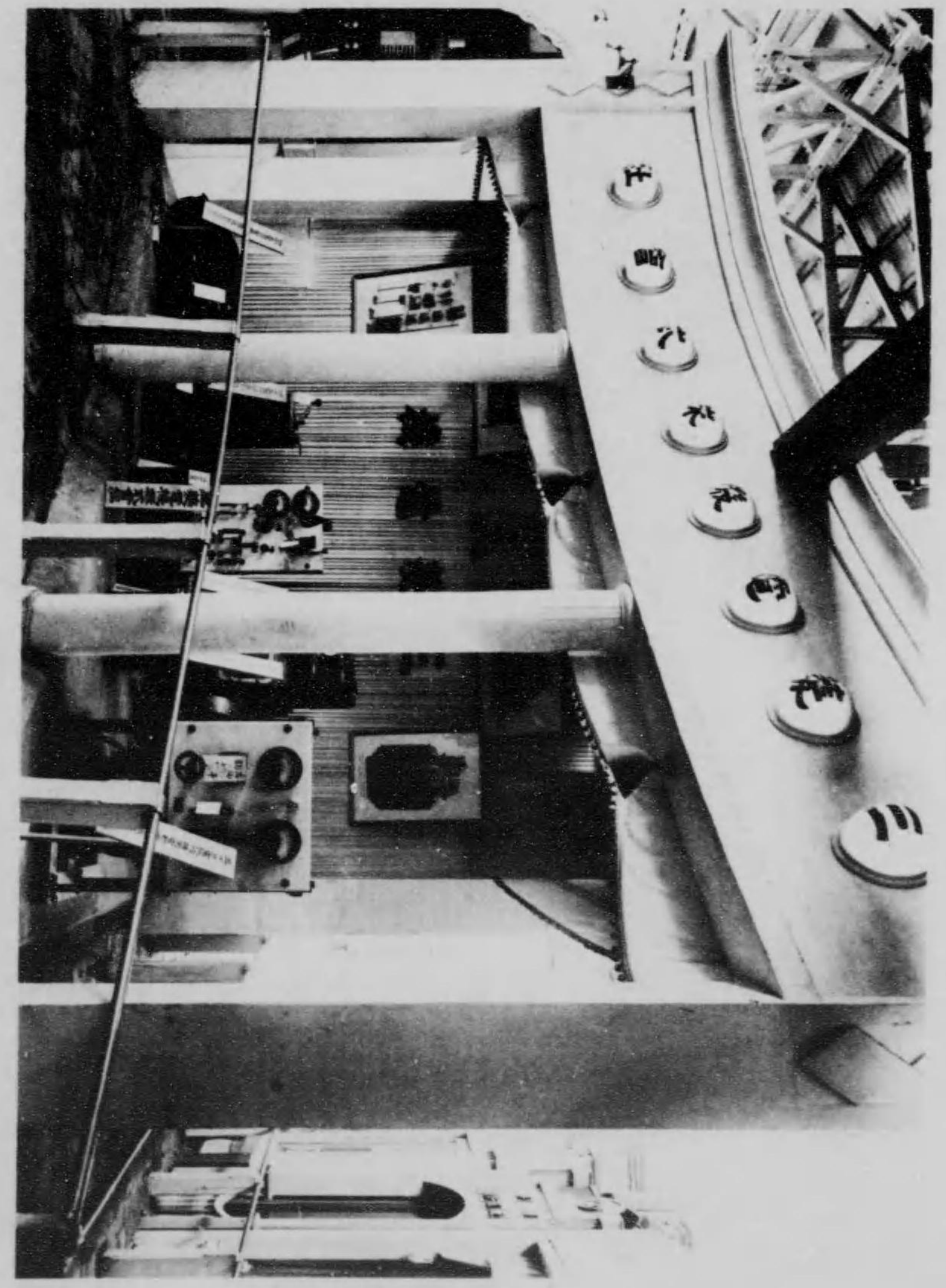
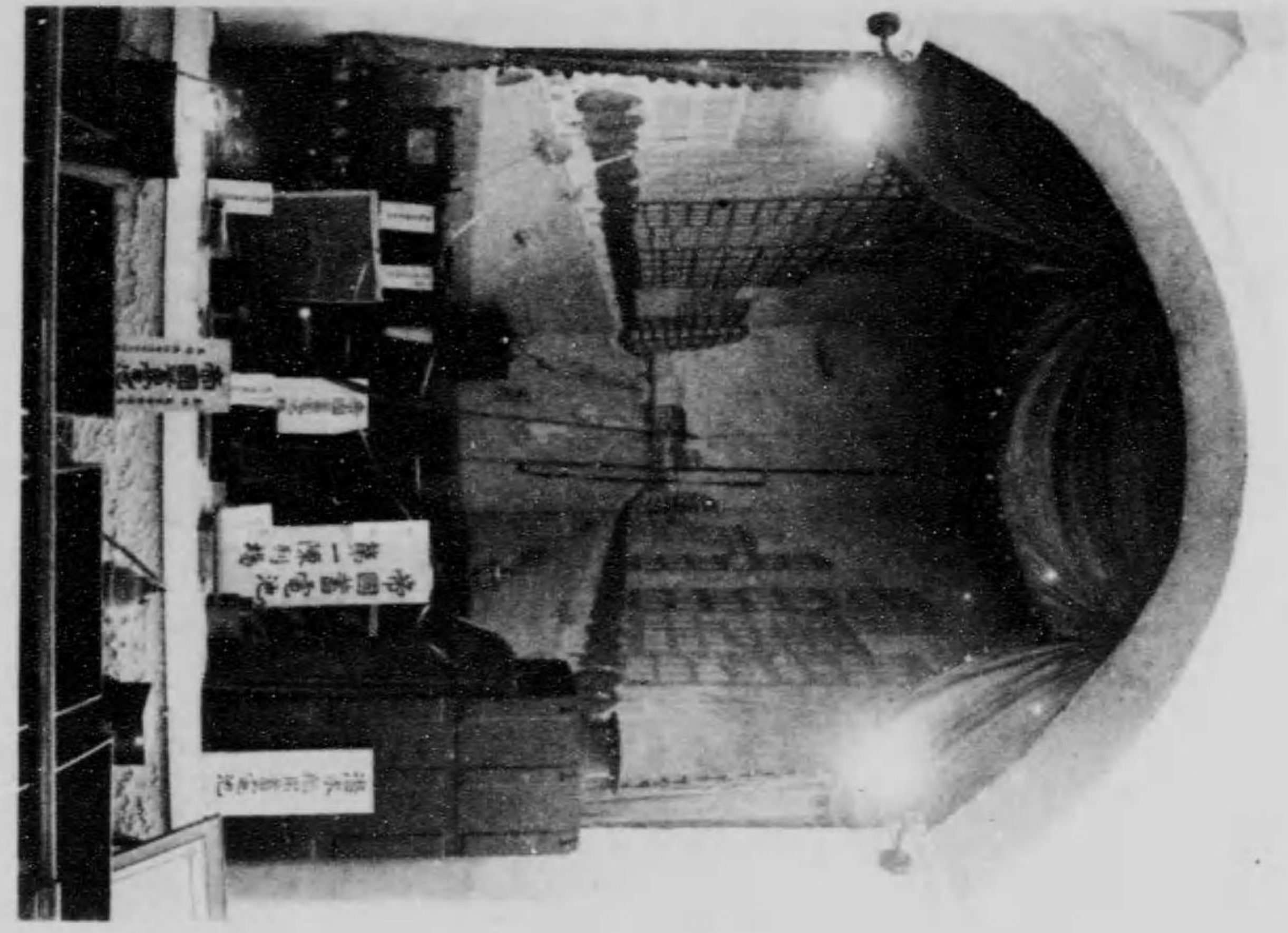
直流發電機。

容 量 二十馬力  
 容 量 十五キロワット  
 型 式 單汽箱不凝結式  
 型 式 複捲開放型  
 汽箱直經 七 吋  
 電 壓 直流一〇〇ヴォルト  
 同 轉 數 五五〇 (毎分)  
 能 率 八八  
 蒸 氣 壓 一〇封度

弊社汽機直結電機標準型として五キロより三五〇キロ迄十數種あり交流發電機直結の物も製造販賣しつゝあり

三、電車用通風型直流電動機及附屬品。

本機は四五馬力電壓五〇〇ヴォルト同轉數七三〇 (毎分) のものなり。  
 弊社は電車及電氣機關車用電機に就ては多年の經驗と特殊の技能を有す。



# 電氣工業館出品

## カボナーン製品ノ製造事業

本社 東京市麴町區永樂町一丁目一番地  
**東海電極製造株式會社**

出張所 大阪 電話九ノ内一留 三二七番 三二九番  
 電話三二八番 四六一番

出張所 九州 大阪 出張所 電話北三〇八三番

工場 名古屋 電話四七二八番  
 小倉市大坂町十一丁目 電話四二一八番

工場 大三位 電話四南二一三番  
 東京市外大井町 電話四高橋二六六番

### 重ナル役員

取締役社長 寒川 恒貞  
 常務取締役 竹内 時次  
 常務取締役 川崎 舍恒  
 相談役 福澤 桃介

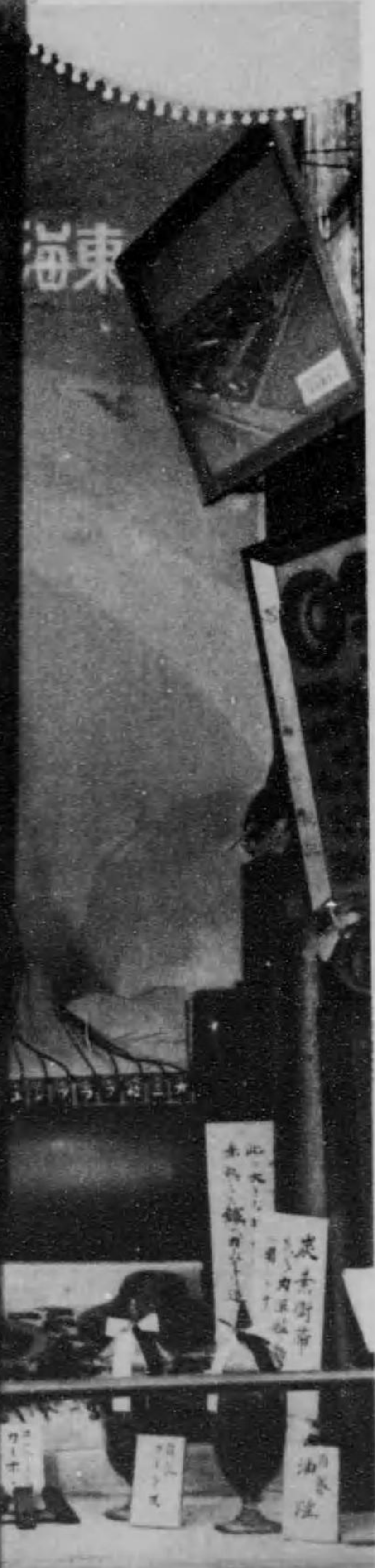
### 沿革

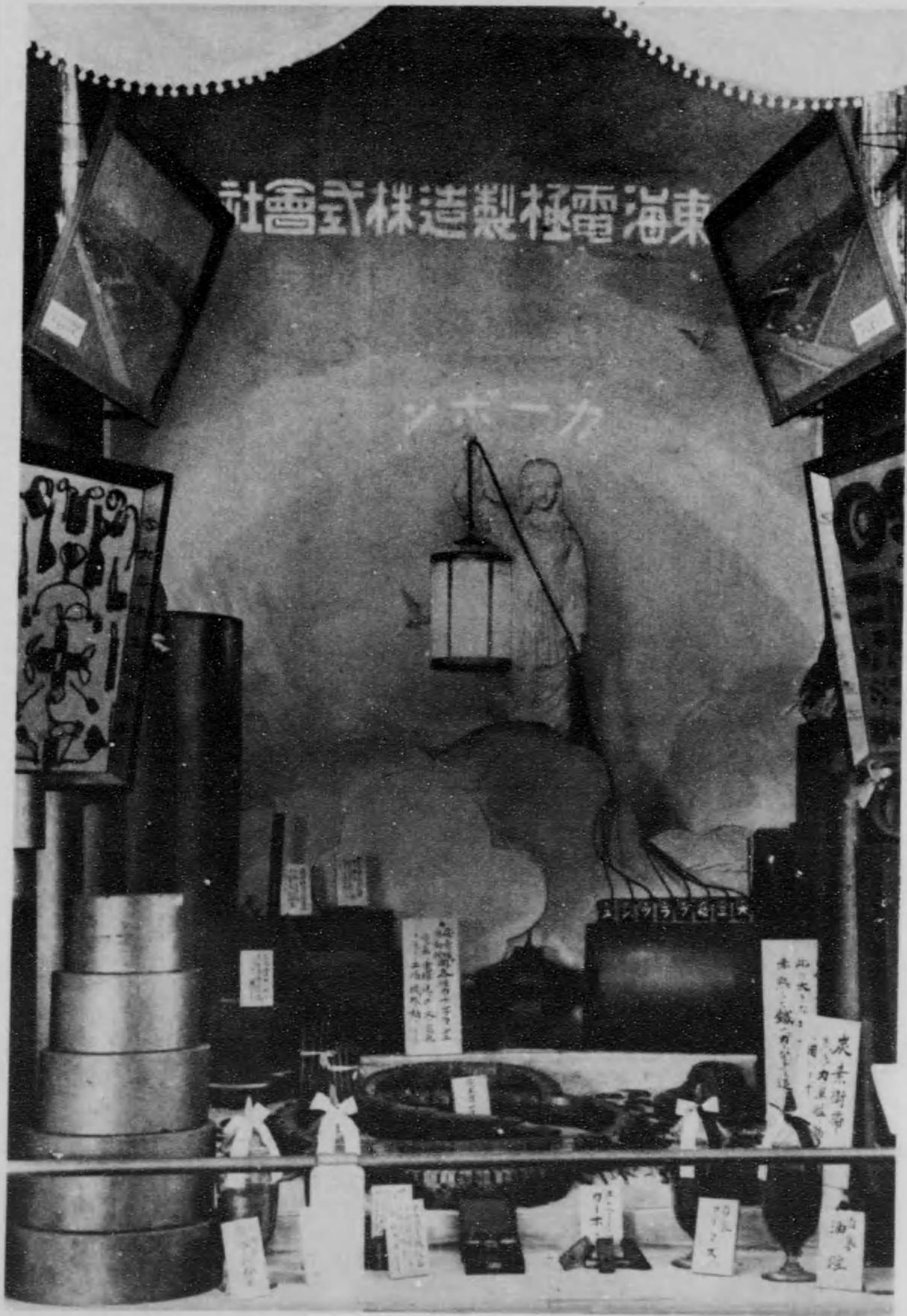
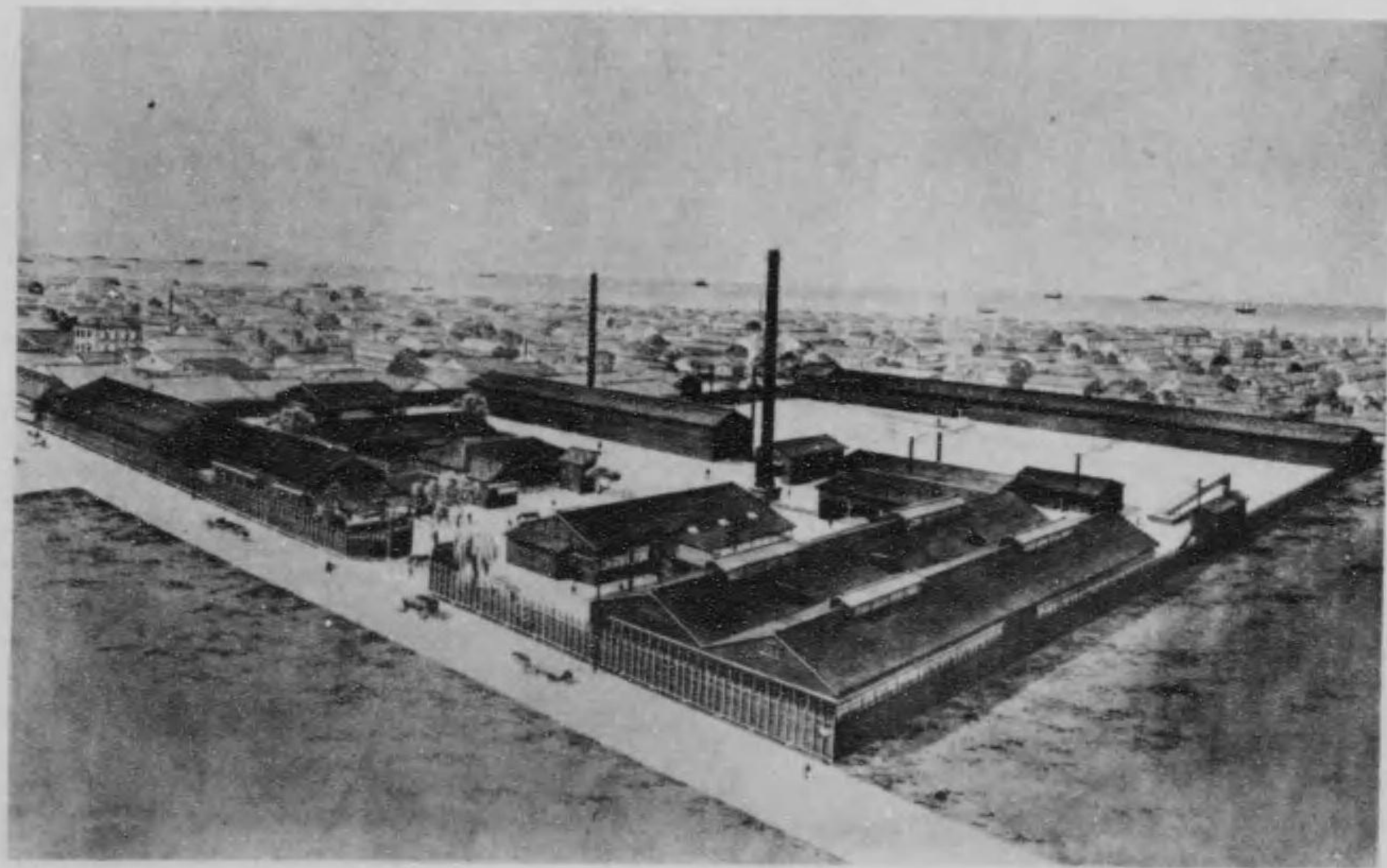
(名古屋工場) 當工場は名古屋市中區御器所町字上赤島に在り大正六年四月より主任技師常務取締役工學士川崎舍恒三氏に於て炭素、黒鉛電極の研究に著手し約一ヶ年を以て成功し大正七年十一月工場第一期計畫の建築成るや直に之れが製造販賣を開始せるものにして原料の精選と當事者の苦心努力と相俟ちて長足の進歩を爲し諸會社試験の結果外國品に比し遜色のなきとの好評を博し需要倍々旺盛を致せるを以て大正八年二月工場第二期擴張を爲し以て今日に至る又豫てより研究中の電氣用磁器類の製作に成功せるを以て大正八年十月新に電氣磁器部を設け爾來之が製造販賣に従事せり(大三位工場) 當工場は東京府荏原郡大井町字元芝に在り明治四十四年六月の創立に係り大正八年十月東海電極製造株式會社と合併に至る迄大三位製作所と稱し合併と共に東海電極製造株式會社大三位工場と改稱、大正十年七月海軍省指定工場となれり

當工場は現同社常務取締役竹内時次氏の創設せるものにして同氏は明治四十一年頃我國電氣工業勃興の兆あるや將來カボナーン製品が斯業界の重要な地位を占むべきを察し當時我國カボナーン製品の全く見るべきもの無き時に方り奮然之が研究に志し幾多の苦心と巨大の勞費を犠牲にし遂に克く目的を達成するを得たるものにして所謂「大三位カボナーン」として品質、加工共に外國品に比し遜色無く或種のものに至りては寧ろ之を凌駕するの好評を博せり

### 出品物説明

- 一、電氣爐用電極 鐵、鋼、鐵合金、カーバイト等の製造若しくは各種礦石の製鍊に使用せられ通電量大にして耐久力に富む
  - 一、電氣分解用電極 苛性曹達、鹽酸加里類の製造若しくは金銀銅の精鍊に使用せられ電導率大にして耐久力に富み且つ加工容易なり
  - 一、電刷子 一般發電機、電動機は勿論電車用電動機、列車電燈用發電機、紡績機用電動機其他各種接觸子等に普く使用せられ所謂「大三位電刷子」として電氣工業界の信用を博せり
  - 一、抵抗棒 避雷器用其他各種抵抗體用に使用せられ各種「オーム」の規格に適合せしむる特殊の技術を有す
  - 一、無線電信機用抵抗カーボン 同社獨特の發明品にして海軍に専用せらる
  - 一、アークカーボン 探照燈、活動寫眞等に使用せられ孤光安定耐久のなり
  - 一、炭素衛帶 軍艦其他の蒸汽「タービン」に使用せられ高熱及強壓に堪へ且つ摩耗性少し
- 同社製品は以上の外一切の炭素製品を網羅す
- 主要製品産額(平時一ヶ年)
- 炭素黒鉛電極 約六千噸 炭素衛帶 約壹萬組 電刷子 約五拾萬個
  - 一、右圖電氣工業館陳列左上圖本社名古屋工場全景左下大三位工場全景





軍艦其他の蒸汽「タービン」に使用せられ高熱及強壓に堪へ且つ摩耗性少し  
 同社製品は以上の外 一切の炭素製品を網羅す  
 ○ 主要製品産額 (平時一ヶ年)  
 炭素黒鉛電極 約六千噸 炭素 衛帶 約壹萬組 電 刷 子 約五拾萬個  
 一、右圖電氣工業館陳列左上圖本社名古屋工場全景左下大三位工場全景

# 品出館業工氣電

發電機  
モーター  
變壓器  
變壓機  
電話器  
蓄電池  
乾電池  
醫療器具  
各種器具

東京電燈株式會社特約店

東京市淺草區黑船町廿八番地角屋橋電車停留所際

## 製作發賣元 清水電機商會

電話 淺草 三五七〇番  
編管 東京 一三三七四番

文明の利器は今や如何なる山間僻地にも設置する事が出来る家庭用國液電池は六個人四個人の二種としてあります六個人は普通十六燭光を點する事になつて居りますが二燈を點燈する場合には八燭光で四個人は普通十燭光を點するので二燈を點燈する場合は五燭光で二燈を點燈するものであります

一回の液にて使用持續時間は六個人四個人共二十時間以上責任を以て保証致します。最も經濟最も便利燈界無比國液電燈經費

室内用電池六個人十六燭光一ヶ月藥液費用點火料金四十五錢也

同用電池四個人十燭光一ヶ月藥液費用點火料金三十五錢也

電燈會社の停電の際は至極便利であります點火せざる時は永久に藥液の減退又は變質の憂は更にありません

電氣裝飾互電球點滅機製作、各電氣器具は御入用の際は是非値段を御照會を乞ふ他店より必ず安い

## 中村商會製作所

東京市小石川區表町七番地

電話 小石川 一〇七九番

電燈裝飾器具製作

避雷針電話器製作

弊工場は大正三年の創立以來専ら電燈裝飾器具製作に従事し適々電氣業の進歩と世間の嗜好に適合したる爲め長足の發展を來し目下工場の製産能力を傾投しても尚且つ各位の御信用を充す能はざる盛況に至り之偏に各位の御高庇に寄る事と感鳴し更に工場を擴張して尙一層製作に留意し平素の御愛顧に酬いん事を期す

### 營業項目

カンプレクサ、アラケット、スタンプ、半間接器具、其他一般照明器具類製作  
避雷針及附屬品一般製作

### 製作品目

交流電機

直流電機

交流發電機

變壓器

自働閉閉器

修理



## 精工會社

資合會社

東京市芝區岩下町一丁目二番地  
電話 芝 八三三番

天井用飛行型電氣扇、本器は羽根の廻轉により自然の全廻轉を起し室中に送風する装置になつて居ますから故障が起りません普通の天井用と異つて重量が少すから天井が低くて幼稚な日本室にも適します目下劇場、活動常設館、料亭洋食店喫茶店等に盛に使用せられて好評を博して居ります

卓上用飛行型電氣扇、本器は飛行型を卓上用に應用したるものにして従来の音振扇風器は其の廻轉が九十度に限られて居りましたが此の欠點を除去し周圍に萬偏なく送風します

電氣アイロン、本器は普通のソックスに差込んで直ぐに使用が出来瓦斯や炭火のように熱が冷めたり灰がこぼれて塵の汚れる心配がなく頗る重寶です

其他電熱器特製照明器具の製作電燈工事の御用が有りましたら是非御照會を願います

電話 銀座 一四三三番  
電話 淺草 一四三三番

## サンデン電氣商會

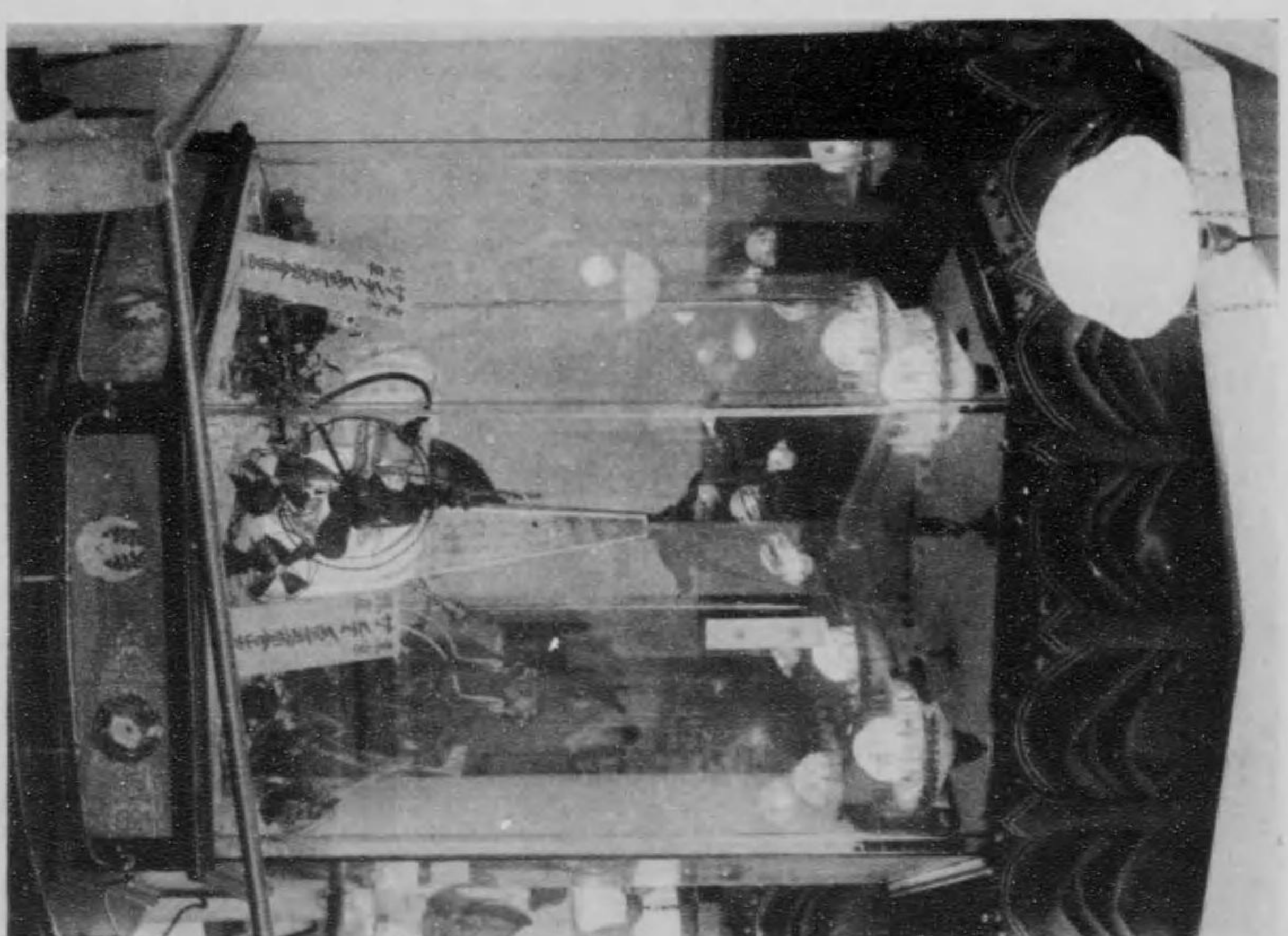
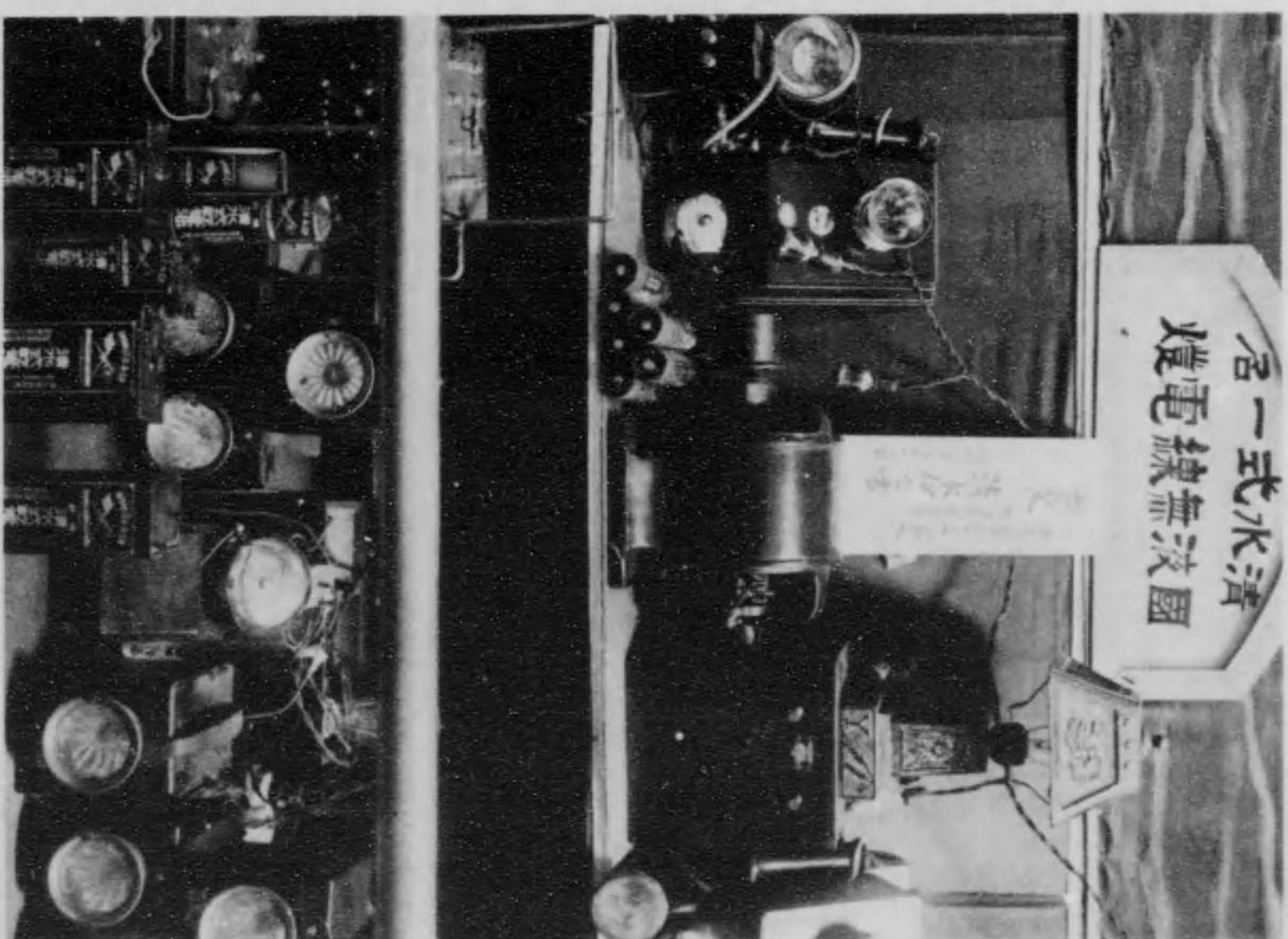
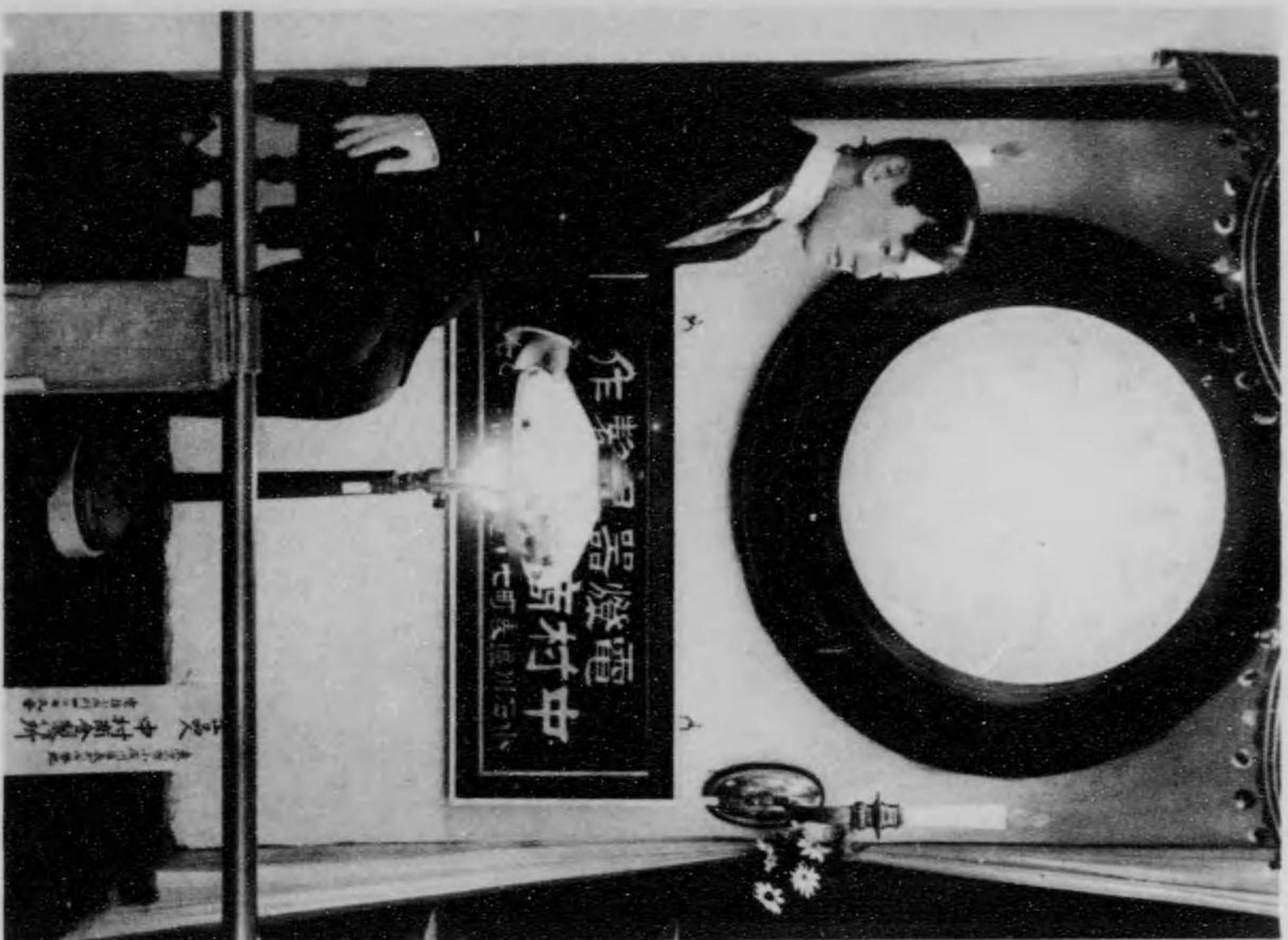
東京市京橋區尾張町二丁目十五番地

精工社

東京芝罘區下町一丁目二番地  
電話三八三三番一

五番地  
電氣商會  
番銀座一四三三  
番銀座一四三三  
金燭燭を起し室中に送風  
非用と異つて重量が少  
活動常設館、料亭洋食店  
たるものにして従来の首振  
の欠點を除去し周圍に萬偏  
人に使用が出来る瓦斯や炭火  
なく頗る重寶です  
ましたら是非御照會を願ま

電氣商會



名譽賞牌受領の

## 平和博の一異彩クラブ特設館

ルブランの名畫を彫刻に幽靜閑雅な階上の休憩室  
第二會場の中心はカテイ石鹼の電飾輝く大噴水塔

大戦後燦然と發達したる吾邦商工業の縮圖として巨大の規模を以て開かれたる平和博中の一異彩として満目の焦點となつて人氣を蒐めたるは

クラブ白粉本店の特設館である、正面の壁畫はホッチキユリーの「春」側面はシャヴァルヌの「シューズ」で、北運藏、辻永雨氏の構圖に成つてモサイツクで、壁畫の磊は硝子張りの陳列室になつて館内が外から一目に見透されます、陳列室には世界的の優良品として名聲を博して居るクラブ洗粉クラブ齒磨、クラブ白粉クラブ化粧品の有ゆる種類や顔のアレぬカテイ石鹼や、新型の一番書きよいブラトン萬年筆や最新流行のブラトンシャープ鉛筆、ブラトンインキ等のブラトン文具類が悉く最新式の意匠と藝術味の饒かな裝飾法によりて陳列されて居る、館の中央に据付けられた等身大の石膏像はカテイ石鹼の商標となつて頗る有名なルブラン夫人の名畫「母と子」を山本瑞雲氏が苦心の結果新に塑像にとられたもので、ルブラン夫人が前면에描いた母子の純愛が如何に立體的に表現されて居るか、此點に於て甚深の興味を喚起せしめるものである。猶此館の一部に清楚な氣持のよい

洗面所の設備されてあつて、何誰でも自由に入り汗や埃に塗れたお顔を直し髪容を整へる事が出来る極めて調法な施設であります。更に階上五十餘坪は公開して幽靜閑雅な

クラブ式の休憩室となし場内の紅塵と雜沓とを避けて暢然とした氣持にて疲勞を休むることの出来るやうに設備してあり殊に御婦人のために

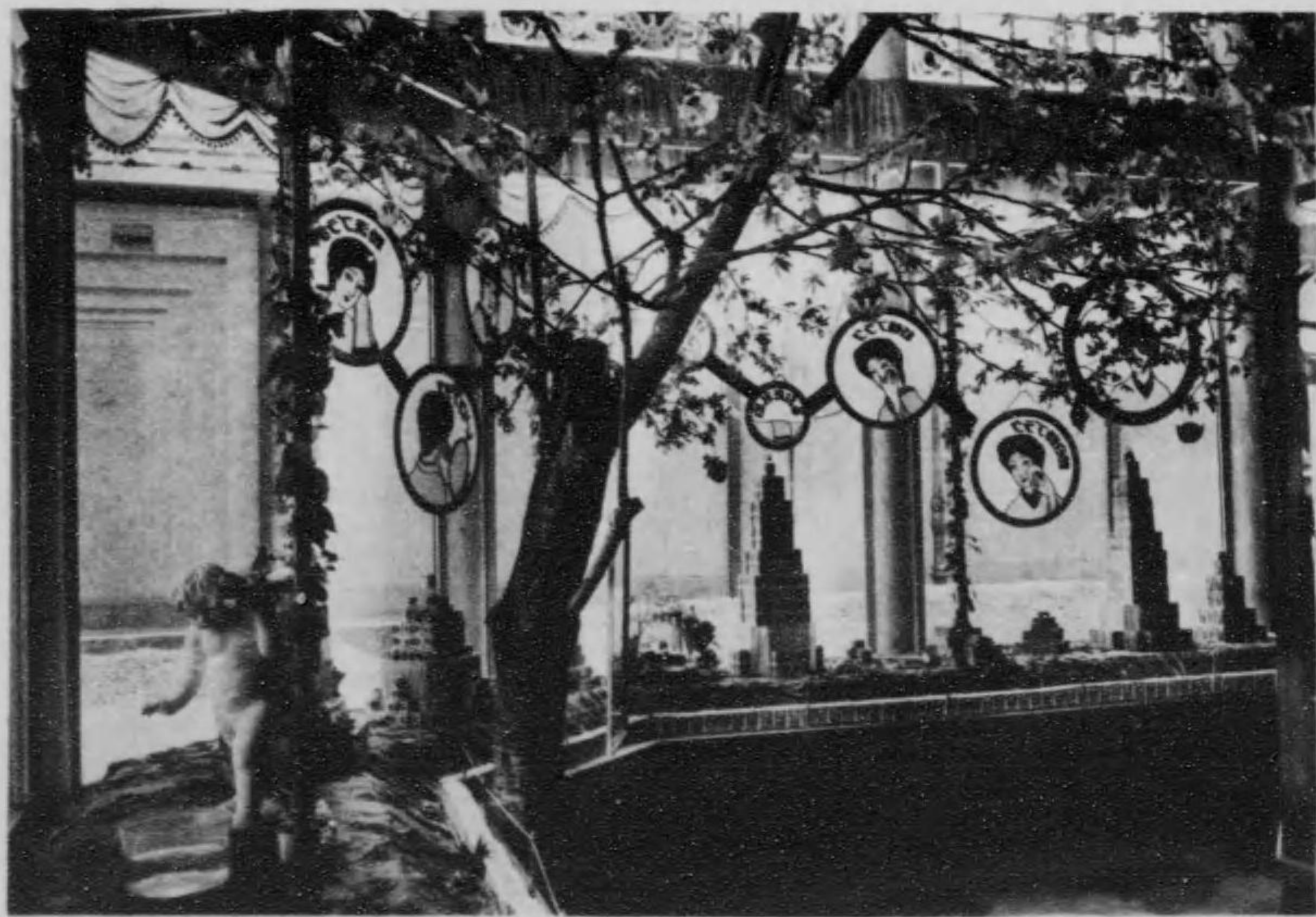
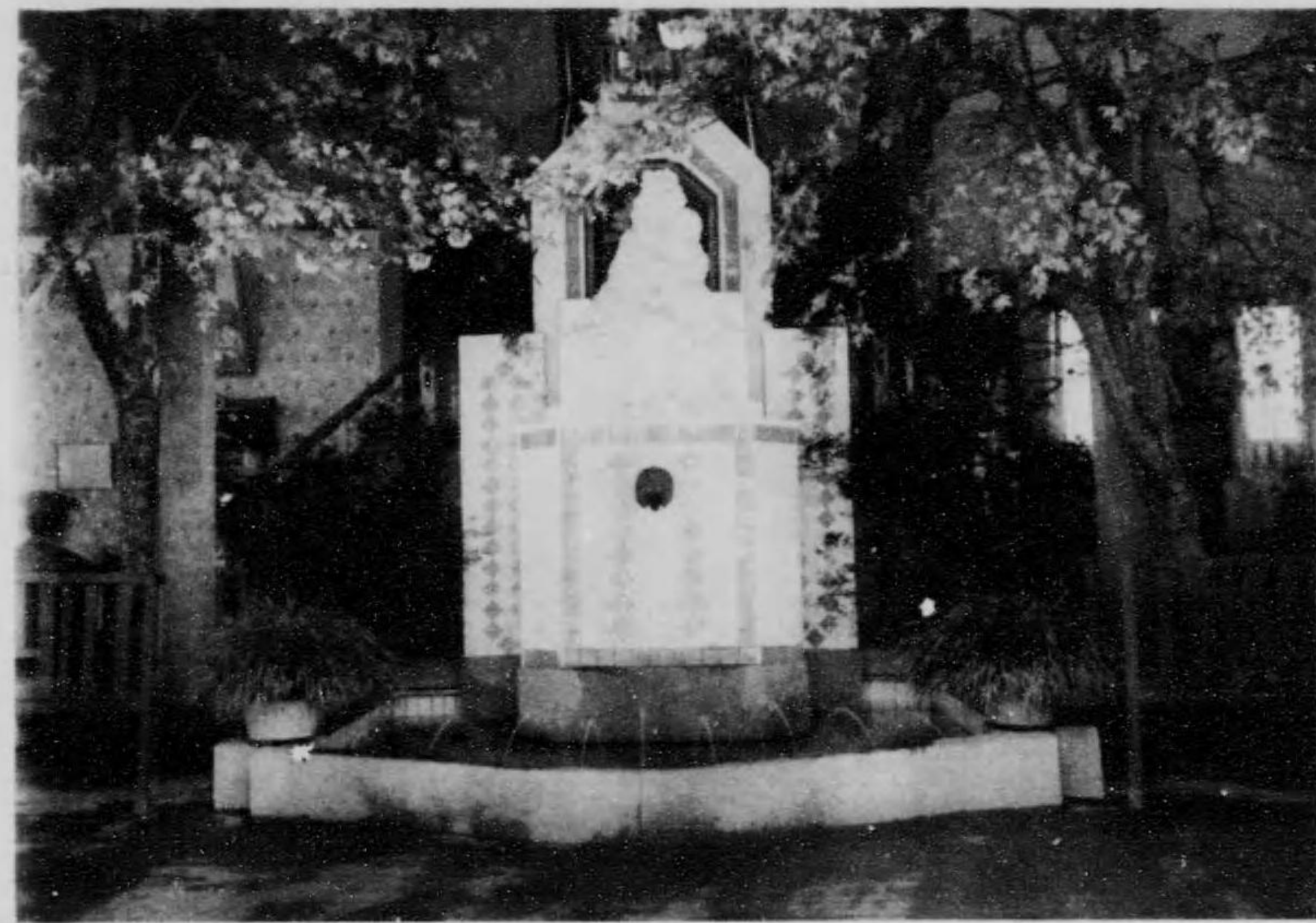
婦人室、整容室等をも設けて整容術の講師が毎日特に出張して無料にて希望者のお顔や髪の整容を懇切丁寧に教授實演して居る等誠に間然する處なき設備をなし老幼男女の別なく何誰にとりても最も興趣の饒かなるが此のクラブ特設館の特色で他の追踵を許さぬものである

クラブ化粧品クラブ文具の本館に對し博覽會は審査の結果名譽賞牌を授與したのである。

第二會場には平和の波を滿々と堪えた不忍池の中心に屹然として立つカテイ石鹼の大噴水塔がある、自らにも第二會場の中心となつて居る譯で、四面の電飾鮮やかに

カテイ石鹼、クラブ白粉、クラブ齒磨と表はれて居る、是れクラブ化粧品カテイ石鹼本店中山太陽堂の建設に係るもので噴水の奔騰百五十尺に上り、夜間は電機應用の大仕掛けに五色の光を授けて光彩陸離、只見る満天の飛沫は五彩の紅龍と化し燦爛として天に冲する様壯觀偉觀と稱するものである。

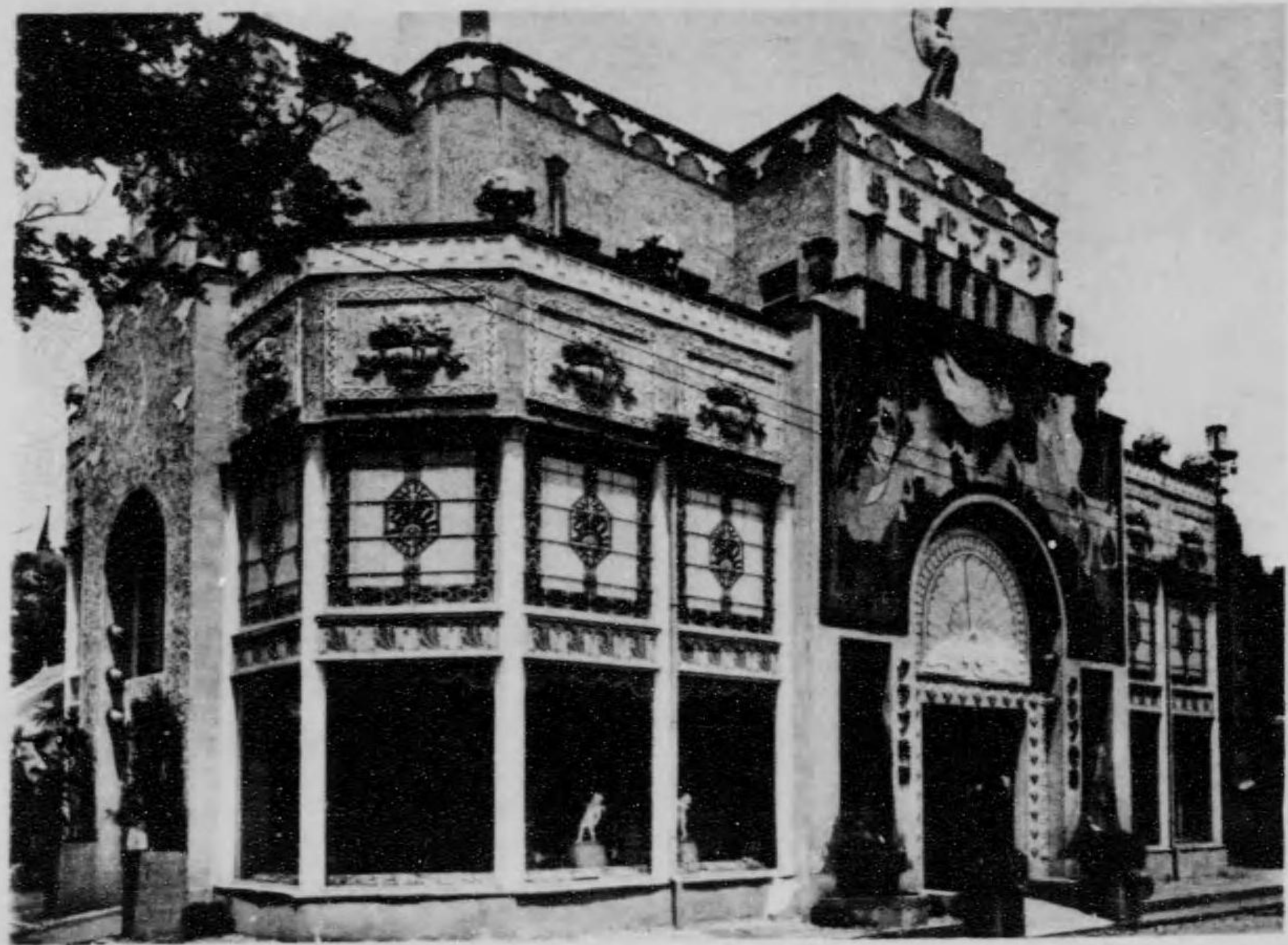




舖本品粧化ブラク

# 堂陽太山中

(二其) 館設特



御婦人の見落しの出来ない………

美術館際

### 第一會場の呼びもの……… カニ油美髮館

都下一流の美髮師數十名交代競技

#### 髮の結びぶり實演公開

同館は婦人頭髪用香油の權威として有名なカニ油本館并  
筒屋香油店の特設館にて、全會場唯一の日本風建築にて、理想を實  
現したる。婦人結髮室化粧室等設置し誰れでも自由に休憩使用を開  
放そして商賣婦人髮姿の變遷の陳列は最も衆人の目を引き、殊に  
結髮室に於ける髮の結びぶり實演は何分都下一流の有名美髮師達の  
各々獨特の技をふるうての競技なれば、髪を命とする所の婦人が此  
處に蟻集するの尤もな譯である。

現代髮 姿 陳 列

髮の結び振り實演(希望者には)

理想婦人結髮室

化粧室

休憩室

電話 (自由開放)

(善井)店油香屋筒井  
町堺通町形人區橋本日市京東  
京東座口驛番五五六  
番六〇〇四番八二六

ハリキン石鹼本舖

東京市日本橋區藥研堀町五〇

株式 ハリキン商店

ハリキン石鹼は現時日本に於ける最も優れたる化粧石  
鹼として第一流の賣れ行きを有す、品質の優秀と價格  
の廉價なるとは最も其の誇りとする所なり、一般家庭  
用として好評あるのみならず各大學病院、陸海軍の御  
用品として絶へず御用命を受く

ハリキン石鹼本舖

東京市日本橋區藥研堀町五〇

株式 ハリキン商店

ハリキン石鹼特設館

ハリキン石鹼特設館は第一會場内にて終始來觀者に非  
常なる好印象を與へるを以て最も評判なり

其の設計は印象派の大家エツチアール氏の指揮監督に  
より最も快感を與ふる現代的休憩所なるのみならず場  
内數多き特設館中出色の異彩を放てる實に故ありと云  
ふべし

粹を集めたる造花の數々に飾られたる場内にはハリキ  
ン製の香り優しき各種の化粧品を陳列し尙一般の爲め  
に化粧洗面所を設けハリキン石鹼を自由に一般に供給  
したり

ロイヤル靴下發賣元

東京市日本橋區藥研堀町五〇番地

株式 ハリキン商店

ロイヤル靴下は自ら靴下の王様と稱して憚らざる程凡  
ての點に於て他に超越する良品なり

毛織製、絹糸製、麻糸製、瓦斯糸製等四季それ／＼に  
好評の靴下のみを製出して東京市、大阪市を始め内地  
到る所の都市海外各國の需要に常に忙殺されつゝあり  
而して其の主義とする所は如何なる點にも親切丁寧を  
以てす